

事業年度	平成30年度
工事種別	新営工事（建築工事）
工事番号	こども工 - 7

工事名 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事（建築）

注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市

こども健康部

こども課

工事番号	こども工-7	工事箇所	可児市 下恵土 地内	施設名	めぐみ保育園
工事名	可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事（建築）				
理 由			工 事 概 要		
<p>当建物の増大する保育ニーズに応えるため、既設職員棟を解体し、園舎の増築を行なう。また、平成8年度に建築された当建物は、20年以上が経過し老朽化が進んでいるため、子供達が安全に安心して園生活を過ごせるように大規模改修を行なう。</p>			<p>建築工事 一式</p> <p>・新築建物 増築園舎(鉄骨造 平屋建 208.98㎡) 渡り廊下(鉄骨造 平屋建 4.05㎡)</p> <p>・改修建物 既設園舎(鉄骨造一部木造 平屋建 950.76㎡)</p> <p>・解体建物 職員室棟(プレハブ構造 平屋建 38.9㎡) 渡り廊下(鉄骨造 平屋建 9.72㎡)</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円

特記仕様書

1. 一般事項

- (1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。
- (2) 受注者は、本工事が「可児市工物品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。
- (3) 受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム(コリンズ)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。
- (4) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿(指示、協議、承諾は除く)、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。
- (5) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51条)」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付建設省経機発第249号、最終改定平成22年3月18日付け国総施第291号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日付け国総施第215号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械(以下「排出ガス対策型建設機械等」という。)を使用しなければならない。
排出ガス対策建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難しい場合は監督員と協議するものとする。
排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提供するものとする。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラックシャベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット (以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの:油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リパーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機)	ティーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。

・ローラー類
(ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ)
・ホイールクレーン

・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの。
・排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの。

2. 産業廃棄物の適正処理について

- (1) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。
- (2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が100m³未満の場合はこの限りではない。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

3. 使用材料

- (1) アスファルト再生合材について
本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン(可児市)」によること。
- (2) コンクリート二次製品について
本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。
- (3) 生コンクリートについて
本工事に使用する生コンクリート(均しコンクリートを除く)については、水セメント比60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

4. 工事施工について

- (1) 契約書18条第1項第1号から5号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。
- (2) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。
- (3) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認められた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。
- (4) 工事着手前に、可児市基準点(世界測地系)を用い、境界(座標)を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。
- (5) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。
- (6) 必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

5. 工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。

6. ワンデーレスポンスの取組について

- (1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
- (2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。
- (3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。
- (4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

9. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が2,500万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。

現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

10. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間)については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

11. 設計図書の優先順位

質疑回答書 特記仕様書 図面 内訳書 標準仕様書 公共規格及びこれに準ずる規格

12. 質疑及び軽微な変更

図面、内訳書等の内容に相違がある場合、明記のない場合、また疑問を生じた場合は、監督員と協議し、その指示による。現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更の場合は、請負金額の変更は行わない。

13. その他

- (1) 給排水、電気、その他の工事用設備、撤去の方法及び工事に必要な官公署等への諸届、諸手続きは請負者の責任において行うものとする。また、工事に先立ち、上下水道・電気等の埋設物調査を行ない、当施設や周辺環境に影響を及ぼさないように注意すること。
- (2) 工事に関する電気・水道料金の基本料金及び使用料金は、引渡しまで本工事に含むものとする。
- (3) 別途工事に対する調整について、本工事施工者は工事工程並びに納まりに関して、別途工事業者と密接に連絡し、調整を行うこと。
- (4) 着手前に施設運営に支障が無いよう、めぐみ保育園及びこども課と調整を行い仮設計画、工程表の調整を行うこと。
- (5) 本工事に必要な手続きや消防法などの関係法令の届出、申請に必要な書類は受注者が作成し、受注者自ら検査に立ち会い、契約期間内に手続きを完了すること。
また、別途発注の施工上密接に係る工事についての届出、申請及び検査に対して協力するものとし、工事全体の各種検査等が円滑に受検できるように努めること。
- (6) 可児市が発注する「可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(電気設備)」または「可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(機械設備)」、または、その両方の受注者と同一の業者が受注した場合、それぞれの合算額により共通仮設費、現場管理費、一般管理費等を積算する。
また、本工事と可児市が発注する「可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(電気設備)」、「可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(機械設備)」は近接施工であるため「可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(電気設備)」または「可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(機械設備)」、またはその両方の受注者と同一の業者が受注した場合は現場代理人、主任技術者の兼務を認める。ただし監理技術者の兼務は認めない。なお、受注により現場代理人が兼務となった他の工事の監督員に現場代理人兼務届を提出しなければならない。
- (7) 当該工事の「可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(建築工事)」を受注したものは、労働安全衛生法第30条第1項各号の事項に関する必要な措置(統括安全衛生管理業務)を講ずべきものとして、当該現場の統括的な安全衛生管理責任を担うために統括安全衛生責任者を選任すること。

その他図面特記仕様書による。

記号	工事名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(建築)						
A	建築工事		1	式			
	直接工事費 計		1	式			
	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1	式			
	純工事費 計						
	現場管理費		1	式			
	工事原価 計						
	一般管理費等負担額		1	式			
	工事価格 計						
	消費税相当額		1	式			
	総合計						

番号	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	建築工事						
-1	主体工事		1	式			
-2	渡り廊下工事		1	式			
-3	改修工事		1	式			
-4	外構工事		1	式			
-5	発生材処分		1	式			
-6	解体工事		1	式			
	.合 計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-1	主体工事						
1	直接仮設工事		1	式			
2	土工事		1	式			
3	地業工事		1	式			
4	コンクリート工事		1	式			
5	型枠工事		1	式			
6	鉄筋工事		1	式			
7	鉄骨工事		1	式			
8	防水工事		1	式			
9	石工事		1	式			
10	タイル工事		1	式			
11	木工事		1	式			
12	屋根工事		1	式			
13	金属工事		1	式			
14	左官工事		1	式			
15	木製建具工事		1	式			
16	金属製建具工事		1	式			
17	ガラス工事		1	式			
18	塗装・吹付工事		1	式			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	(園舎)						
	水盛やりかた		226.0	建m2			
	現寸型板		209.0	延m2			
	墨出し		209.0	延m2			
	外部足場(くさび緊結式)	手摺先行 建地巾900x1枚 H10.0m未満 階段、手摺共	321.0	架m2			
	災害防止	養生シート 防災1類	321.0	架m2			
	災害防止	安全手摺 くさび足場用	73.2	架m			
	内部足場	脚立足場 並列	209.0	床m2			
	鉄骨足場	吊棚足場	209.0	架m2			
	災害防止	水平養生	209.0	架m2			
	養生		209.0	延m2			
	整理清掃片付		209.0	延m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	土工事						
	(園舎)						
	根切り	根切GL=設計GL(一部+350) 壺堀・布掘 H=1.19m(1.54m)	228.0	m3			
	鋤取り	H=0.30m程度	18.2	m3			
	埋戻し	B種 根切良質土使用	134.0	m3			
	盛土	B種 根切良質土使用	6.5	m3			
	建設発生土処理費	構外搬出適切処理	106.0	m3			
	建設発生土運搬費	積込共	106.0	m3			
	床付け		104.0	m2			
	砕石地業	基礎下 t=50	3.2	m3			
	砕石地業	土間下t=50	10.1	m3			
	ポリエチレンフィルム敷き	屋内土間下 t=0.15	165.0	m2			
	土工重機運搬費		1.0	式			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	コンクリート工事						
	(園舎)						
	捨コンクリート	AE剤 Fc18N/mm2 スランプ'15	6.8	m3			
	基礎コンクリート	AE剤・AE減水剤 Fc24+3N/mm2 スランプ'18	63.9	m3			
	1階スラブコンクリート	AE剤・AE減水剤 Fc24+3N/mm2 スランプ'18	32.9	m3			
	地上躯体コンクリート	AE剤・AE減水剤 Fc24+3N/mm2 スランプ'18	7.5	m3			
	コンクリート打設手間	捨コン ポンプ打設	6.8	m3			
	コンクリート打設手間	基礎 ポンプ打設	63.9	m3			
	コンクリート打設手間	1階スラブ ポンプ打設	32.9	m3			
	コンクリート打設手間	1F腰壁 ポンプ打設	7.5	m3			
	コンクリートポンプ圧送	基礎 50~100m3/回以上	63.9	m3			
	コンクリートポンプ圧送基本料金	捨コン 30m3/回未満 圧送費6.8m3含む	1.0	回			
	コンクリートポンプ圧送基本料金	基礎 50~100m3/回以上 圧送費別途	1.0	回			
	コンクリートポンプ圧送基本料金	1階スラブ 30~50m3/回以上 圧送費32.9m3含む	1.0	回			
	コンクリートポンプ圧送基本料金	1F腰壁 30m3/回未満 圧送費7.5m3含む	1.0	回			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	型枠工事						
	(園舎)						
	普通型枠	基礎	301.0	m2			
	普通型枠	一般	75.6	m2			
	普通型枠	捨枠 H=90	97.2	m			
	化粧打放し型枠	A種 塗装品	26.6	m2			
	型枠運搬費		412.0	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	鉄筋工事						
	(園舎)						
	異形鉄筋	SD295A D10	5.70	t			
	異形鉄筋	SD295A D13	1.90	t			
	異形鉄筋	SD295A D16	0.40	t			
	異形鉄筋	SD345 D19	0.50	t			
	異形鉄筋	SD345 D22	4.10	t			
	スクラップ' 控除	スクラップ' 率70%	0.30	t			
	鉄筋加工組立	D13以下	7.30	t			
	鉄筋加工組立	D16以上	4.80	t			
	鉄筋運搬費	加工場 ~ 現場	12.10	t			
	ガス圧接	D19+D19(10箇所)	1.0	式			
	ガス圧接	D22+D22	143.0	か所			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7	鉄骨工事						
	(園舎)						
	鋼材(H鋼)	SS400 H-150x75x5x7	0.60	t			
	鋼材(H鋼)	SS400 H-150x150x7x10	0.20	t			
	鋼材(H鋼)	SS400 H-248x124x5x8	2.10	t			
	鋼材(H鋼)	SN400B H-250x125x6x9	0.46	t			
	鋼材(H鋼)	SN400B H-294x200x8x12	3.20	t			
	鋼材(H鋼)	SN400B H-300x150x6.5x9	1.20	t			
	鋼材(角形鋼管)	BCR295 -175x175x9	0.30	t			
	鋼材(角形鋼管)	BCR295 -200x200x12	2.70	t			
	鋼材(角形鋼管)	STKR400 -100x100x2.3	2.10	t			
	鋼材(角形鋼管)	STKR400 -100x100x4.5	0.50	t			
	鋼材(角形鋼管)	STKR400 -125x125x3.2	0.10	t			
	鋼材(角形鋼管)	STKR400 -60x60x3.2	0.03	t			
	鋼材(角形鋼管)	STKR400 -150x150x4.5	0.20	t			
	鋼材(軽量溝形鋼)	SSC400 C-100x50x20x2.3	4.70	t			
	鋼材(軽量溝形鋼)	SSC400 C-100x50x20x3.2	1.30	t			
	鋼材(鋼板)	SS400 PL- 4.5	1.20	t			
	鋼材(鋼板)	SS400 PL- 6	0.10	t			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	鋼材(鋼板)	SS400 PL - 9	0.30	t			
	鋼材(鋼板)	SS400 PL-12	0.03	t			
	鋼材(鋼板)	SS400 PL-22	0.01	t			
	鋼材(鋼板)	SN400B PL - 6	0.10	t			
	鋼材(鋼板)	SN400B PL - 9	0.50	t			
	鋼材(鋼板)	SN490C PL -16	0.10	t			
	スクラップ' 控除	スクラップ' 率70%	0.70	t			
	高力ボルト	S10T M16x35	112.0	本			
	高力ボルト	S10T M16x40	21.0	本			
	高力ボルト	S10T M16x50	83.0	本			
	高力ボルト	S10T M20x45	166.0	本			
	高力ボルト	S10T M20x50	50.0	本			
	高力ボルト	S10T M20x55	275.0	本			
	高力ボルト	S10T M20x60	300.0	本			
	中ボルト	強度区分4.6 DN締め M12x35	2,696.0	本			
	柱梁接合部材 NDコア(BL認定)	L=水上長 ND200-L430 斜め切断3/10	9.0	か所			
	耐震ブレース(JIS)	TB・羽子板・材工運搬共 水平 M16 L=2200	5.0	本			
	耐震ブレース(JIS)	TB・羽子板・材工運搬共 水平 M16 L=2300	5.0	本			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	耐震ブレース(JIS)	TB・羽子板・材工運搬共 水平 M16 L=2900	4.0	本			
	耐震ブレース(JIS)	TB・羽子板・材工運搬共 水平 M16 L=3000	8.0	本			
	耐震ブレース(JIS)	TB・羽子板・材工運搬共 水平 M16 L=3400	28.0	本			
	耐震ブレース(JIS)	TB・羽子板・材工運搬共 水平 M16 L=3500	2.0	本			
	耐震ブレース(JIS)	TB・羽子板・材工運搬共 水平 M16 L=3600	2.0	本			
	鉄骨工場加工組立費		12.30	t			
	軽量鉄骨加工取付		8.30	t			
	鉄骨建方費	機械損料共	20.60	t			
	高力ボルト締付費		20.60	t			
	鉄骨運搬費		20.60	t			
	工場溶接費	6ミリ換算値	542.0	m			
	現場溶接費	6ミリ換算値	4.0	m			
	溶接検査 超音波探傷試験	AOQL4.0% 第六水準 サンプル20/ロット220	20.0	か所			
	溶融亜鉛めっき	C2のみ 補修部常温亜鉛めっき含	0.30	t			
	錆止め塗装	JIS K5674(工場2回塗)	1,010.0	m2			
	柱脚ジャストベース	ボルト・PL等構成部材含・材工運搬費共 J200-12 グラウト材含む	9.0	か所			
	柱脚ジャストベース	ボルト・PL等構成部材含・材工運搬費共 J175-09 グラウト材含む	2.0	か所			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	アンカーボルト	間柱 ABR400 M16 L=500DN	2.0	本			
	アンカーボルト	土台胴縁 SS400 M12 L=100I形SN	63.0	本			
	アンカーボルト取付費	間柱 ABR400 M16 L=500DN	2.0	本			
	アンカーボルト取付費	土台胴縁 SS400 M12 L=100I形SN	63.0	本			
	柱底均しモルタル	A種(無収縮モルタル) C3 200x250x30	1.0	か所			
	胴縁土台部均しモルタル	S-6図 ハッチ部モルタルとする t30x100	48.6	m			
	仮締めボルト		1.0	式			
	社内検査費		1.0	式			
	書類作成費		1.0	式			
	小 計						
	改め計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
8	防水工事						
	(園舎 外部)						
	軒先取合 シーリング	木-内装材 変成シリコン系 10x10程度	84.5	m			
	(園舎 内部)						
	床 シーリング	石-内装材 ポリサルファイド系 10x10程度	3.0	m			
	(園舎 建具)						
	シーリング	建具廻り 変成シリコン系 15x10程度	96.9	m			
	シーリング	建具廻り 二重水切 変成シリコン系 15x10程度	10.2	m			
	小計						
	改め計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9	石工事						
	(園舎 内部)						
	幼児用トイレ 汚垂れ石	W600 TOTO AB45KA同等品	3.0	箇所			
	小計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	タイル工事						
	(園舎 外部)						
	犬走り床 磁器質ノンスリップタイル	垂付 無釉	3.6	m			
	ホーチ階段段鼻 磁器質ノンスリップタイル	垂付 無釉	34.8	m			
	手足洗い床 磁器質ノンスリップタイル	垂付 無釉	3.0	m			
	手洗い壁 モザイクタイル		2.3	m2			
	(園舎 内部)						
	床 磁器質タイル	100角 無釉	1.6	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	木工事						
	(園舎 外部)						
	造作材	桧上小節 板材	0.4	m3			
	大工手間	造作材 釘金物共	0.3	m3			
	以下 材工共						
	巾木	米松積層材 H100xD26	14.5	m			
	巾木	米松積層材 H100xD30	16.2	m			
	巾木	米松積層材 H100xD51	26.0	m			
	巾木	米松積層材 H100xD8	14.1	m			
	壁 壁見切	米松積層材 25x40	10.6	m			
	壁 縦見切枠	米松積層材 125x25	5.2	m			
	カーテンボックス	米松積層材 t25 W150xH130 L形	23.7	m			
	額縁	米松積層材 128x25	27.1	m			
	額縁	米松積層材 132x25	20.7	m			
	額縁	米松積層材 87x25	28.8	m			
	(園舎 建具)	材工共					
	WD-1枠 ランマ付引違戸+Fix窓	米松積層材 敷居共 2345 × 2575/1975 × 129程度	1.0	か所			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	WD-2枠 ラマ付引違戸	米松積層材 敷居共 3500 × 2575 / 1975 × 129程度	1.0	か所			
	WD-3枠 引違戸	米松積層材 敷居共 7100 × 2000 / 1400 × 125程度	1.0	か所			
	WD-4枠 片開き戸	米松積層材 敷居共 800 × 2000 × 129程度	1.0	か所			
	WD-5枠 2連引き戸	米松積層材 敷居共 1570 × 2000 × 129 程度 有効1020	1.0	か所			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	屋根工事						
	(園舎 外部)						
	屋根 カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺き	t0.5 嵌合式	296.0	m2			
	屋根 下地アスファルトルーフィング	940	296.0	m2			
	屋根 複合板	硬質木片セメントt18+フェノールフォームt25 母屋面	296.0	m2			
	屋根 棟包み	カラーガルバリウム鋼板t0.5 W120x2	12.0	m			
	屋根 水上水切(雨押え)	カラーガルバリウム鋼板t0.5 W230xH300	9.0	m			
	屋根 軒先水切	カラーガルバリウム鋼板t0.5 唐草共	33.0	m			
	屋根 けらば水切	カラーガルバリウム鋼板t0.5 唐草共	51.5	m			
	屋根 鼻隠しパネル	カラーガルバリウム鋼板(既製品) H300 下地材共	33.0	m			
	屋根 破風板パネル	カラーガルバリウム鋼板(既製品) H300 下地材共	51.5	m			
	屋根 軒樋	着色塩ビ製 鉄芯入り 既製品 前高130 支持金物共	33.0	m			
	屋根 自在ドレイン	既製品	5.0	か所			
	屋根 縦樋	着色塩ビ製 既製品 掴み金物共	20.0	m			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	金属工事						
	(園舎 外部)						
	根廻り 床下換気口	SUS製丸型防風板付へントキャップ 150 網付	7.0	か所			
	根廻り(濡れ縁下) 床下換気口	SUS製丸型へントキャップ 150 網付	4.0	か所			
	ホーチ 排水溝蓋	SUSグレーチングW150 枠共 細目滑り止め模様付 隙間6mm	2.0	m			
	ホーチ ステンレス手摺	SUS304 HL L=4800+540 L形 H=700 一部階段収め 手摺38 x2 支柱32 x2@1200内外 横棧20 x2 2段	1.0	か所			
	足洗い SUS手摺	32 ブラケット共 L=2000	1.0	か所			
	手足洗い SUS手洗い	W1800xH150xD400 SUSDt1.0 #400ハフ仕上 排水トラップ*1	1.0	か所			
	軒天 軽鉄天井下地	H 1.0 W25 @300 直張り	31.8	m2			
	軒天 軽鉄天井下地	母屋直付程度 W25 @300 直張り	60.1	m2			
	(園舎 内部)						
	間仕切壁 軽鉄間仕切	W65 @450 捨張り	128.0	m2			
	ライニング壁 軽鉄間仕切	W65 @450 捨張り	3.1	m2			
	柱型 軽鉄間仕切	W65 @450 捨張り	4.6	m2			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	間仕切壁 軽鉄間仕切開口補強	W65 片開き程度	10.0	m			
	間仕切壁 軽鉄間仕切開口補強	W65 両開き程度	64.2	m			
	壁 軽鉄Mハ'-下地	W25 @450 捨張り 鉄骨面	81.4	m ²			
	床(保育士) 鋼製床下地	三洋工業・スリーエー・ス601同等品	180.0	m ²			
	床(濡れ縁) 鋼製床下地	三洋工業・サニーデッキNSW同等品 人工木材(28×160)共	18.2	m ²			
	上記幕板1段	同上人工木材30×145	10.4	m			
	天井 軽鉄天井下地	H 1.5 W19 @360 捨張り	14.1	m ²			
	天井 軽鉄天井下地	振れ止共 1.5<H 2.5 W19 @300 直張り3x3	17.7	m ²			
	天井 軽鉄天井下地	振れ止共 1.5<H 2.5 W19 @360 捨張り	35.4	m ²			
	天井 軽鉄天井下地	振れ止共 H>2.5 W19 @300 直張り3x3	3.3	m ²			
	天井 軽鉄天井下地	振れ止共 H>2.5 W19 @360 捨張り	107.0	m ²			
	下がり天井 軽鉄天井下地	W19 @300 H400 直張り	5.9	m			
	カーテンボックス金物	FB加工 W150xH130 L形 @900程度	26.0	か所			
	カーテンレール(W)	直付	23.7	m			
	玄関 ステンレス床見切	t2.0 W40	2.7	m			
	保育室手洗い ステンレス床見切	t2.0 W40	3.1	m			
	ミーティング室 床下点検口	SUS製 600角	1.0	か所			
	幼児用トイレ ライニング天板	SUS1.2HL W150xD25	2.6	m			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	キーボックス	30本用	1.0	か所			
	(園舎 建具)						
	ステンレス床見切	SUS304 W40xt2.0	2.8	m			
	木製建具レール	SUS製V型レール 1本数量	38.1	m			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
14	左官工事						
	(園舎 外部)						
	ポーチ床 モルタル金こて	t30 目地切	29.2	m2			
	犬走り床 モルタル金こて	t30 目地切	2.9	m2			
	ポーチ階段 モルタル金こて	t30	11.6	m2			
	ポーチ床見付 モルタル金こて	t30 RC面	3.0	m2			
	手足洗い床 モルタル金こて	t30 塗床下	4.1	m2			
	手足洗い床立上り モルタル金こて	t30 塗床下	0.6	m2			
	ポーチ排水溝 モルタル金こて	t30 W100xH100	2.0	m			
	手洗い壁 タイル下モルタル塗		2.3	m2			
	手洗い壁 モルタル金こて	t30 RC面	4.2	m2			
	手洗い壁 モルタルコーナー加算	R50	11.8	m			
	根廻り 打放し面補修	A種 撥水材下	26.6	m2			
	(園舎 内部)						
	床 コンクリート金こて	木床下	180.0	m2			
	床 タイル下モルタル塗		1.6	m2			
	金物廻り 充填モルタル	(内部用)	2.7	m			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(園舎 建具) 建具周囲 充填モルタル	防水剤入(外部用)	14.2	m			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
15	木製建具工事						
	(園舎 建具)						
	WD-1	2345 × 2575 / 1975 × 40	1.0	か所			
	WD-2	3500 × 2575 / 1975 × 40	1.0	か所			
	WD-3	7100 × 2000 / 1400 × 40	1.0	か所			
	WD-4	800 × 2000 × 40	1.0	か所			
	WD-5	木製カリ付 1570 × 2000 × 40 有効1020	3.0	か所			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
16	金属製建具工事						
A	アルミ製建具		1.0	式			
B	トイレブース		1.0	式			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	アルミ製建具						
	(園舎 建具)						
	AD-1	RC枠(外付)アルミ外額縁 1000 × 2950 × 70	1.0	か所			
	AW-1	RC枠(外付)アルミ外額縁 SUS網戸 3600 × 2700 × 70	2.0	か所			
	AW-2a	RC枠(外付)アルミ外額縁 SUS網戸 1550 × 2000 × 70	1.0	か所			
	AW-2b	RC枠(外付)アルミ外額縁 SUS網戸 1450 × 2000 × 70	1.0	か所			
	AW-3	鉄骨半外付 SUS網戸 1600 × 1200 × 70	5.0	か所			
	AW-4	鉄骨半外付 SUS網戸 1600 × 1000 × 70	2.0	か所			
	AW-5	鉄骨半外付 SUS網戸 1450 × 900 × 70	2.0	か所			
	小 計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	トイレブース						
	(園舎 建具)						
	TB-1	扉W600x1枚 1450 × D900 × 1800 × 40	1.0	か所			
	小 計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
17	ガラス工事						
	(園舎 建具)						
	強化ガラス(透明)	t4 2.00㎡/枚以下	21.4	m2			
	強化ガラス(透明)	t5 2.00㎡/枚以下	48.2	m2			
	強化ガラス(型板)	t4 2.00㎡/枚以下	2.2	m2			
	型板ガラス	t4 2.18㎡/枚以下	0.4	m2			
	飛散防止フィルム		25.4	m2			
	ガラス廻りシ-リング	シリコン系 5x5程度 片面数量(金建用)	209.0	m			
	ガラス廻りシ-リング	シリコン系 5x5程度 片面数量(木建用)	116.0	m			
	ガラスクリ-ニング	新設ガラス面 片面数量	72.2	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
18	塗装・吹付工事						
	(園舎 外部)						
	根廻り 撥水材塗	打放し面 素地調整共	26.6	m2			
	外壁 2-ASE塗(アクリルシリコン樹脂エナメル)	サイディング面 素地共	198.0	m2			
	2-ASE塗(アクリルシリコン樹脂エナメル)	鉄骨(メッキ)面 素地共(錆止め別途)	2.9	m2			
	軒天 EP塗	ケイカル板面 素地共	91.9	m2			
	テラス床 木材保護塗料塗	フローリング面 素地共	18.2	m2			
	テラス床 木材保護塗料塗	木面 素地共	3.0	m2			
	木材保護塗料塗	木面 細巾 素地共	84.5	m			
	防腐剤塗	木面	10.4	m2			
	(園舎 内部)						
	床 UC塗(1-トシ)	フローリング面 素地共	150.0	m2			
	床 ワックス掛	2回塗ビニル系床材面	19.7	m2			
	壁 EP塗	ボード面 素地共	113.0	m2			
	下がり天井 EP塗	ボード面 素地共	2.4	m2			
	壁 OSCL塗	合板面 素地共	85.4	m2			
	OSCL塗	木面 素地共	8.5	m2			
	OSCL塗	木面 細巾 素地共	163.0	m			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	防腐剤塗	木面	129.0	m2			
	(園舎 建具)						
	OSCL塗	木建(枠)面 素地共	12.6	m2			
	OSCL塗	木建面 素地共	36.8	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
19	内外装工事						
	(園舎 外部)						
	外壁 サイディング	t16 無塗装品 横張フラットタイプ 通気工法金具止め	194.0	m2			
	外壁 サイディング出隅	t16 無塗装品 横張フラットタイプ 通気工法金具止め	25.4	m			
	外壁 通気土台水切	塗装高耐食ガルバリウムメッキ鋼板 防鼠材付 既製品	47.7	m			
	外壁 通気土台水切コーナー(出隅)	塗装高耐食ガルバリウムメッキ鋼板 防鼠材付 既製品	6.0	か所			
	外壁 通気土台水切コーナー(入隅)	塗装高耐食ガルバリウムメッキ鋼板 防鼠材付 既製品	2.0	か所			
	外壁 壁通気見切	塗装高耐食ガルバリウムメッキ鋼板 既製品	75.0	m			
	外壁 壁通気見切コーナー(出隅)	塗装高耐食ガルバリウムメッキ鋼板 既製品	6.0	か所			
	外壁 壁通気見切コーナー(入隅)	塗装高耐食ガルバリウムメッキ鋼板 既製品	2.0	か所			
	軒天 下がり壁通気水切	塗装高耐食ガルバリウムメッキ鋼板 既製品	21.1	m			
	軒天 下がり壁通気水切コーナー(出隅)	塗装高耐食ガルバリウムメッキ鋼板 既製品	2.0	か所			
	外壁 防湿防水シート		198.0	m2			
	軒天 ケイ酸カルシウム板	t6.0 V突付目地 軽鉄面	43.9	m2			
	軒天 ケイ酸カルシウム板(有孔板)	t6.0 V突付目地 軽鉄面	48.0	m2			
	廻縁 廻り縁	塩ビ製 突付	205.0	m			
	テラス床 桧フローリング	t15 木下地面	18.2	m2			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	壁 耐水石膏ボード	張物下 t12.5 戸袋面	1.1	m2			
	壁(天井裏等) 石膏ボード	突付 t12.5 捨張PBt9.5共 軽鉄面	70.8	m2			
	壁(鏡下地) 耐水合板	t12 1類 軽鉄面	2.3	m2			
	壁 シタ合板	目透し t5.5 2類 軽鉄面	85.6	m2			
	壁 化粧珪酸カルシウム板	t6.0 ボード面	25.7	m2			
	外壁 グラスウール充填	t100 24kg/m3	86.3	m2			
	壁出隅 ボードコーナー処理		16.1	m			
	壁出隅 化粧珪酸カルシウム板出隅	アルミ製	1.2	m			
	天井 化粧石膏ボード	t9.5 910x910 軽鉄面	20.9	m2			
	天井 岩綿吸音板	t9.0 捨張PBt9.5共 軽鉄面	157.0	m2			
	天井 グラスウール敷込	t100 24kg/m3	178.0	m2			
	下がり天井 石膏ボード	継目処理 t12.5 軽鉄面	2.4	m2			
	下がり天井 グラスウール敷込	t100 24kg/m3	2.4	m2			
	下がり天井 出隅縁	塩ビ製	5.9	m			
	廻縁 廻り縁	塩ビ製 突付	162.0	m			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
20	雑ユニット工事						
A	造作家具(木製)		1.0	式			
B	造作家具(手洗い)		1.0	式			
C	化粧鏡		1.0	式			
D	ミニキッチン		1.0	式			
E	その他		1.0	式			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	造作家具(木製)						
	(園舎 外部)						
	濡れ縁 02:シューズ収納(幼児用)	W1350xH1000xD260 24人用 シタ合板フラッシュ 塗装SOP 8.9m2共	2.0	か所			
	(園舎 内部)						
	保育室5.6 01:絵画入、収納棚、掃除具入	W3560xH2600xD680 メラミン化粧フラッシュ 床下点検口	2.0	か所			
	職員室 03:収納棚	W2700xH960xD450 メラミン化粧フラッシュ	1.0	か所			
	保育室 04:タオル掛	米松積層材t20 L1380xH60 SOP塗 SUSフック*22 LAMP/TK30F同等	2.0	か所			
	幼児用トイレ 05:SK内モップ掛	米松積層材t20 L500xH40 SOP塗 SUSフック*2 LAMP/UC-055同等	1.0	か所			
	各室 06:室名札	木製 Stブラケット共 既設に習う 塗装含む	3.0	か所			
	小 計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	造作家具(手洗い)						
	(園舎 内部)						
	保育室5.6	W1200xH450xD500					
	08:手洗い	SUS304t1.0 #400ﾊﾞｯｼﾞ仕上	2.0	か所			
	幼児用ﾄｲﾚ	W1200xH450xD500					
	08:手洗い	SUS304t1.0 #400ﾊﾞｯｼﾞ仕上	1.0	か所			
	小 計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
D	ミニキッチン						
	(園舎 内部)						
	給湯コーナー 07:ミニキッチン	W900xH1900xD500 幕板H140共 メラミ化粧フラッシュ S水栓 電気温水器	1.0	か所			
	小計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	その他						
	(園舎 外部)						
	ポスト	W450xH450 上入前出し 壁付 防滴タイプ NASTA/KS-MAB1同等	1.0	か所			
	(園舎 内部)						
	幼児用トイレ 大便器用手摺	既製品 TOTO YYB10P2R同等	3.0	か所			
	職員用トイレ 耐蝕鏡	既製品 TOTO YM3560F同等	1.0	か所			
	職員用トイレ 洗面カウンター	既製品 L=1000 TOTO MH45PA11同等品	1.0	か所			
	小 計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-2	渡り廊下工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	土工事		1.0	式			
3	地業工事		1.0	式			
4	コンクリート工事		1.0	式			
5	型枠工事		1.0	式			
6	鉄筋工事		1.0	式			
7	鉄骨工事		1.0	式			
8	防水工事		1.0	式			
9	屋根工事		1.0	式			
10	左官工事		1.0	式			
11	塗装・吹付工事		1.0	式			
	-2. 合 計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	(渡り廊下)						
	水盛やりかた		4.8	建m2			
	現寸型板		4.1	延m2			
	墨出し		4.1	延m2			
	外部足場	脚立足場 並列	4.8	m2			
	養生		4.8	m2			
	整理清掃片付		4.8	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	土工事						
	(渡り廊下)						
	根切り	根切GL=設計GL+350 壺堀・布掘 H=0.60m	6.5	m3			
	鋤取り	H=0.30m程度	0.2	m3			
	埋戻し	土量を検討し変更可能性あり B種 根切良質土使用	3.5	m3			
	建設発生土処理費	構外搬出適切処理	3.2	m3			
	建設発生土運搬費	積込共	3.2	m3			
	床付け		5.3	m2			
	砕石地業	基礎下 t=50	0.1	m3			
	砕石地業	土間下t=50	0.4	m3			
	小計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	地業工事						
	(渡り廊下)						
	柱状コア地盤改良	600 改良コア長3800 *4本 材工共	1.0	式			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	コンクリート工事						
	(渡り廊下)						
	捨コンクリート	AE剤 Fc18N/mm2 スランブ'15	0.3	m3			
	基礎コンクリート	AE剤・AE減水剤 Fc21+3N/mm2 スランブ'18	1.0	m3			
	1階スラブコンクリート	AE剤・AE減水剤 Fc21+3N/mm2 スランブ'18	1.5	m3			
	コンクリート打設手間	捨コン ポンプ打設	0.3	m3			
	コンクリート打設手間	基礎 ポンプ打設	1.0	m3			
	コンクリート打設手間	1階スラブ ポンプ打設	1.5	m3			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	型枠工事						
	(渡り廊下)						
	普通型枠	基礎	8.8	m2			
	型枠運搬費		8.8	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	鉄筋工事						
	(渡り廊下)						
	異形鉄筋	SD295A D10	0.20	t			
	異形鉄筋	SD295A D13	0.05	t			
	異形鉄筋	SD295A D16	0.10	t			
	スクラップ'控除	スクラップ'率70%	0.01	t			
	鉄筋加工組立	D13以下	0.20	t			
	鉄筋加工組立	D16以上	0.10	t			
	鉄筋運搬費	加工場～現場	0.40	t			
	接着系あと施工アンカー	埋込長さ60 定着長さ400 既設部 D10用	13.0	本			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	鉄骨工事						
	(渡り廊下)						
	鋼材(H鋼)	SS400 H-125x125x6.5x9	0.30	t			
	鋼材(角形鋼管)	STKR400 -150x150x6	0.40	t			
	鋼材(軽量溝形鋼)	SSC400 C-100x50x20x2.3	0.20	t			
	鋼材(鋼板)	SS400 PL- 4.5	0.04	t			
	鋼材(鋼板)	SS400 PL- 6	0.02	t			
	鋼材(鋼板)	SS400 PL-16	0.10	t			
	鋼材(鋼板)	SS400 PL-22	0.10	t			
	鋼材(鋼板)	SN490C PL-16	0.04	t			
	スクラップ控除	スクラップ率70%	0.04	t			
	高力ボルト	S10T M16x35	4.0	本			
	高力ボルト	F8T M16x45	8.0	本			
	高力ボルト	F8T M16x50	21.0	本			
	高力ボルト	F8T M16x55	125.0	本			
	中ボルト	強度区分4.6 DN締め M12x35	102.0	本			

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	耐震ブレース(JIS)	TB・羽子板・材工運搬共 水平 M14 L=2700	2.0	本			
	鉄骨工場加工組立費		0.90	t			
	軽量鉄骨加工取付		0.20	t			
	鉄骨建方費	機械損料共	1.20	t			
	高力ボルト締付費		0.90	t			
	鉄骨運搬費		1.20	t			
	工場溶接費	6割換算値	45.5	m			
	溶接検査 超音波探傷試験	AOQL4.0% 第六水準 サンプル20/ロット220	20.0	か所			
	溶融亜鉛めっき	柱・梁 補修部常温亜鉛めっき含 ロ-ハ'-3回塗指示(S-9図)	0.90	t			
	錆止め塗装	JIS K5674(工場2回塗)	22.7	m2			
	アンカーボルト	間柱 ABR400 M16 L=500 L形DN	16.0	本			
	アンカーボルト取付費	間柱 ABR400 M16 L=500 L形DN	16.0	本			
	柱底均しモルタル	A種(無収縮モルタル) C11 350x350x30	4.0	か所			
	仮締めボルト		1.0	式			
	社内検査	本体に含む					

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	書類作成	本体に含む					
	小 計						
	改め計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9	屋根工事						
	(渡り廊下)						
	屋根 カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺き	t0.5 嵌合式	15.2	m2			
	屋根 下地アスファルトルーフィング	940	15.2	m2			
	屋根 硬質木片セメント板	t18 母屋面	15.2	m2			
	屋根 水上水切	カラーガルバリウム鋼板t0.5 唐草共	5.7	m			
	屋根 軒先水切	カラーガルバリウム鋼板t0.5 唐草共	4.5	m			
	屋根 けらば水切	カラーガルバリウム鋼板t0.5 唐草共	3.0	m			
	屋根(傾斜収め) けらば水切	カラーガルバリウム鋼板t0.5 唐草共	3.3	m			
	屋根 軒樋	着色塩ビ製 鉄芯入り 既製品 前高130 支持金物共	4.5	m			
	屋根 自在ドレイン	既製品	2.0	か所			
	屋根 豎樋	着色塩ビ製 既製品 掴み金物共	7.2	m			
	小計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内外装工事						
	(園舎 内部)						
	壁 石膏板	継目処理 t12.5 捨張PBt9.5共 軽鉄面	7.2	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	撤去工事						
	(既設園舎改修)						
	壁石膏ボード撤去	二重張り	7.2	m ²			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
-4	外構工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	土工事		1.0	式			
3	コンクリート工事		1.0	式			
4	型枠工事		1.0	式			
5	鉄筋工事		1.0	式			
6	左官工事		1.0	式			
7	塗装・吹付工事		1.0	式			
8	その他		1.0	式			
9	撤去工事		1.0	式			
	-5. 合 計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	(外構工事)						
	水盛遣方		141.0	m2			
	原寸型枠		141.0	m2			
	墨だし		141.0	m2			
	整理清掃片付け	外壁改修	141.0	m2			
	養生	外壁改修	141.0	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	土工事						
	(外構)						
	根切り	根切GL=設計GL(一部+350) 壺堀・布掘 H=1.19m(1.54m)	20.5	m3			
	鋤取り	H=0.30m程度	29.5	m3			
	埋戻し	B種 根切良質土使用	13.2	m3			
	建設発生土処理費	構外搬出適切処理	36.8	m3			
	建設発生土運搬費	積込共	36.8	m3			
	碎石地業	基礎下 t=50	1.9	m3			
	碎石地業	土間下t=50	14.3	m3			
	土工重機運搬費		1.0	式			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	コンクリート工事						
	(外構)						
	捨コンクリート	AE剤 Fc18N/mm2 スランプ'15	0.9	m3			
	基礎コンクリート	AE剤・AE減水剤 Fc21+3N/mm2 スランプ'18	18.5	m3			
	コンクリート打設手間	捨コン カート打設	0.9	m3			
	コンクリート打設手間	基礎 カート打設	18.5	m3			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	型枠工事						
	(外構)						
	普通型枠	基礎	6.5	m ²			
	打放し型枠	B種	8.6	m ²			
	型枠運搬費		15.1	m ²			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	鉄筋工事						
	(外構)						
	異形鉄筋	SD295A D10	1.04	t			
	異形鉄筋	SD295A D13	0.12	t			
	スクラップ	スクラップ率70%	0.06	t			
	鉄筋加工組立	D13以下	1.11	t			
	鉄筋運搬費	加工場から現場	1.11	t			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	左官工事						
	(外構)						
	階段モルタル モルタル金こて	t30 目地切	2.5	m2			
	打ち放し面補修		8.6	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	塗装・吹付工事						
	(外構)						
	複層塗材E	コンクリート面	2.9	m2			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	その他						
	(外構)						
	伸縮門扉	H1200 LIXILグランシャインAタイプ 同等	1.0	か所			
	アルミ製門扉	H1200 LIXIL アルミ引き戸用Bタイプ 同等	1.0	か所			
	フェンス	LIXIL/HGNAフェンス H1.2	29.5	m			
	フェンス	LIXIL/HGNAフェンス H1.5	6.0	m			
	フェンス門扉	LIXIL/HGNAフェンス H1.2	1.0	箇所			
	フェンス門扉	LIXIL/HGNAフェンス H1.5	1.0	箇所			
	側溝	道路用鉄筋コンクリート側溝	15.3	m			
	グレーチング	側溝 250 T-14	2.0	箇所			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	撤去工事						
	(外構工事)						
	コンクリート土間撤去	t150程度	102.3	m ²			
	コンクリート壁撤去	t150程度	0.4	m ²			
	アスファルト舗装撤去	t50程度	142.0	m ²			
	アルミ伸縮門扉撤去	w4,600 h1,200	1.0	箇所			
	アルミ片開き門扉撤去	w 800 h 1,500	1.0	箇所			
	アルミ展示ケース撤去	w1800 H2,000 (ケースh900)	1.0	箇所			
	U字側溝撤去	W150	28.9	m			
	小 計						
	改め計						

番号	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
-5	発生材処分						
1	(既設園舎改修)		1.0	式			
2	(外構)		1.0	式			
	-5. 合計						

番号	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
1	発生材処分						
	(既設園舎改修)						
	発生材処分	石膏ボード	0.1	t			
	小 計						
	改め計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	発生剤処分						
	(外構)						
	ガラ積込		20.5	m3			
	ガラ運搬		20.5	m3			
	ガラ処分		20.5	m3			
	アスファルト積込		7.1	m3			
	アスファルト運搬		7.1	m3			
	アスファルト処分		7.1	m3			
	小計						
	改め計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
-6	解体工事						
	(既設職員棟及び渡り廊下撤去)						
	建屋及び基礎撤去	鉄骨造平屋建:5,400×7,200×3,600 屋根:亜鉛メッキ鋼板 折板葺 外壁:断熱材充填亜鉛メッキ鋼板パネル 基礎:布基礎	38.9	㎡			
	電気引き込み撤去		1.0	式			
	空調機撤去	発生材及びフロンガス処分費含む	1.0	台			
	-5. 合計						
	改め計						

番号	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	積上げ共通仮設費						
	仮囲い	成形鋼板H2.0 6か月	94.3	m			
	シートゲート	H4.5 W6.0 6か月	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

総則		章	項目	特記事項	章	項目	特記事項														
1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて別記の標準仕様書による。 2. 項目は、番号に 印のついたものを適用する。 3. 特記事項は、 印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は、 印のついたものを適用する。 ○印と ○印のついた場合は、共に適用する。			⑤ 設計変更における 工事費の算定 ⑥ 施工図	設計変更における工事費は、当該変更対象の市の直接工事費を積算し、これに当該変更に係わる共通費を加えて得た額に、「当初請負代額から消費税相当額を減じた額/当初設計金額の工事価格」の比率を乗じさらに消費税相当額を加えて得た額を原則とする。 下記の項目については施工図を提出し承諾を受ける。 ・ 杭伏図 ○ 仮設計画図 ○ 建築、電気、機械総合プロット図 ○ 各躯体図 ○ 平面詳細図、展開図 ○ 立面図・断面詳細図 ○ 屋根工事 ○ 外壁工事 ○ 建具工事 ○ 木工事 ○ 家具工事 ○ 金属工事 ○ 監督職員が指示するもの		⑮ 損害保険 第 2 章 1 監督職員事務所 ⑳ 工事用水 ㉑ 工事用電力 ㉒ 工事用看板 ㉓ 仮囲い	工事施工中は施工業者の負担により火災保険、建設工事保険契約を締結し、証書の写しを監督職員に提示する。 設ける（規模 2号程度 ） ○ 設けない ・ 構内既存の施設を利用する。（・有償 ・無償） ○ 施工業者の負担により構外より引込む。（既存設備を利用する場合はメーカー設置し使用料を支払う） ・ 構内既存の施設を利用する。（・有償 ・無償） ○ 施工業者の負担により構外より引込む。 右図の程度の看板を取付る。 （600×900程度） ○ 施工業者の責任に於いて計画する。														
工事概要																					
1. 工事名称	可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(建築)																				
2. 敷地概要	工事場所 可児市下恵土字清水28番1の一部、中恵土字助太郎2359番322、2359番604 敷地面積 3,238.96㎡ 都市計画区域 区域区分非設定都市計画区域 用途地域 第1種住居地域 防火指定 防火指定なし その他の指定 _____ 法定建ぺい率 60 % 法定容積率 200 %		⑦ 建築材料等 ⑧ 発生材の処理 ⑨ 養生その他	建築材料の製造所・製品及び施工業者等は、特記されたもの又はこれらと同等以上とする。但し、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 構外に搬出し適切に処理する。 ・引渡しを要するもの。()																	
3. 建物概要	主要用途 保育所 工事種別 増築 構造 鉄骨造 階数 平屋建 面積表 別図による		⑩ 電気保安技術者	工事により発生する騒音・振動等の影響を極力防止するように努めるとともに、現場内、及び隣接道路の整理清掃に努め、近隣住民に対し配慮を行う。 工事完了後は後片付け、清掃等を行い、本工事施工面以外については原則として現況復旧とする。又建設副産物適正処理推進要綱、及び建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編を遵守するものとする。 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合は又は損傷した場合は、構造・仕上げ共に在来にならぬ補修する。																	
4. 発注方式	・ 建築工事設備工事一括発注 ○ 分離発注 (建築・電気設備・機械設備・)		⑪ 製本	要 着工に先立ち下記に示す工事用設計図製本を作成し監督職員に提出する。 ○ 設計図製本 (A3二つ折り 3部)	第 3 章 ① 埋戻し・盛土 ② 残土処分 ③ 山留め	根切り土の中の良質土を利用する。 ・ 構外の良質土（山砂の類）を使用する。 ○ 構外に搬出し適切に処理する。 ・ 構内の指定場所に敷きならす。 必要に応じて、施工業者の責任に於いて計画する。															
5. 別途工事	○ 無 ・有 ()		⑫ 写真	工事写真：デジタル写真で撮影する場合は、200万画素以上、300dpi以上で3年は劣化しない品質とする。なお、補助対象工事については、完成時に、銀塩カメラ撮影はネガ及びネガペタを、デジタルカメラの場合は画像データを提出する。 完成写真：カラー、キャビネ判、ペタ焼（外部各1面以上、内部各部屋1面以上、1部）、電子データ（200万画素以上、300dpi以上）。写真はアルバムに整理すること。																	
6. 支給品	○ 無 ・有 ()		⑬ 提出書類等	○ 完成図（設計図一式、変更箇所全て修正のうえ、図面右下に「完成図」と表記する。） ○ 保全に関する資料等一式 ○ その他監督職員が指示するもの	第 4 章 ① 杭地業 ② 床下防湿・断熱 ③ 砕石地業	・ 材料 ・ 工法 ○ ポリエチレンフィルムα0.15数込 再生クラッシュラン ・ 切込砕石															
章	項目	特記事項																			
第 1 章	① 標準仕様書	○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（最新版） ○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（最新版）		⑭ 化学物質の濃度測定	第 5 章 ① 鉄筋の材質 ② 材料試験 ③ 鉄筋の継手 ④ ガス圧接完了後の検査	SD295A 規格品 (D10～D16) SD345 規格品 (D19以上) ・ 溶接金網 鉄筋は規格証明書を提出して試験は行わない 重ね継手 (D10～D16) ガス圧接 (D19以上) 超音波探傷試験による検査															
一般	② 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 最新版） ○ 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ○ 可児市建設工事共通仕様書（可児市HPにて閲覧可）																			
共通	③ 優先順位	設計図書の優先順位は下記の通りとする。 1. 現場説明書、質疑応答書 2. 特記仕様書 3. 設計図面 4. 標準仕様書																			
事項	④ 書類の書式等	本工事の施工に関して提出する書類は、「可児市建設工事における取り扱い書類等一覧表」により、定めがない場合は監督職員の指示による。 なお、監督職員からの訂正の指示があった場合は、異議なく訂正し、速やかに提出する。																			
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>測定基準（下記の数値を超えない）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m³(0.08ppm)</td> </tr> <tr> <td>トルエン</td> <td>260 μg/m³(0.07ppm)</td> </tr> <tr> <td>キシレン</td> <td>870 μg/m³(0.20ppm)</td> </tr> <tr> <td>パラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m³(0.04ppm)</td> </tr> <tr> <td>エチルベンゼン</td> <td>3800 μg/m³(0.88ppm)</td> </tr> <tr> <td>スチレン</td> <td>220 μg/m³(0.05ppm)</td> </tr> </tbody> </table>	検査項目	測定基準（下記の数値を超えない）	ホルムアルデヒド	100 μg/m ³ (0.08ppm)	トルエン	260 μg/m ³ (0.07ppm)	キシレン	870 μg/m ³ (0.20ppm)	パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³ (0.04ppm)	エチルベンゼン	3800 μg/m ³ (0.88ppm)	スチレン	220 μg/m ³ (0.05ppm)			
検査項目	測定基準（下記の数値を超えない）																				
ホルムアルデヒド	100 μg/m ³ (0.08ppm)																				
トルエン	260 μg/m ³ (0.07ppm)																				
キシレン	870 μg/m ³ (0.20ppm)																				
パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³ (0.04ppm)																				
エチルベンゼン	3800 μg/m ³ (0.88ppm)																				
スチレン	220 μg/m ³ (0.05ppm)																				
				○ 行う ・ 行わない 工事完成時に「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」の測定を行い、報告書を監督職員に提出する。 測定はパッシブ型採取機器により実施する。 測定対象室及びヶ所数は、職員室棟（職員室、保育室）：2ヶ所 なお、測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、原因の究明・適正な改善方法の報告及び改善のうえ、再測定を行う。																	
				一級建築士 175279 号 岩 瀬 直 人	平成 30 年 06 月 日 承認	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事 図面 特記仕様書 - 1 縮尺 A2:1/1 A3:1/1.5 A-01															

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																								
第6章 コンクリート工事	① コンクリートの種類	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>設計基準強度/m²</th> <th>スランヂ</th> <th>混和剤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○普通コンクリート</td> <td>躯体(圍舎)</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>A・B</td> </tr> <tr> <td>○普通コンクリート</td> <td>躯体(渡り廊下)</td> <td>21</td> <td>18</td> <td>A・B</td> </tr> <tr> <td>○普通コンクリート</td> <td>外構</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>A・B</td> </tr> <tr> <td>○無筋コンクリート</td> <td>捨コン</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>A</td> </tr> </tbody> </table> <p>注)混和剤の記号は下記とする。 A: A E 剤 B: A E 減水剤 C: 高性能 A E 減水剤 D: 流動化剤(工場添加型) E: 流動化剤(現場添加型)</p>	種類	施工箇所	設計基準強度/m ²	スランヂ	混和剤	○普通コンクリート	躯体(圍舎)	24	18	A・B	○普通コンクリート	躯体(渡り廊下)	21	18	A・B	○普通コンクリート	外構	18	18	A・B	○無筋コンクリート	捨コン	18	15	A	⑥ 丸鋼プレス 7 スタッ ⑧ 材料試験 ⑨ 摩擦面などの処理 ⑩ 高力ボルトの締め付け ⑪ 締め付け検査 ⑫ 溶接完了後の検査 ⑬ 錆止め塗装	<p>ロッド・ターンバックル胴・羽子板プレート全て J I S プレス (J I S A 5 5 4 0 規格品) とする。</p> <p>・ ターンバックル胴はパイプ式とする。</p> <p>J I S B 1 1 9 8 (頭付スタッ) 規格品とする。</p> <p>鋼材・丸鋼プレス・ボルト類・頭付スタッは、規格証明書を提出し試験は行わない。</p> <p>・ 高力ボルトは、荷受け時に軸力確認試験を行う。</p> <p>摩擦面は、全面プラスト又は全面平グラインダー掛けとし、円形に平グラインダー掛けは不可とする。</p> <p>平グラインダー掛け面は、一様に錆を発生させたものとする。</p> <p>プラスト面は、錆発生不要とするが、プラスト処理後にまくれ処理等でグラインダー掛けした部分は、錆発生必要とする。</p> <p>高力ボルトの仮ボルト兼用は不可とする。</p> <p>1次締め(予備締め)後に、ボルト・ナット・座金・母材にかけてマ・キング(全数)を行う。</p> <p>全数ピンテールの破断及びマーキングにより、とも回りの無いことを確認する。</p> <p>完全溶け込み溶接部の第3者による超音波探傷試験を行う。</p> <p>鉄面は、下記 印部分以外は、全面錆止め塗装を行う。</p> <p>○ 高力ボルト摩擦接合部の摩擦面</p> <p>○ コンクリートに接触及び埋め込まれる部分 但し、デッキプレート(型枠用デッキプレートも含む)のかかる梁天端は除く。</p> <p>・ 耐火被覆材の接着する面</p> <p>錆止め塗料は下記とする。但し、1・2種の別があるものは、1回目は1種 2回目は2種を使用のこと。又、1回目と2回目は色替えをする。</p> <p>○屋内 J I S K 5 6 2 1 1種 規格品 ・ J I S K 5 6 2 2 1・2種 規格品 ○ J I S K 5 6 7 4 1種 規格品</p> <p>・屋外 J I S K 5 6 2 5 1・2種 規格品 ・ J I S K 5 6 5 1 A種 及び K 5 6 5 2 2種 規格品</p> <p>塗装回数及び塗装施工時期は下記とする。 工場2回塗、現場本締後タッチアップ2回 ・工場1回塗、現場本締後タッチアップ1回 ・工場1回塗、現場本締後タッチアップ1回完了後全面1回</p> <p>下記部分は溶融亜鉛メッキを施す。 ○外部の鉄骨(見えがかり) 尚、亜鉛メッキ面には、下記塗料による錆止め塗装を施す。 8種(JASS18 M-109)現場1回塗</p> <p>○構造図に特記されたスタクションを用いる。 ○標準仕様書の7.10.3 A種による。</p> <p>ベースプレート下のモルタルは、全てプレミックスタイプの無収縮モルタルとし、柱の建て込み後ベースプレート回りに型枠を設けて、モルタルをベースプレートの周囲からあふれ出るまで注入とする。</p> <p>種類 耐火性能</p>	第8章 ALC工事	1 ALCパネル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>寸法・形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種別	寸法・形状	工法	備考												
	種類	施工箇所	設計基準強度/m ²	スランヂ	混和剤																																											
	○普通コンクリート	躯体(圍舎)	24	18	A・B																																											
	○普通コンクリート	躯体(渡り廊下)	21	18	A・B																																											
	○普通コンクリート	外構	18	18	A・B																																											
	○無筋コンクリート	捨コン	18	15	A																																											
種別	寸法・形状	工法	備考																																													
第7章 鉄骨工事	② 構造体強度補正	無筋コンクリート及び水中コンクリートを除き行う。	⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	1 アスファルト防水	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考																																						
	名称	施工場所			仕様	備考																																										
3 試し練り	行う(無筋コンクリートは除く)	⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	2 合成高分子ルーフィング防水	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考																																							
名称	施工場所			仕様	備考																																											
④ 化粧打放し仕上げの型枠	○ 型枠用合板 A 1 2 (J A S 規格品の新品) ・ 塗装合板	⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	3 塗膜防水	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考																																							
名称	施工場所			仕様	備考																																											
⑤ 化粧打放し仕上げの増打	外部側面 A 1 0 ・ 内部側面 A 1 0	⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	4 その他の防水	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考																																							
名称	施工場所			仕様	備考																																											
⑥ 床コンクリートこて仕上げの増打	○ 外部 A 1 0 内部 A 1 0	⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	5 押えコンクリートの伸縮目地	・アスファルト注入目地 ・既製品目地材																																											
① 製作工場	・ 全構連右記グレード認定工場 ・ H ・ M ・ R ・ ① ・ 監督職員が承認する工場			⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	6 防水立上り押え	既製品アルミアングル・水切・笠木(図示による)																																									
② 適用基準	日本建築学会 「 J A S S 6 鉄骨工事標準仕様書(2015年改定版) 」 「鉄骨工事技術指針・工場製作編(2015年改定版) 」 「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編(2015年改定版) 」					⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	7 防水の保証	下記の防水については、保証書を提出する。 ・アスファルト防水(10年) ・合成高分子ルーフィング防水(10年) ・塗膜防水(10年)																																							
③ 作成図書	○ 製作要領書 ○ 各部工作図 ○ 社内検査成績書 ○ 現場施工計画書 ○ 溶接基準図 ・ 現寸図 ○ 社外検査成績書							⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	⑧ シーリング	シーリングの種類は、標準仕様書による。																																					
④ 鋼材	○ 一般構造用圧延鋼材 S S 4 0 0 規格品 ・ 一般構造用炭素鋼鋼管 S T K 4 0 0 規格品 ○ 一般構造用角形鋼管 S T K R 4 0 0 規格品 ○ 一般構造用軽量型鋼 S S C 4 0 0 規格品 ・ 建築構造用冷間ロール成形角形鋼管 B C R 2 9 5 大臣認定品 ○ 建築構造用圧延鋼材 S N 4 9 0 C ・ S M 4 0 0 B 規格品 ○ 構造用転造両ネジアンカーボルト A B R 4 0 0 規格品 ○ 角形鋼管柱・H形鋼はり接合工法(NDコア) (財)ベターリビング評定品 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板(アイルーフ75) J I S G 3 3 0 2 規格品	⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事							1 天然石	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕上げ</th> <th>厚</th> <th>目地</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕上げ	厚	目地	備考																															
名称	施工場所			仕上げ	厚					目地	備考																																					
⑤ 高力ボルト	○ J S S (日本鋼構造協会規格) ① 規格の構造用トルシア形高力ボルト大臣認定品(S10T)とする。 ○ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト大臣認定品(F8T相当品)とする。	⑭ 亜鉛メッキ処理 ⑮ アンカーボルトの保持方法 ⑯ ベースプレート底モルタル	第9章 防水工事	1 天然石	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕上げ</th> <th>厚</th> <th>目地</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕上げ	厚	目地	備考																																					
名称	施工場所			仕上げ	厚	目地	備考																																									

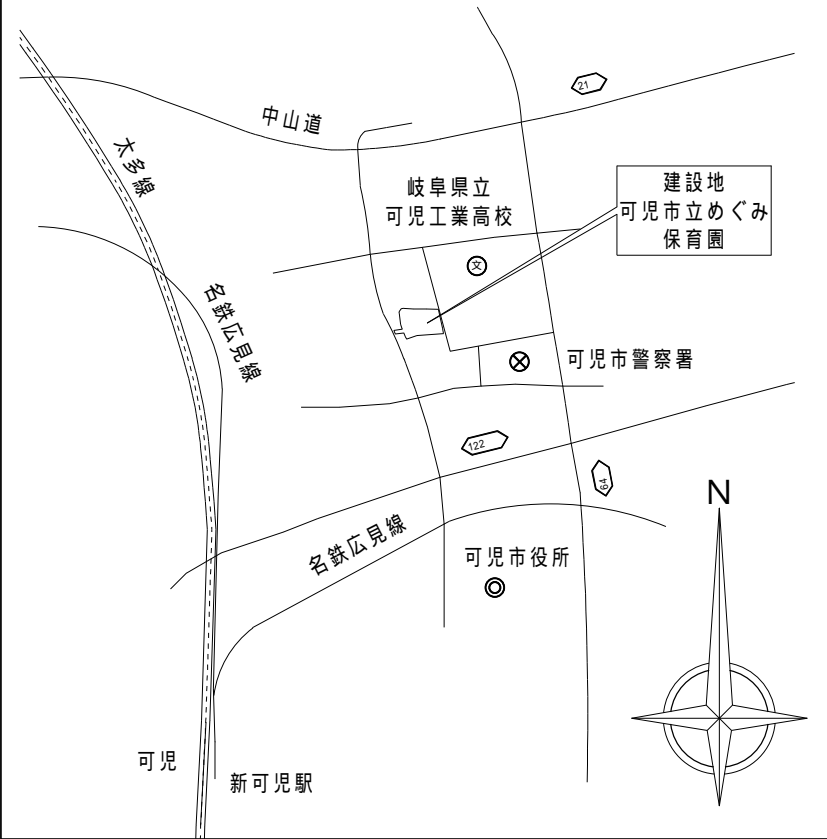
一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 特記仕様書 - 2
		縮尺 A2:1/1 A3:1/1.5
		A-02

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																												
第11章 タイル工事	① 床タイル張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>材質・仕上げ 形状・寸法</th> <th>役物 工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 100角タイル (100T)</td> <td>玄関</td> <td>磁器質・無ゆう 100角</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ノンスリップタイル</td> <td>外部階段の段鼻</td> <td>磁器質・無ゆう</td> <td>段鼻役物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	材質・仕上げ 形状・寸法	役物 工法	備考	○ 100角タイル (100T)	玄関	磁器質・無ゆう 100角			○ ノンスリップタイル	外部階段の段鼻	磁器質・無ゆう	段鼻役物		第13章 屋根及び 樋工事	1 屋根材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>材料・形状 下地</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	材料・形状 下地	備考					第15章 左官工事	① モルタル塗 防水モルタル塗	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>塗厚・仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ モルタル塗り</td> <td>床 金コテ</td> <td>ア30</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	塗厚・仕上げ	備考	○ モルタル塗り	床 金コテ	ア30																														
	名称	施工場所	材質・仕上げ 形状・寸法	役物 工法	備考																																																															
○ 100角タイル (100T)	玄関	磁器質・無ゆう 100角																																																																		
○ ノンスリップタイル	外部階段の段鼻	磁器質・無ゆう	段鼻役物																																																																	
名称	施工場所	材料・形状 下地	備考																																																																	
名称	施工場所	塗厚・仕上げ	備考																																																																	
○ モルタル塗り	床 金コテ	ア30																																																																		
	2 伸縮目地	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁 ・位置は共通仕様書による。 ・内壁 ・入隅に原則として設け、目地巾は5mm程度とする。 ・設けない。 			2 仕上塗材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げ・工法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類(呼び名)	仕上げ・工法	備考																																																										
名称	種類(呼び名)	仕上げ・工法	備考																																																																	
第12章 木工事	① 適用基準	共通仕様書による ・次記に準拠する()	第14章 金属工事	② 長尺金属板葺	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>材料・形状 下地</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 軒樋</td> <td>増築囲舎・渡り廊下</td> <td>着色塩ビ製・前高130(既製品)</td> <td>鉄芯入り</td> </tr> <tr> <td>○ 縦樋</td> <td>増築囲舎・渡り廊下</td> <td>着色塩ビ管(既製品)</td> <td>SUS製つかみ金物</td> </tr> <tr> <td>○ 自在ドレン</td> <td>増築囲舎・渡り廊下</td> <td>着色塩ビ製ドレン(既製品)</td> <td>鉄芯入り</td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	材料・形状 下地	備考	○ 軒樋	増築囲舎・渡り廊下	着色塩ビ製・前高130(既製品)	鉄芯入り	○ 縦樋	増築囲舎・渡り廊下	着色塩ビ管(既製品)	SUS製つかみ金物	○ 自在ドレン	増築囲舎・渡り廊下	着色塩ビ製ドレン(既製品)	鉄芯入り	第16章 建具工事	3 吹付け材	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	厚さ	備考																																								
	名称	施工場所		材料・形状 下地	備考																																																															
○ 軒樋	増築囲舎・渡り廊下	着色塩ビ製・前高130(既製品)	鉄芯入り																																																																	
○ 縦樋	増築囲舎・渡り廊下	着色塩ビ管(既製品)	SUS製つかみ金物																																																																	
○ 自在ドレン	増築囲舎・渡り廊下	着色塩ビ製ドレン(既製品)	鉄芯入り																																																																	
名称	施工場所	厚さ	備考																																																																	
	② 木材	<p>材質 JASの規格品 ・市場品</p> <p>樹種及び等級 構造材・下地材 共通仕様書による 造作材・集成材 下表による</p> <p>代用樹種 ○ 構造材、造作材は、原則として代用樹種は認めない。 やむをえず変更する場合は、監督職員の承諾をうける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種</th> <th>等級</th> <th>仕上</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・破風、鼻隠し</td> <td>桧</td> <td>上小節</td> <td>WP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ぬれ縁束、大引、根太</td> <td>桧</td> <td>一等</td> <td>WP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ぬれ縁框</td> <td>桧</td> <td>上小節</td> <td>WP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ぬれ縁床</td> <td>桧</td> <td>上小節</td> <td>WP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・束、大引、根太</td> <td>米桐</td> <td>一等</td> <td>WP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・根太掛、根がらみ</td> <td>米桐</td> <td>一等</td> <td>WP</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・巾木</td> <td>米松積層材</td> <td></td> <td>OSCL</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・枠・見切</td> <td>米松積層材</td> <td></td> <td>OSCL</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・額縁</td> <td>米松積層材</td> <td></td> <td>OSCL</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カーテンボックス</td> <td>米松積層材</td> <td></td> <td>OSCL</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外部は特記なき限り、檜 上小節、WP塗とする。 内部は特記なき限り、米桐積層材、OSCL塗とする。</p>	部位	樹種	等級	仕上	備考	・破風、鼻隠し	桧	上小節	WP		・ぬれ縁束、大引、根太	桧	一等	WP		・ぬれ縁框	桧	上小節	WP		・ぬれ縁床	桧	上小節	WP		・束、大引、根太	米桐	一等	WP		・根太掛、根がらみ	米桐	一等	WP		・巾木	米松積層材		OSCL		・枠・見切	米松積層材		OSCL		・額縁	米松積層材		OSCL		・カーテンボックス	米松積層材		OSCL			4 その他の左官仕上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	種類	備考				
部位	樹種	等級	仕上	備考																																																																
・破風、鼻隠し	桧	上小節	WP																																																																	
・ぬれ縁束、大引、根太	桧	一等	WP																																																																	
・ぬれ縁框	桧	上小節	WP																																																																	
・ぬれ縁床	桧	上小節	WP																																																																	
・束、大引、根太	米桐	一等	WP																																																																	
・根太掛、根がらみ	米桐	一等	WP																																																																	
・巾木	米松積層材		OSCL																																																																	
・枠・見切	米松積層材		OSCL																																																																	
・額縁	米松積層材		OSCL																																																																	
・カーテンボックス	米松積層材		OSCL																																																																	
名称	施工場所	種類	備考																																																																	
	③ 防蟻処理	クレオソート油2回塗り		③ 鼻隠しパネル	カラーガルバリウム鋼板製 H=300 リブ付 (既製品)	第16章 建具工事	① アルミニウム製 建具	<p>耐風圧性 S-4 ○S-5 ・S-6</p> <p>気密性 A-3 ・A-4</p> <p>水密性 W-4 ・W-5</p> <p>表面処理○ 陽極酸化塗装複合皮膜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電解二次着色による陽極酸化塗装複合被覆 ・着色塗装 <p>網戸 ステンレス網</p>																																																												
	④ 防蟻処理	(社)日本しろあり協会制定 標準仕様書に準ずる (土壌処理 ・行う ・行わない)		④ 既製金物	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材料・仕上げ</th> <th>形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 床下換気口</td> <td>SUS製</td> <td>図示</td> <td>メルコエアテック同等</td> </tr> <tr> <td>○ ポーチ排水溝蓋</td> <td>SUS製</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ I型手摺</td> <td>樹脂被覆</td> <td>図示</td> <td>TOTO:T11206 同等</td> </tr> <tr> <td>○ 天井点検口</td> <td>アルミ枠</td> <td>450角 化粧蓋</td> <td>取り付け位置は現場指示</td> </tr> <tr> <td>○ 床下点検口</td> <td>アルミ枠</td> <td>600角 化粧蓋</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 木製建具レール</td> <td>SUS製・HL</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 消火器収納ボックス</td> <td>スチール製・焼付塗装</td> <td>ABC10型用</td> <td>ユニオン同等品</td> </tr> </tbody> </table>		名称	材料・仕上げ	形状・寸法	備考	○ 床下換気口	SUS製	図示	メルコエアテック同等	○ ポーチ排水溝蓋	SUS製	図示		○ I型手摺	樹脂被覆	図示	TOTO:T11206 同等	○ 天井点検口	アルミ枠	450角 化粧蓋	取り付け位置は現場指示	○ 床下点検口	アルミ枠	600角 化粧蓋		○ 木製建具レール	SUS製・HL			・ 消火器収納ボックス	スチール製・焼付塗装	ABC10型用	ユニオン同等品	2 鋼製建具	<p>鋼板の亜鉛付着量 メーカー仕様による</p> <p>鋼板の厚さ メーカー仕様による</p>																												
名称	材料・仕上げ	形状・寸法	備考																																																																	
○ 床下換気口	SUS製	図示	メルコエアテック同等																																																																	
○ ポーチ排水溝蓋	SUS製	図示																																																																		
○ I型手摺	樹脂被覆	図示	TOTO:T11206 同等																																																																	
○ 天井点検口	アルミ枠	450角 化粧蓋	取り付け位置は現場指示																																																																	
○ 床下点検口	アルミ枠	600角 化粧蓋																																																																		
○ 木製建具レール	SUS製・HL																																																																			
・ 消火器収納ボックス	スチール製・焼付塗装	ABC10型用	ユニオン同等品																																																																	
	⑤ 防虫処理	ラワン材類を使用する場合は、防虫1種処理材(JAS)とする		⑤ 製作金物	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材料・仕上げ</th> <th>形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ ポーチ手摺</td> <td>SUS製・HL</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 足洗い手摺</td> <td>SUS製・HL</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ライニング面台</td> <td>SUS製・HL</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 床見切</td> <td>SUS製・HL</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	材料・仕上げ	形状・寸法	備考	○ ポーチ手摺	SUS製・HL	図示		○ 足洗い手摺	SUS製・HL	図示		○ ライニング面台	SUS製・HL	図示		○ 床見切	SUS製・HL	図示		③ 鋼製軽量建具	<p>鋼板の亜鉛付着量 メーカー仕様による</p> <p>鋼板の厚さ メーカー仕様による</p>																																									
名称	材料・仕上げ	形状・寸法	備考																																																																	
○ ポーチ手摺	SUS製・HL	図示																																																																		
○ 足洗い手摺	SUS製・HL	図示																																																																		
○ ライニング面台	SUS製・HL	図示																																																																		
○ 床見切	SUS製・HL	図示																																																																		
	⑥ その他	○ 設計図書に記載する木材の寸法はすべて仕上り寸法とする(詳細は打合せ) ○ 使用する木材はサンプルを提出し、監督職員の承諾を受ける。 ○ 使用する構造材、造作材、下地材の含水率は共通仕様書に規定するA種とし、 やむをえずこの含水率を超えるものは監督職員の承諾を受ける。			野縁 19形(屋内) 25形(屋外)	4 自動扉	建具表による。																																																													
					スタッド ○65形 ・50形 ・100形	5 シャッター	建具表による。																																																													
						⑥ 木製建具	建具表による。																																																													
						⑦ その他の建具	建具表による。(トイレブース)																																																													
						⑧ 建具金物	建具表による。																																																													
					一級建築士 175279 号	平成30年06月 日	名称 可児市ゆめぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事																																																													
					岩瀬直人	承認		図面 特記仕様書 - 3																																																												
								縮尺 A2:1/1 A3:1/1.5																																																												
								A-03																																																												

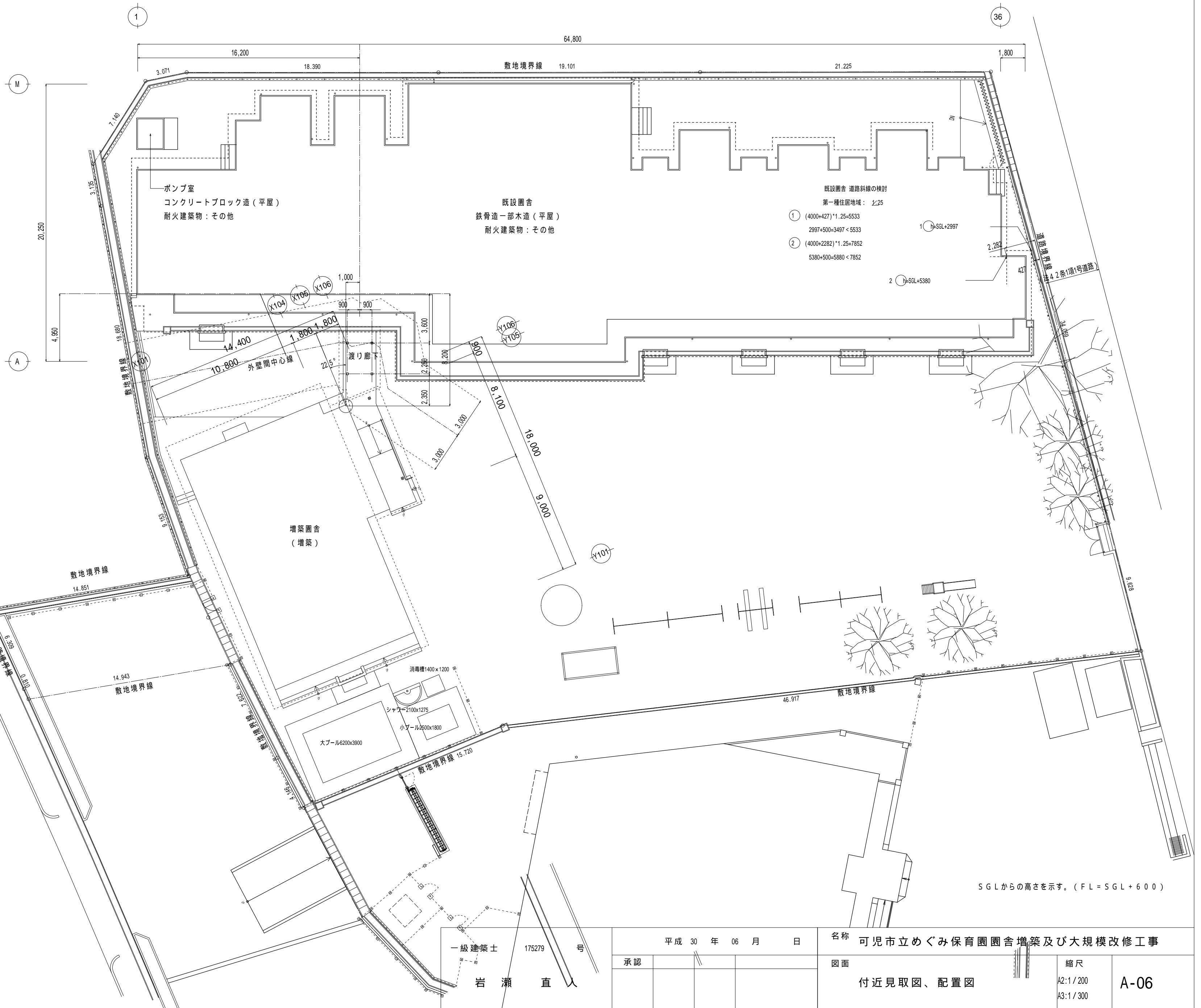
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																											
	⑨ ガラス	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 強化(透明)ガラス</td> <td>○ 4 ○・5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 強化(不透明)ガラス</td> <td>○ 4 ・5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 型板ガラス</td> <td>○ 4 ・5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 鏡</td> <td>・ 4 ○・5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ ガラス留め材 シーリング ・ グレイジングガスケット</p>	名称	厚さ	備考	○ 強化(透明)ガラス	○ 4 ○・5		○ 強化(不透明)ガラス	○ 4 ・5		○ 型板ガラス	○ 4 ・5		○ 鏡	・ 4 ○・5			7 ユニットフロア	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>ぬれ縁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	○	ぬれ縁			・					第20章 外構工事	① アスファルト舗装 仕様 図示による ② コンクリート舗装 仕様 図示による 3 緑石 仕様 図示による ④ 既製コンクリート側溝 仕様 図示による 5 現場打側溝・柵 仕様 図示による ⑥ フェンス 仕様 図示による 7 擁壁 仕様 図示による 8 植栽 仕様 図示による 9 その他 仕様 図示による																																
名称	厚さ	備考																																																																	
○ 強化(透明)ガラス	○ 4 ○・5																																																																		
○ 強化(不透明)ガラス	○ 4 ・5																																																																		
○ 型板ガラス	○ 4 ・5																																																																		
○ 鏡	・ 4 ○・5																																																																		
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
○	ぬれ縁																																																																		
・																																																																			
第17章 塗装工事	① 塗装材料	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>図面内符号</th> <th>名称</th> <th>JIS規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ SOP</td> <td>合成樹脂調合ペイント塗り</td> <td>K5516</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ EP</td> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗り(1種)</td> <td>K5663</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ EP-G</td> <td>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>K5660</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 2-A SE</td> <td>アクリルシリコン樹脂エナメル</td> <td>18-M-404</td> <td>(JASS)</td> </tr> <tr> <td>○ UC</td> <td>ポリアウレタン樹脂塗料(ユートン)</td> <td>18-M-301</td> <td>(JASS)</td> </tr> <tr> <td>○ OSC L</td> <td>オイルステインクリヤラッカー(着色)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td>18-M-307</td> <td>(JASS)</td> </tr> </tbody> </table>	図面内符号	名称	JIS規格	備考	○ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	K5516		○ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り(1種)	K5663		・ EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	K5660		○ 2-A SE	アクリルシリコン樹脂エナメル	18-M-404	(JASS)	○ UC	ポリアウレタン樹脂塗料(ユートン)	18-M-301	(JASS)	○ OSC L	オイルステインクリヤラッカー(着色)			○ WP	木材保護塗料塗り	18-M-307	(JASS)		⑧ 石膏ボード、その他ボード張り	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 石膏ボード</td> <td>図示</td> <td>t=9.5/12.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 耐水石膏ボード</td> <td>図示</td> <td>t=12.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 化粧石膏ボード</td> <td>図示</td> <td>t=9.5</td> <td>トラバーチン模様</td> </tr> <tr> <td>○ 繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td>軒天</td> <td>t=6</td> <td>一部有孔板</td> </tr> <tr> <td>○ 硬質化けい酸カルシウム板</td> <td>図示</td> <td>t=6</td> <td>ニチアス:アスラックス200同物品</td> </tr> <tr> <td>○ 岩綿吸音板</td> <td>図示</td> <td>t=9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	○ 石膏ボード	図示	t=9.5/12.5		○ 耐水石膏ボード	図示	t=12.5		○ 化粧石膏ボード	図示	t=9.5	トラバーチン模様	○ 繊維混入けい酸カルシウム板	軒天	t=6	一部有孔板	○ 硬質化けい酸カルシウム板	図示	t=6	ニチアス:アスラックス200同物品	○ 岩綿吸音板	図示	t=9			
図面内符号	名称	JIS規格	備考																																																																
○ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	K5516																																																																	
○ EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り(1種)	K5663																																																																	
・ EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	K5660																																																																	
○ 2-A SE	アクリルシリコン樹脂エナメル	18-M-404	(JASS)																																																																
○ UC	ポリアウレタン樹脂塗料(ユートン)	18-M-301	(JASS)																																																																
○ OSC L	オイルステインクリヤラッカー(着色)																																																																		
○ WP	木材保護塗料塗り	18-M-307	(JASS)																																																																
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
○ 石膏ボード	図示	t=9.5/12.5																																																																	
○ 耐水石膏ボード	図示	t=12.5																																																																	
○ 化粧石膏ボード	図示	t=9.5	トラバーチン模様																																																																
○ 繊維混入けい酸カルシウム板	軒天	t=6	一部有孔板																																																																
○ 硬質化けい酸カルシウム板	図示	t=6	ニチアス:アスラックス200同物品																																																																
○ 岩綿吸音板	図示	t=9																																																																	
	① ビニル床シート張り	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ ビニル床シート(A) 図示床</td> <td></td> <td>t=2.0・溶接工法</td> <td>木目調</td> </tr> <tr> <td>○ ビニル床シート(B) 図示床</td> <td></td> <td>t=2.0・溶接工法</td> <td>マーブル柄</td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	○ ビニル床シート(A) 図示床		t=2.0・溶接工法	木目調	○ ビニル床シート(B) 図示床		t=2.0・溶接工法	マーブル柄		⑨ 合板張り	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 普通合板(シナ2類)</td> <td>図示</td> <td>t=5.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 普通合板(ラワン2類)</td> <td>図示</td> <td>t=12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 普通合板(ラワン1類)</td> <td>図示</td> <td>t=12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 構造用合板(1類)</td> <td>図示</td> <td>t=12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 構造用合板(特類)</td> <td>図示</td> <td>t=12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	○ 普通合板(シナ2類)	図示	t=5.5		○ 普通合板(ラワン2類)	図示	t=12		○ 普通合板(ラワン1類)	図示	t=12		○ 構造用合板(1類)	図示	t=12		○ 構造用合板(特類)	図示	t=12																											
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
○ ビニル床シート(A) 図示床		t=2.0・溶接工法	木目調																																																																
○ ビニル床シート(B) 図示床		t=2.0・溶接工法	マーブル柄																																																																
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
○ 普通合板(シナ2類)	図示	t=5.5																																																																	
○ 普通合板(ラワン2類)	図示	t=12																																																																	
○ 普通合板(ラワン1類)	図示	t=12																																																																	
○ 構造用合板(1類)	図示	t=12																																																																	
○ 構造用合板(特類)	図示	t=12																																																																	
第18章 内外装工事	2 ビニル床タイル張り	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	・				・					10 クロス・ビニルクロス張り	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	・				・																																									
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
・																																																																			
・																																																																			
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
・																																																																			
・																																																																			
	3 合成樹脂塗床	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	・				・					⑩ サイディング	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ サイディング</td> <td>外壁</td> <td>金属系サイディング t=16 通気金具工法、透湿防水シート張り</td> <td>無塗装品、横張りフラットタイプ ニチハ同物品</td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	○ サイディング	外壁	金属系サイディング t=16 通気金具工法、透湿防水シート張り	無塗装品、横張りフラットタイプ ニチハ同物品																																										
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
・																																																																			
・																																																																			
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
○ サイディング	外壁	金属系サイディング t=16 通気金具工法、透湿防水シート張り	無塗装品、横張りフラットタイプ ニチハ同物品																																																																
	4 木質系床材張り	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ ブナフローリング</td> <td>図示床</td> <td>複合フローリング</td> <td>表層材t=3</td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	○ ブナフローリング	図示床	複合フローリング	表層材t=3		⑪ その他	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ネガフォーム</td> <td>床</td> <td>t=40</td> <td>LDK455 油化二層建材同物品</td> </tr> <tr> <td>・ ポリスチレンフォーム</td> <td>床</td> <td>t=40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール</td> <td>外壁・天井上面</td> <td>240品・t=100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	・ ネガフォーム	床	t=40	LDK455 油化二層建材同物品	・ ポリスチレンフォーム	床	t=40		・ グラスウール	外壁・天井上面	240品・t=100																																							
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
○ ブナフローリング	図示床	複合フローリング	表層材t=3																																																																
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
・ ネガフォーム	床	t=40	LDK455 油化二層建材同物品																																																																
・ ポリスチレンフォーム	床	t=40																																																																	
・ グラスウール	外壁・天井上面	240品・t=100																																																																	
	5 カーベット敷き	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	・				・					第19章 雑工事	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>形式・ひだ巾</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	形式・ひだ巾	備考	・				・																																									
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
・																																																																			
・																																																																			
名称	施工場所	形式・ひだ巾	備考																																																																
・																																																																			
・																																																																			
	6 畳敷き	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>施工場所</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	施工場所	仕様	備考	・				・					① カーテン	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	仕様	備考	・			・																																											
名称	施工場所	仕様	備考																																																																
・																																																																			
・																																																																			
名称	仕様	備考																																																																	
・																																																																			
・																																																																			
					② 室名札・サイン館名文字	○ 図示による																																																													
					③ 造り付家具	○ 図示による																																																													
					4 既製家具	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	仕様	備考	・			・																																																						
名称	仕様	備考																																																																	
・																																																																			
・																																																																			
					5 その他																																																														
					一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事																																																												
					岩瀬直人	承認	図面 特記仕様書 - 4		縮尺 A2:1/1 A3:1/1.5	A-04																																																									

工事区分表											
項目	建築	電気	機械	別途	備考	項目	建築	電気	機械	別途	備考
建築工事による躯体貫通スリーブ、穴あけ及び補強	○										
各設備工事による躯体貫通スリーブ、穴あけ		○	○								
同上補強	○										
建築工事による壁、壁下地、天井、天井下地の穴あけ及び補強	○										
各設備工事による壁、壁下地、天井、天井下地の穴あけ		○	○								
同上補強	○										
建築工事による防火区画及び隔壁の貫通処理	○										
各設備工事による防火区画及び隔壁の貫通処理		○	○								
建築工事に関する既存の撤去	○										
各設備工事に関する既存の撤去		○	○								
建築工事による既存床、壁、天井仕上欠損部の補修	○										
各設備工事による既存床、壁、天井仕上欠損部の補修		○	○								
雨水縦樋及び建物内横引き管	○										
同上床下及び地中横引管			○								
同上雨水樹及び外構排水管			○								
トイレブース類に取付ける設備機器類用の穴あけ及び補強	○										
手洗いカウンター	○										
同上水栓金具及び配管接続			○								
化粧鏡	○										
WC各種手摺	○										
同上取付補強下地	○										
衛生陶器及び配管接続			○								
同上電源供給		○									
同上取付補強下地	○										
換気扇及びダクト接続			○								
同上スイッチ及び電源供給		○									
感知器、火報信号及び電源供給		○									
備品類				○	消火器を含む						
						一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日			名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事	
						岩瀬 直人	承認			図面	
							工事区分表		縮尺 A2:1/1 A3:1/1.5	A-05	

01 付近見取図

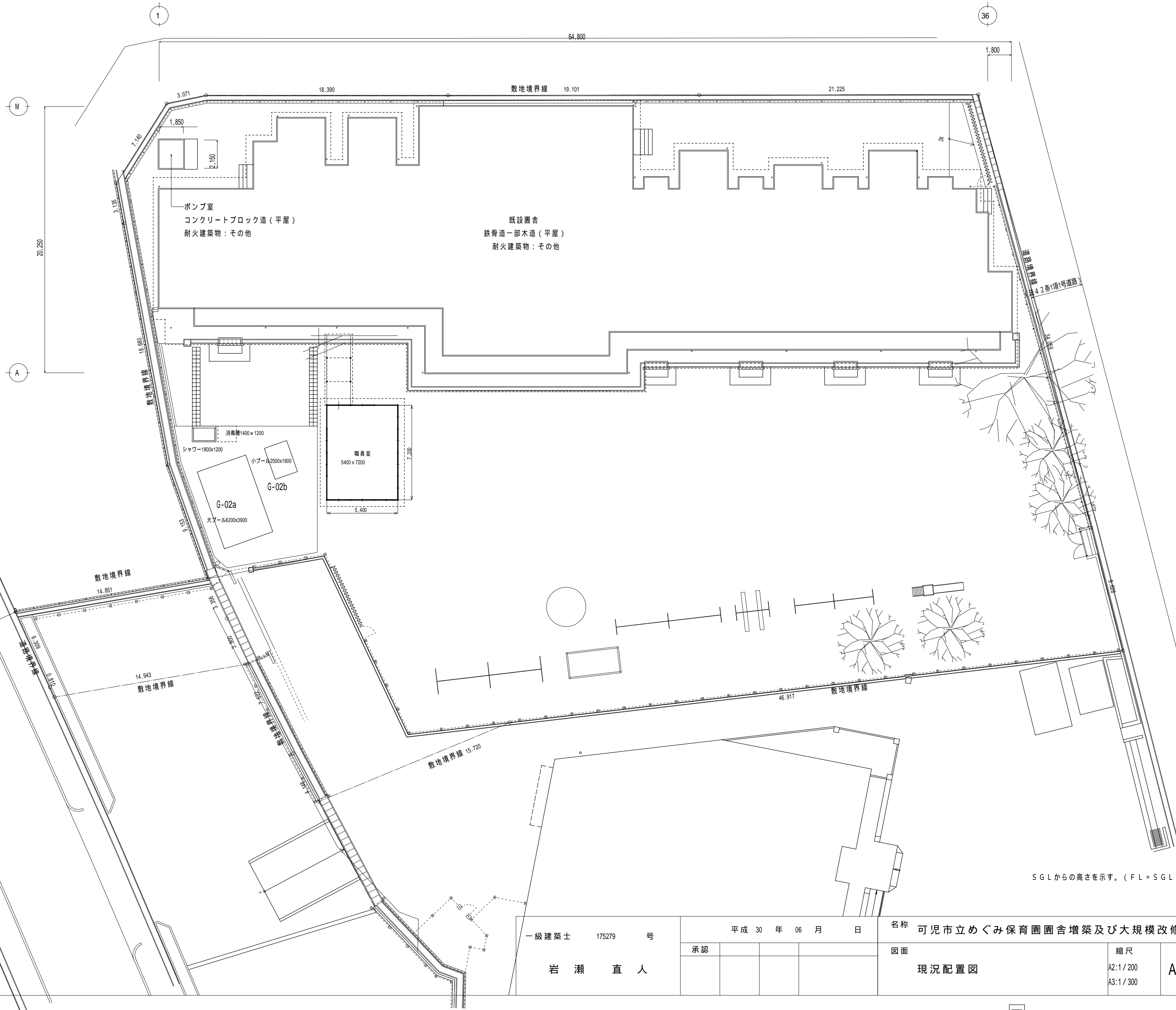
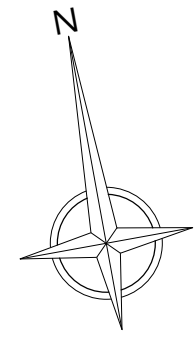


02 配置図



SGLからの高さを示す。(FL=SGL+600)

名称	可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事		
図面	付近見取図、配置図		
承認	平成 30 年 06 月 日	縮尺	A2:1/200 A3:1/300
一級建築士	175279 号	名称	A-06
岩瀬 直人			



SGLからの高さを示す。(FL=SGL+600)

一級建築士 175279 号 岩瀬直人	平成 30 年 06 月 日			名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
	承認			図面 現況配置図
				縮尺 A2:1/200 A3:1/300
				A-07

特記事項（図面に記載なき限り下記に従う）		仕上材料等の符号と名称			塗料・吹付材料の符号と名称		
		区分	符号	名称・仕様	符号	J I S	名称
1.	建築基準法 第28条の2に規定される建築材料は全て、J I S、J A Sに規定されるF 等級の規格に適合したものを使用する。						
2.	屋内土間スラブ下には、ポリエチレンフィルム（防湿材）t = 0.15を敷き込む。						
3.	フローリング張りの部分には、構造用合板の上にネダフォーム t = 40を敷き込む。	床	100T	磁器質100角タイル	SOP	K5516	合成樹脂調合ペイント塗り
4.	ビニル床シート張りの部分には、構造用合板の上にポリスチレンフォーム t = 40を敷き込む。		ブナフローリング	ブナフローリングボード t = 15	EP	K5663	合成樹脂エマルジョンペイント塗り（1種）
5.	外部に面する壁の軸組には、グラスウール 24kg/m ³ t = 100を充填する。		ビニル床シート（A）	ビニル床シート t = 2.0 溶接工法 マーブル柄	EP-G	K5660	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
6.	天井裏には全面に、グラスウール 24kg/m ³ t = 100を敷き込む。		ビニル床シート（B）	ビニル床シート t = 2.0 溶接工法 マーブル柄	2-ASE	18-M-404（JASS）	アクリルシリコン樹脂エナメル
7.	天井下地は軽量鉄骨下地とし、屋外は25型、屋内は19型とする。		防塵塗装	ウレタン樹脂系塗床材	UC	18-M-301（JASS）	ポリウレタン樹脂塗料（コートン）
8.	間仕切り壁下地は軽量鉄骨下地65型とする。				OSCL	K5531	オイルステインクリヤラッカー（着色）
9.	外部に面する壁の内装壁下地は軽量鉄骨下地25型とし、鋼製胴縁に取り付ける。	巾木	ビニル巾木	軟質ビニル巾木 H = 60	WP	18-M-307（JASS）	木材保護塗料塗り
10.	木材の寸法はすべて仕上り寸法をしめす。		ビニル巾木-A	軟質ビニル巾木 H = 60（木目調）	複層塗材E	A6909	複層塗材E 凹凸模様 ウレタントップ
11.	内部に使用する合板は、すべて難燃以上の性能を有するものとする。				NAD	K5670	アクリル樹脂系非水分散形塗料
12.	特記なきかざり、仕上ボード類はテーパーエッジ品を使用し、縫目処理工法（目地テープのうえパテ処理）とする。	壁・天井	GB-R 9.5/12.5	石膏ボード t = 9.5/12.5			
13.	天井FKのボードジョイントはVカット突付目地とする。		GB-S 12.5	耐水石膏ボード t = 12.5	DP	K5659	耐候性塗料塗り（3級：ポリウレタン樹脂）
14.	天井見切縁は塩ビ製コ型とする。		GB-D 9.5	化粧石膏ボード t = 9.5（トラバーチン模様）	2-ASE	18-M-404	アクリルシリコン樹脂エナメル
15.	床仕上げの異なる部分にはステンレス床見切を取付ける。		FK 6	繊維混入けい酸カルシウム板 t = 6	FE	K 5572 : 2003	フタル酸樹脂エナメル塗り
16.	ボード・合板等に使用する釘は、ステンレス製とする。		化粧FK	硬質化粧けい酸カルシウム板 t = 6（GB-S 12.5下地）	耐火・防火・不燃等の指定番号、認定番号		
17.	使用するステンレスはSUS304とし、仕上げはHL（ヘアライン）とする。		RB 9	岩綿吸音板 t = 9（GB-R 9.5下地）			
18.	ビニル床シート等は、竣工引き渡し前にワックス掛け（2回）を行う。		シナ合板 5.5	普通合板（シナ2類）t = 5.5	区分	番号	名称
19.	ビニル床シート類は、エポキシ樹脂系接着材を使用する。		合板 **	普通合板（ラワン2類）t = **（**は厚さを示す）	不燃	NM-8619	石膏ボード t = 12.5・15
20.	壁掛け衛生器具等の取り付け箇所は合板又は鋼板等の適切な下地補強を行うものとする。		耐水合板 **	普通合板（ラワン1類）t = **（**は厚さを示す）		NM-8615	強化石膏ボード t = 12.5・15
21.	家具のガラス面及び鏡には飛散防止フィルムを全面に張るものとする。		構造用合板 12	構造用合板（1類）t = 12		NM-8613	不燃種層石膏ボード t = 9.5（化粧石膏ボード）
			構造用合板（特） 12	構造用合板（特類）t = 12		NM-8599	ロックウール（岩綿）吸音板 t = 9・12
						NM-8578	繊維混入けい酸カルシウム板 t = 6・8
			ビニルクロス	無機質壁紙		NM-8579	硬質化粧けい酸カルシウム板 t = 6
			掲示クロス	無機質壁紙			
			IV 9	普通合板（しな第1類）t = 9	準不燃	QM-9828	石膏ボード t = 9.5
			小巾板	桧 t = 12 特一等 縦羽目板 目透し張（R5.5下地）			

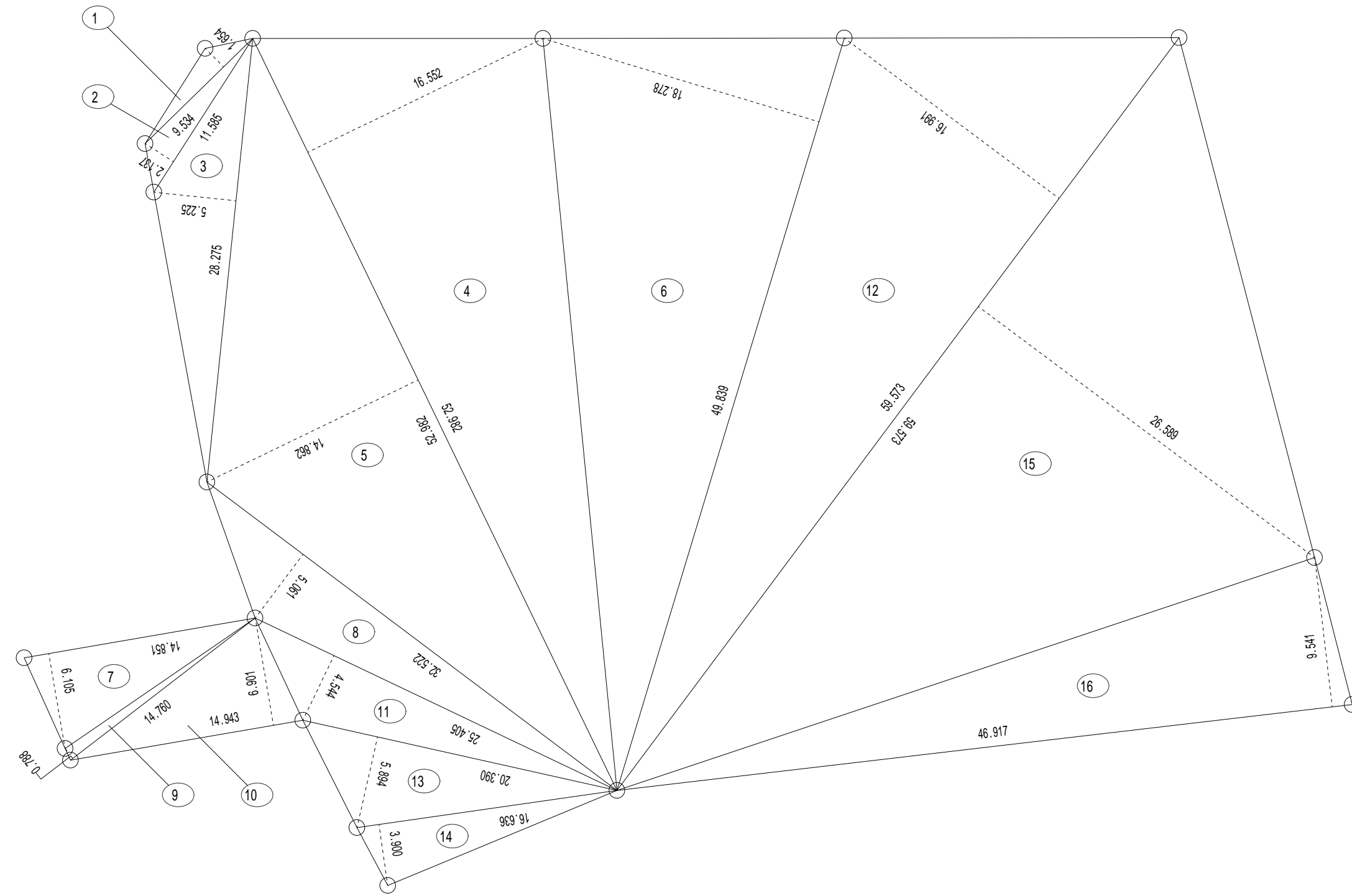
外部仕上表

位置	部位	仕上	位置	部位	仕上
増築圍舎	屋根	鉄骨下地 硬質木片セメント板 t = 18 + フェノールフォーム t = 25複合板 アスファルトルーフィング940のうえ カラーガルバリウム鋼板 t = 0.5 嵌合式瓦葺 鼻隠し：既製品 鼻隠しパネル（カラーガルバリウム鋼板製） h = 300	渡り廊下	屋根	鉄骨下地 硬質木片セメント板 t = 18 カラーガルバリウム鋼板 t = 0.5 嵌合式瓦葺
	軒裏	FK6（一部有孔板） EP		床	Mコテ（目地入）
	見切縁	既製品 通気見切縁（塗装高耐食ガルバリウムめっき鋼板製）		踏込床	Mコテ 防塵塗装（ノンスリップ仕上）
	外壁	鉄骨下地 透湿防水シート張りのうえサイディング t = 16（無塗装品、横張りフラットタイプ）通気金具工法 2-ASE		軒裏	屋根下地材表し
	水切	既製品 通気土台水切（塗装高耐食ガルバリウムめっき鋼板製、防鼠材付）			
	腰壁	Ck 撥水材E塗布	共通	軒樋	着色塩ビ製・鉄芯入り（既製品）
				豎樋	着色塩ビ管・SUS掴み金物共（既製品）
	ぬれ縁			鉄骨表し	2-ASE
	犬走り	Mコテ（目地入）			
	その他	ポスト：W450×H450 上入前出/壁付・防滴タイプ（NASTA/KS-WAB1同等品）			

下地凡例	床下地凡例	壁下地凡例	一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
C コンクリート下地を示す	Cコテ コンクリート金こて	C コンクリート打ちはがし	岩瀬 直人	承認	図面 仕上表 - 1
S 鉄骨下地、軽量鉄骨（LGS）	M モルタル下地	Ck コンクリート化粧打ち放し			
下地を示す	Mコテ モルタル金こて	M モルタル下地			
W 木軸組下地を示す	Mコテ モルタル金こて	Cコテ コンクリート金こて			
					縮尺 A2:1/1 A3:1/1.5
					A-08

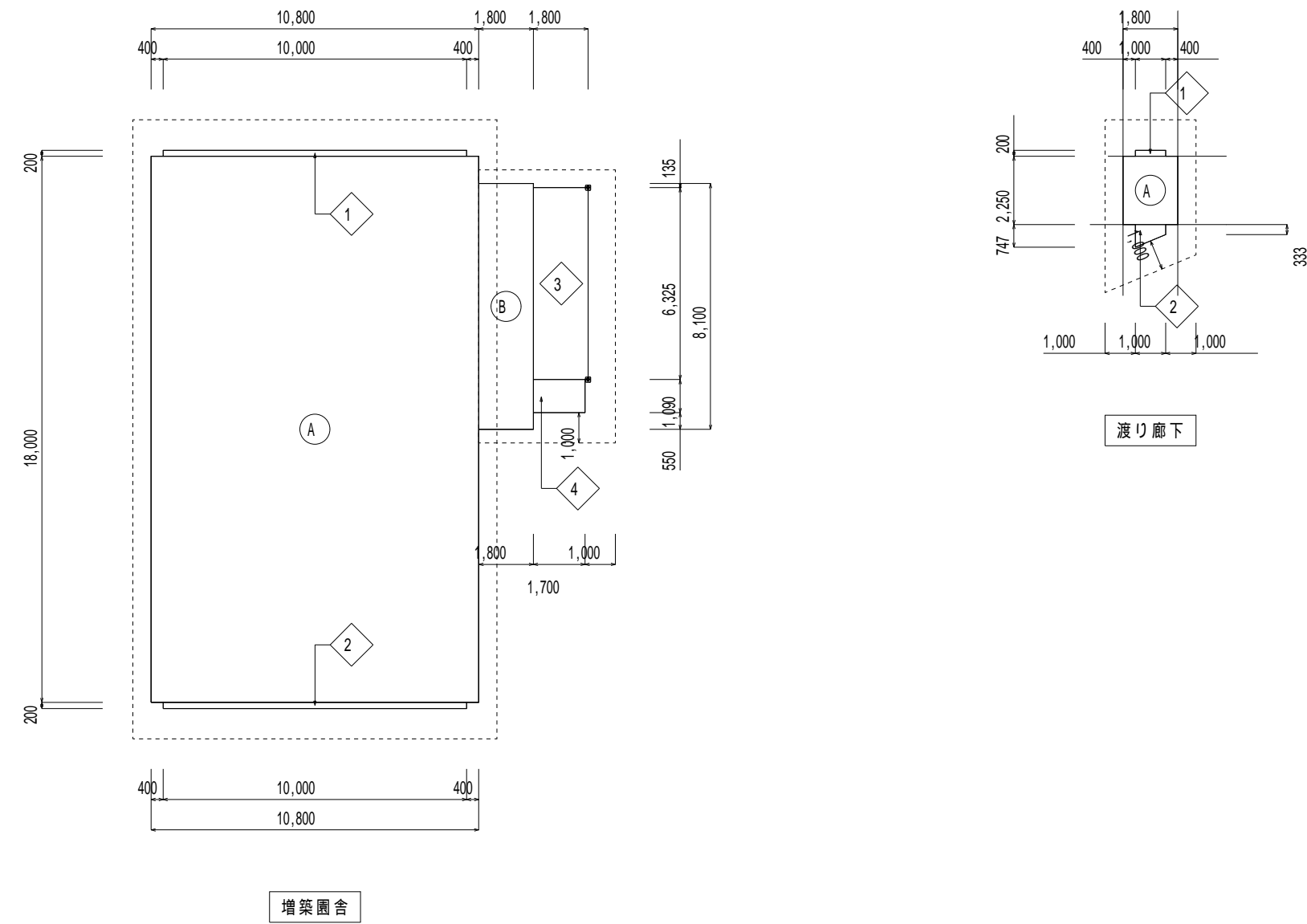
室名	下地	床		巾木 (特記無き限り H=60とする)	壁		天井		廻縁	天井高	備考
		基材	仕上		基材	仕上	基材	仕上			
玄関	C	M	100T								SUS床見切
	S			木OSCL(H=100)	GB-R9.5+12.5(不燃)	EP	GB-R9.5	RB9(不燃)	塩ビ	2,600	
	W									(一部2,200)	
廊下	C										
	S			木OSCL(H=100)	GB-R9.5+12.5(不燃)	EP	GB-R9.5	RB9(不燃)	塩ビ	2,600	
	W	構造用合板12	ブナフローリング UC								
保育室5	C				GB-R12.5(不燃)	シナ合板5.5 目透し張 OSCL(告示第1439号)					室名札、絵画入・収納棚・掃除道具入れ
	S	構造用合板12	ブナフローリング UC	木OSCL(H=100)	GB-R9.5+12.5(不燃)	EP	GB-R9.5	RB9(不燃)	塩ビ	2,600	手洗いW1200、鏡、SUS床見切
	W	耐水合板12	ビニル床シート(B)(手洗い)		GB-S12.5	化粧FK6(不燃)(手洗い)					(ぬれ縁)シューズ収納 幼児用(24人分)
保育室6	C				GB-R12.5(不燃)	シナ合板5.5 目透し張 OSCL(告示第1439号)					室名札、絵画入・収納棚・掃除道具入れ
	S	構造用合板12	ブナフローリング UC	木OSCL(H=100)	GB-R9.5+12.5(不燃)	EP	GB-R9.5	RB9(不燃)	塩ビ	2,600	手洗いW1200、鏡、SUS床見切
	W	耐水合板12	ビニル床シート(B)(手洗い)		GB-S12.5	化粧FK6(不燃)(手洗い)					(ぬれ縁)シューズ収納 幼児用(24人分)
職員室	C										室名札、収納棚
	S			木OSCL(H=100)	GB-R12.5(不燃)	シナ合板5.5 目透し張 OSCL(告示第1439号)	GB-R9.5	RB9(不燃)	塩ビ	2,600	
	W	構造用合板12	ブナフローリング UC		GB-R9.5+12.5(不燃)	EP				(一部2,200)	
職員室(ミニキッチン)	C										ミニキッチンW900
	S			ビニル巾木(溶着)	GB-R9.5+12.5(不燃)	EP		GB-D9.5(不燃)	塩ビ	2,025	
	W	耐水合板12	ビニル床シート(A)								
ミーティングルーム	C										床点検口
	S			ビニル巾木(溶着)	GB-R9.5+12.5(不燃)	EP		GB-D9.5(不燃)	塩ビ	2,400	
	W	合板12	ビニル床シート(A)								
職員用トイレ	C										鏡、小物入、ポウルー体型カウンター
	S			ビニル巾木(溶着)	GB-R9.5+12.5	EP		GB-D9.5	塩ビ	2,400	I型手摺
	W	耐水合板12	ビニル床シート(B)								
幼児用トイレ	C										手洗いW1200、鏡、配管帯、SUS面台
	S			ビニル巾木(溶着)	GB-S12.5	化粧FK6		GB-D9.5	塩ビ	2,400	汚垂れ石、大便器用手摺(幼児用)
	W	耐水合板12	ビニル床シート(B)								SUSモップ掛け(SK内2ヶ)

下地凡例	床下地凡例	壁下地凡例	防火上主要な間仕切り壁の基材はGB-R9.5+12.5とし、 屋根裏まで基材ボードを両面施工する。	一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
C	コンクリート下地を示す	Cコテ	コンクリート金こて	岩瀬 直人	承認	図面 仕上表-2
S	鉄骨下地、軽量鉄骨(LGS) 下地を示す	M	モルタル下地			
W	木軸組下地を示す	Mコテ	モルタル金こて			
		Cコテ	コンクリート金こて			
						縮尺 A2:1/1 A3:1/1.5
						A-09



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	9.534	1.654	15.769236	7.8846180
2	11.585	2.137	24.757145	12.3785725
3	28.275	5.225	147.736875	73.8684375
4	52.982	16.552	876.958064	438.4790320
5	52.982	14.862	787.418484	393.7092420
6	49.839	18.278	910.957242	455.4786210
7	14.851	6.105	90.665355	45.3326775
8	32.522	5.061	164.593842	82.2969210
9	14.760	0.788	11.630880	5.8154400
10	14.943	6.901	103.121643	51.5608215
11	25.405	4.544	115.440320	57.7201600
12	59.573	16.991	1,012.204843	506.1024215
13	20.390	5.894	120.178660	60.0893300
14	16.636	3.900	64.880400	32.4402000
15	59.573	26.589	1,583.986497	791.9932485
16	46.917	9.541	447.635097	223.8175485
合 計				3,238.9656770
敷地面積				3,238.96 m ²

一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 敷地求積図
		縮尺 A2:1/300 A3:1/450
		A-10



増築園舎				渡り廊下					
符号	計算式 (㎡)			符号	計算式 (㎡)				
Ⓐ	10.800	x	18.000 =	194.400000	Ⓐ	1.800	x	2.250 =	4.050000
Ⓑ	1.800	x	8.100 =	14.580000					
①	10.000	x	0.200 =	2.000000	①	1.000	x	0.200 =	0.200000
②	10.000	x	0.200 =	2.000000	②	(0.333+0.747) x 1.000/2 =			0.540000
③	1.800	x	6.325 =	11.385000					
④	1.700	x	1.090 =	1.853000					
面積集計表				面積集計表					
建築面積	Ⓐ + Ⓑ + ① + ② + ③ + ④			226.218000	建築面積	Ⓐ + ① + ②			4.790000
				改め 226.22㎡					改め 4.79㎡
1階床面積	Ⓐ + Ⓑ			208.980000	1階床面積	Ⓐ			4.050000
				改め 208.98㎡					改め 4.05㎡
延べ床面積				208.98㎡	延べ床面積				4.05㎡

工事種別	建物名称	建築面積	延べ床面積
既設	既設園舎	987.21	950.76
	ポンプ室	3.98	3.98
	既設合計	991.19	954.74
増築	増築園舎	226.22	208.98
	渡り廊下	4.79	4.05
	増築合計	231.01	213.03
合計		1,222.20	1,167.77

敷地面積	3,238.96	㎡
建築基準法第53条の規定による建築物の建蔽率		
2以上の道路に接する敷地	70.00	%
建蔽率	37.74	%
建築基準法第52条の規定による建築物の容積率	200.00	%
容積率	36.06	%

一級建築士 175279 号

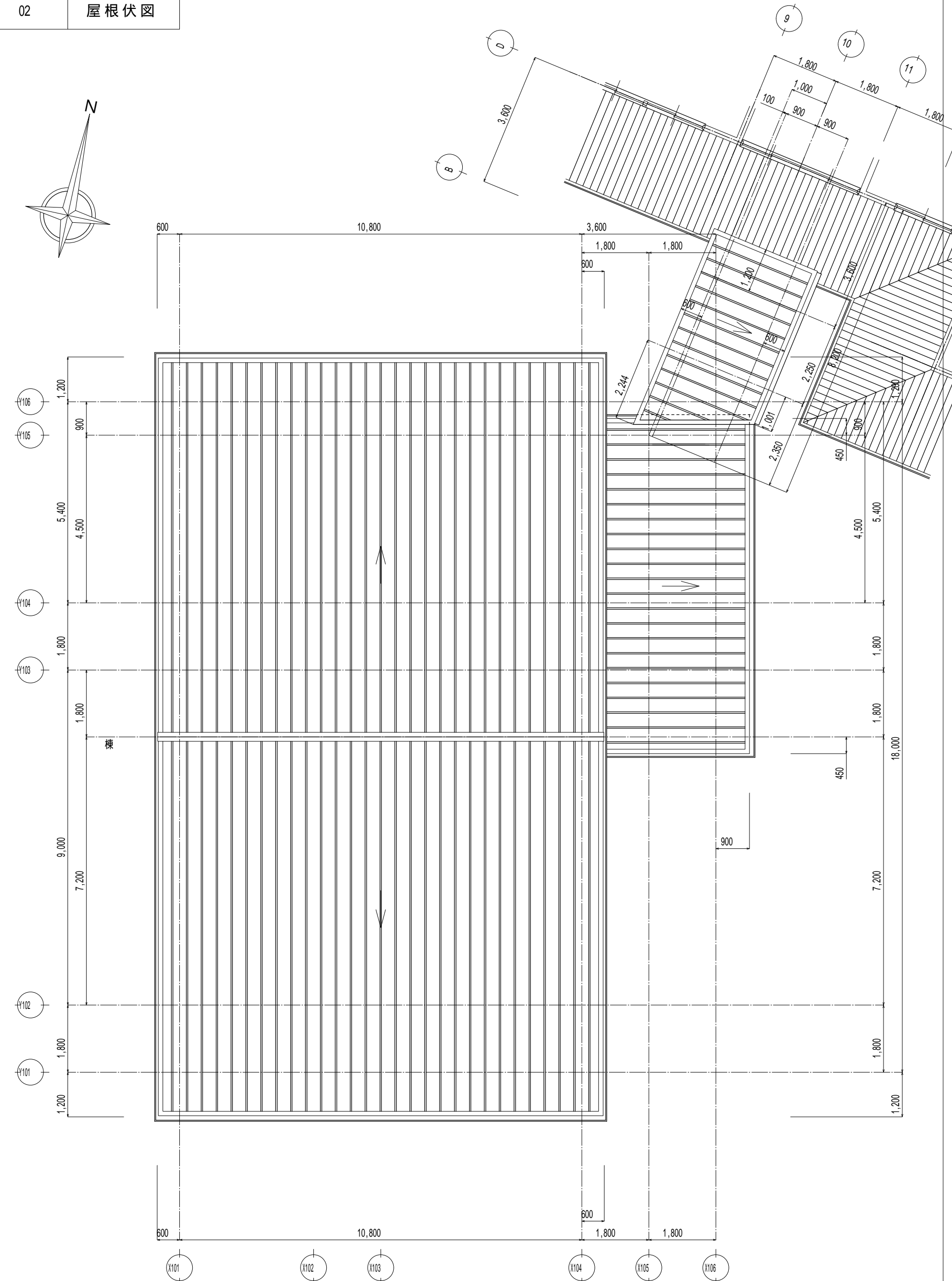
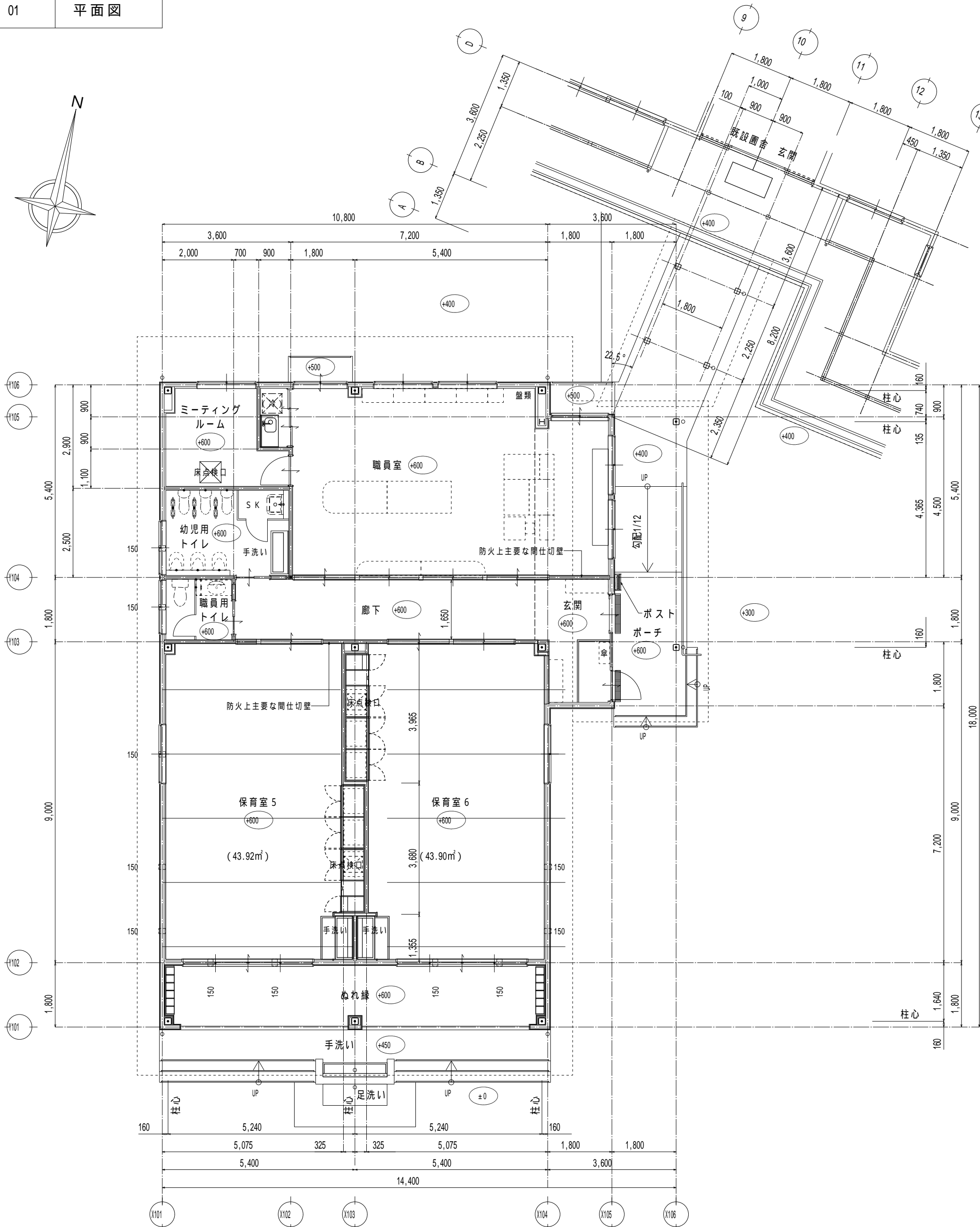
岩瀬 直人

平成 30 年 06 月 日

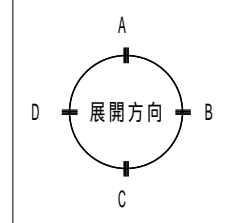
承認			
----	--	--	--

名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

図面	面積表	縮尺	A2:1/200 A3:1/300	A-11
----	-----	----	----------------------	------



- 防火上主要な間仕切り壁の基材はGB-R9.5+12.5(準耐火構造 告示1358)とし、屋根裏まで基材ボードを両面施工する。
- ±0 SGLからの高さを示す。(FL=SGL+600)
- C3150 床下換気口: 150 (SUS製ベントキャップ)

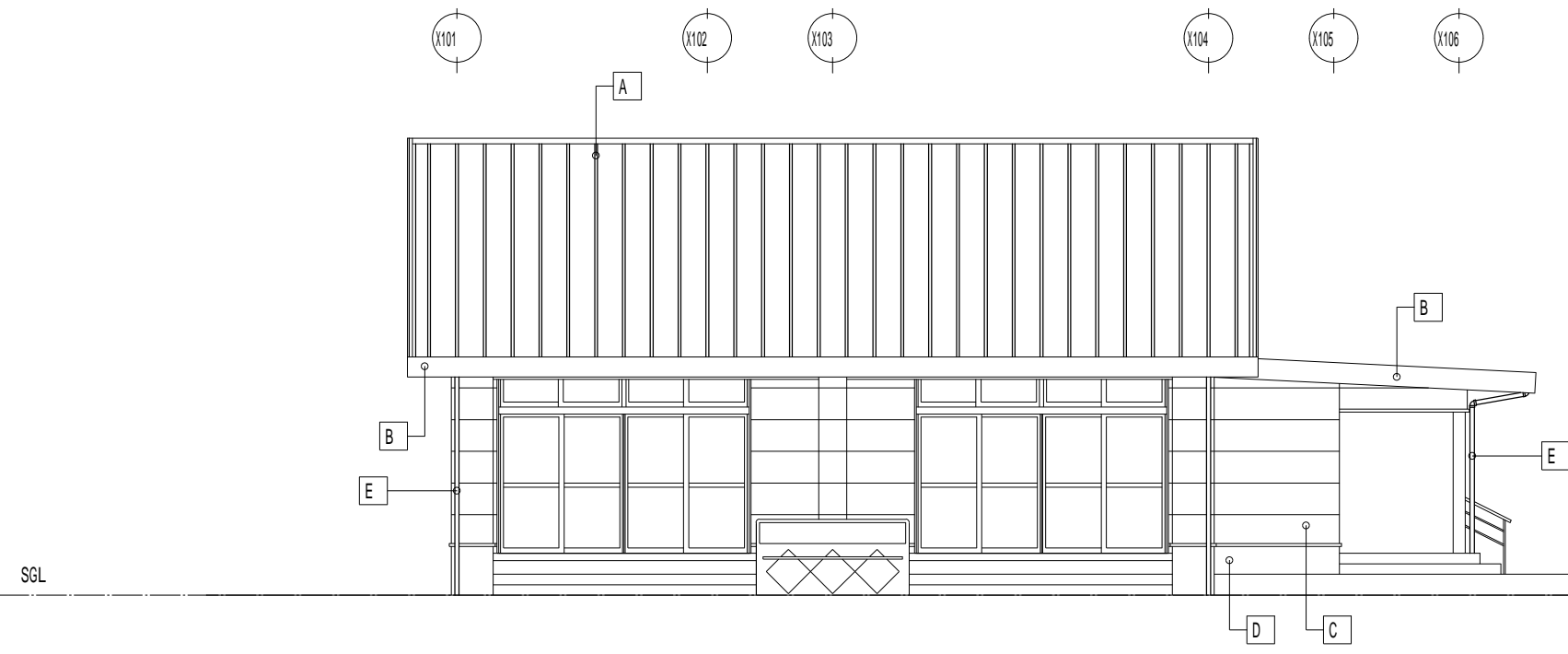


一級建築士 175279 号
 岩瀬 直人

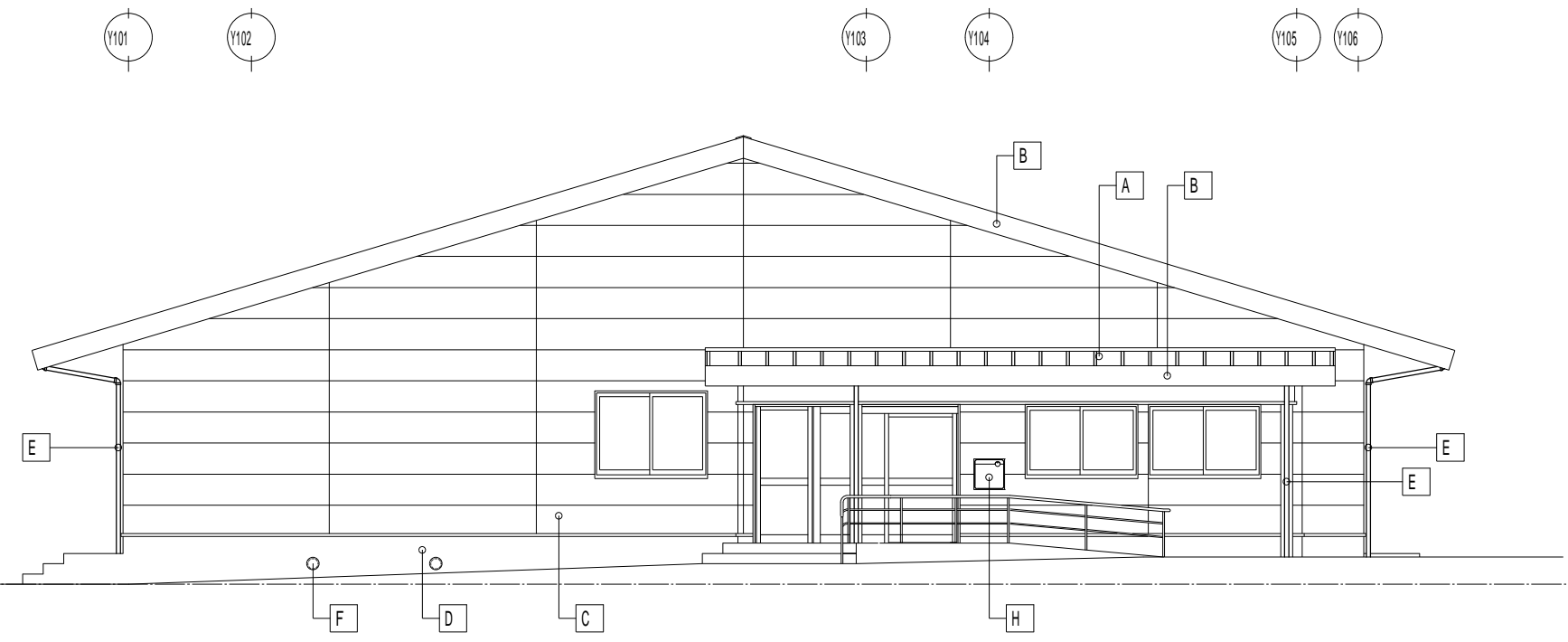
平成 30 年 06 月 日		
承認		

名称	可児市立めぐみ保育園舎増築及び大規模改修工事	
図面	平面図・屋根伏図	縮尺 A2:1/100 A3:1/150
		A-12

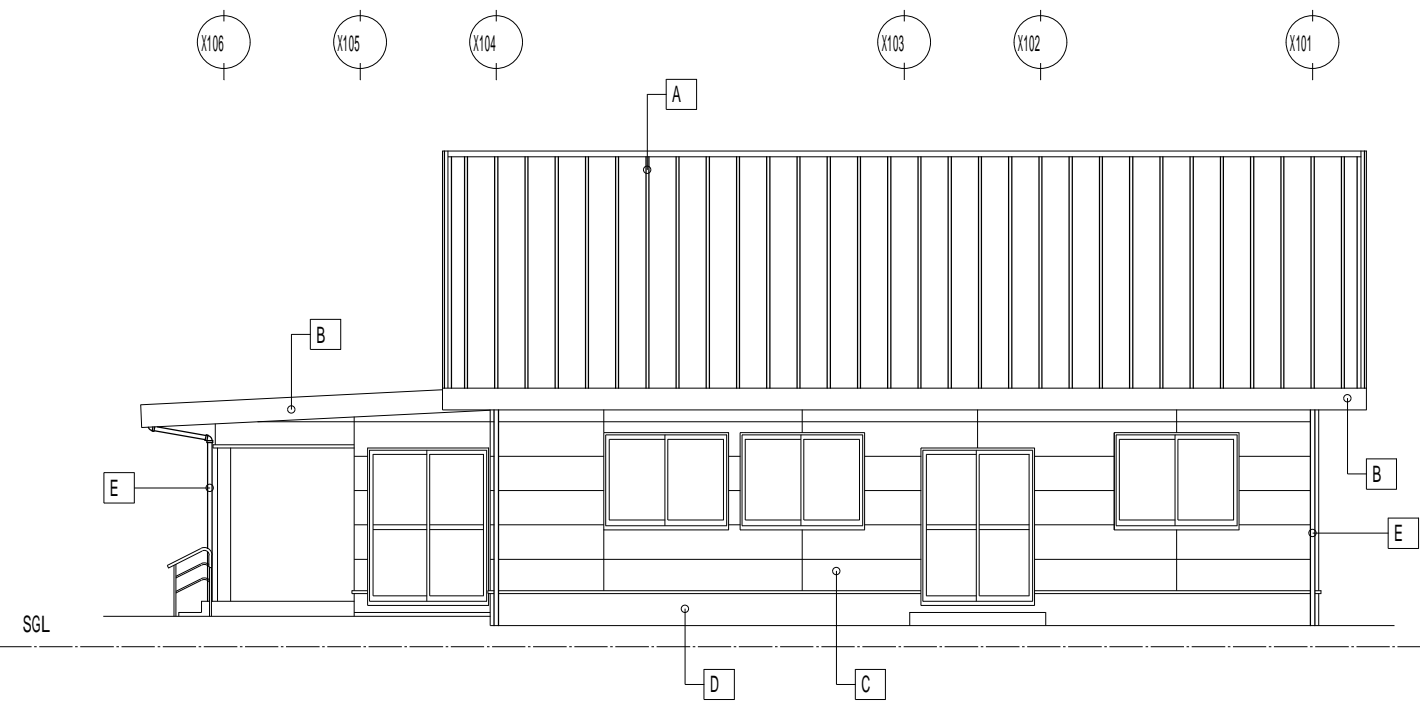
01 立面図



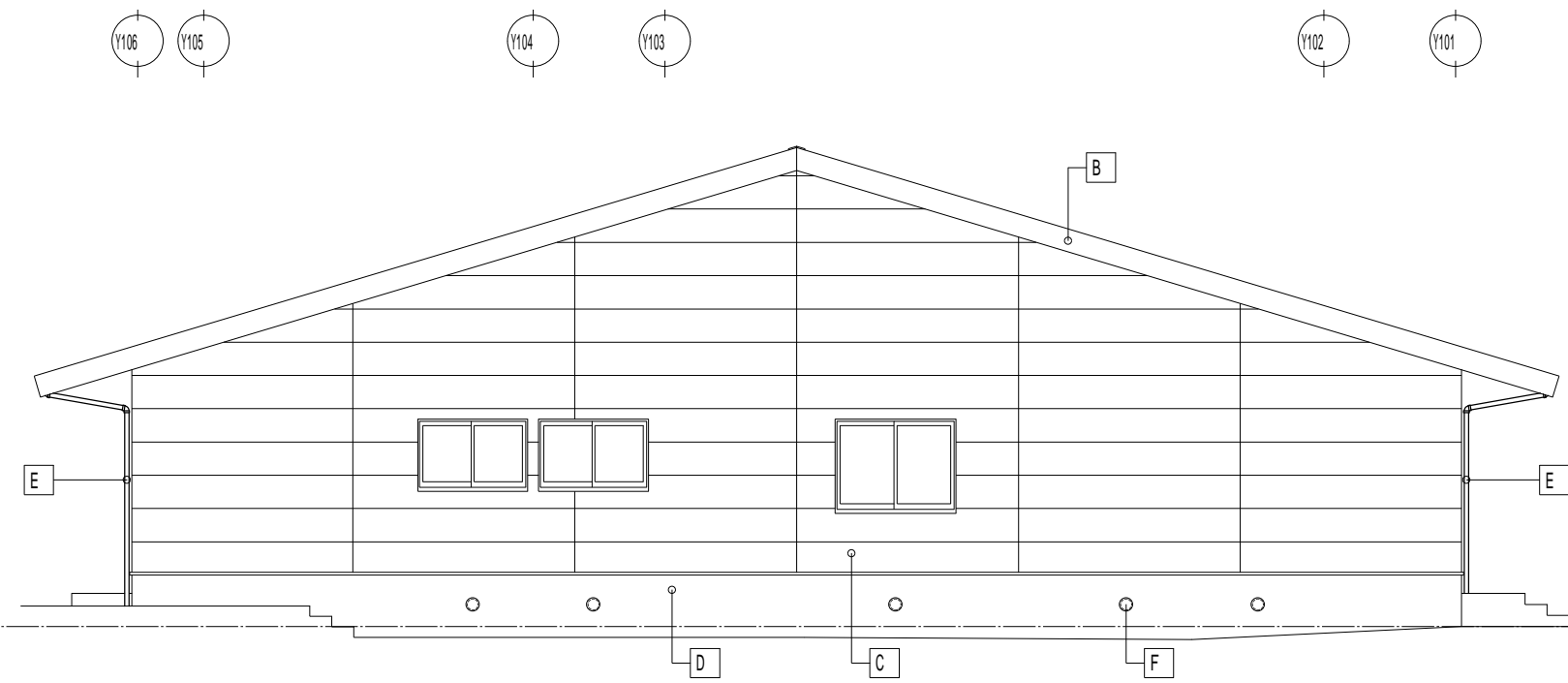
南立面図



東立面図

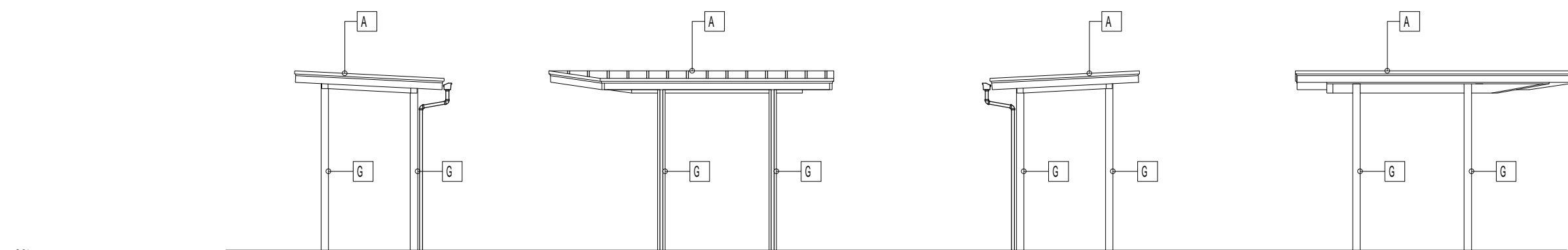


北立面図



西立面図

02 渡り廊下立面図



南立面図

東立面図

北立面図

西立面図

凡例

A	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 嵌合式瓦棒葺	F	床下換気口：SUS製丸形防風板付ベントキャップ(150用、網付)
B	鼻隠し：既製品 鼻隠しパネル(カラーガルバリウム鋼板製) h=300	G	鉄部：2-A S E
C	サイディング t=16(無塗装品、横張りフラットタイプ) 通気金具工法 2-A S E	H	ポスト：W450×H450 上人前出/壁付・防滴タイプ (NASTA/KS-W4B1同等品)
D	コンクリート化粧打ち放し 撥水材 E 塗布		
E	軒樋：着色塩ビ製・鉄芯入り(既製品)、壁樋：着色塩ビ管 SUS 掴み金物共(既製品)		

一級建築士 175279 号

岩瀬 直人

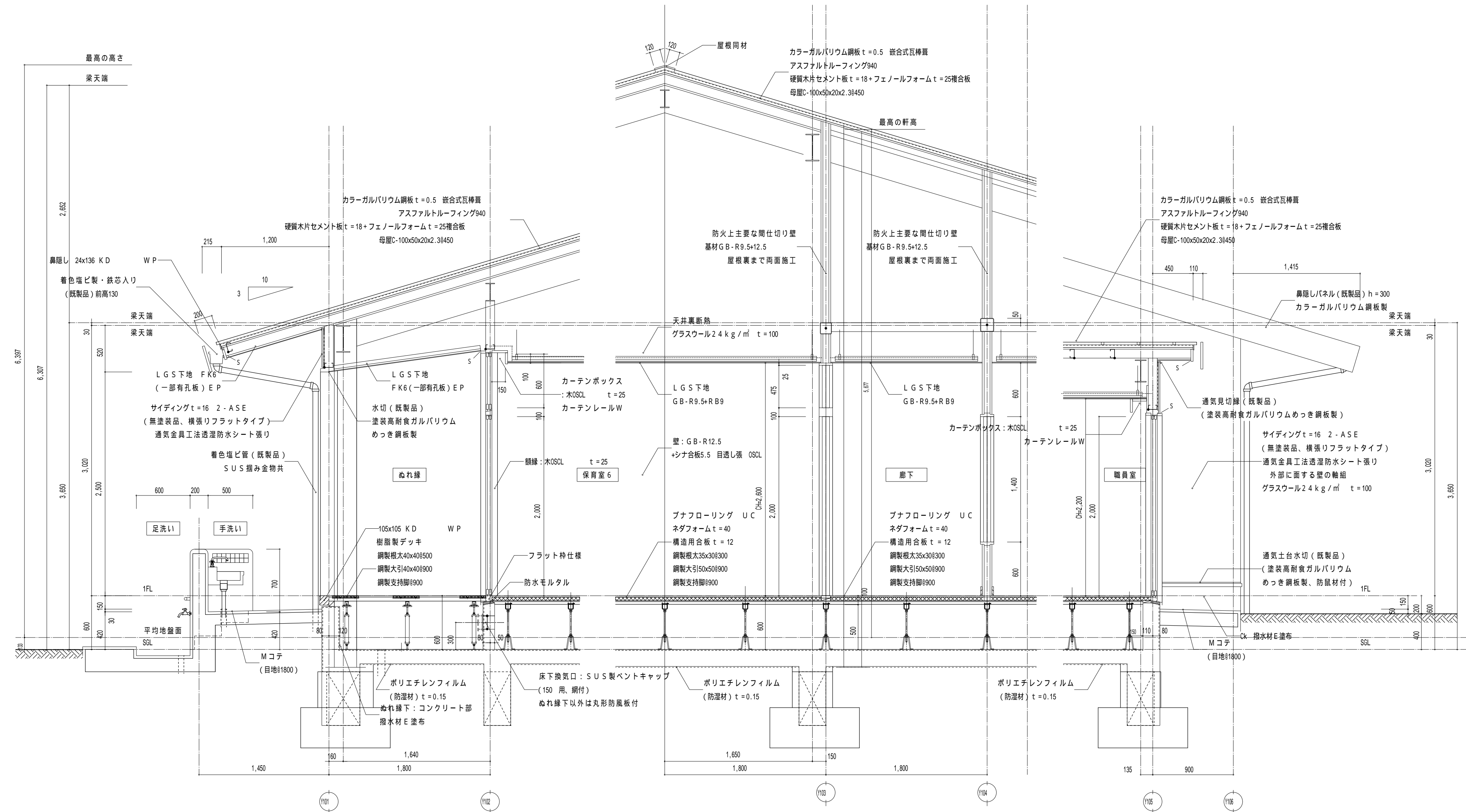
平成 30 年 06 月 日

承認			
----	--	--	--

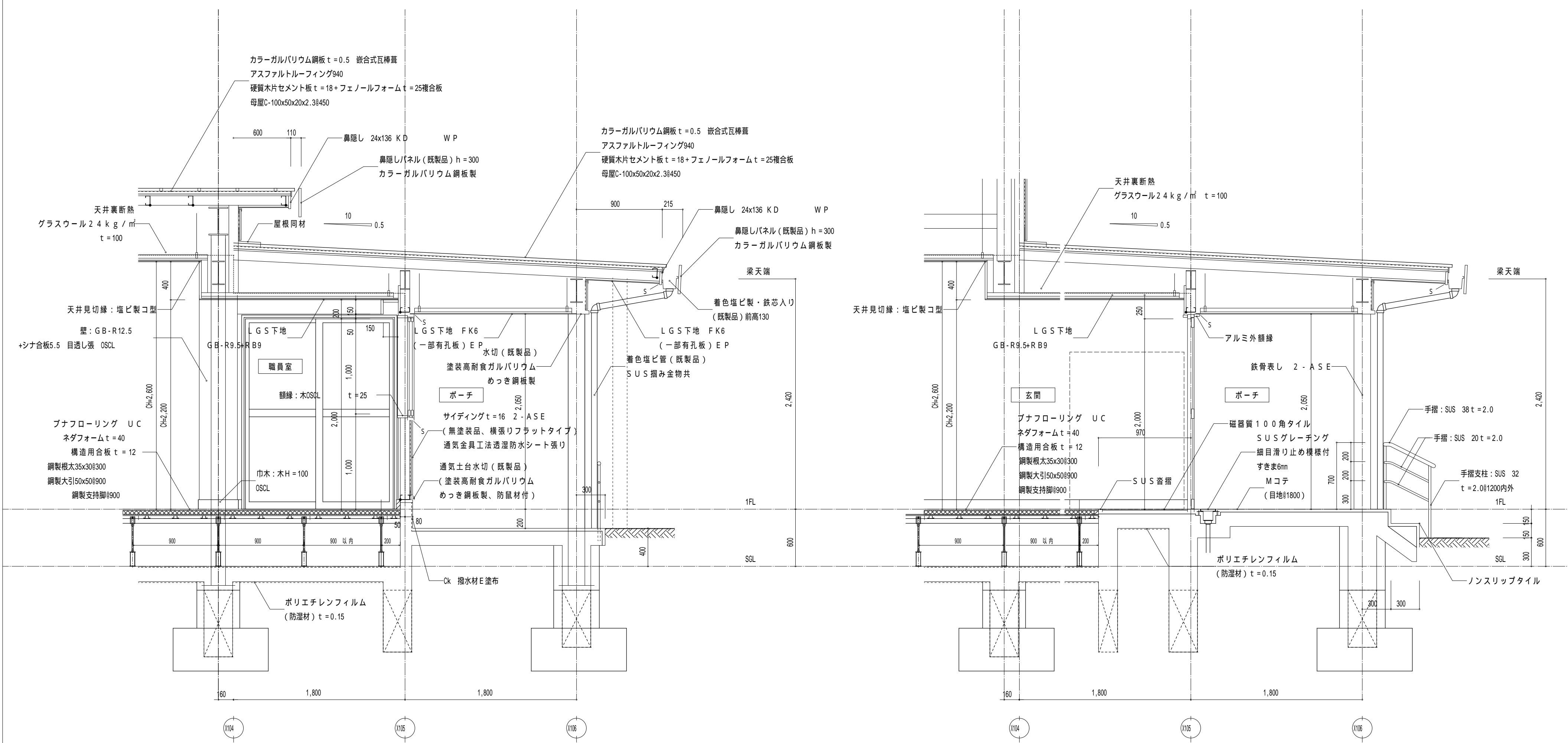
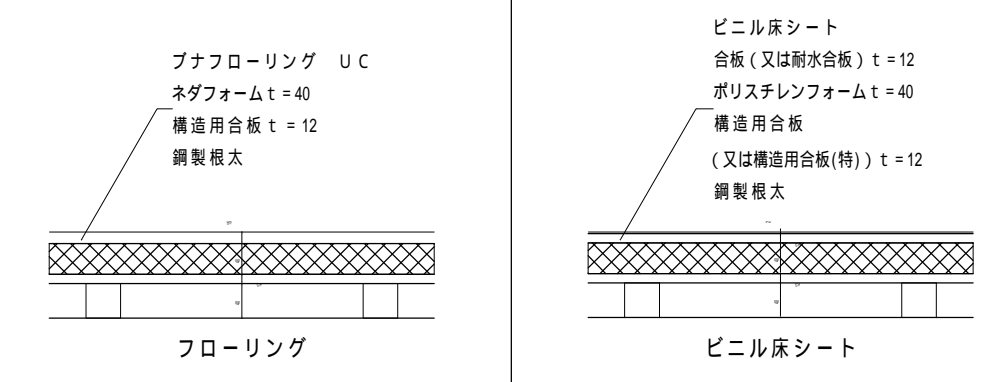
名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

図面 立面図

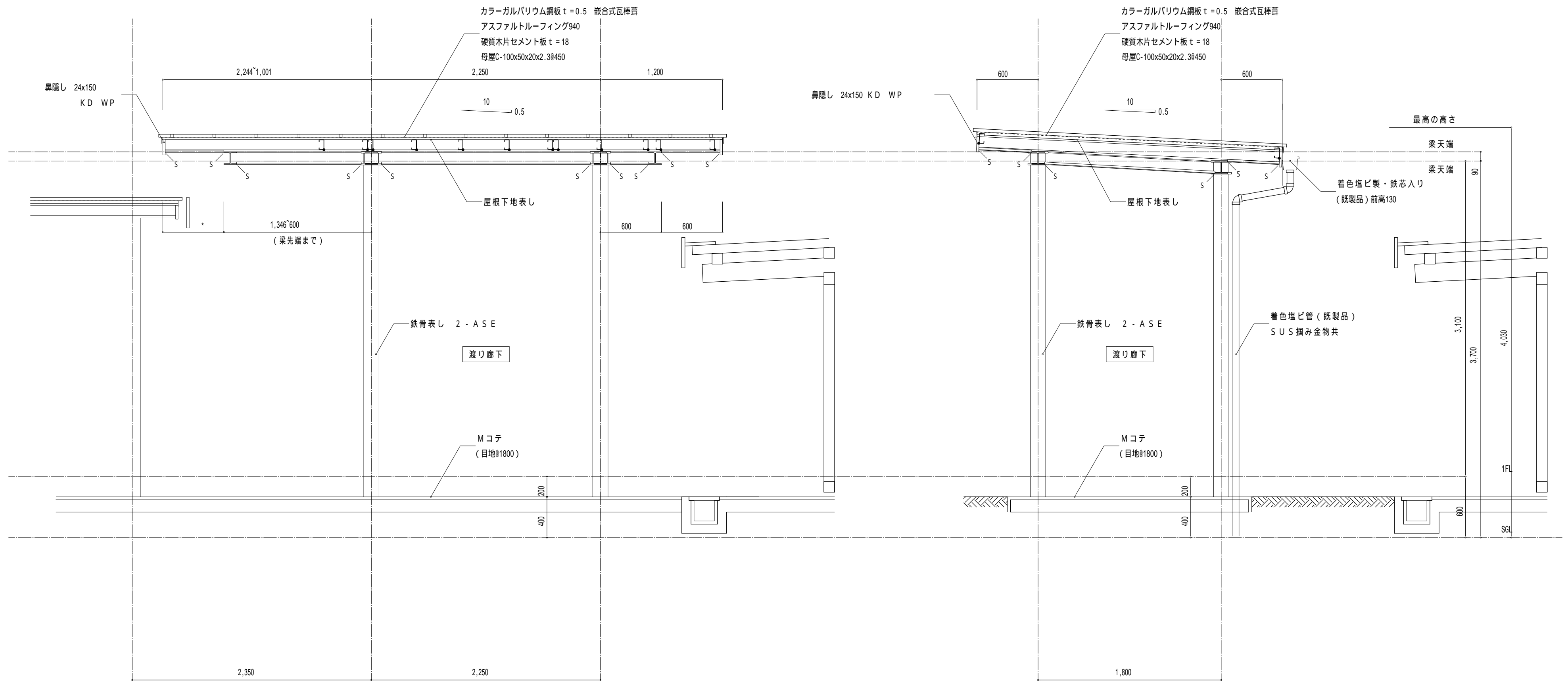
縮尺 A2:1/100 A3:1/150 A-13



床下地凡例	壁下地凡例	— S シーリング	一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事		
C コテ コンクリート金こて	C コンクリート打ちはがし		岩瀬 直人	承認	図面	矩計図-1	縮尺 A2:1/30 A3:1/45
M モルタル下地	C k コンクリート化粧打ち放し						
M コテ モルタル金こて	M モルタル下地						
	M コテ モルタル金こて						
	C コテ コンクリート金こて						A-14

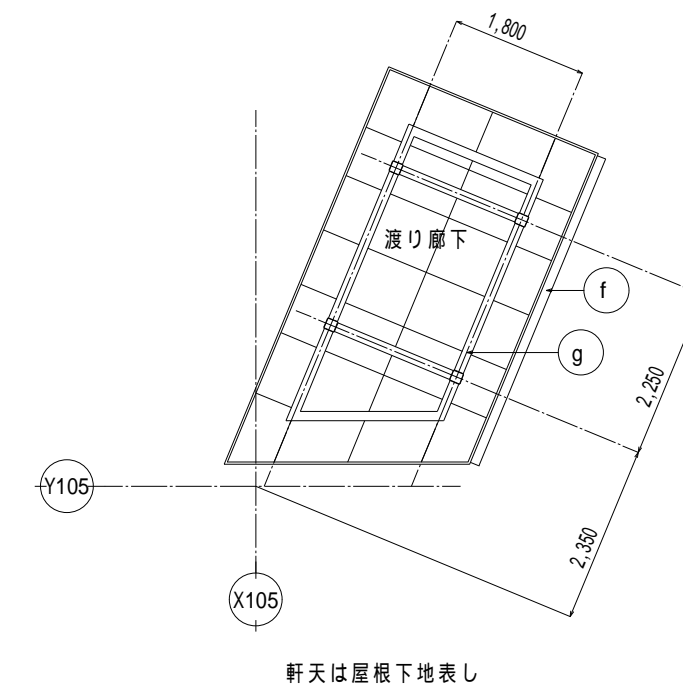
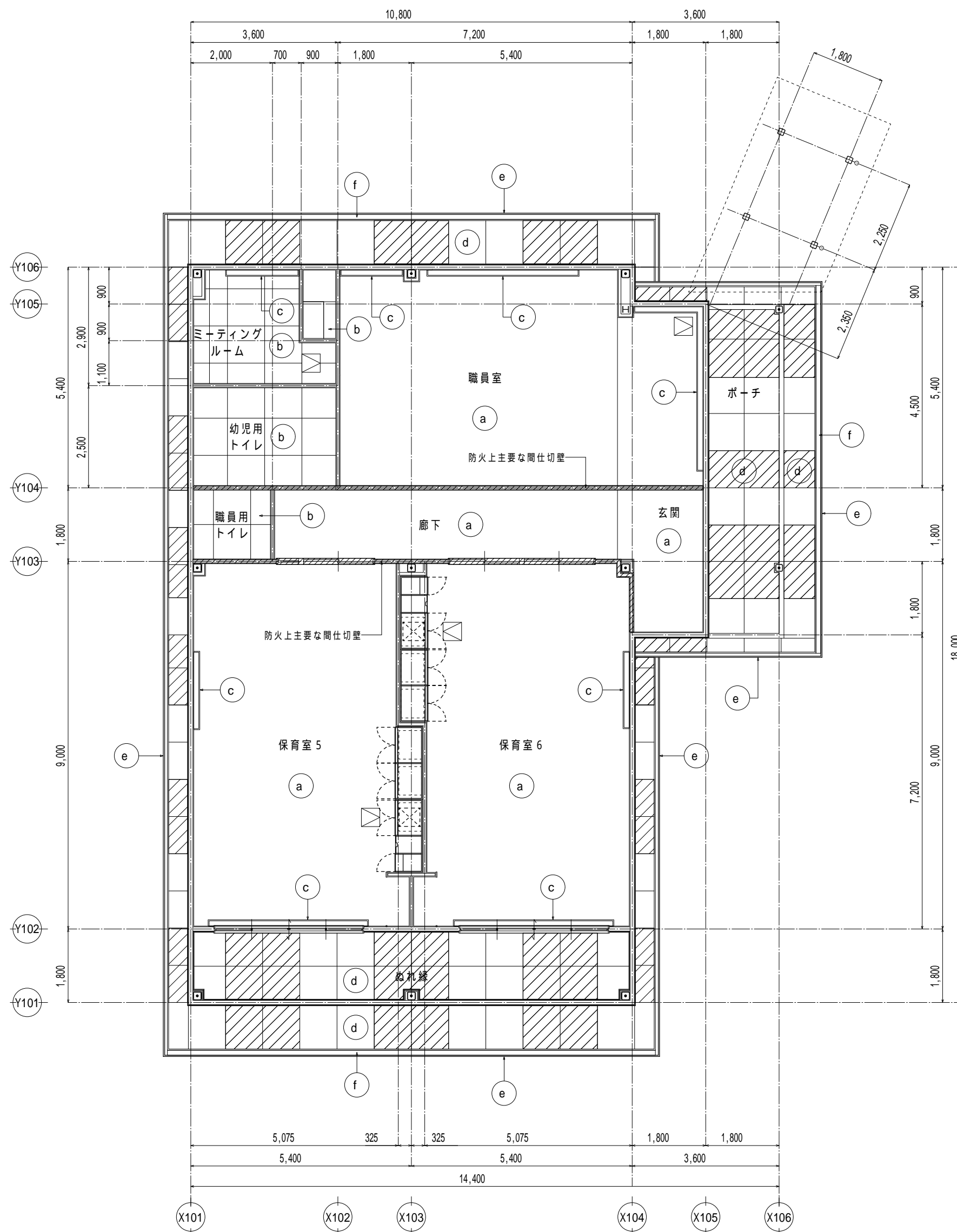
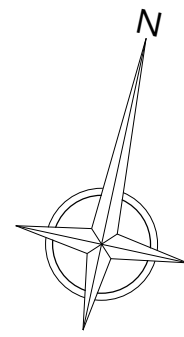


床下地凡例	壁下地凡例	—s シーリング	一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
Cコテ コンクリート金こて	C コンクリート打ちがし		岩瀬 直人	承認	図面
Mコテ モルタル金こて	M モルタル下地			縮尺	
	Mコテ モルタル金こて			A2:1/30	
	Cコテ コンクリート金こて			A3:1/45	
				A-15	



床下地凡例	壁下地凡例	—S— シーリング
Cコテ コンクリート金こて	C コンクリート打ちはがし	
M モルタル下地	Ck コンクリート化粧打ち放し	
Mコテ モルタル金こて	M モルタル下地	
	Mコテ モルタル金こて	
	Cコテ コンクリート金こて	

一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 矩計図-3
		縮尺 A2:1/30 A3:1/45
		A-16



凡例	
(a)	GB-R9.5下地のうえRB9
(b)	GB-D9.5
(c)	カーテンボックス 木OSCL、カーテンレールW
(d)	FK6(一部有孔板) EP
(e)	鼻隠しパネル(カラーガルバリウム鋼板製) h=300
(f)	軒樋:着色塩ビ製・鉄芯入り(既製品)
(g)	鉄骨表し 2-ASE
	FK6有孔板を示す
	天井点検口450角 計4ヶ所 取り付け位置は現場指示

防火上主要な間仕切り壁の基材はGB-R9.5+12.5(準耐火構造 告示1358)とし、屋根裏まで基材ボードを両面施工する。

一級建築士 175279 号

岩瀬 直人

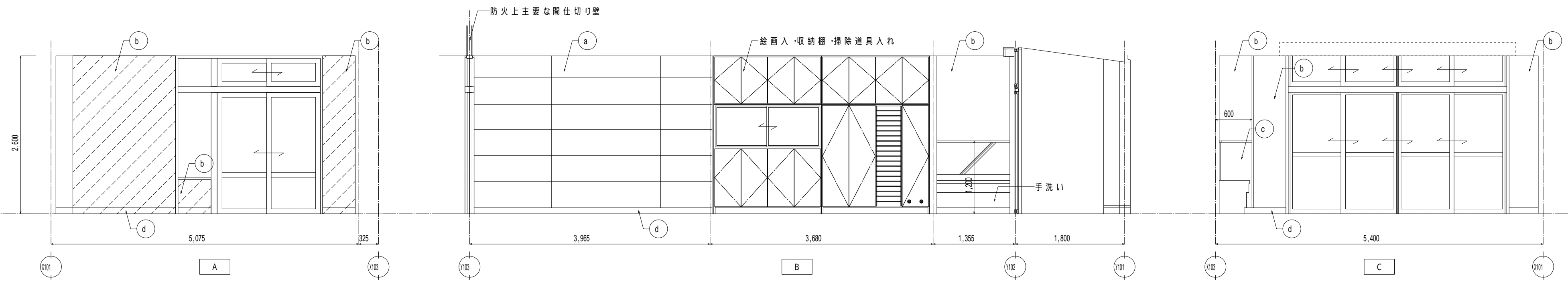
平成 30 年 06 月 日

承認			
----	--	--	--

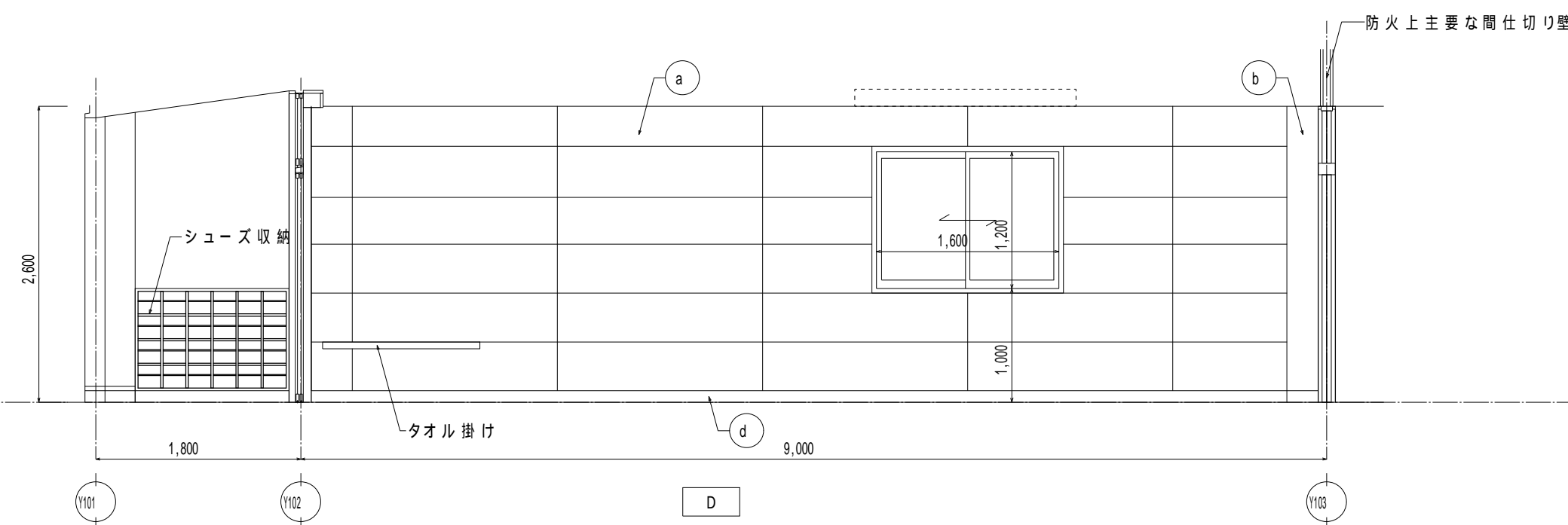
名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

図面	縮尺	
天井伏図	A2:1/100	A-17
	A3:1/150	

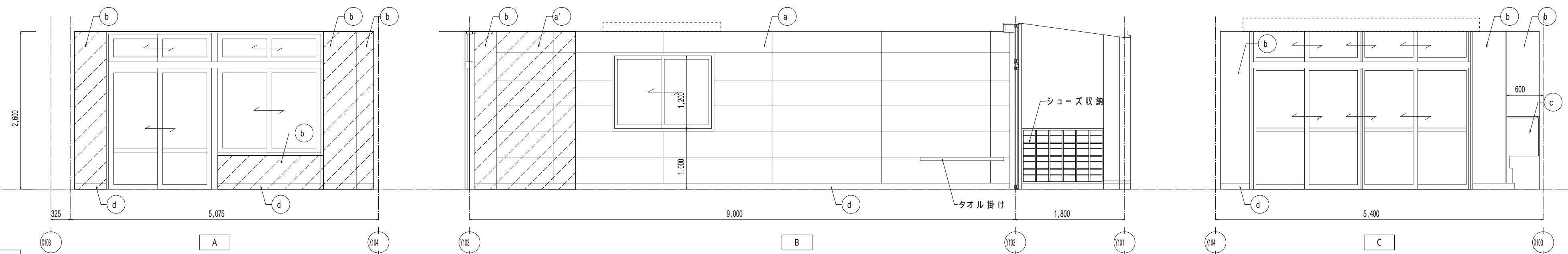
保育室 5 展開図



保育室 5 展開図



保育室 6 展開図



凡例

(a)	GB-R12.5下地のうえ シナ合板5.5 目透し張 OSCL	(b')	GB-R12.5下地のうえEP	(e)	ビニル巾木(H=60)
(a')	GB-R9.5+12.5下地のうえ シナ合板5.5 目透し張 OSCL	(c)	GB-S12.5下地のうえ化粧FK6		
(b)	GB-R9.5+12.5下地のうえEP	(d)	木巾木OSCL(H=100)		防火上主要な間仕切り壁の基材は、GB-R9.5 +12.5とし、屋根裏まで基材がードを両面施工する。

一級建築士 175279 号
岩瀬 直人

平成 30 年 06 月 日

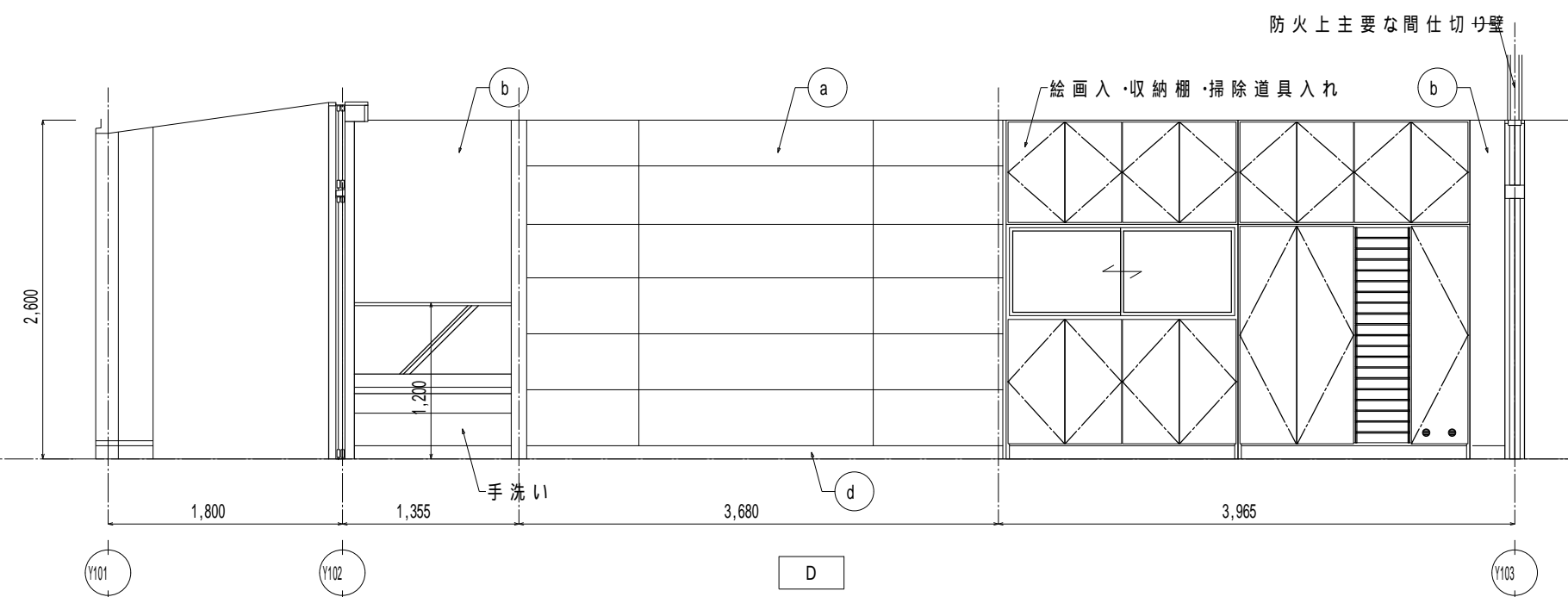
承認

名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

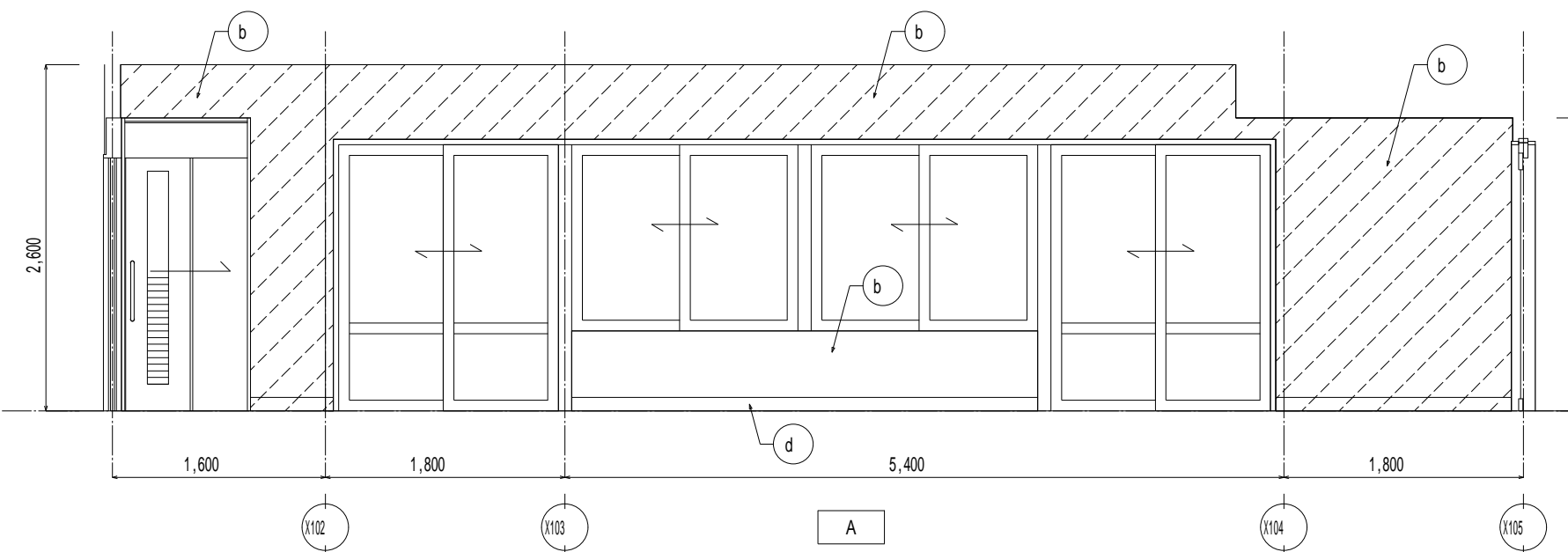
図面 展開図-1

縮尺
A2:1/50
A3:1/75
A-18

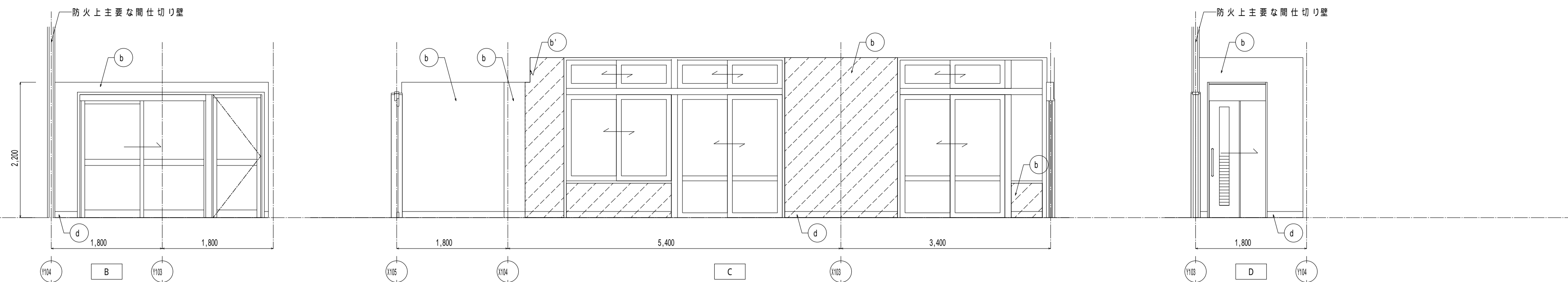
保育室 6 展開図



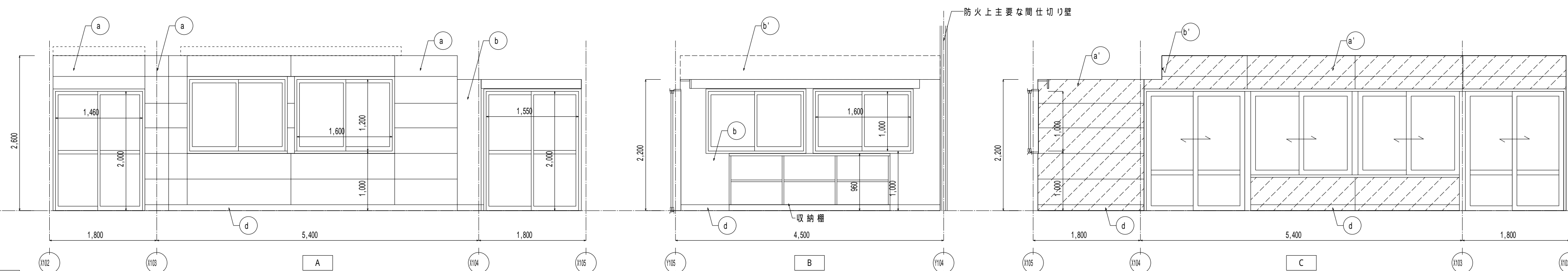
廊下 展開図



廊下 展開図



職員室 展開図



凡例

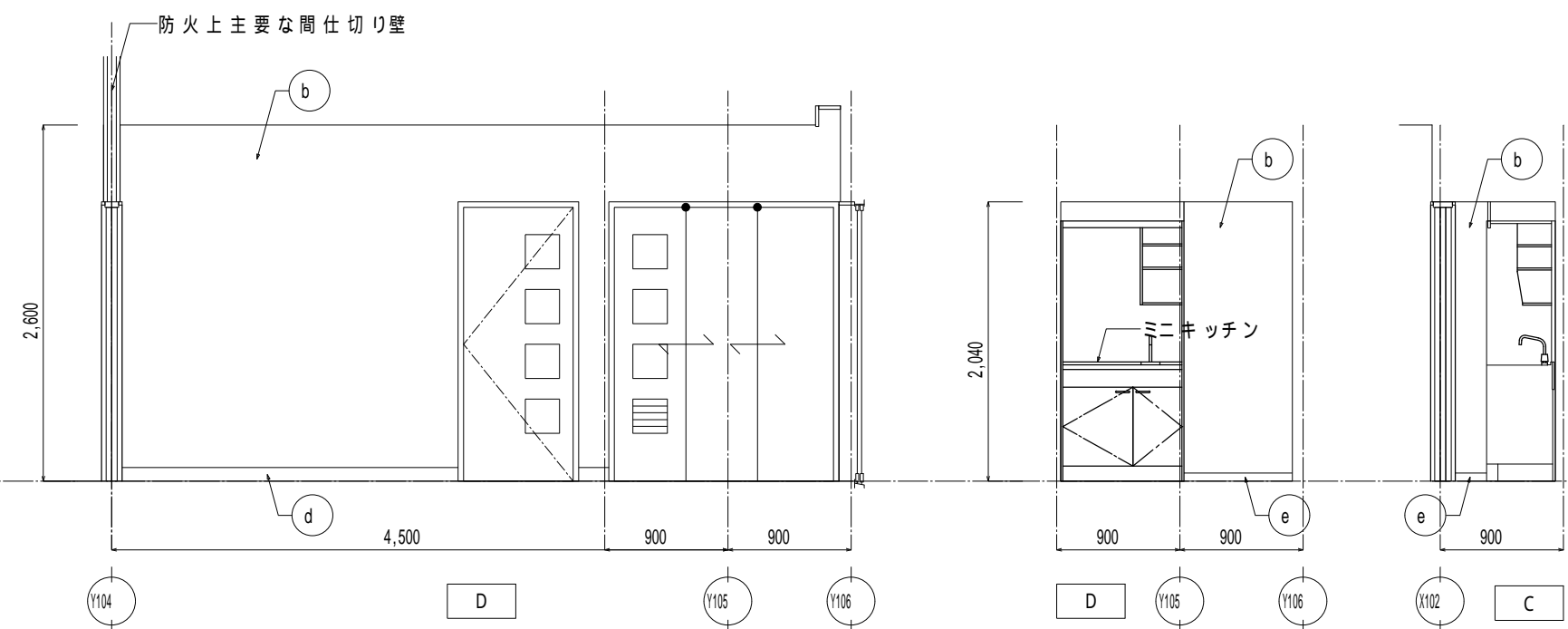
(a)	GB-R12.5下地のうえ シナ合板5.5 目透し張 OSCL	(b')	GB-R12.5下地のうえEP	(e)	ビニル巾木(H=60)
(a')	GB-R9.5+12.5下地のうえ シナ合板5.5 目透し張 OSCL	(c)	GB-S12.5下地のうえ化粧FK6		
(b)	GB-R9.5+12.5下地のうえEP	(d)	木巾木OSCL(H=100)		防火上主要な間仕切り壁の基材は、GB-R9.5 +12.5とし、屋根裏まで基材ボードを両面施工する。

一級建築士 175279 号
岩瀬 直人

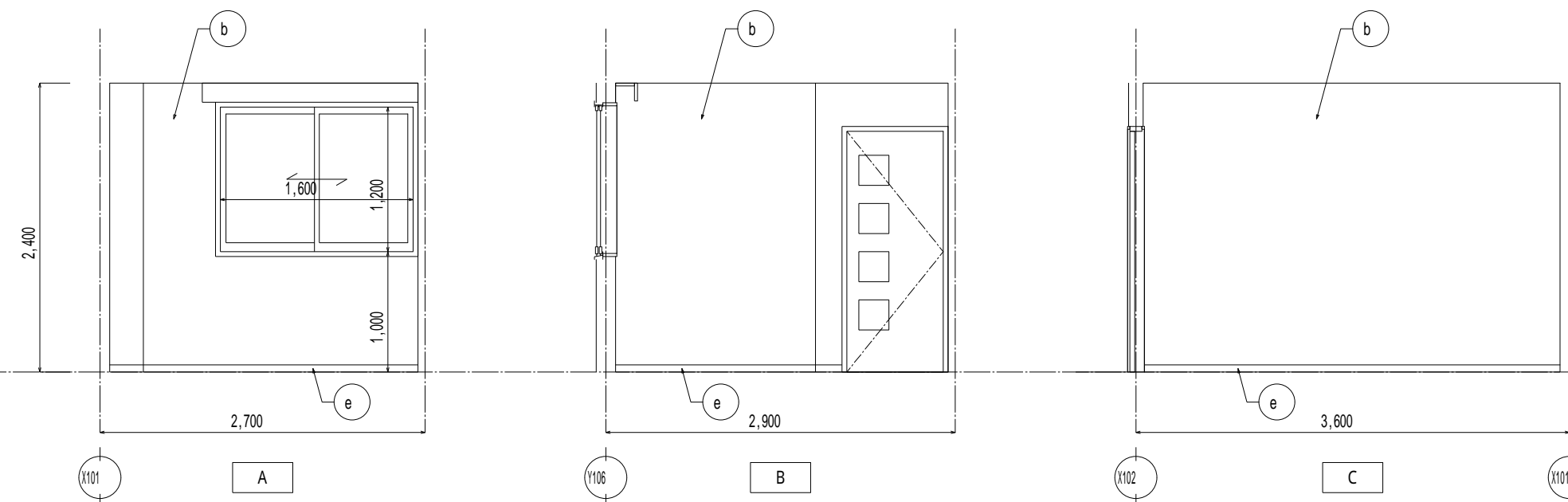
平成 30 年 06 月 日
承認

名称 可見市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
図面 展開図-2
縮尺 A2:1/50
A3:1/75
A-19

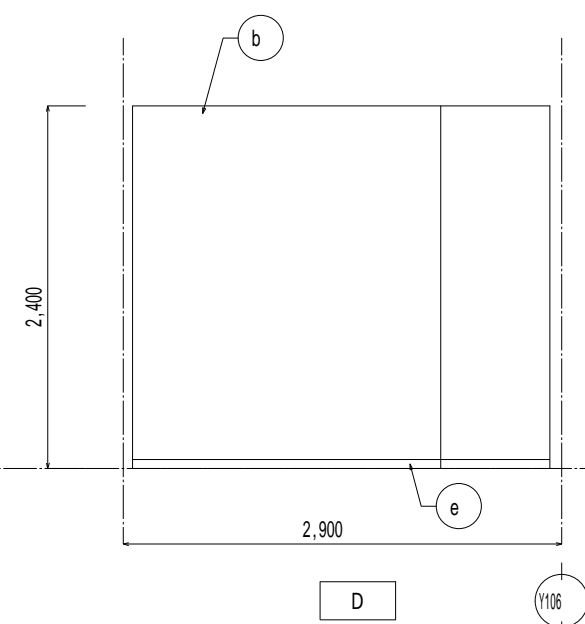
職員室 展開図



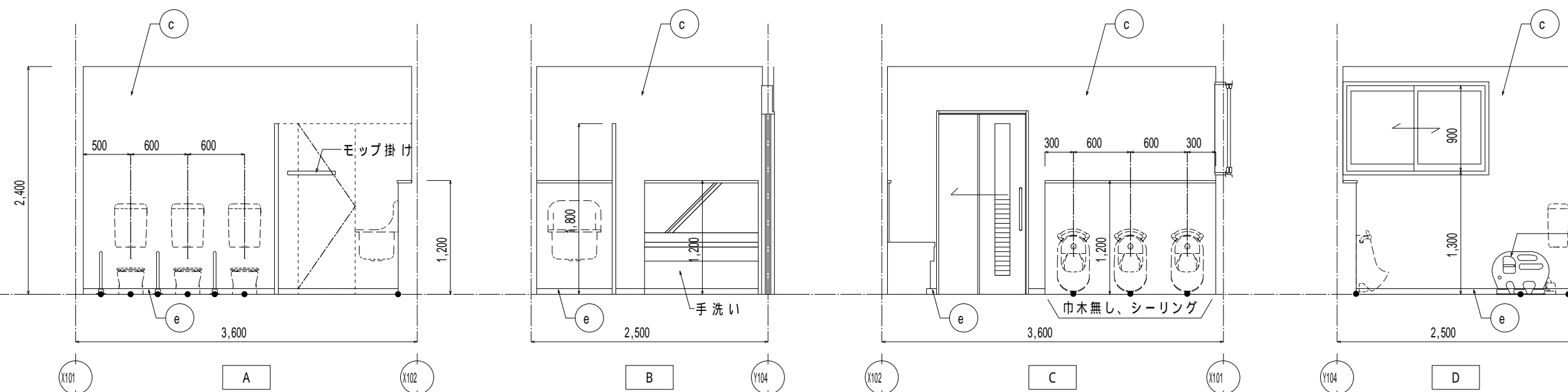
ミーティングルーム 展開図



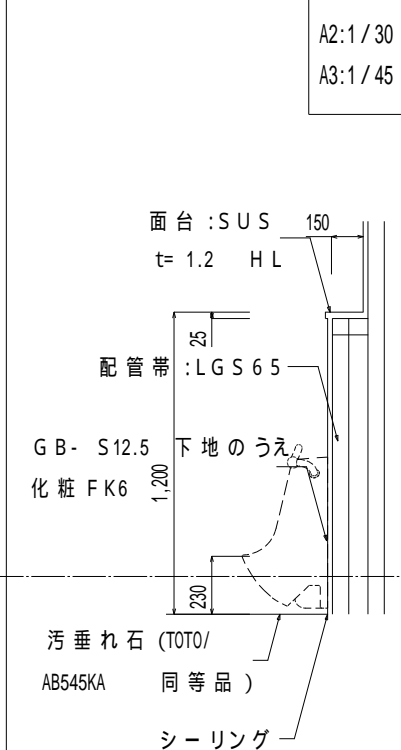
ミーティングルーム 展開図



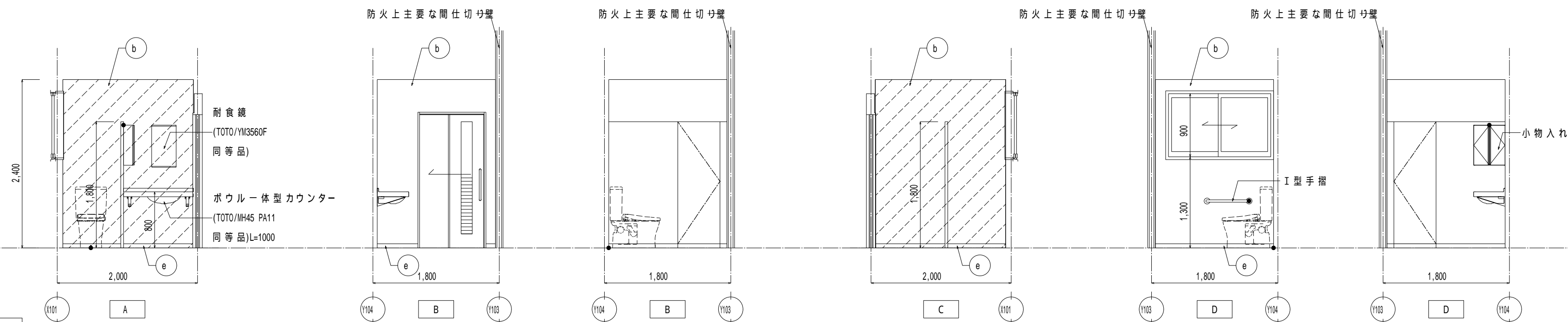
幼児用トイレ 展開図



ライニング詳細図



職員用トイレ 展開図



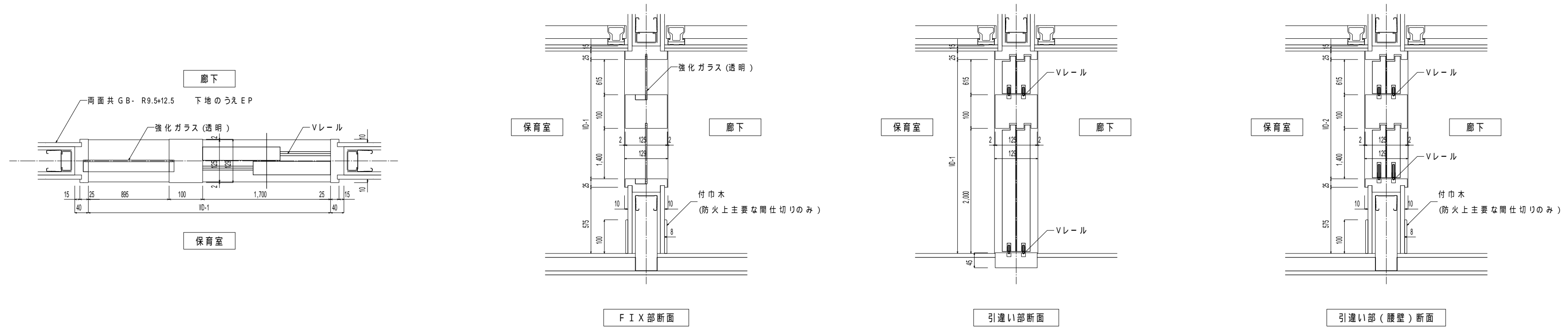
凡例

a	G B-R12.5下地のうえ シナ合板5.5 目透し張 OSCL	b'	G B-R12.5下地のうえE P	e	ビニル巾木(H=60)
a'	G B-R9.5+12.5下地のうえ シナ合板5.5 目透し張 OSCL	c	G B-S12.5下地のうえ化粧FK6		
b	G B-R9.5+12.5下地のうえE P	d	木巾木OSCL(H=100)		防火上主要な間仕切り壁の基材は、G B-R9.5 +12.5とし、屋根裏まで基材ボードを両面施工する。

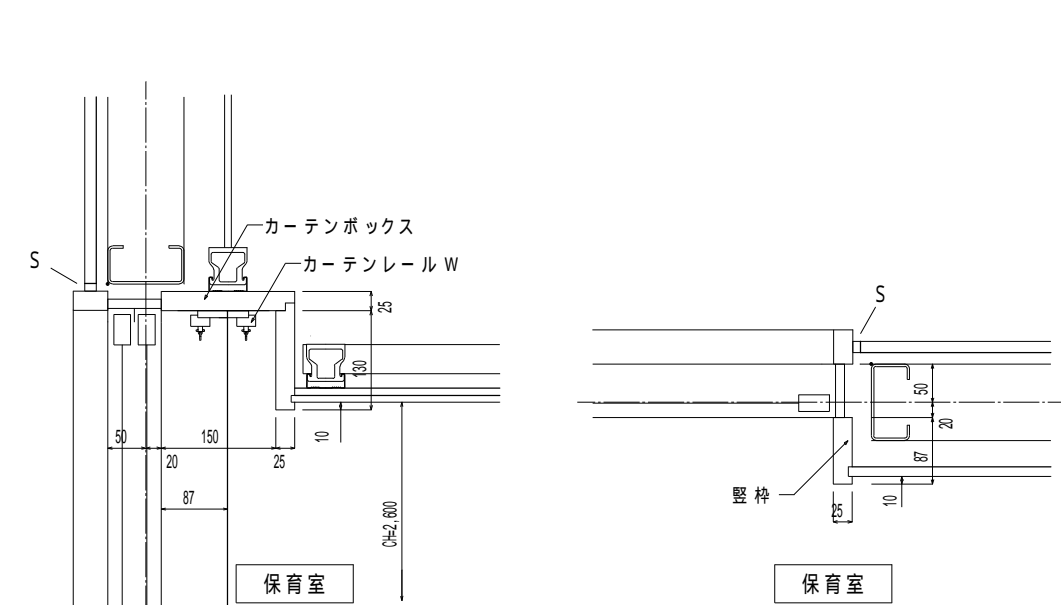
一級建築士 175279 号
岩瀬 直人
平成 30 年 06 月 日

名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
図面 展開図-3
縮尺 A2:1/50 A3:1/75
A-20

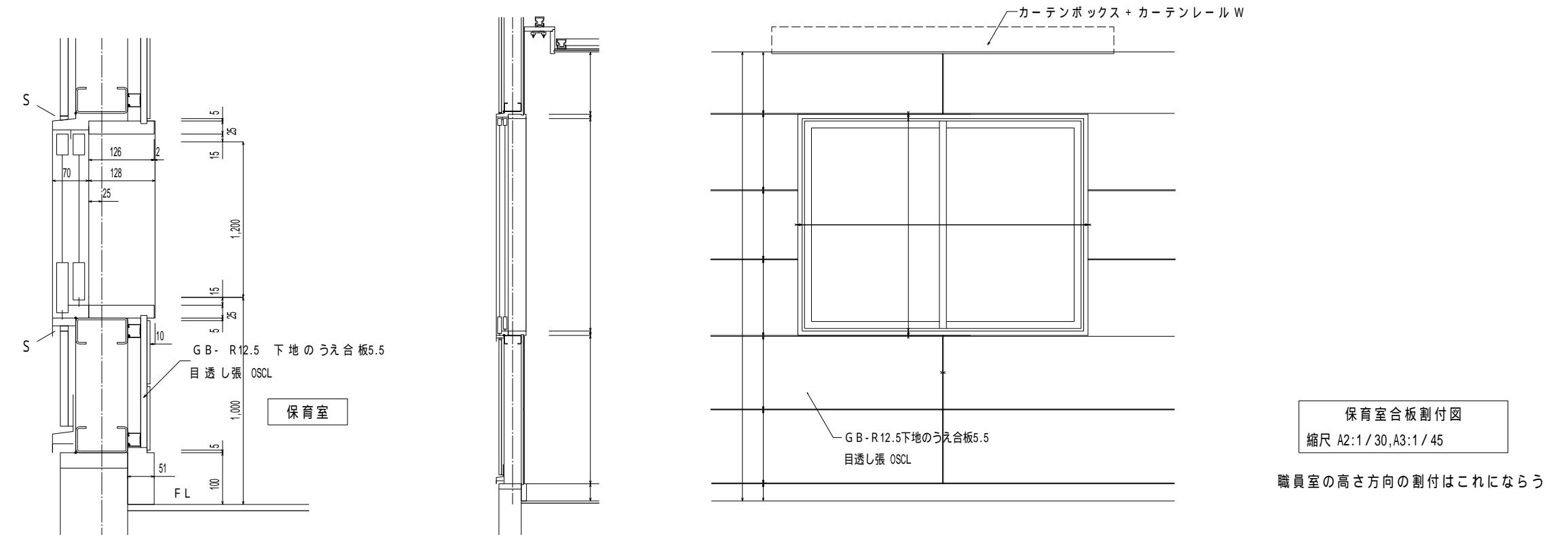
01 木製枠、巾木詳細図 (WD - 1, 2まわり)



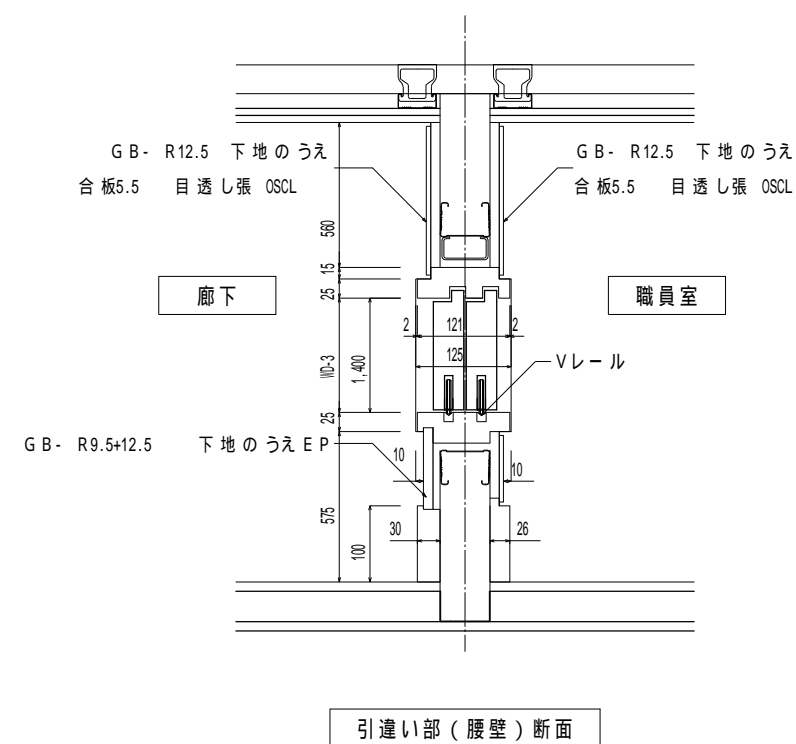
02 木製枠、カーテンボックス詳細図 (AW - 1まわり)



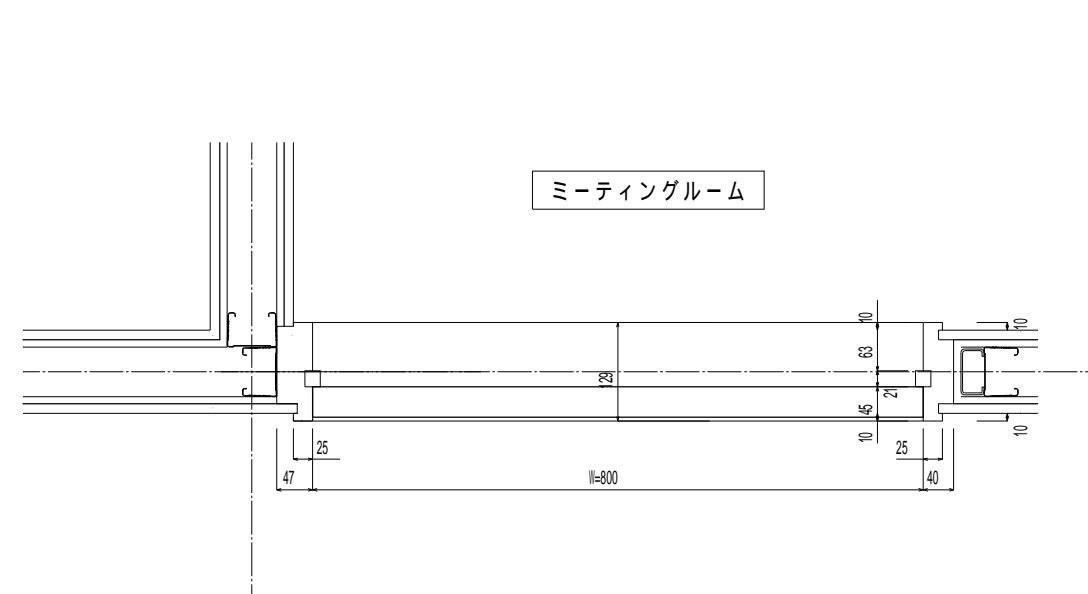
03 木製枠、巾木詳細図 (AW - 3まわり)



04 木製枠詳細図 (WD - 3まわり)



05 木製枠詳細図 (WD - 4まわり)



—S シーリング
 □ 木部:米松積層材 OSCL

一級建築士 175279 号
 岩瀬 直人

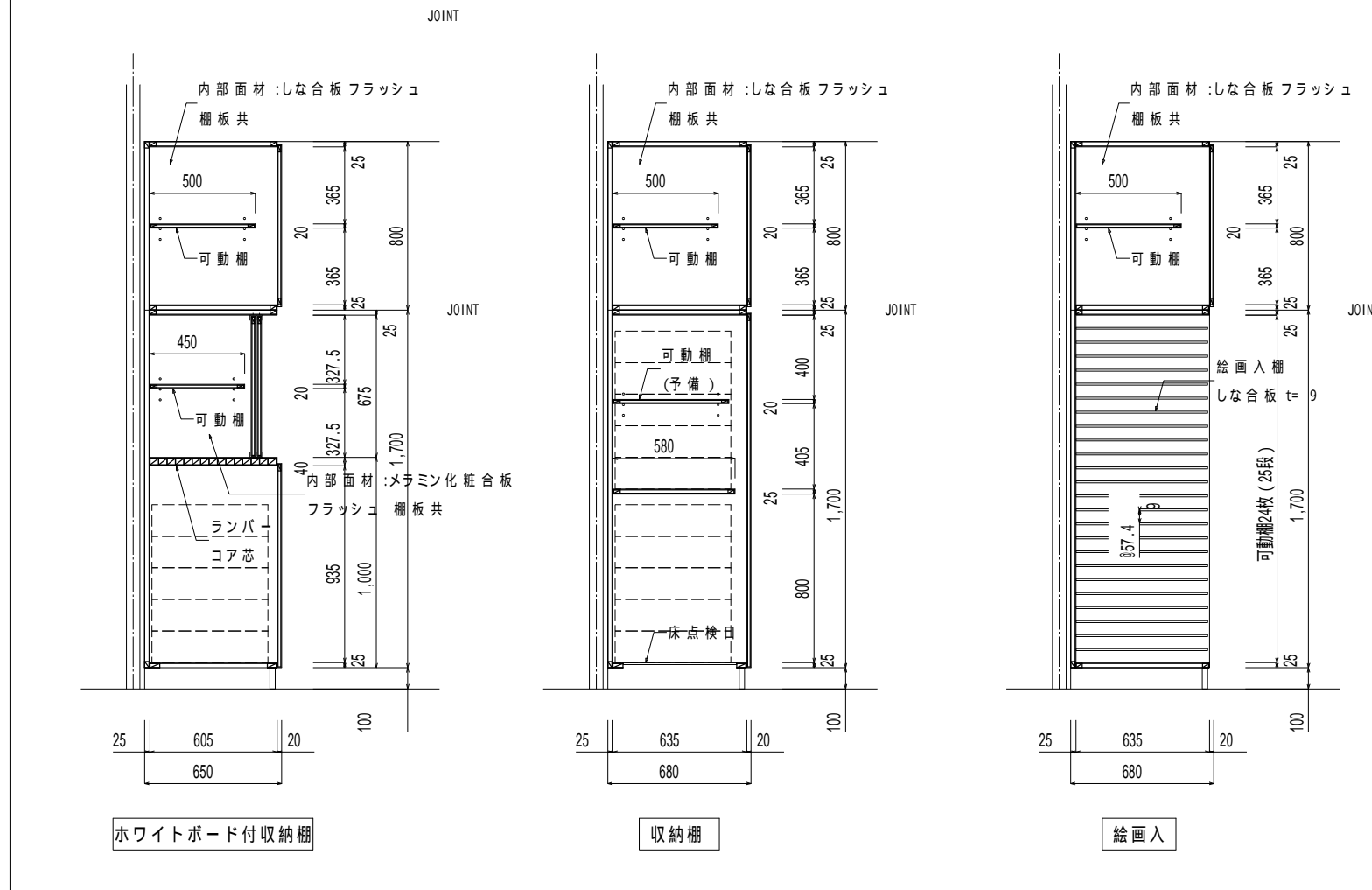
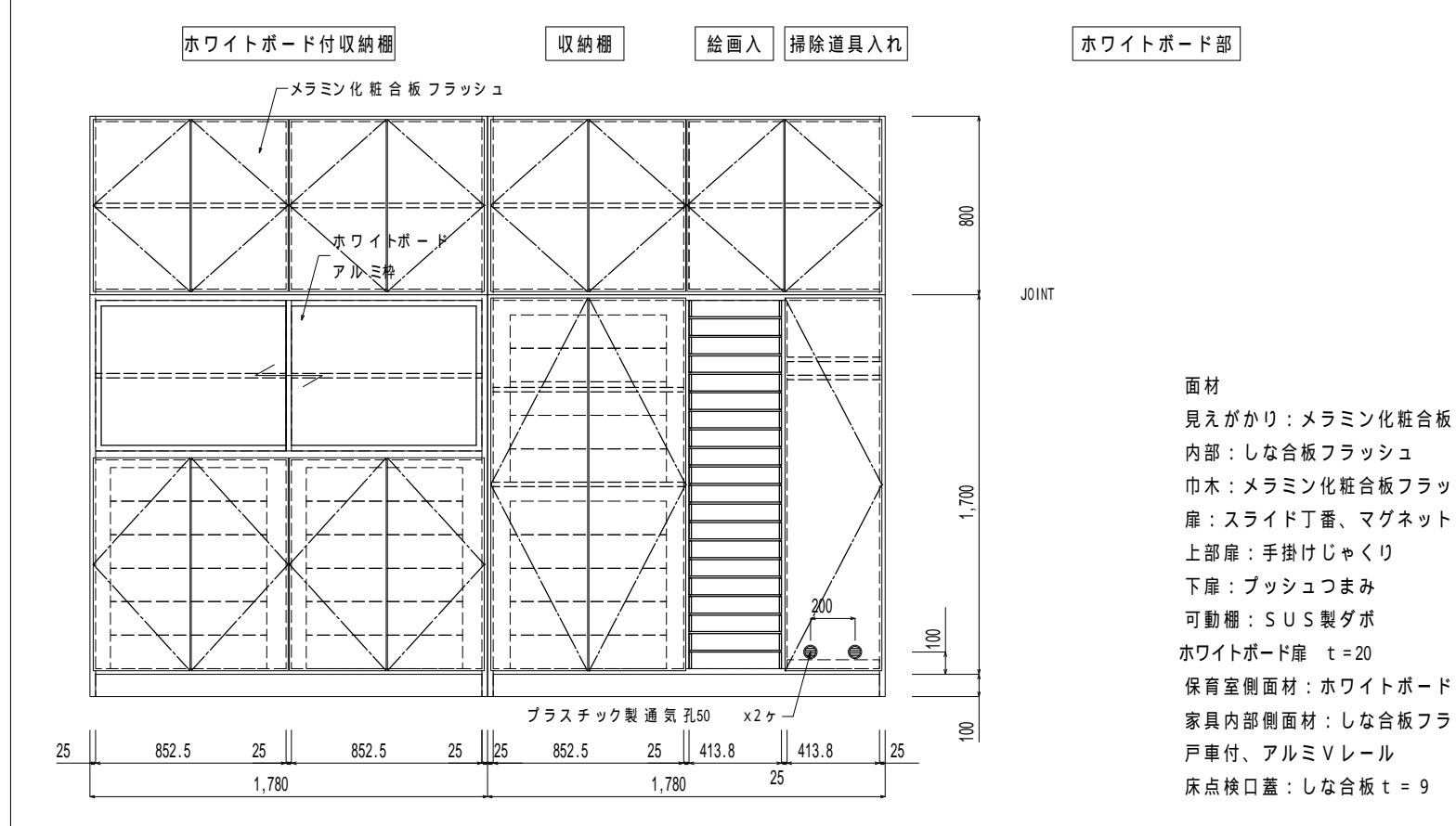
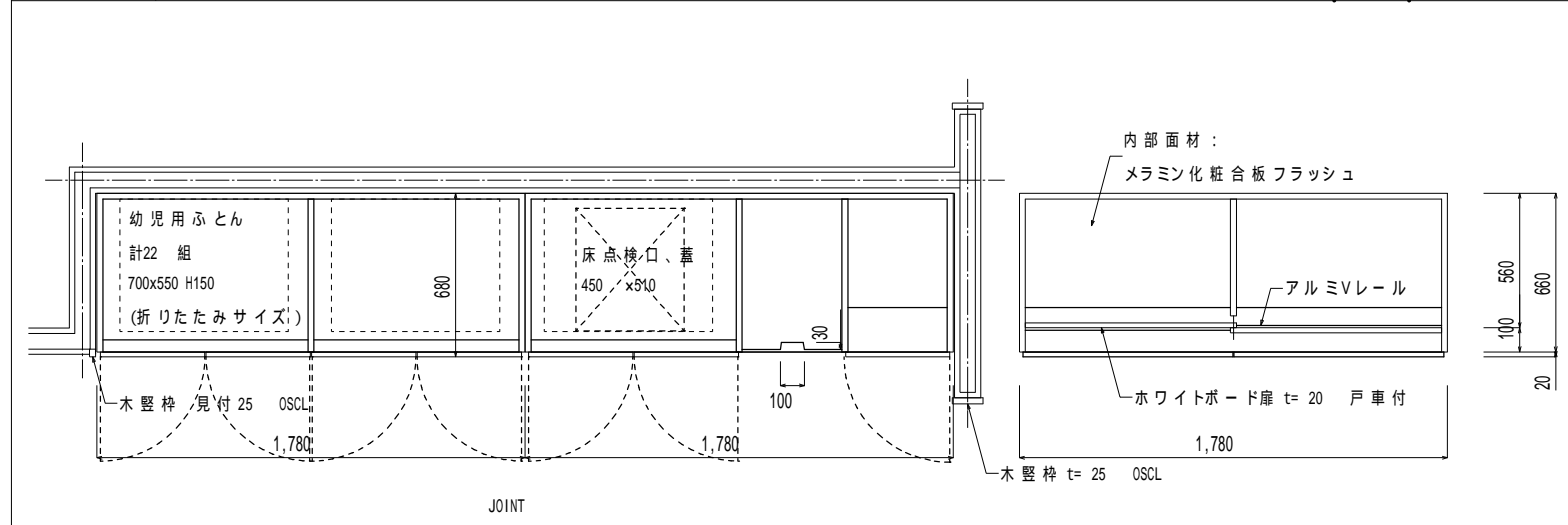
平成 30 年 06 月 日

名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

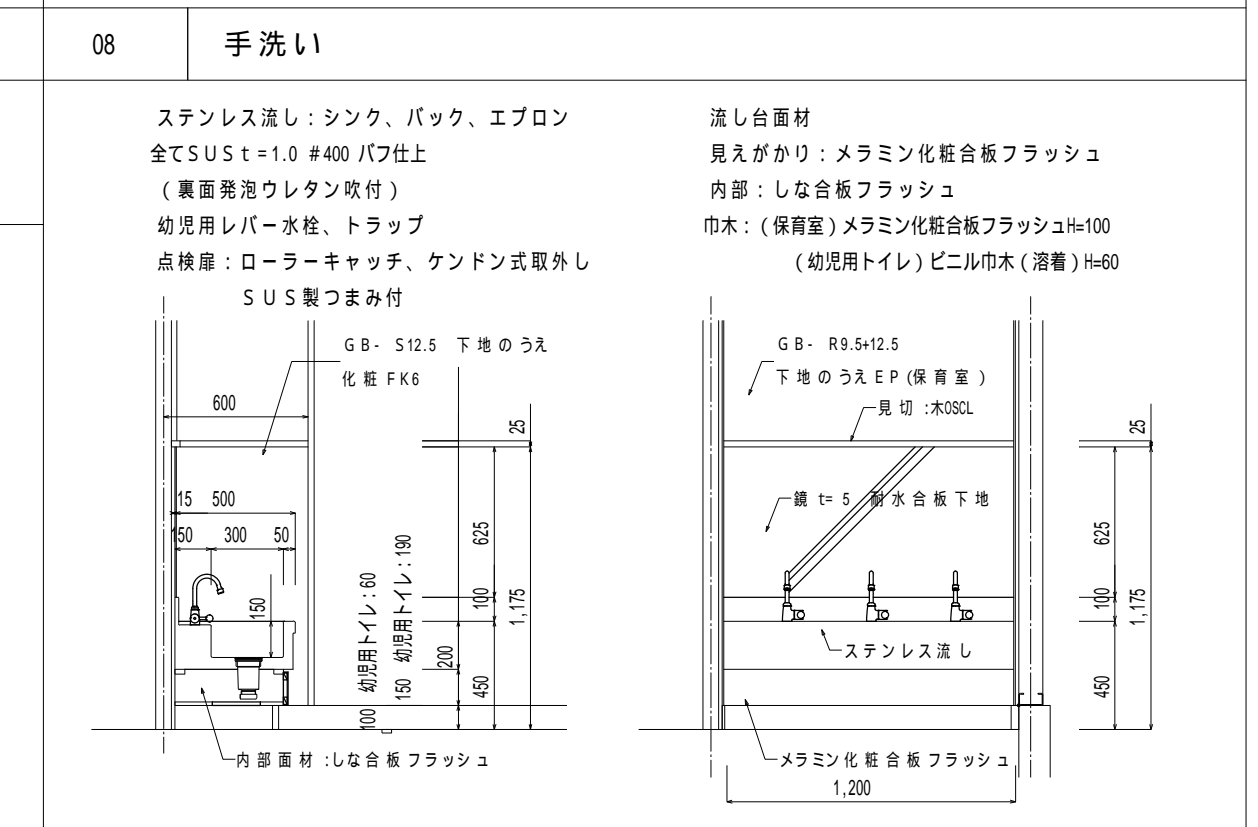
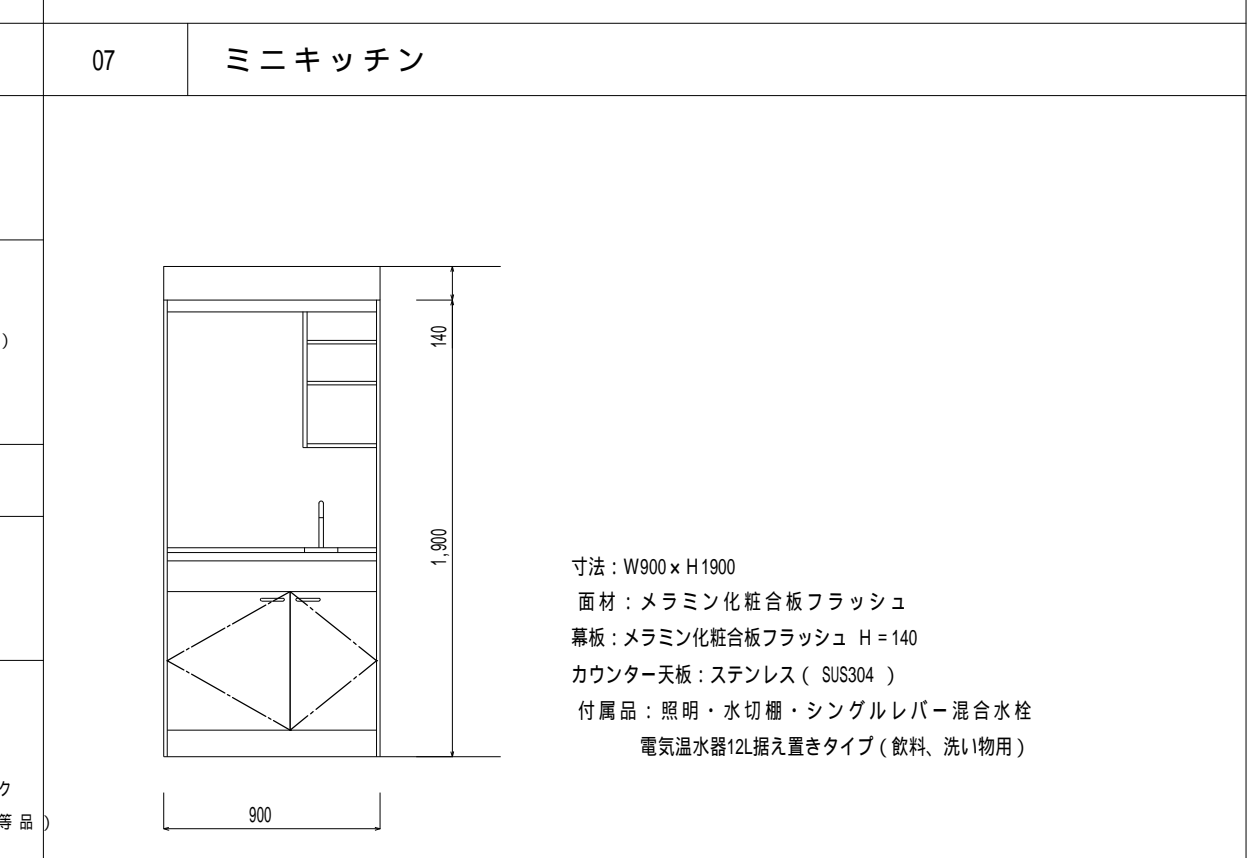
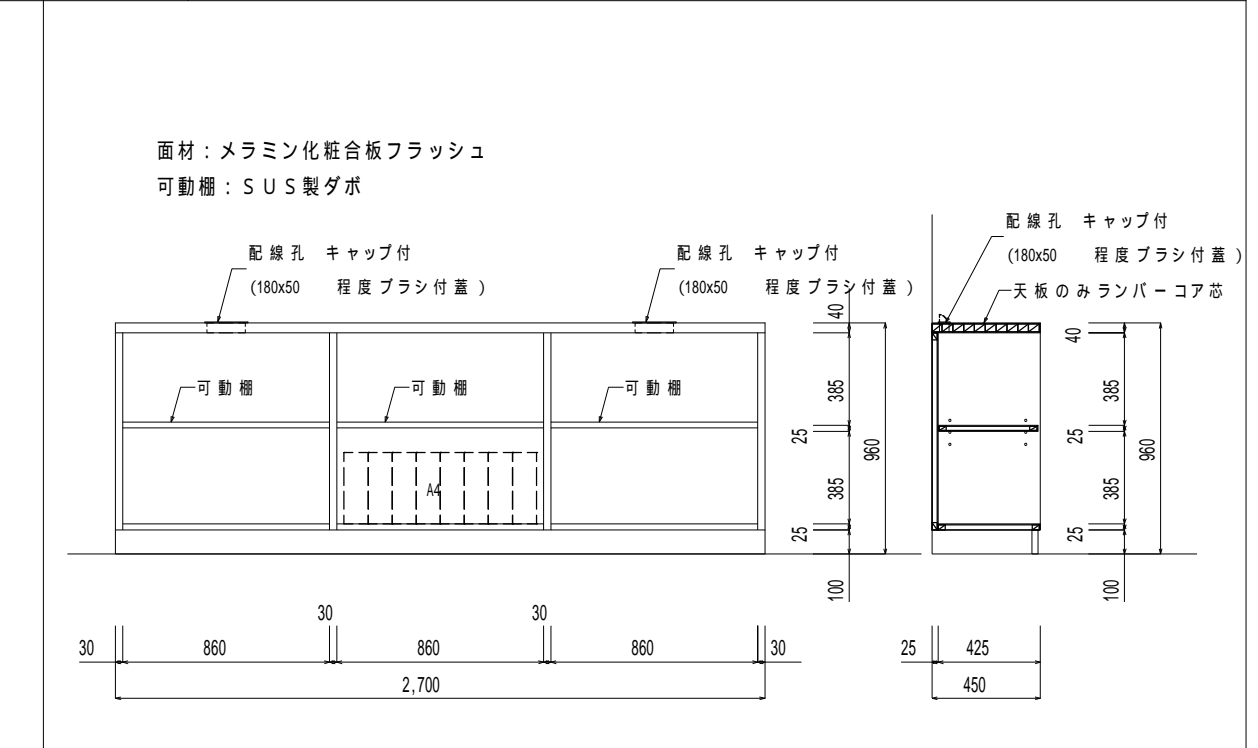
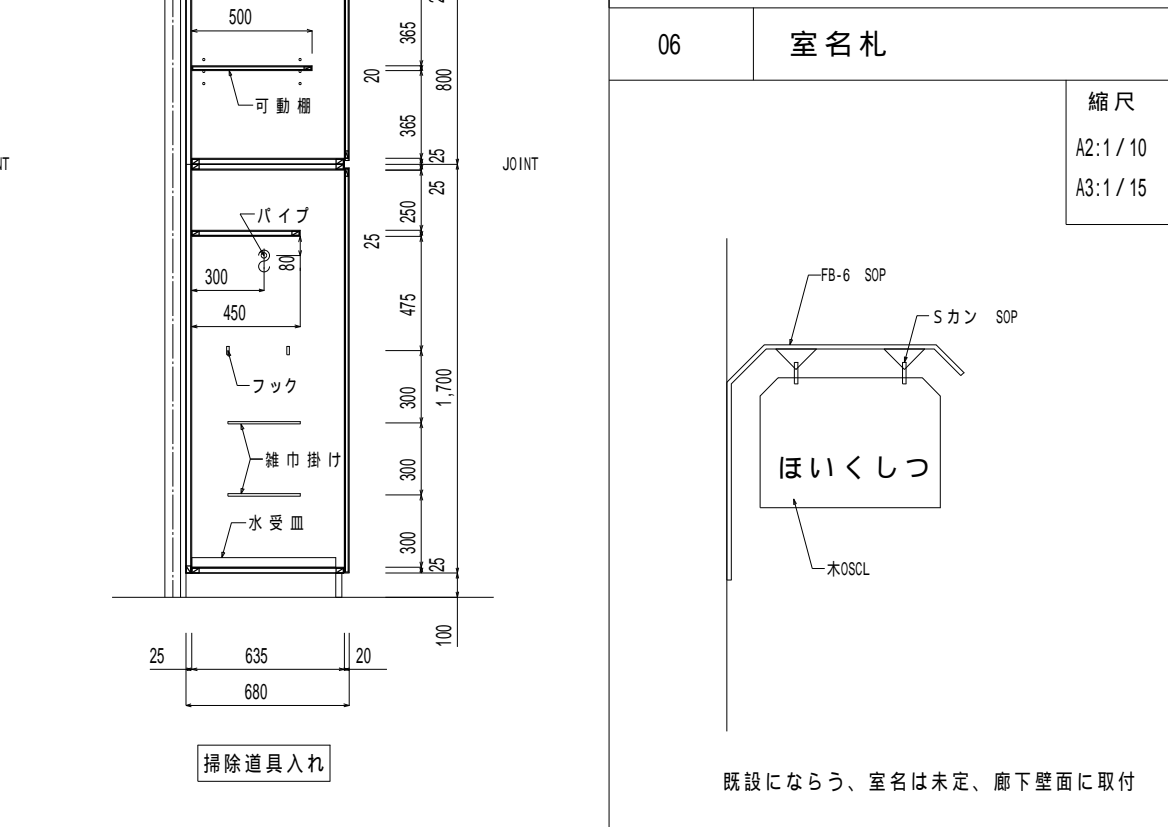
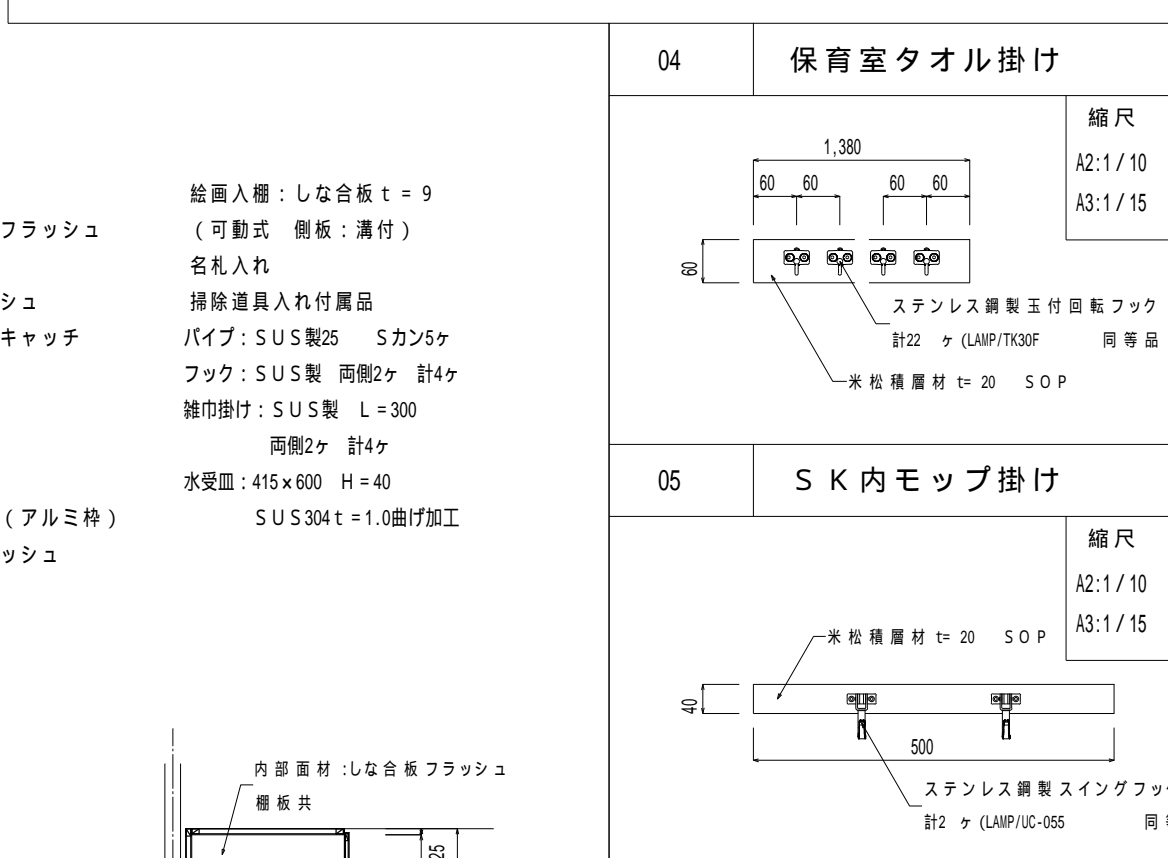
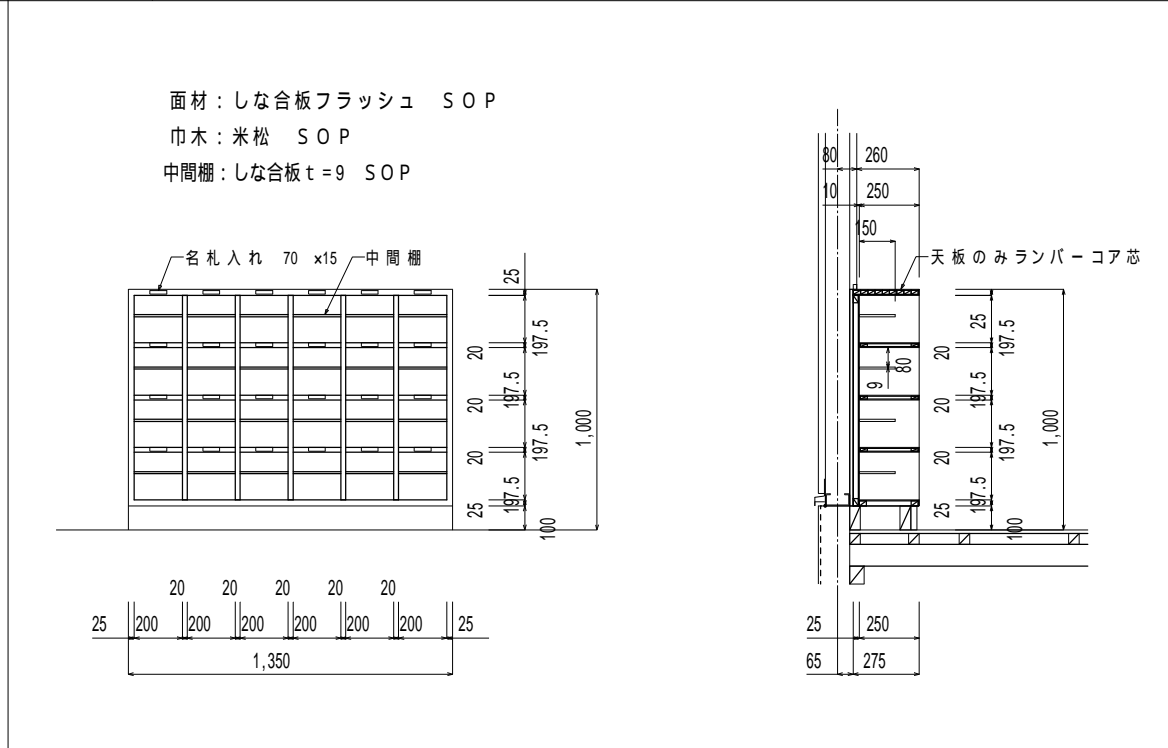
図面 木部詳細図

縮尺 A2:1/10
 A3:1/15
 A-21

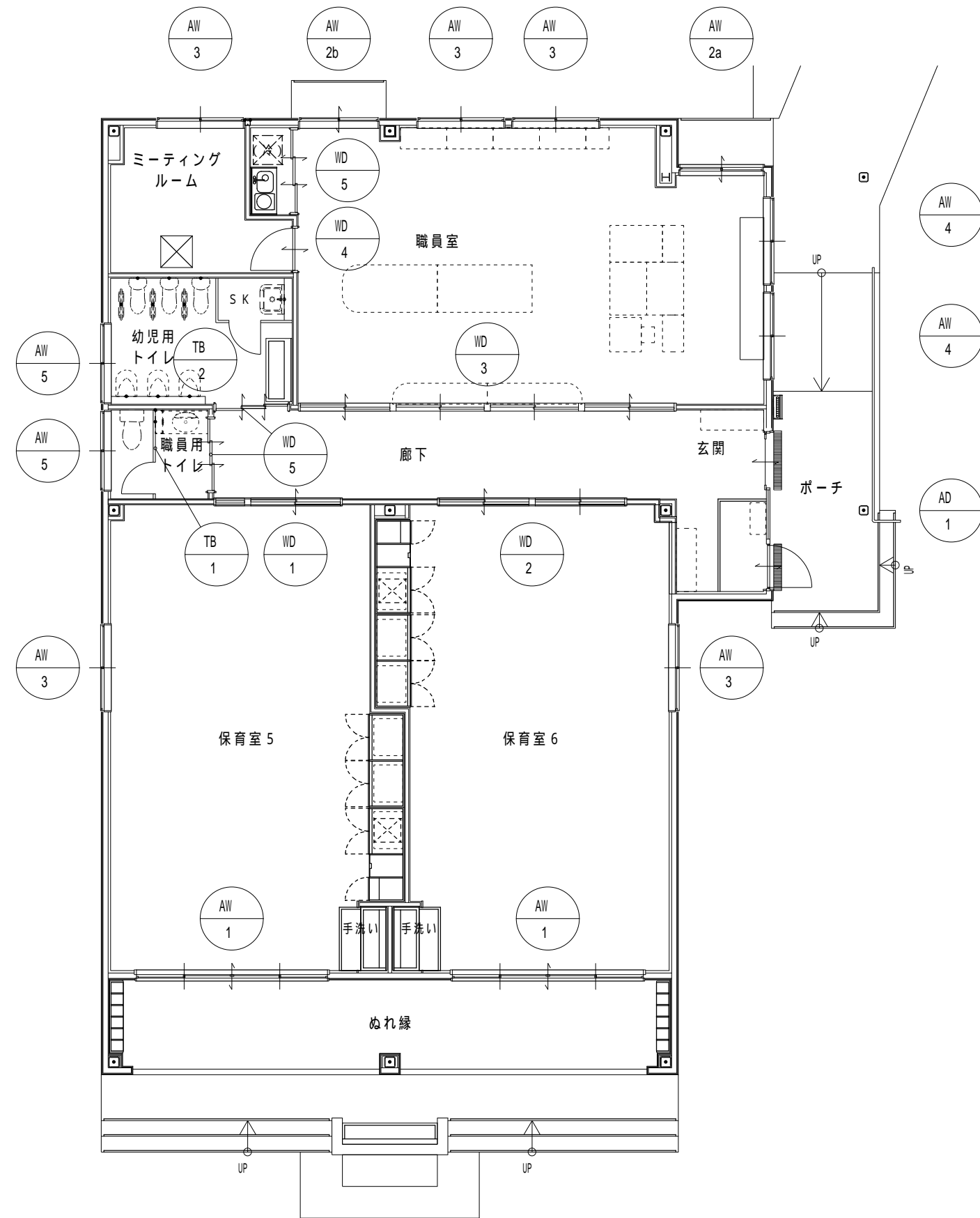
01	保育室 絵画入・収納棚・掃除道具入れ	02	シューズ収納 (幼児用) 24人分	03	職員室収納棚
----	--------------------	----	-------------------	----	--------



面材
見えがかり: メラミン化粧合板フラッシュ
内部: しな合板フラッシュ
巾木: メラミン化粧合板フラッシュ
扉: スライド丁番、マグネットキャッチ
上部扉: 手掛けじゃくり
下部扉: プッシュつまみ
可動棚: SUS製タボ
ホワイトボード厚 t=20
保育室側面材: ホワイトボード (アルミ枠)
家具内部側面材: しな合板フラッシュ
戸車付、アルミVレール
床点検口蓋: しな合板 t=9



一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 詳細図
		縮尺 A2:1/30 A3:1/45
		A-22



本表の適用は次の記号による。
 ○印を適用し、・印は適用しない。
 ○印のないものは、○印を適用する。
 ○印と○印のあるものは、両方適用する。

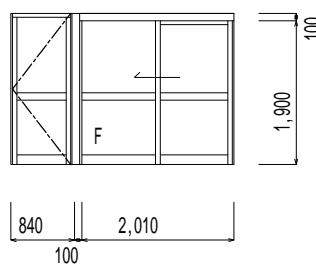
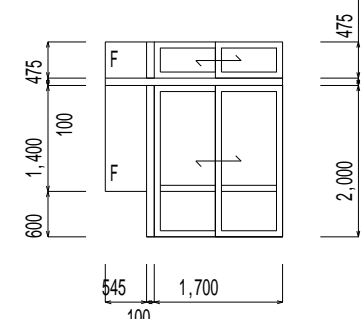
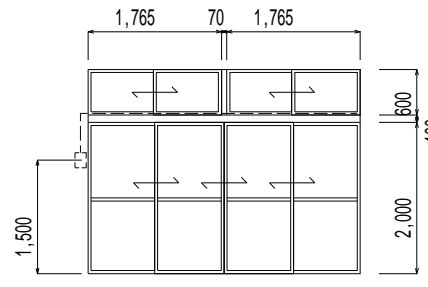
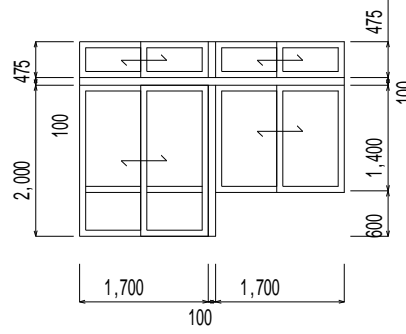
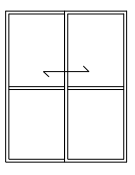
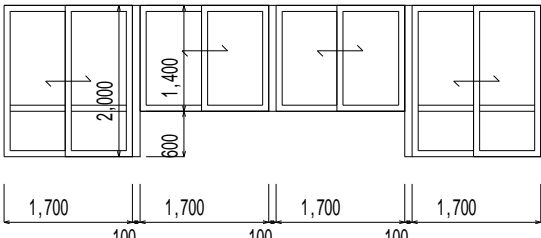
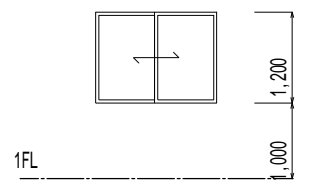
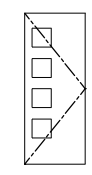
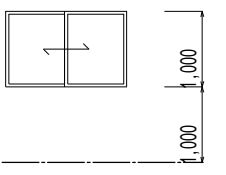
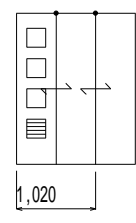
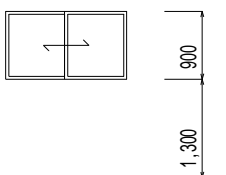
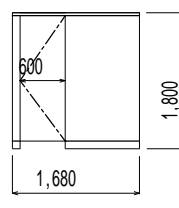
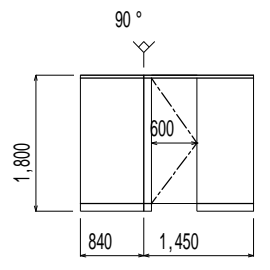
一般事項	特記事項
1. 本表は設計図書に示す建具及び特記事項、標準詳細を一括して表す。家具及びカウンター等その他これに類する建具は別図により本表には含まない。 2. 設計図及び本表に示す寸法は概略を示すものであり施工にあたっては現場寸法の確認を行うこと。 3. 施工図をサッシュメーカー等に作製させる場合は、現場員が各部の寸法を検寸し捺印の上係員に提出すること。	1. 扉の開き勝手は平面図による。 2. 戸当り(床付、壁付)は原則として取付る事とし、位置は現場指示による。 3. 特記なきドアガラリはH型とし、材料は次による。 ○ドアと同材にて作製する。 ・アルミ製とする。(焼付塗装仕上) 4. 握玉は ・丸座 ○レバーハンドル とする。 5. マスターキーを ・作製する(3本) ・作製しない 6. グランドマスターキーを ・作製する(本) ・作製しない 7. プラスチック製の錠札を ・作製する ・作製しない 8. キーボックス(30本用)を ○ 設ける ・設けない 9. 建具周囲のシーリングは ○変成シリコン系 ・ポリサルファイド系 ・ポリウレタン系 とする。 10. ガラスシーリングは ○シリコン系 ・ポリサルファイド系 とする。 11. 網戸はアルミ枠 ○ステンレス網 ・グラスファイバー製網 とする。 12. 引き棒はすべて木製とする 13. 内部建具の顔ガラス面には飛散防止フィルムを全面に張るものとする 14. 木製建具枠は米松積層材とし塗装はO S C L塗とする

品質				
・鋼製建具 ・ステンレス製建具 ・軽量鋼製建具				
品質(等級)	耐風圧性	気密性	水密性	防錆
遮音性	表面処理			備考
錆止めは、塩基性クロム酸鉛錆止めペイント又はシアナミド鉛錆止めペイントとする。				
・アルミ製建具				
品質(等級)	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性
表面処理			備考	
○表面処理は無着色陽極酸化塗装複合皮膜(B-1種 標準色)、又は着色陽極酸化塗装複合皮膜(B-2種 標準色)とし、色についてはメーカー標準色から選定できるものとする				

建具の符号	ガラスの符号 (数字は厚を示す)	錠の符号	番指の形式と符号	
			番 - 1	番 - 2
A D アルミニウム製扉 A W アルミニウム製窓 H L D 吊下式鋼製軽量扉 W D 木製扉 W W 木製窓 T B トイレ用ブース(既製品)	F L - フロート板ガラス F - 型板ガラス S T - 強化ガラス(透明) S F T - 強化ガラス(不透明)	C 空錠(レバーハンドル) C P レバーハンドル付シリンダー本錠 P D シリンダー本錠		

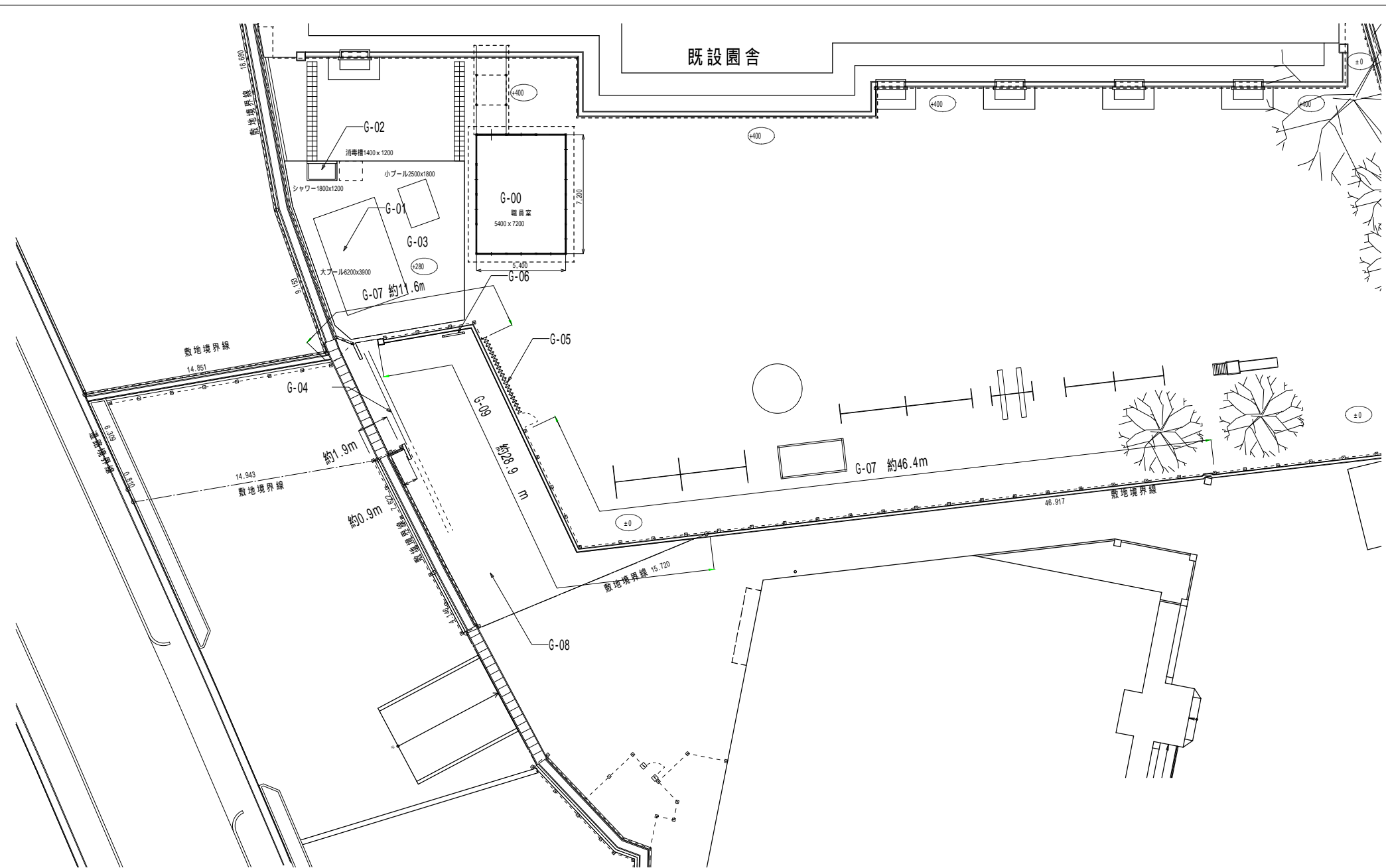
金物・付属品の符号	建具の防火性能の符号	建具共通仕様	
B H 丁番 P H ピボットヒンジ F H フロアヒンジ A H オートヒンジ D C ストップ付ドアクローザー D C N ストップなしドアクローザー A 網戸 A G アルミ顔縁 A M アルミ水切	特防 特定防火設備 防 防火設備	建具の符号 A D 枠見込 70mm A W 扉見込 40mm	一般仕様(特記なき限り下記に従う) 標準仕様(特記がなくとも備えつける) 両開き・親子開き扉: フランス落し引違い・片引き窓・引分け窓: クレセント・戸車・手掛 両開き・親子開き扉: 丁番・フランス落し片開き扉: 丁番

一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事		
岩瀬 直人	承認	図面 建具キープラン、建具表 - 1	縮尺 A2:1/100 A3:1/150	A-23

符号	使用場所	数量	形式・機構	程度	内法寸法 W×H	ガラス	材質・仕上	特殊金物・付属品	備考	符号	使用場所	数量	形式・機構	程度	内法寸法 W×H	ガラス	材質・仕上	特殊金物・付属品	備考			
AD 1	玄関	1		片引きハンガー引戸(上吊式)	有効:900×1900	ST-5	メーカー標準色	把手、AG、PD		WD 1	保育室5	1		らんま付引違い框戸	図示	上:ST-4	米松OSCL	引手、戸車				
				R C 枠(外付)				ハンガー金物一式			らんま付はめごころ窓	框戸:有効800		下:ST-5		SUS Vレール	指詰防止ゴム					
				軽量タイプ				SUS下枠(レール有)														
				片開き戸	有効:800×2000	ST-5	メーカー標準色	指詰防止戸当り、戸当りゴム														
AW 1	保育室5	1		引違い戸 らんま付4枚建	上:1765×600×2	上:ST-4	メーカー標準色	A、AG、AM		WD 2	保育室6	1		らんま付引違い框戸	図示	上:ST-4	米松OSCL	引手、戸車				
	保育室6	1		R C 枠(枠内)	下:3600×2000	下:ST-5		指詰防止戸当り								框戸:有効800	下:ST-5		SUS Vレール	指詰防止ゴム		
				中横有り				2連操作オペレーター式														
				フラット下枠仕様																		
AW 2a	職員室	2a		引違い戸	2a:1550×2000	ST-5	メーカー標準色	2a:AG、AM、PD		WD 3	職員室	1		引違い框戸	図示	ST-5	米松OSCL	引手、戸車				
		2b		R C 枠(枠内)	2b:1450×2000			2b:A、AG、AM										有効800		SUS Vレール	指詰防止ゴム	
AW 2b								指詰防止戸当り														
AW 3	保育室5	1		引違い窓	1600×1200	ST-4	メーカー標準色	A		WD 4	ミーティングルーム	1		扉付片開きフラッシュ戸	800×2000	F-4	OSCL	C、BH、DC				
	保育室6	1		鉄骨枠(半外付)			ミーティングルーム	指詰防止戸当り												番・1		
	職員室	2					SFT-4															
	ミーティングルーム	1																				
AW 4	職員室	2		引違い窓	1600×1000	ST-4	メーカー標準色	A		WD 5	職員室	1		額・ガラリ付3本引フラッシュ戸	1570×2000	F-4	OSCL	引手、戸車				
				鉄骨枠(半外付)								幼児用トイレ		1						SUS Vレール		
														職員用トイレ	1							
AW 5	幼児用トイレ	1		引違い窓	1450×900	SFT-4	メーカー標準色	A		TB 1	職員用トイレ	1		トイレブース	図示		メラミン化粧合板	非常時開錠装置付表示錠				
	職員用トイレ	1		鉄骨枠(半外付)															t=40	戸当り帽子掛け		
								(ペーパーコア)	SUS巾木、SUS錆つなぎ								R型アルミエッジ	その他必要金物一式				
								グレピティヒンジ														
										TB 2	幼児用トイレ	1		トイレブース	図示		メラミン化粧合板	SK用取手				
																		t=40	SUS巾木、SUS錆つなぎ			
								(ペーパーコア)	その他必要金物一式									R型アルミエッジ				
								グレピティヒンジ														

一級建築士	175279	号	平成 30 年 06 月 日	名称	可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事		
岩瀬	直人		承認	図面	建具表 - 2	縮尺	A-24
						A2:1/100	
						A3:1/150	

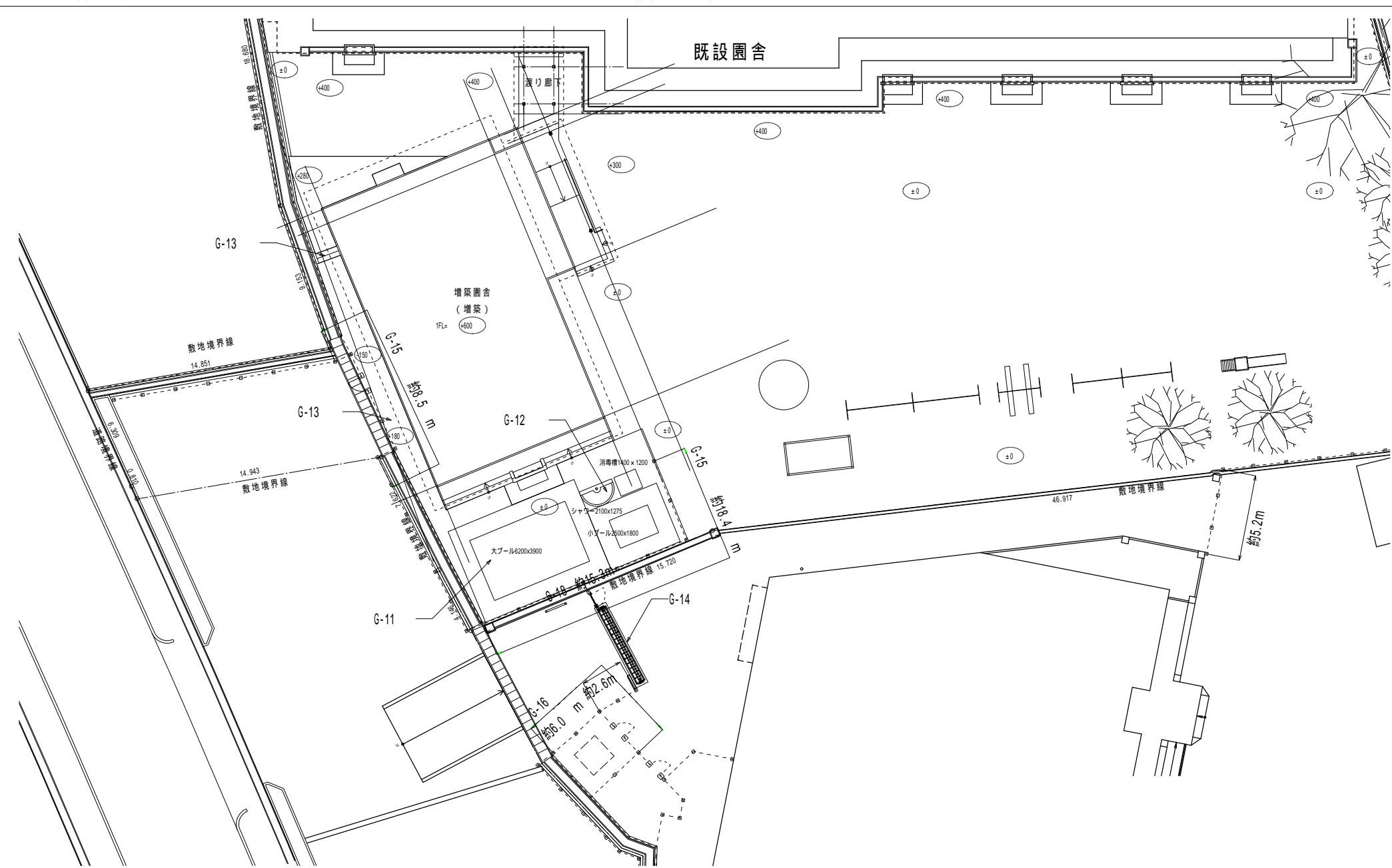
01	現況・撤去 外構図	A2:1/300 A3:1/450
撤去工事概要		
G-00 ・職員室 鉄骨造平屋5400x7200 渡廊下1800x5400 撤去		
G-01 ・大プール6200x3900、小プール2500x1800、消毒槽1400x1200を 園庭東側へ移設（仮置き）		
G-02 ・シャワー1800x1200撤去		
G-03 ・ブル土間撤去		
G-04 ・コンクリート塀撤去 ・門扉レール撤去		
G-05 ・伸縮門扉移設（工事中は仮設ゲートとして使用） ・アルミ製門扉撤去		
G-06 ・掲示ケース撤去		
G-07 ・フェンスH=1200撤去		
G-08 ・アスファルト舗装撤去		
G-09 ・側溝H150撤去（金属製蓋共）		



03	アスファルト舗装	A2:1/30 A3:1/45

04	コンクリート舗装	A2:1/30 A3:1/45

02	改修 外構図	A2:1/300 A3:1/450
改修工事概要		
G-11 ・大プール6200x3900、小プール2500x1800、消毒槽1400x1200を 移設		
G-12 ・シャワー2100x1275新設（シャワー金具は既設利用）		
G-13 ・コンクリート舗装新設 ・コンクリート階段新設		
G-14 ・伸縮門扉、アルミ製門扉、コンクリート塀新設		
G-15 ・フェンスH=1200新設 ・フェンスH=1200門扉新設		
G-16 ・フェンスH=1500新設 ・フェンスH=1500門扉新設		
G-17 ・欠番		
G-18 ・側溝U-250新設		



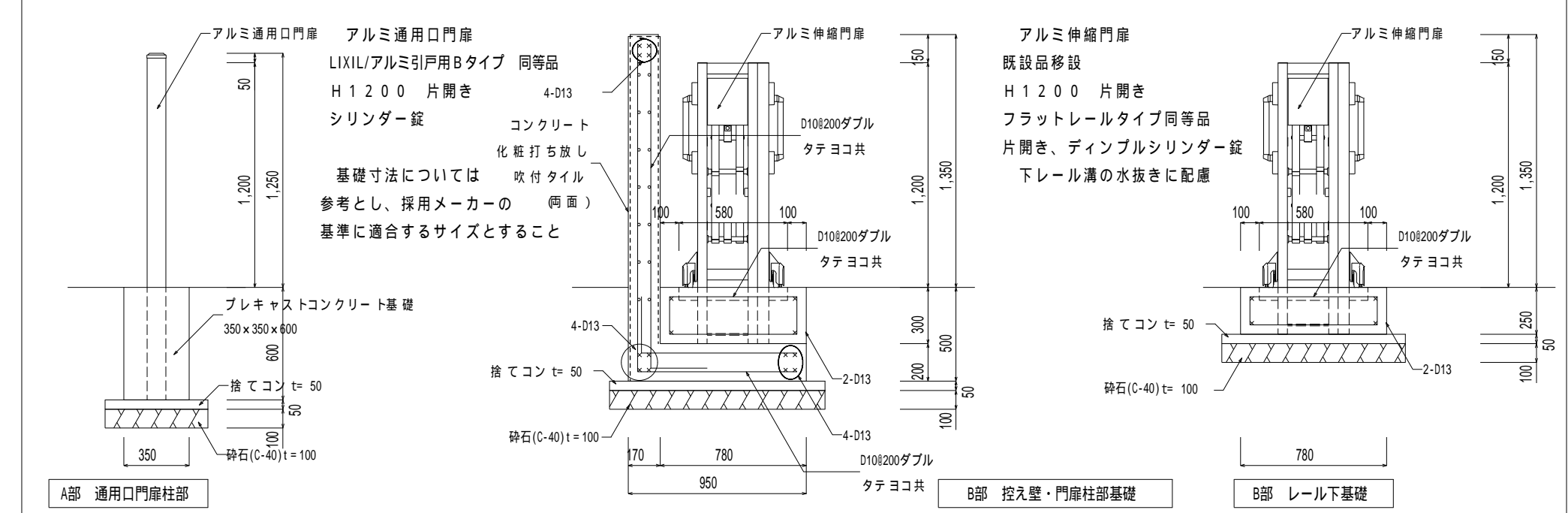
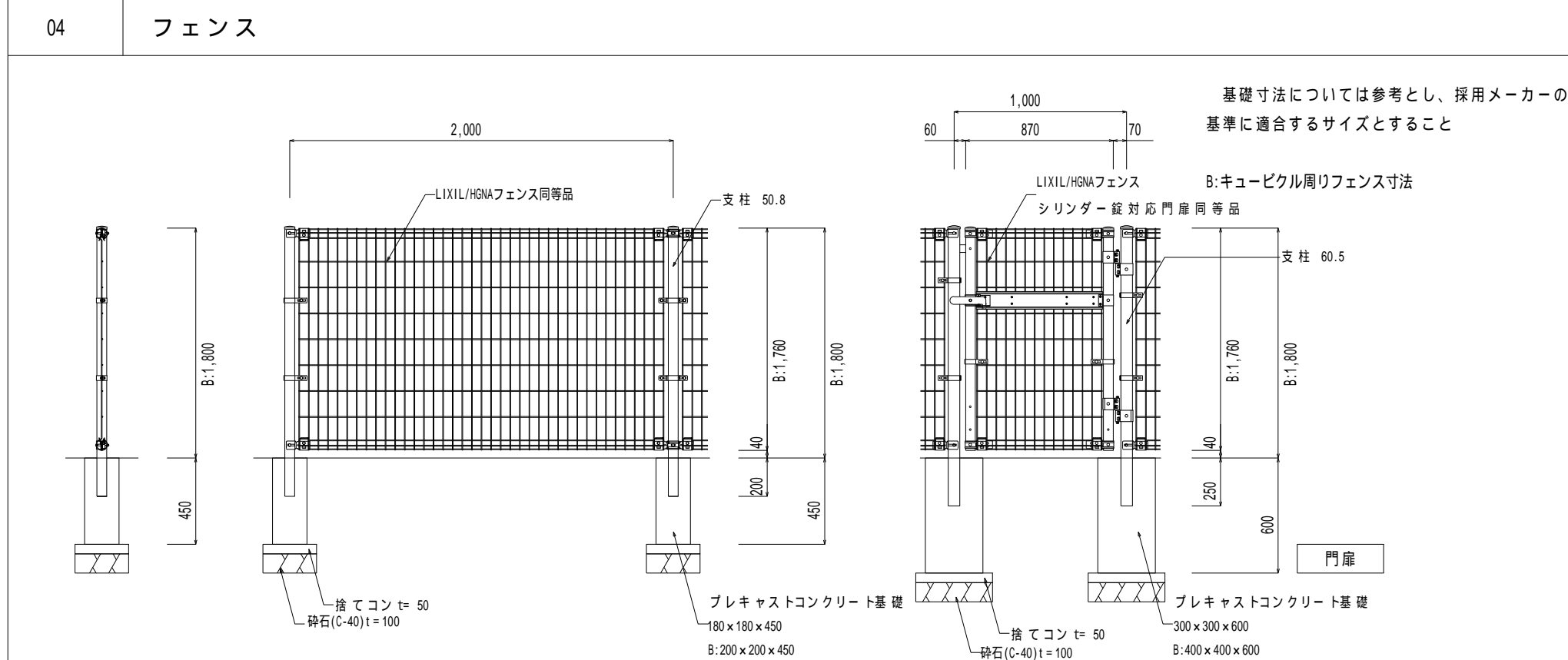
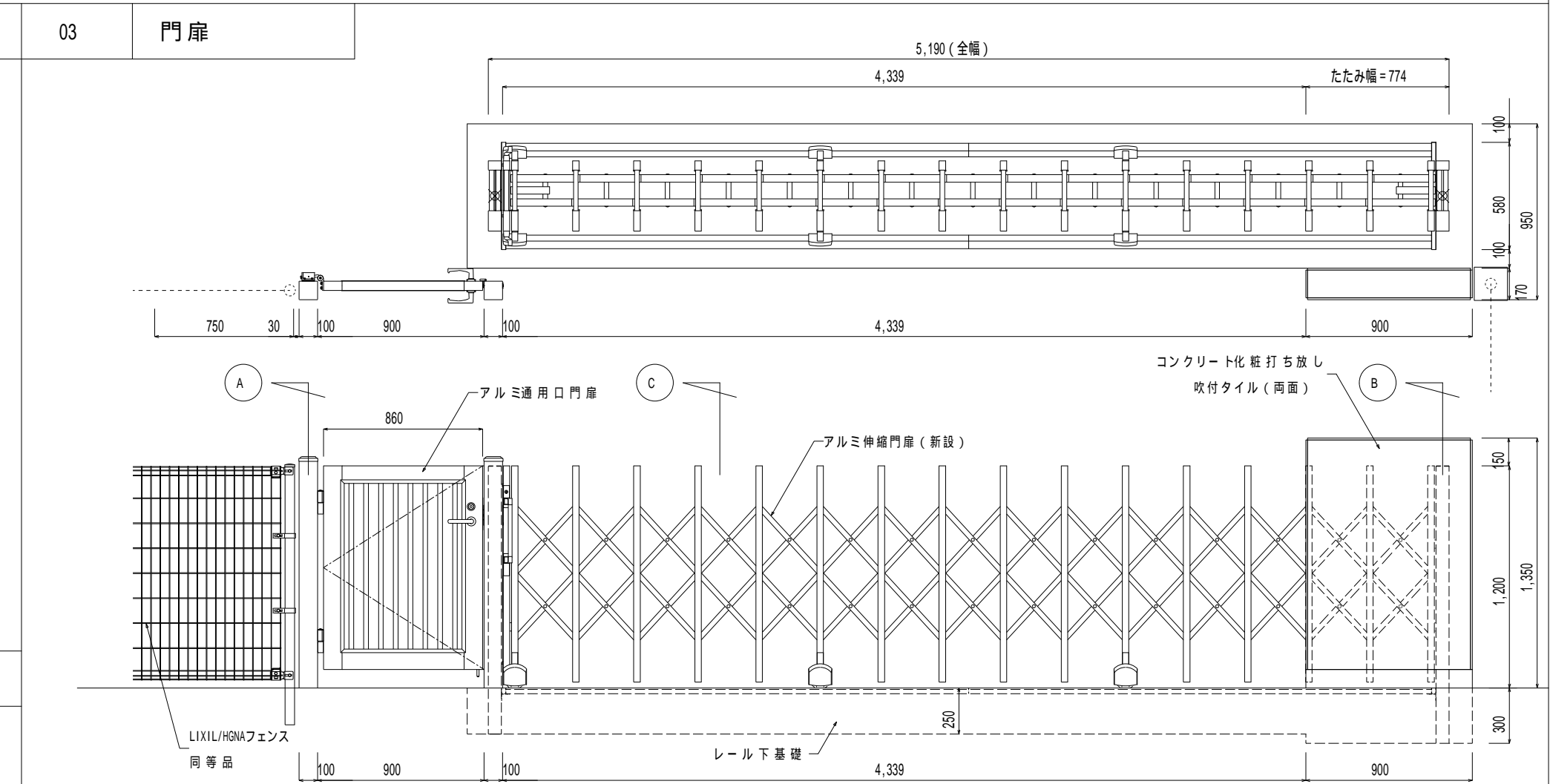
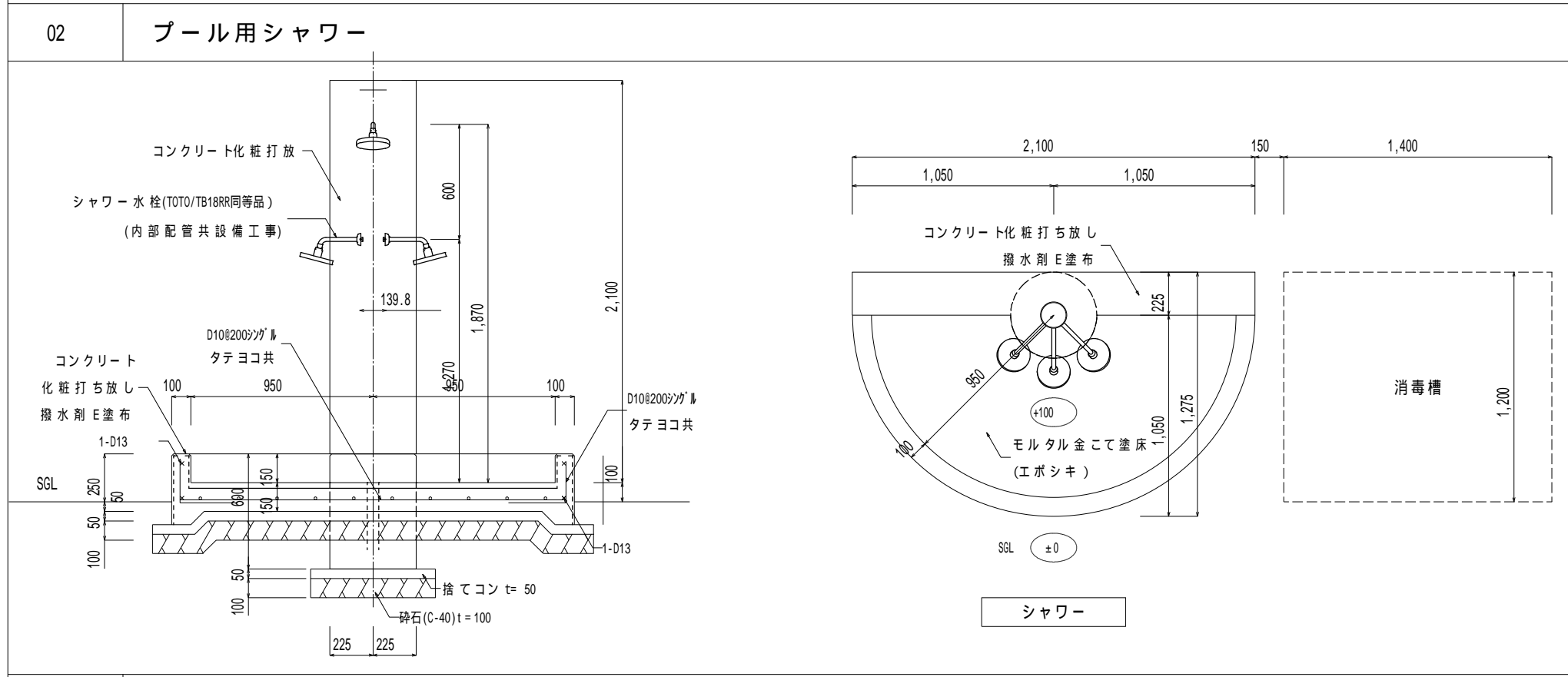
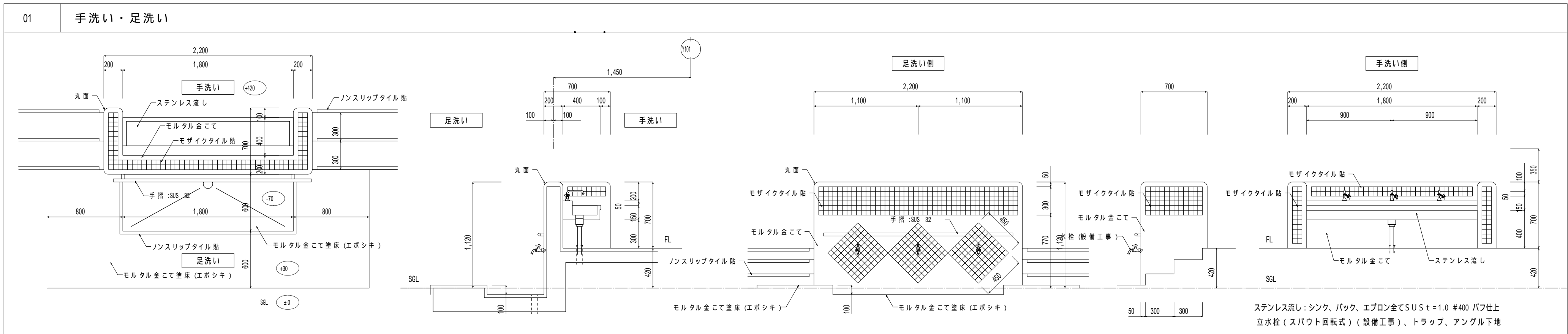
05	側溝（U-250）	A2:1/30 A3:1/45
10m 毎に1箇所グレーチング蓋(車道用)を設けること。		

06	階段	A2:1/30 A3:1/45

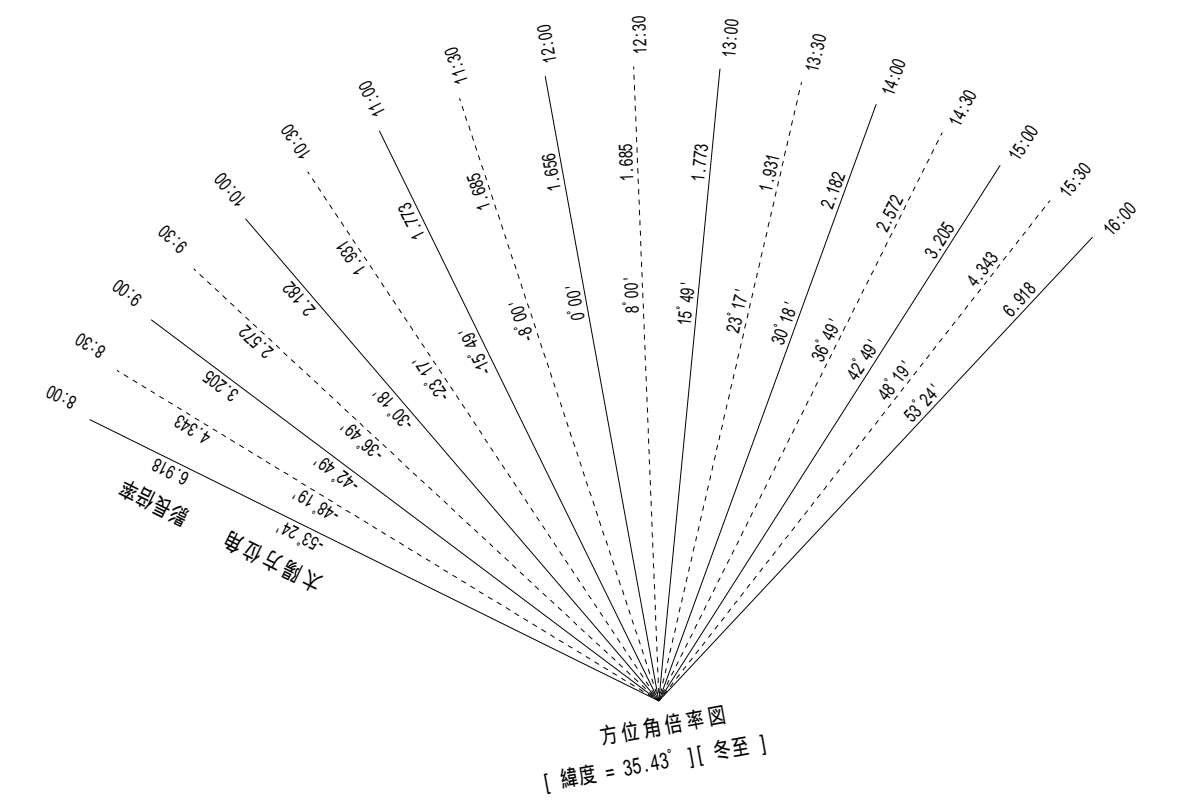
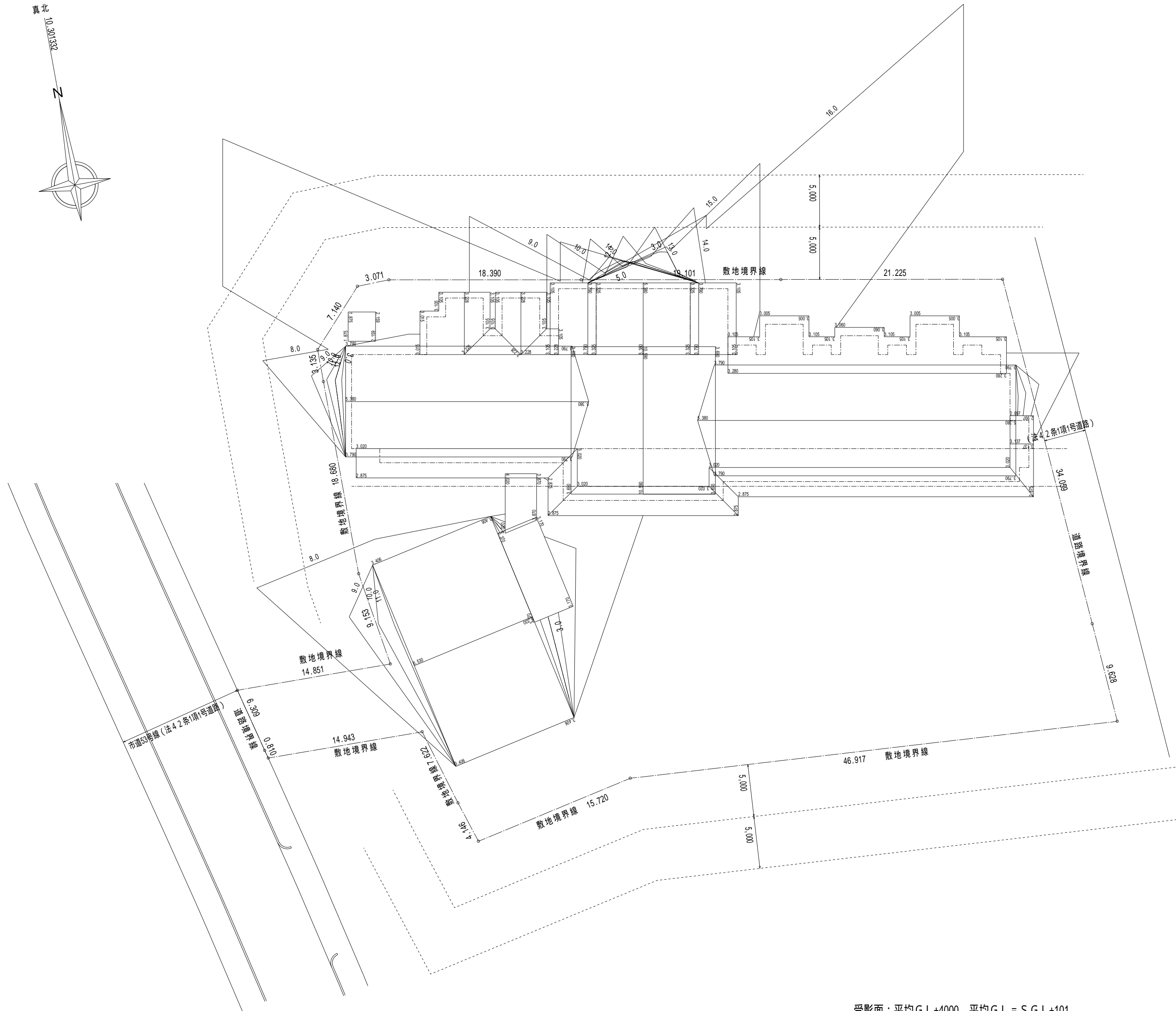
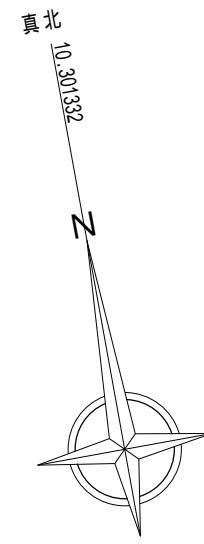
	コンクリート舗装撤去範囲を示す
	コンクリート舗装新設範囲を示す
	アスファルト舗装撤去範囲を示す

一級建築士 175279 号 岩瀬 直人	平成 30 年 06 月 日 承認
-------------------------	----------------------

名称	可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事		
図面	現況・撤去・改修外構図 外構詳細図-1	縮尺 A2:1/30 A3:1/45	A-25



一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日	名称	可見市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事		
岩瀬 直人	承認	図面	外構詳細図-2	縮尺	A2:1/30 A3:1/45
					A-26

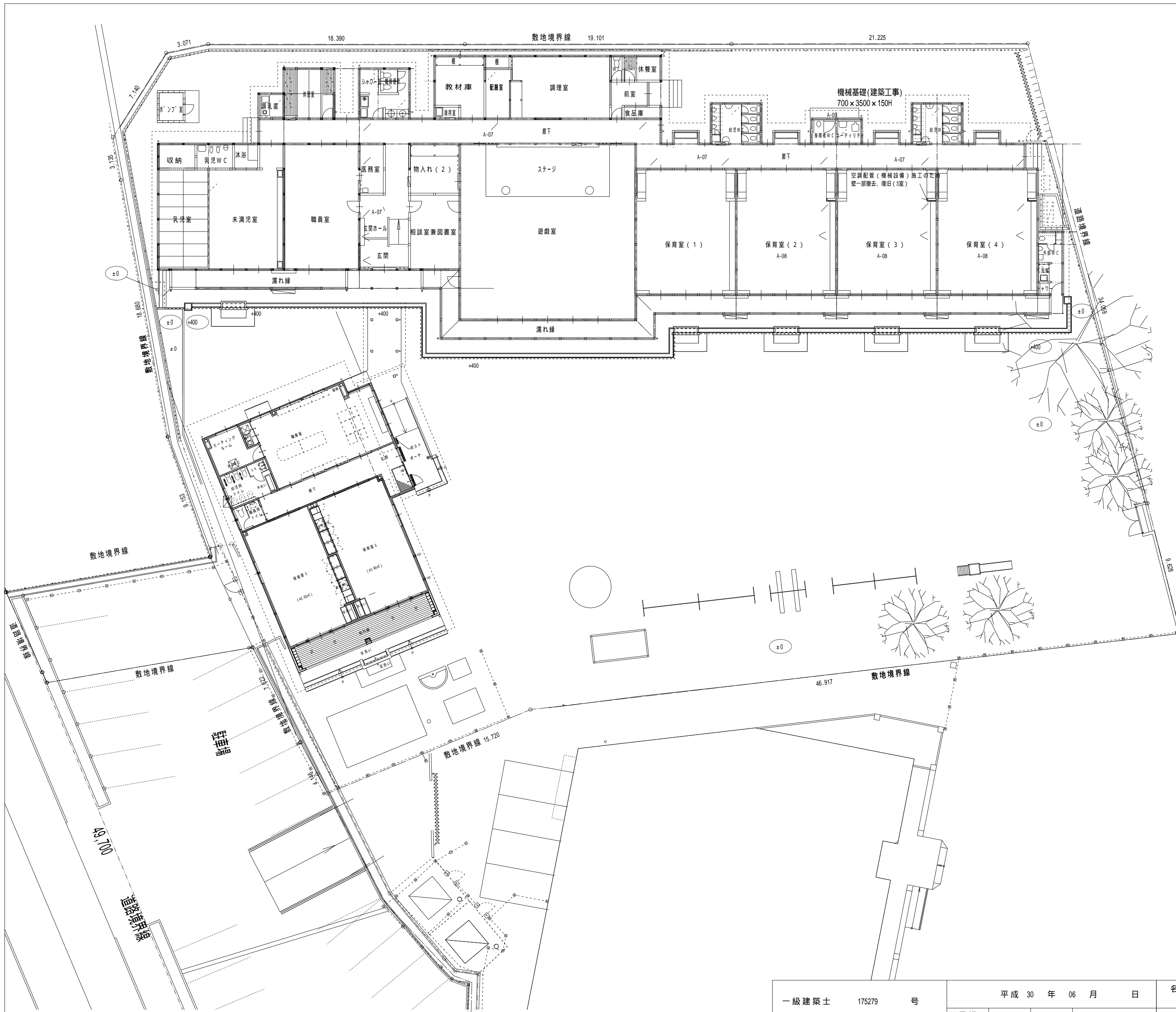


影倍率表 [緯度 = 35.43°] [冬至]

時刻	太陽高度	太陽方位角	影長倍率	X倍率	Y倍率
8:00	8°14'	-53°24'	6.918	-5.553	4.125
8:30	12°58'	-48°19'	4.343	-3.244	2.888
9:00	17°20'	-42°49'	3.205	-2.178	2.351
9:30	21°15'	-36°49'	2.572	-1.541	2.059
10:00	24°38'	-30°18'	2.182	-1.101	1.884
10:30	27°23'	-23°17'	1.931	-0.763	1.773
11:00	29°26'	-15°49'	1.773	-0.483	1.705
11:30	30°42'	-8°00'	1.685	-0.235	1.668
12:00	31°07'	0°00'	1.656	0.000	1.656
12:30	30°42'	8°00'	1.685	0.235	1.668
13:00	29°26'	15°49'	1.773	0.483	1.705
13:30	27°23'	23°17'	1.931	0.763	1.773
14:00	24°38'	30°18'	2.182	1.101	1.884
14:30	21°15'	36°49'	2.572	1.541	2.059
15:00	17°20'	42°49'	3.205	2.178	2.351
15:30	12°58'	48°19'	4.343	3.244	2.888
16:00	8°14'	53°24'	6.918	5.553	4.125

受影面：平均GL+4000 平均GL = SGL+101

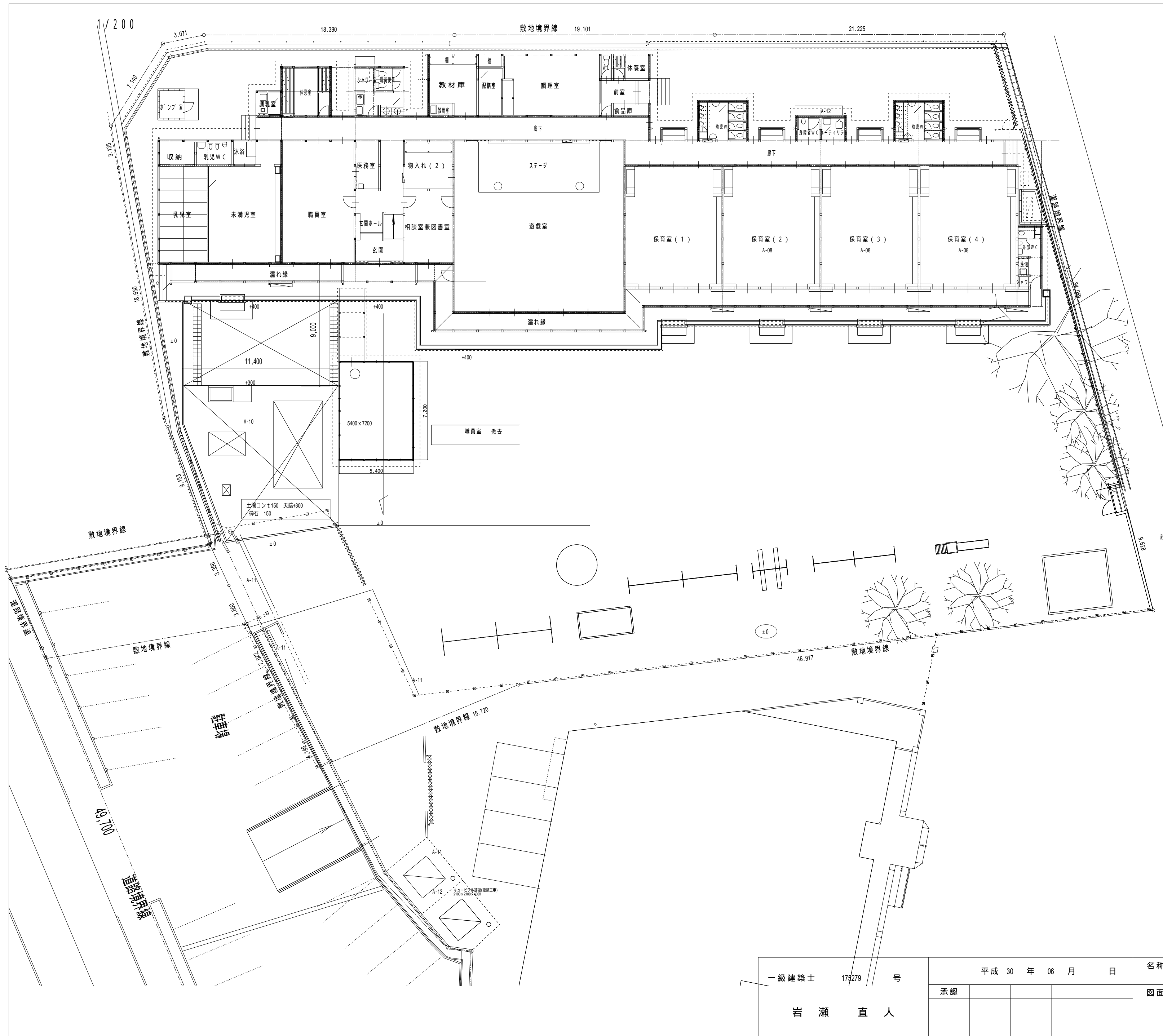
一級建築士 175279 号	平成 30 年 06 月 日			名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事	
	承認			図面 日影図	縮尺 A2:1/300 A3:1/450
岩瀬 直人					A-27



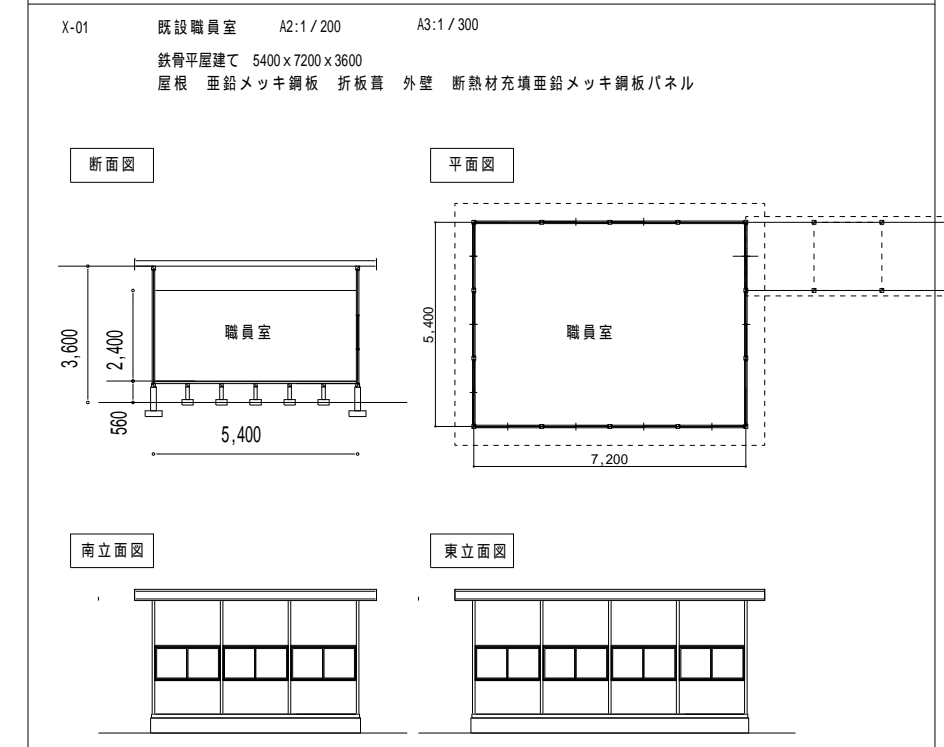
A-07	廊下 (床下電気、機械設備工事に伴う床天井改修) 点検口設置を行う。(建築工事)
A-08	保育室(2,3,4) 空調機を設置(機械設備工事) 上記改修に必要な、壁改修、点検口設置を行う(建築工事)
A-09	空調屋外機(機械設備工事)基礎設置(建築工事)

- 床点検口 600角 ステンレス枠
- 床点検口(既設) 600角 ステンレス枠
- 天井点検口 450角 アルミ枠

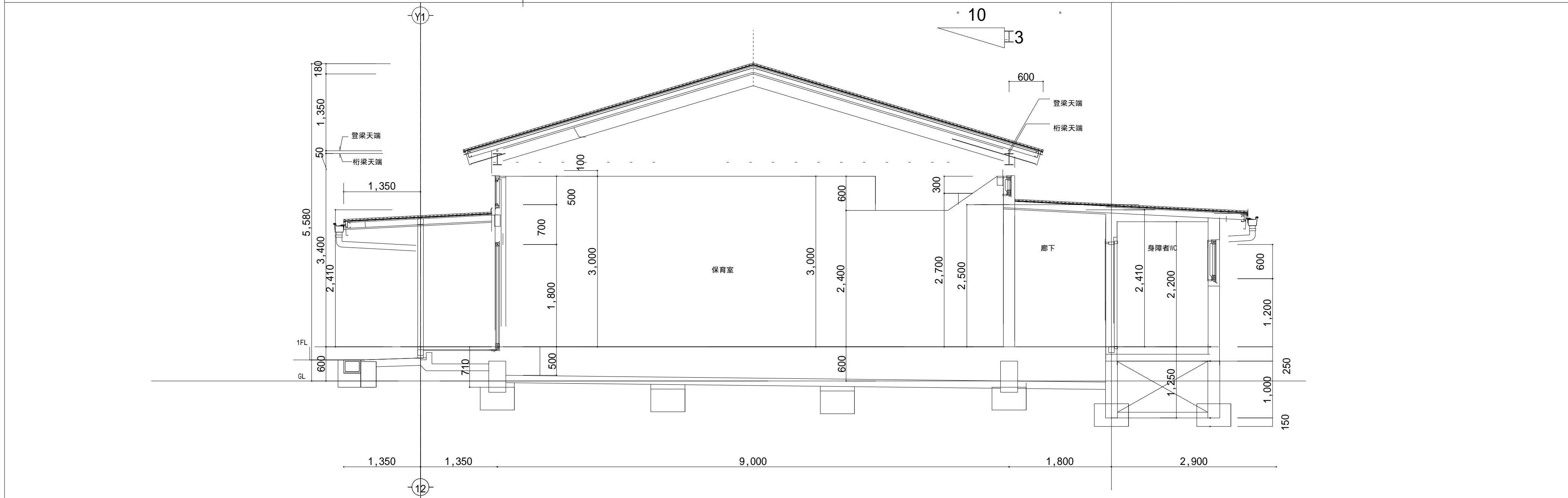
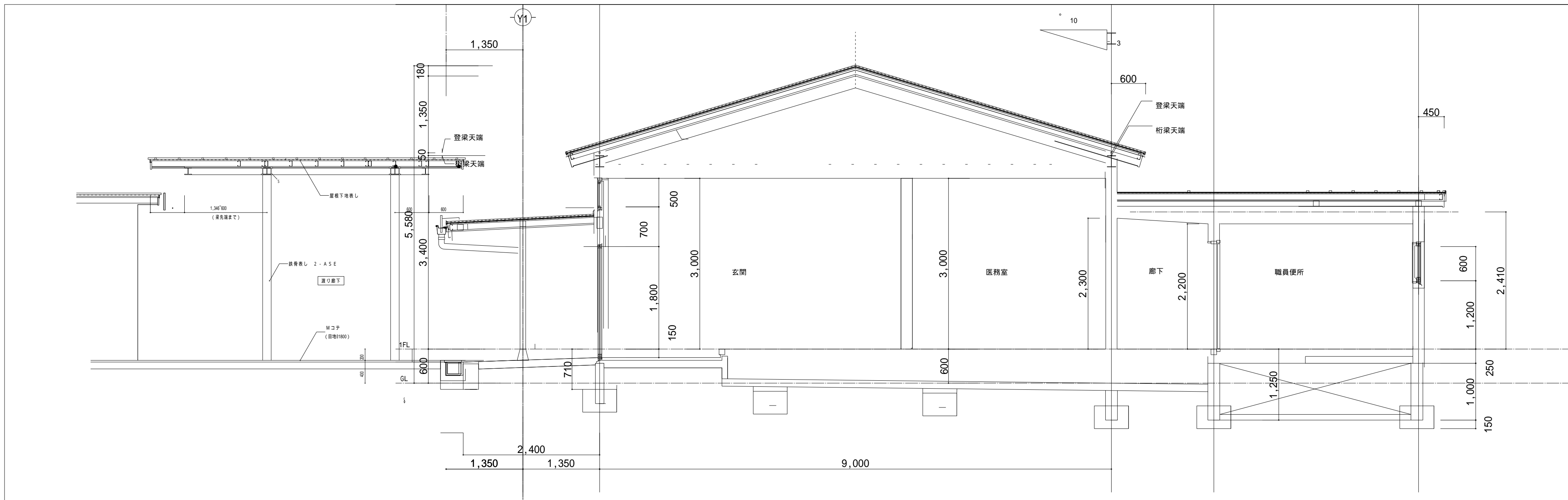
一級建築士 175279 号 岩瀬直人	平成 30 年 06 月 日			名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事	
	承認			図面 既設改修平面図	縮尺 A2:1/200 A3:1/300
					A-28



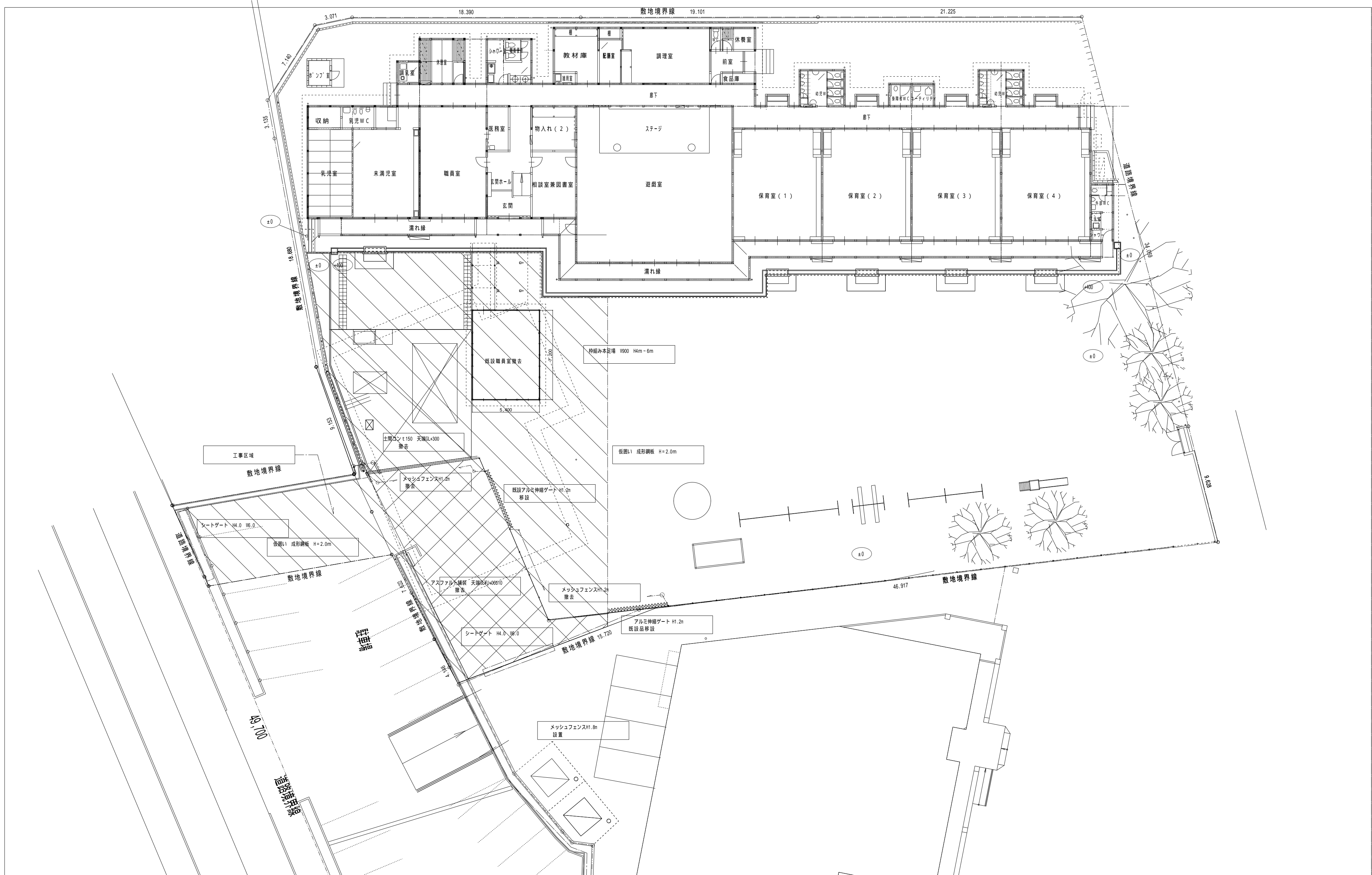
A-01	既設園舎 屋根、外壁、外部木部塗装は改修しない。
A-08	各保育室の空調機を設置(3室)(機械設備工事) 上記改修に必要な、壁改修、点検口設置を行う
A-10	プール 及び付属施設移設
A-11	門扉 フェンス等移設、更新
A-12	電気設備(キュービクル)、機械設備(空調機)基礎設置
X-01	既設職員室 液断下とも撤去
X-03	既設フェンス、機溝、遊具、樹木撤去
X-01	既設職員室 A2:1/200 A3:1/300 鉄骨平屋建て 5400x7200x3600 屋根 至鉛メッキ鋼板 折板葺 外壁 断熱材充填至鉛メッキ鋼板パネル



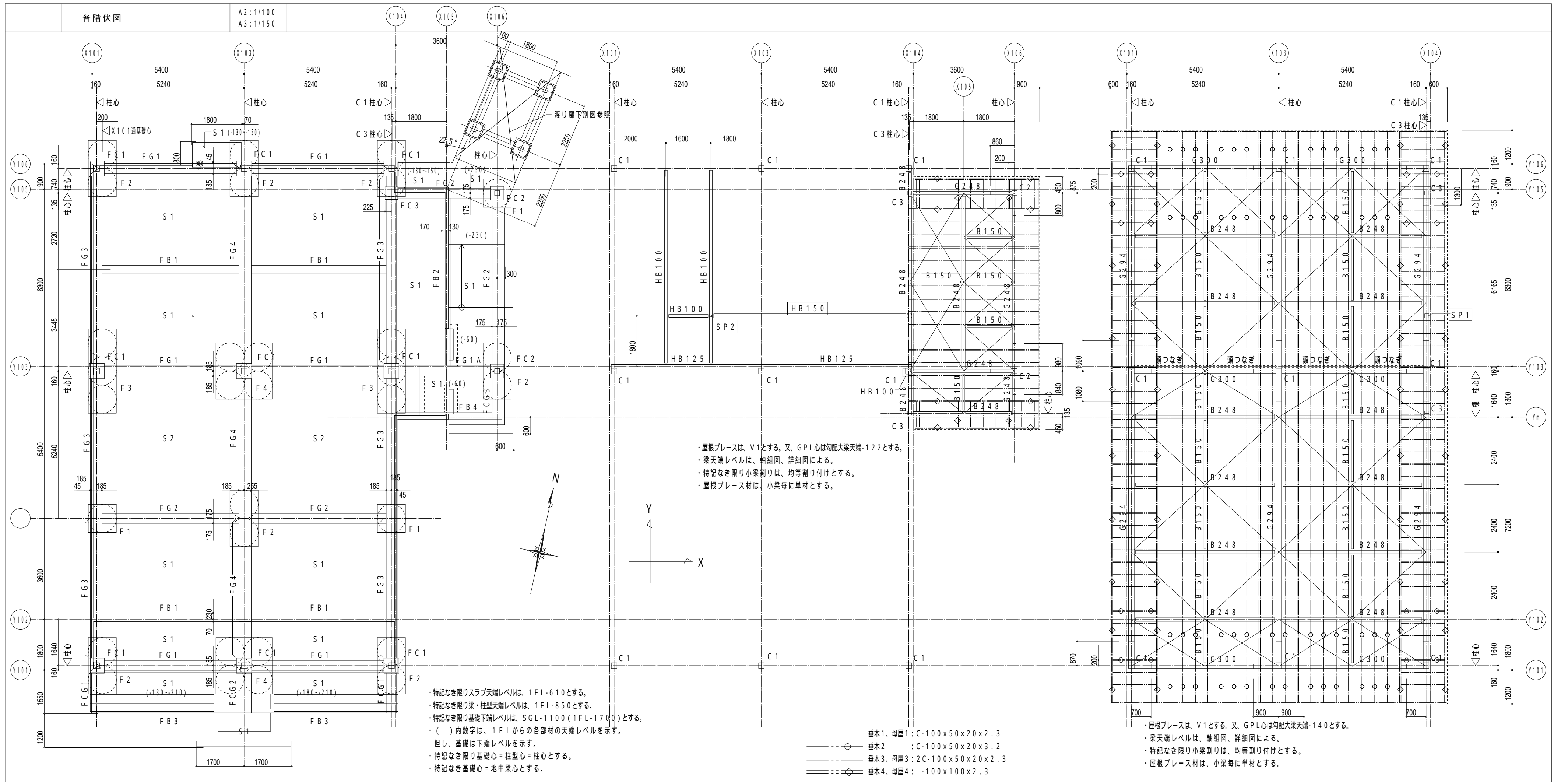
一級建築士 179279 号	平成 30 年 06 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 既設撤去平面図
		縮尺 A2:1/200 A3:1/300
		A-29



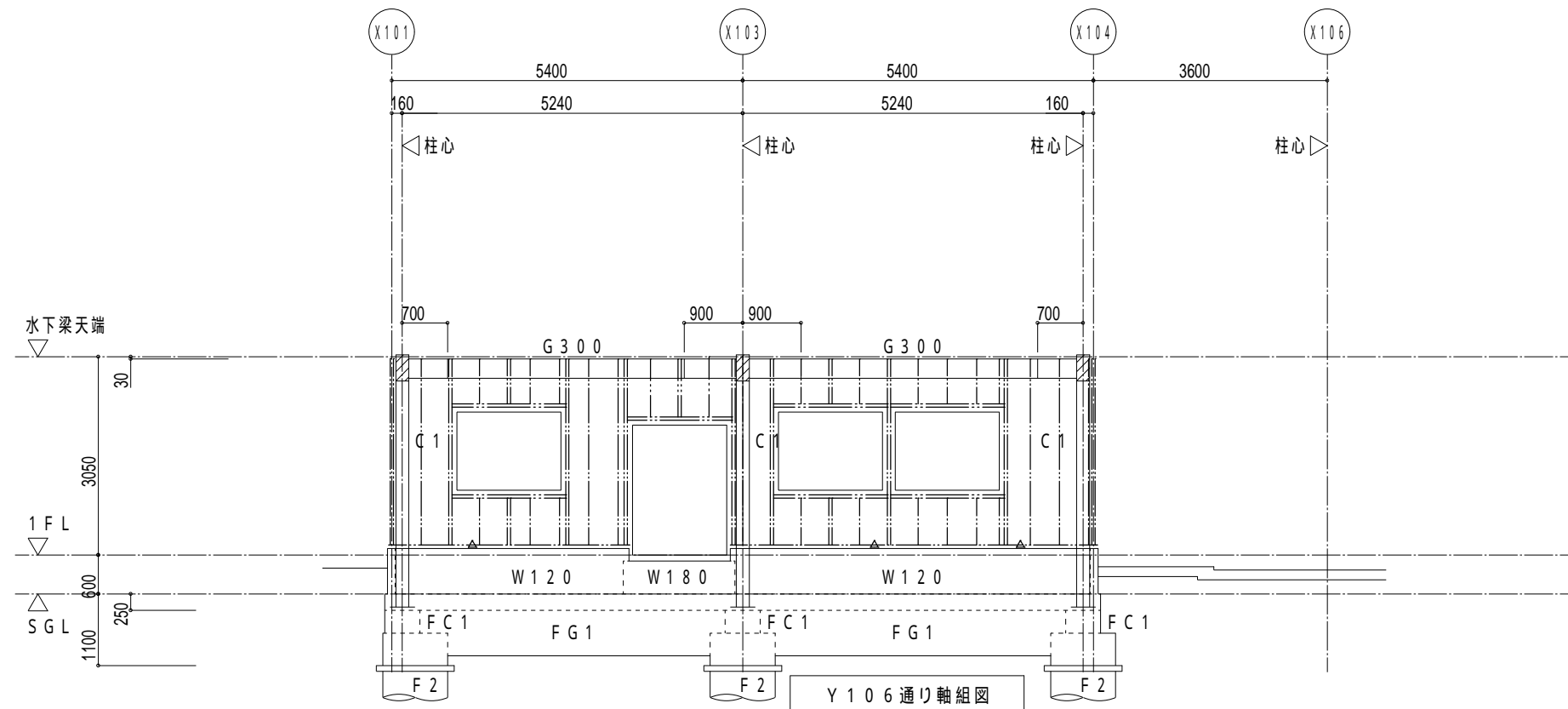
一級建築士 175279 号 岩瀬 直人	平成 28 年 06 月 日			名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事	
	承認			図面 既設棟改修 断面図	縮尺 A2:1/50 A3:1/75
					A-30



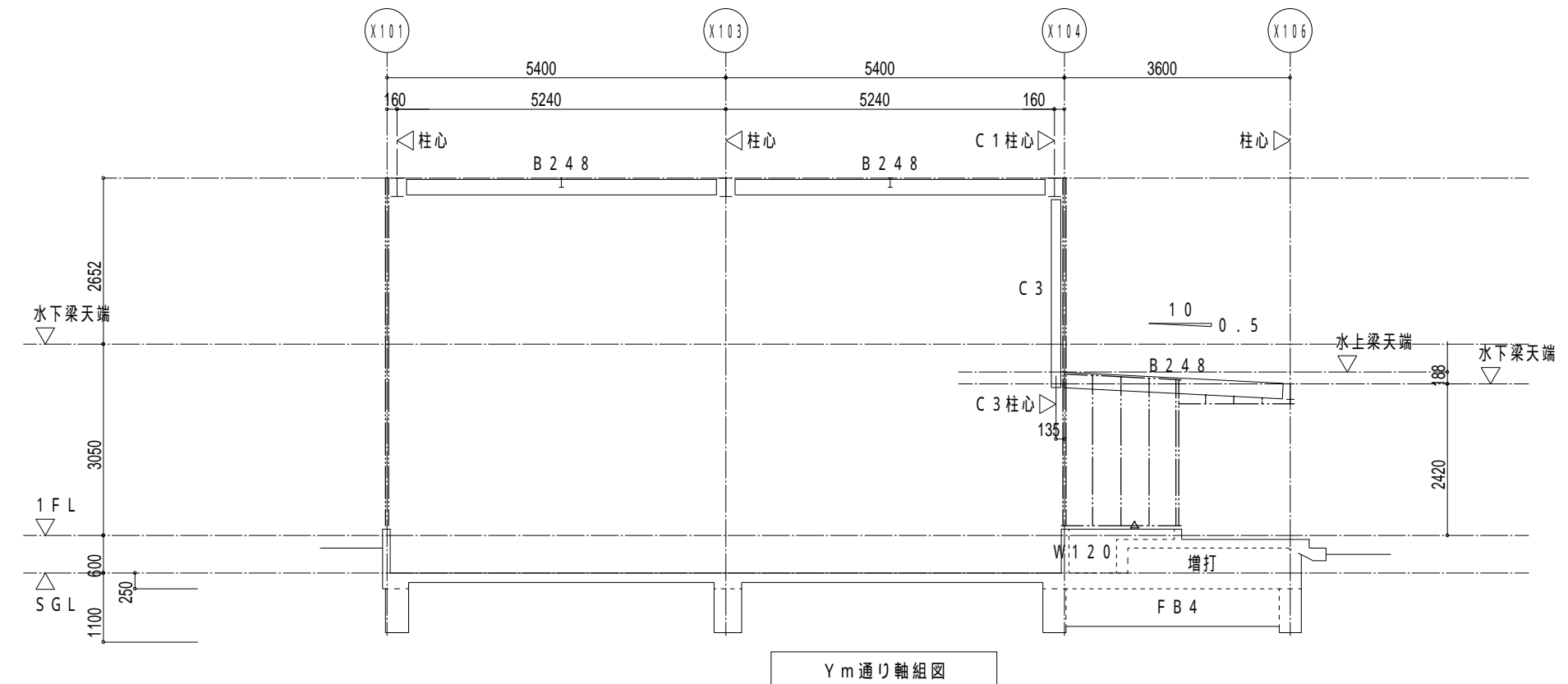
一級建築士 175279 号 岩瀬 直人	平成 30 年 06 月 日			名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事	
	承認			図面	縮尺 A2:1/200 A3:1/300
				図面 工事計画図	
				A-31	



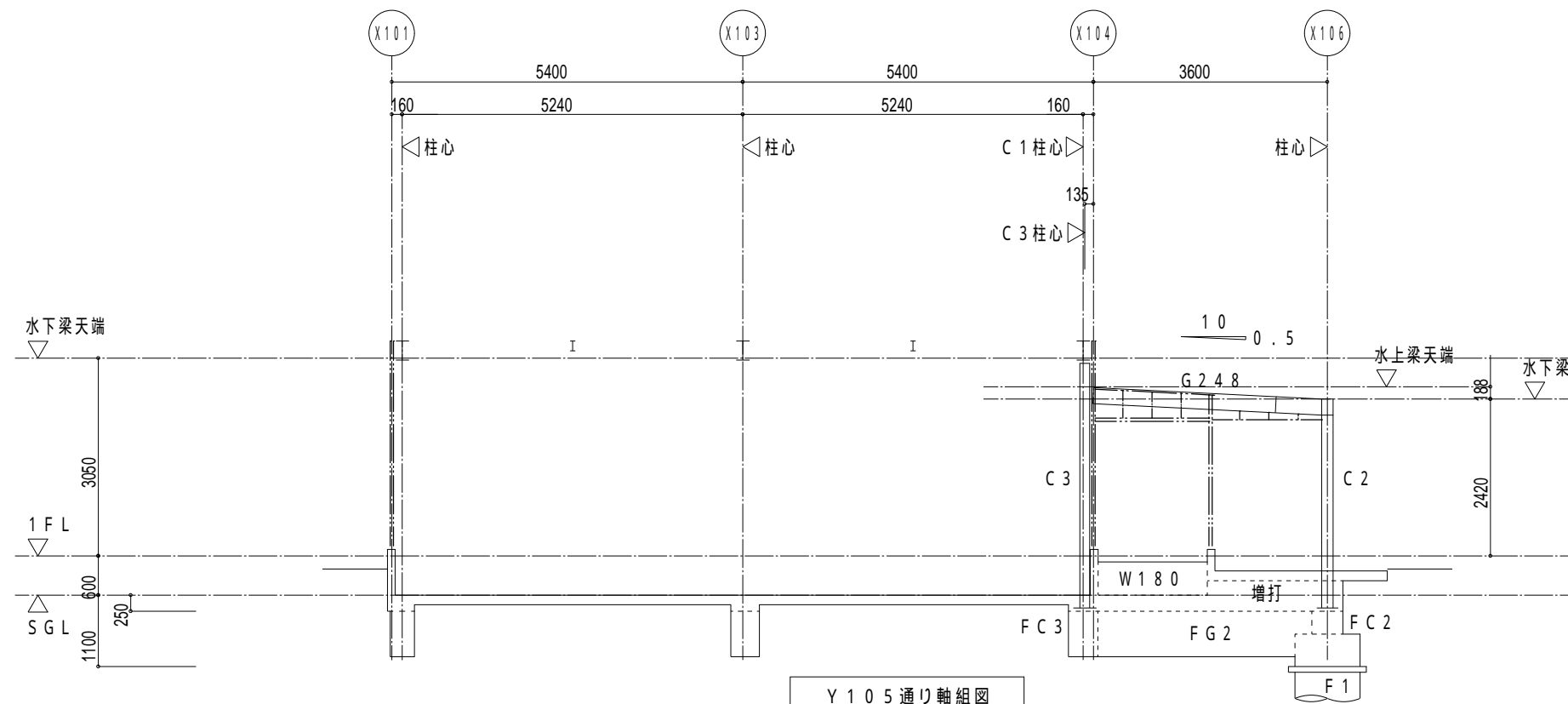
使用材料	
<p>JIS規格があるものは全て同規格品とする。</p> <p>コンクリート 保育園 設計基準強度 Fc=24N/mm² sl=18cm 粗骨材 最大径25mm、混和剤: AE剤及びAE減水剤</p> <p>渡り廊下 設計基準強度 Fc=21N/mm² sl=18cm 粗骨材 最大径25mm、混和剤: AE剤及びAE減水剤</p> <p>捨てコン 設計基準強度 Fc=18N/mm² sl=15cm 粗骨材 最大径25mm、混和剤: AE剤</p> <p>鉄筋 D10~D16 SD295A 重ね継手 D19~D22 SD345 ガス圧接継手 地中梁のスリーブ孔は、存在しない。</p>	<p>鉄骨 柱材(C1, 2) BCR295(大臣認定品とする) 柱材(C11) STKR400 ダイヤフラム SN490C(通ダイヤ) 大梁 SN400B(スプライスPLを含む) 小梁等 SS400 その他 STKR400, SS400, SSC400 柱脚工法 ジャストベース工法(C1, C2) BPL, Anc SS400, ABR400(C3, C11) NDコア SN490B 丸鋼ブレース ロッド、羽子板、バックル共JIS A5540規格品</p>
<p>ボルト S10T(トルシア、大臣認定品とする) F8T(溶融亜鉛めっき高力ボルト、大臣認定品とする) 中ボルト(強度区分4.6、ダブルナット締め) 錆止塗装 JIS K 5674(工場2回塗): 下記以外 溶融亜鉛めっき: C2のBPL+50-下フランジダイヤフラム・50間のみ 渡り廊下の柱(BPLを除く)、梁材(継手、仕口等を含む) 鉄骨梁のスリーブ孔は、存在しない。</p>	<p>一級建築士 175279号 岩瀬直人</p>
<p>平成 30年 6月 日</p>	<p>名称 児見市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事 図面 各階伏図、使用材料 縮尺 A2: 1/100 A3: 1/150 S-1</p>



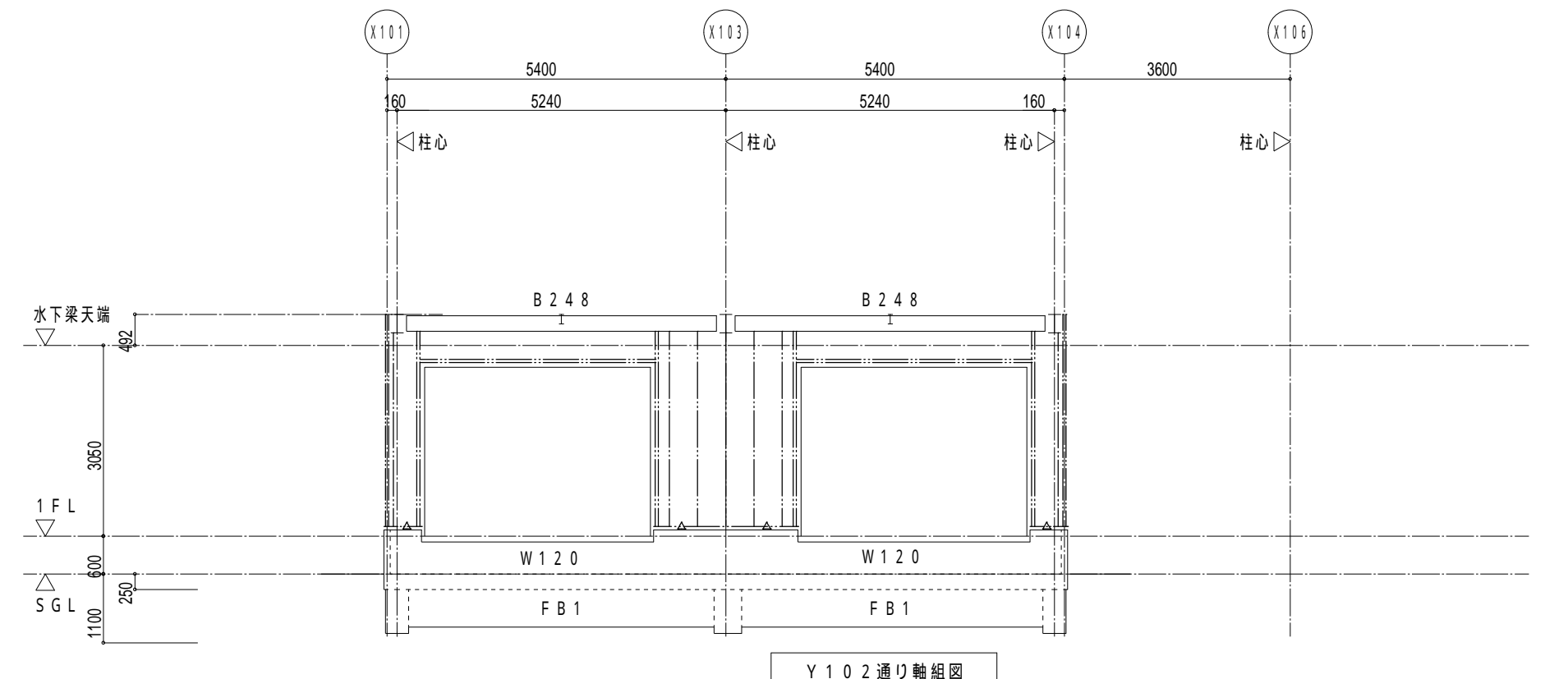
Y106通り軸組図



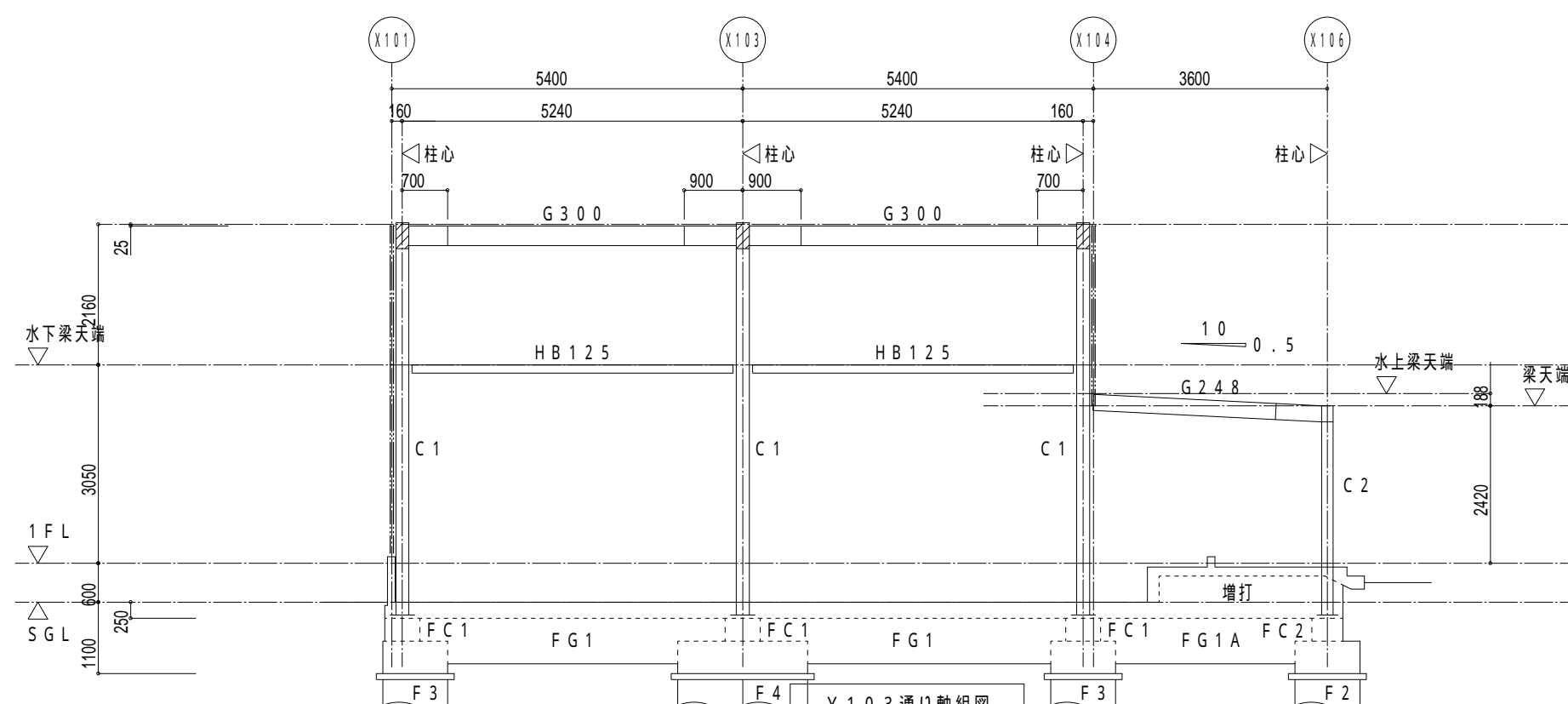
Ym通り軸組図



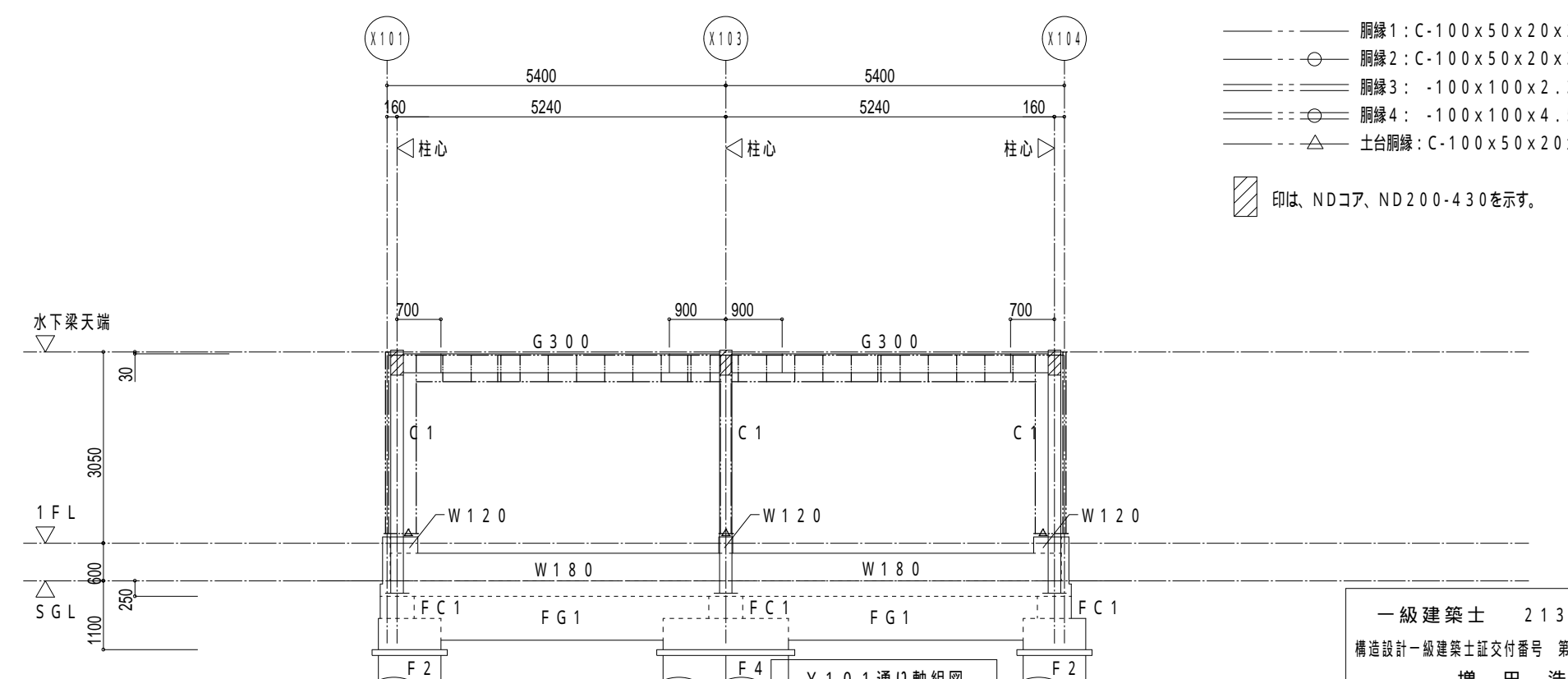
Y105通り軸組図



Y102通り軸組図



Y103通り軸組図

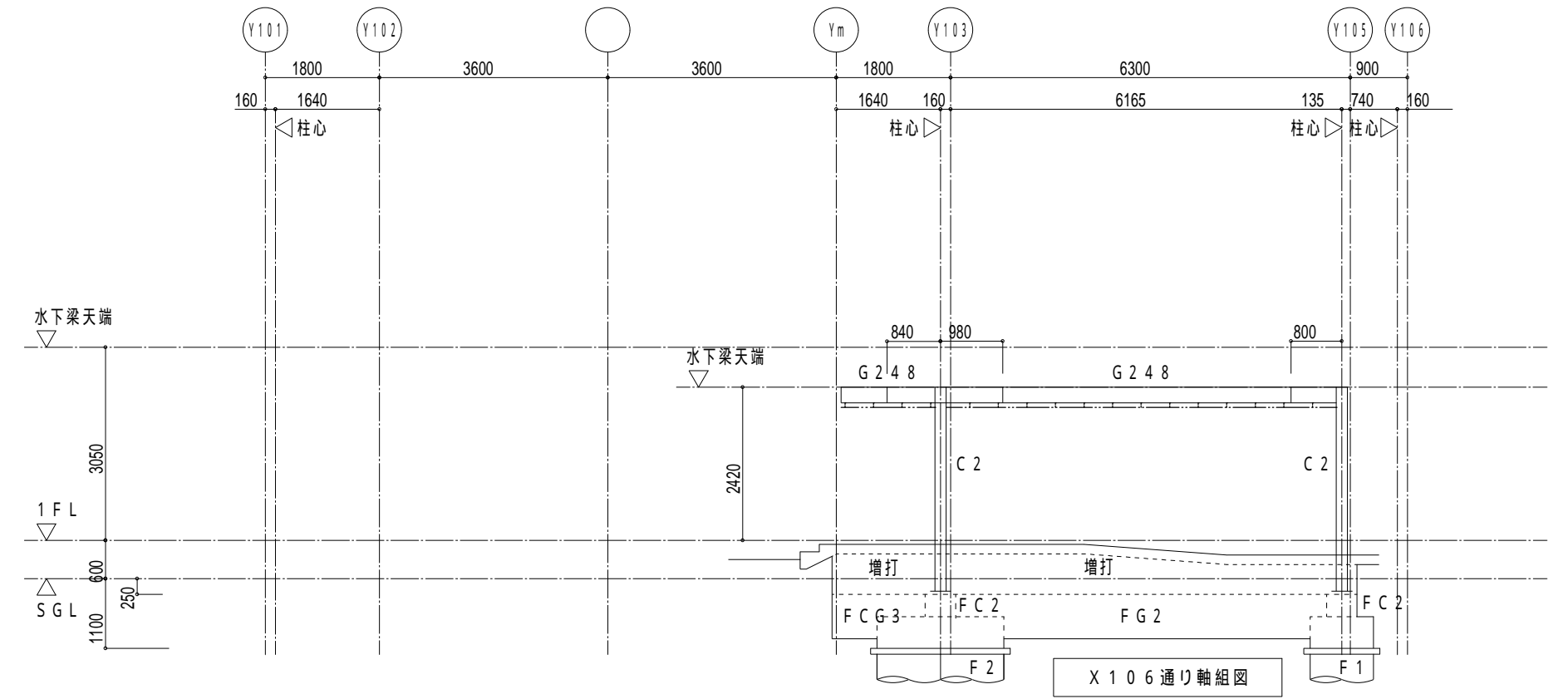
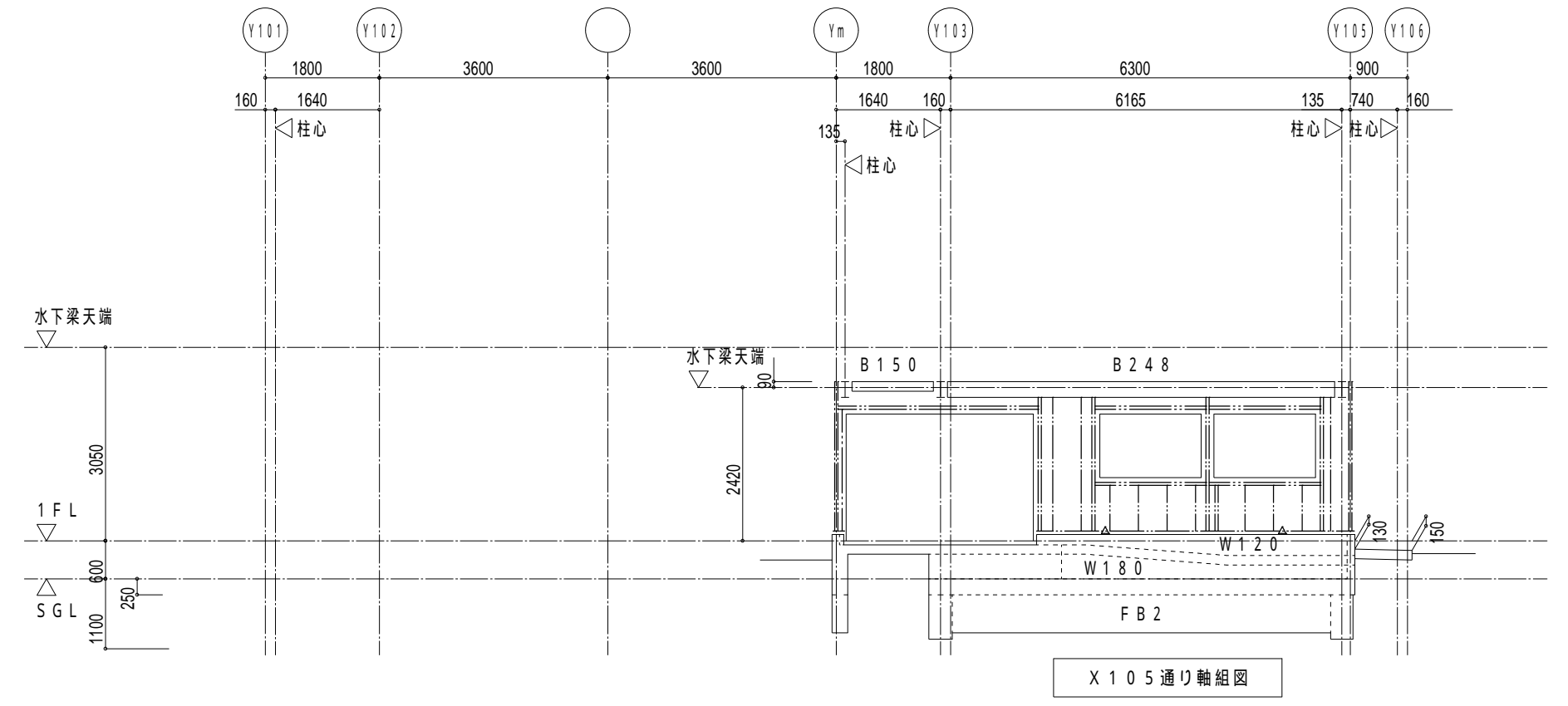
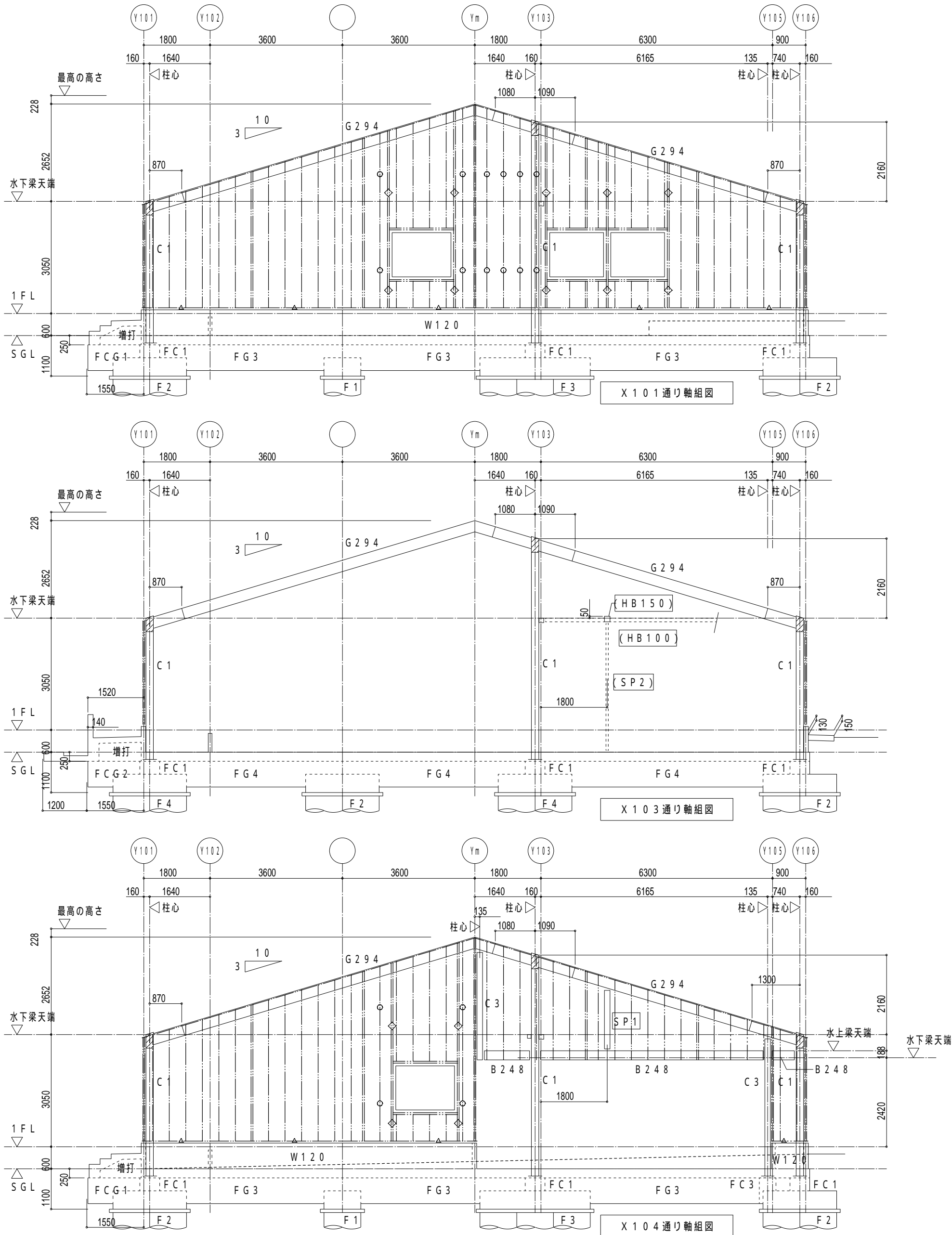


Y101通り軸組図

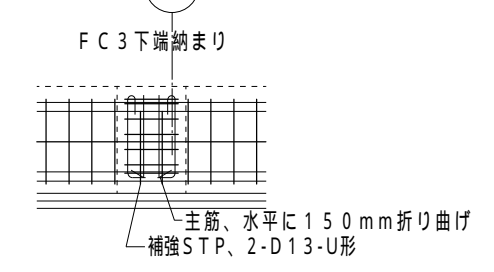
- 鋼縁1: C-100x50x20x2.3
- 鋼縁2: C-100x50x20x3.2
- 鋼縁3: -100x100x2.3
- 鋼縁4: -100x100x4.5
- 土台鋼縁: C-100x50x20x3.2
- 印は、NDコア、ND200-430を示す。

一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証文番号 第 2004 号
増田 浩二

一級建築士 175279 号 岩瀬 直人	平成 30 年 6 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事	縮尺 A2:1/100 A3:1/150	S-2
	承認	図面 軸組図-1		



- 鋼縁1: C-100x50x20x2.3
 - 鋼縁2: C-100x50x20x3.2
 - 鋼縁3: -100x100x2.3
 - 鋼縁4: -100x100x4.5
 - △ 土台鋼縁: C-100x50x20x3.2
- 印は、NDコア、ND200-430を示す。



一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証交付番号 第 2004 号
増田 浩 二

一級建築士 175279 号
岩瀬 直 人

平成 30 年 6 月 日
承認

名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
図面 軸組図-2
縮尺 A2: 1/100 A3: 1/150
S-3

基礎リスト		A2:1/30 A3:1/45	1) 主筋方向ベース筋を下側に配筋のこと、尚、特記なき基礎のベース筋は上下関係自由とする。			設計地耐力 $R_a = 200 \text{ kN/m}^2$ (基礎下端、長期)	
符号	F 1	F 2	F 3	F 4	F 11		
柱状改良体	1- 1000	2- 1000	3- 1000	4- 1000	1- 600		
Lx x Ly	1000x1000	2000x1000	3000x1000	2000x2000	600x600		
D	500	500	500	500	300		
ベース筋	$\updownarrow 5 \cdot D13 \leftrightarrow 5 \cdot D13$	$\updownarrow 9 \cdot D13 \leftrightarrow 6 \cdot D16$	$\updownarrow 13 \cdot D13 \leftrightarrow 6 \cdot D19$	$\updownarrow 10 \cdot D13 \leftrightarrow 10 \cdot D13$	$\updownarrow 3 \cdot D13 \leftrightarrow 3 \cdot D13$		
はかま筋	-	-	-	-	-		

柱型リスト		A2:1/30 A3:1/45	スラブリスト			
符号	FC 1	FC 2	FC 3	FC 11		備考
断面図						
上部柱	C 1	C 2	C 3	C 11		
断面	540x540	480x480	450x450	500x500		
主筋	8-D16	8-D13	10-D16	12-D16		
HOOP	-D10@150	-D10@150	-D10@100	-D10@100		
備考	天端、SGL-250	天端、SGL-250	天端、SGL-250	天端、SGL+200		

柱型特記事項

- 最上段HOOPは2重巻きとする。
- HOOPの加工寸法は、下記による。

- FC3、FC11の四隅主筋は、柱頭フック付きとする。

符号	版厚	位置	短辺方向 (主筋方向)	長辺方向 (配筋筋方向)	備考
S 1	150	上	D10@200	D10@200	スラブ下、砕石厚50+ポリエチレンフィルム厚0.5(屋内のみ)
		下	D10@200	D10@200	
S 2	180	上	D10・13@200	D10・13@200	スラブ下、砕石厚50+ポリエチレンフィルム厚0.5(屋内のみ)
		下	D10・13@200	D10・13@200	
S 11	150	上	南北方向 D10@150	東西方向 D10@200	スラブ下、砕石厚50
		下	D10@150	D10@200	

地中梁リスト		A2:1/30 A3:1/45	梁特記事項									
符号	FG 1	FG 1A	FG 2、FCG 3	FG 3、FCG 1	FG 4、FCG 2	FB 1	FB 2	FB 3	FB 4	FG 11		
位置	全断面	X104端 X106端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		
断面図												
断面	370x700	370x700	350x700	370x700	440x700	300x600	300x600	250x500	250x500	270x300		
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	8-D22	3-D22	3-D22	3-D19	2-D19	2-D16		
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	7-D22	3-D22	4-D22	2-D19	2-D19	2-D16		
STP	2-D10@175	2-D10@175	2-D10@200	2-D10@150	2-D10@150	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@150		
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	-		
備考					FCG2のみ 4-D10@100							

梁特記事項

- 腹筋の定着長さはL2、継手長さはL1とする。
- 幅止め筋は、D10@1000とする。
- 地中梁下は、捨てコン厚50、砕石厚50とする。
- 柱を介して隣接する梁主筋は、原則として引き通しとする。
- STPの加工寸法は、下記による。

- STPの形は下図とする。

- STP欄の最初の数字は、STPの型を示す。

- 大梁主筋の定着長さの取り方は下図とする。

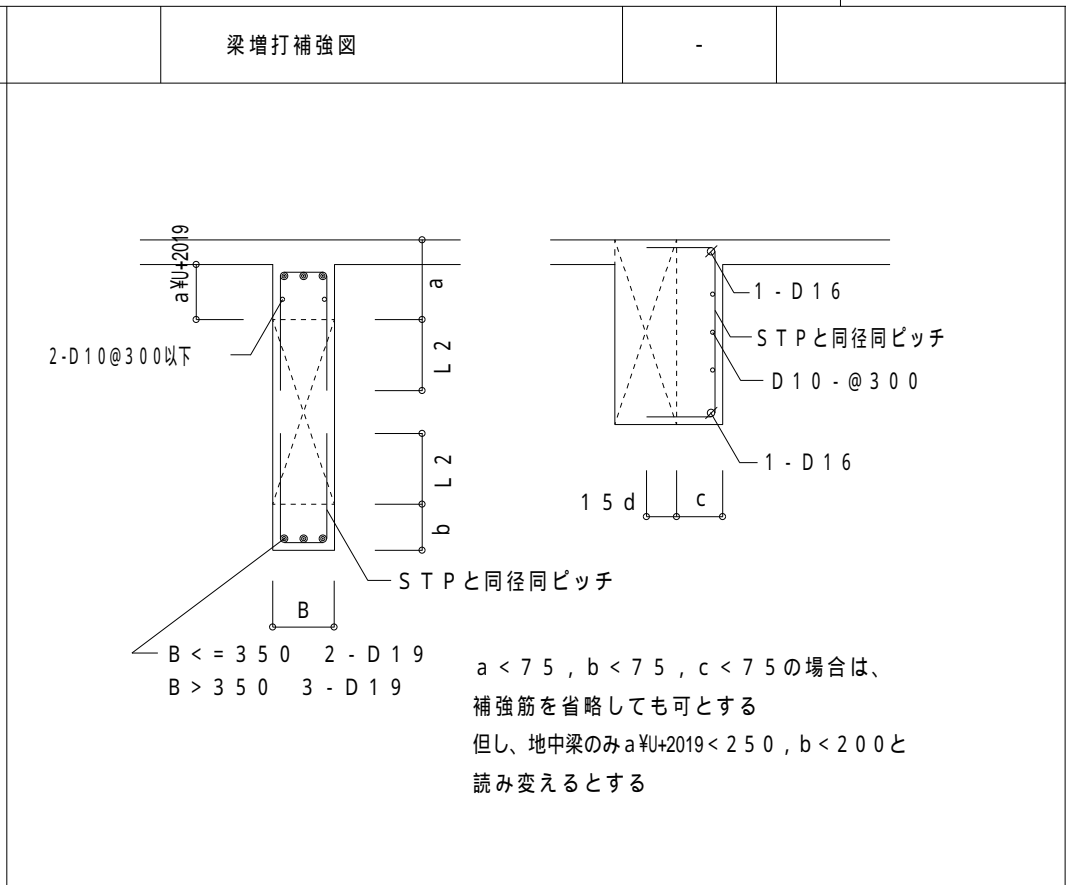
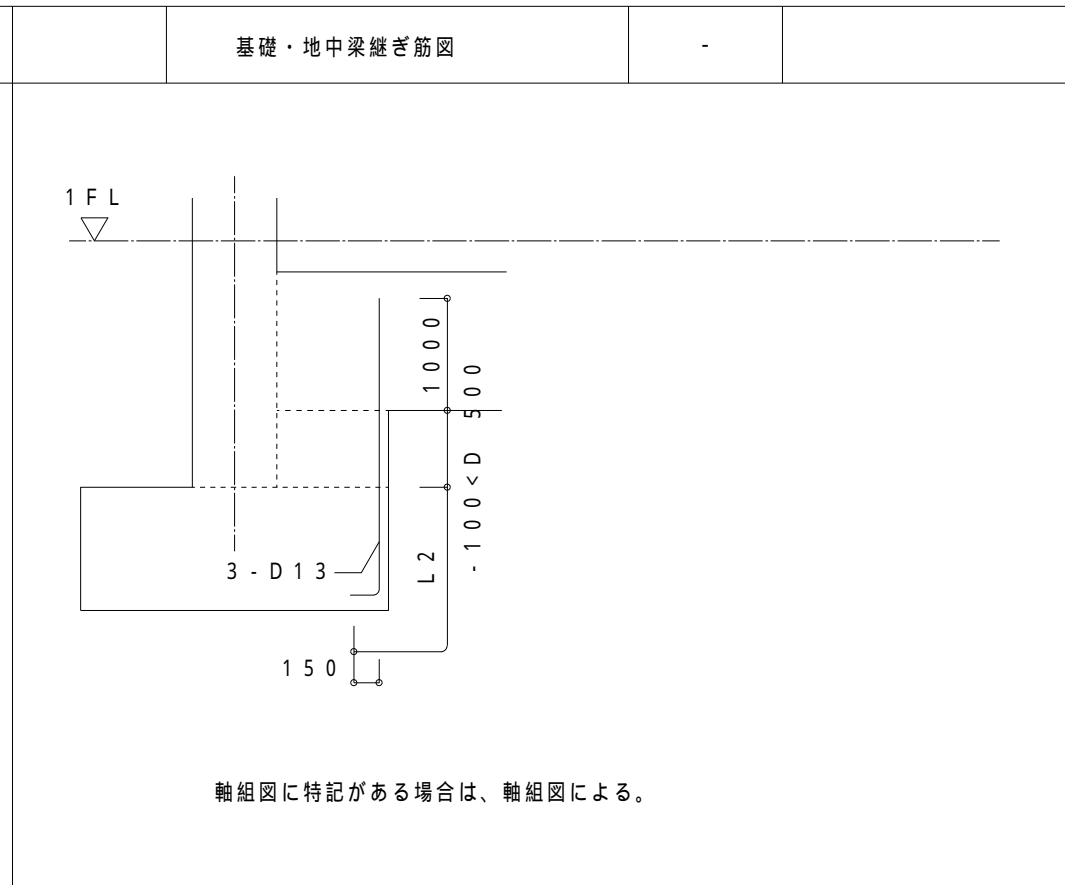
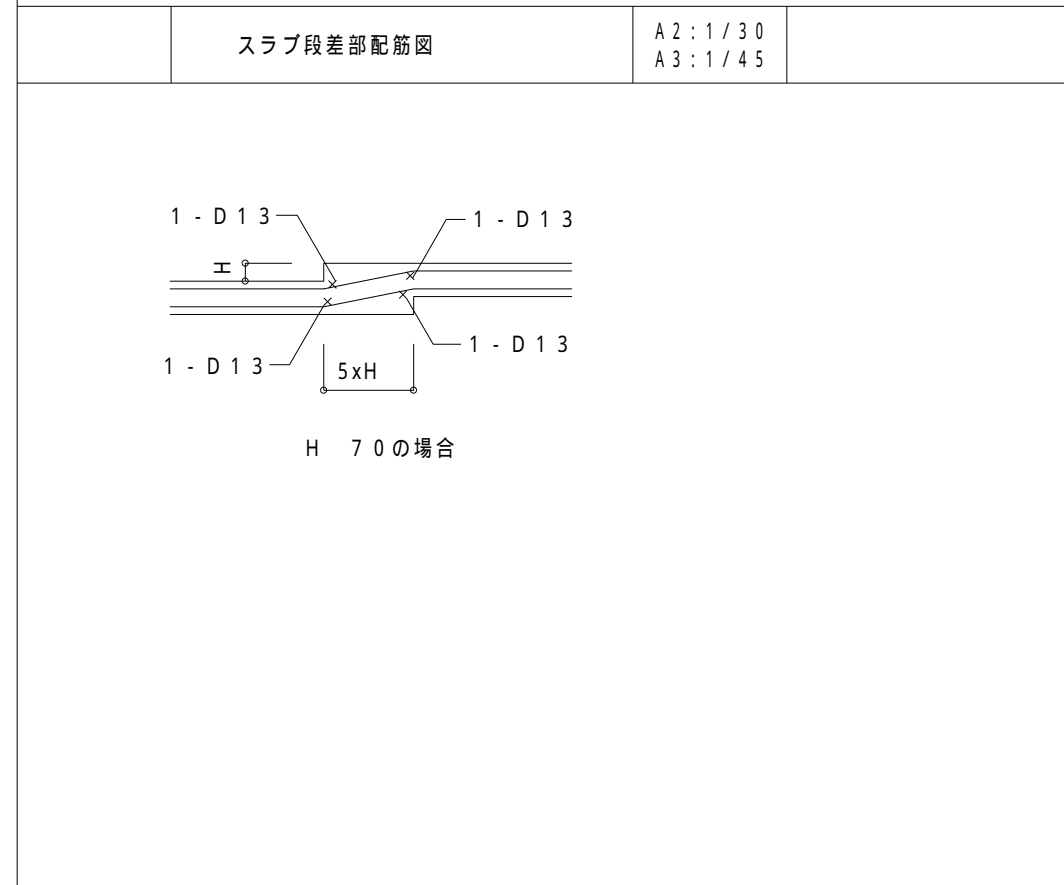
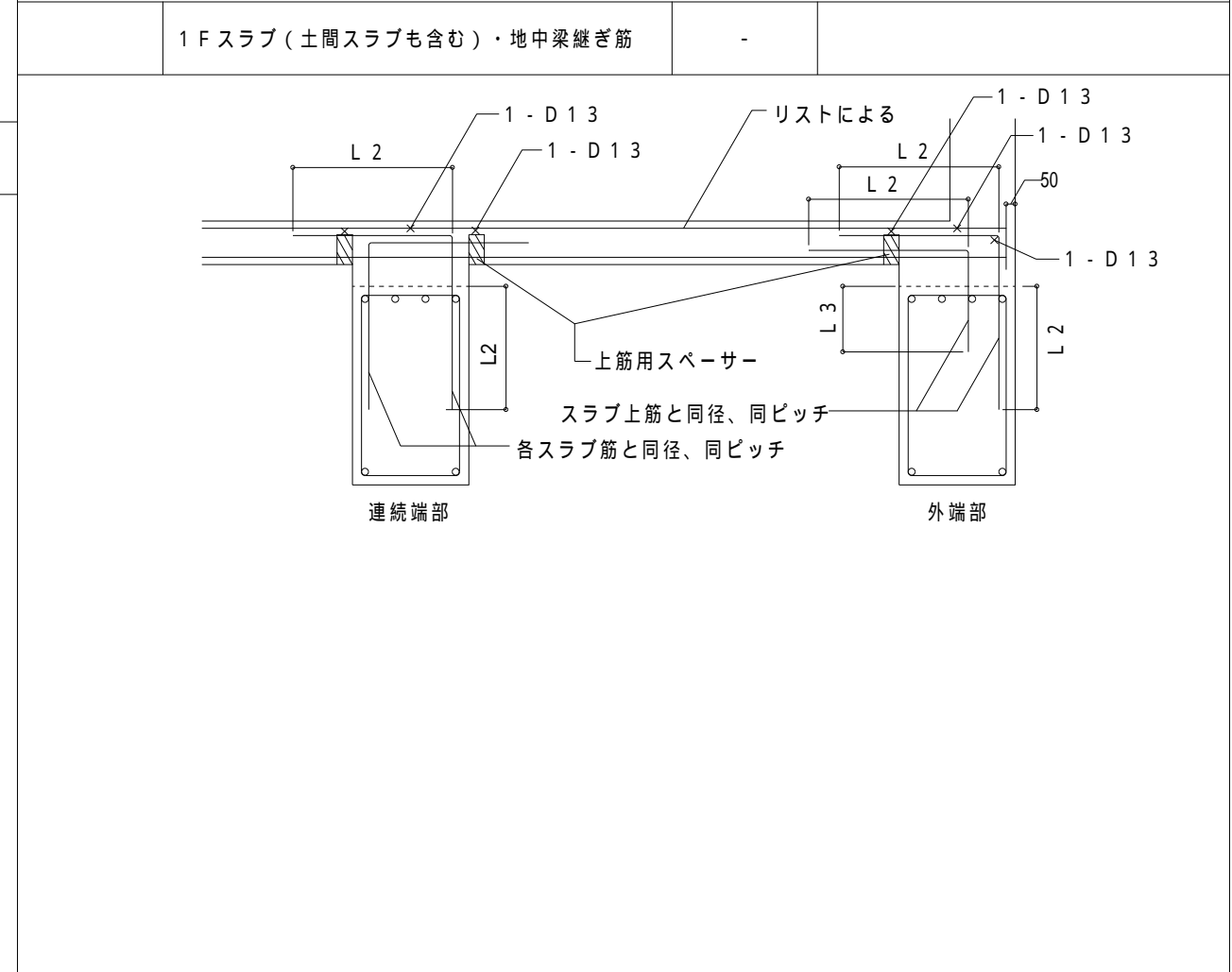
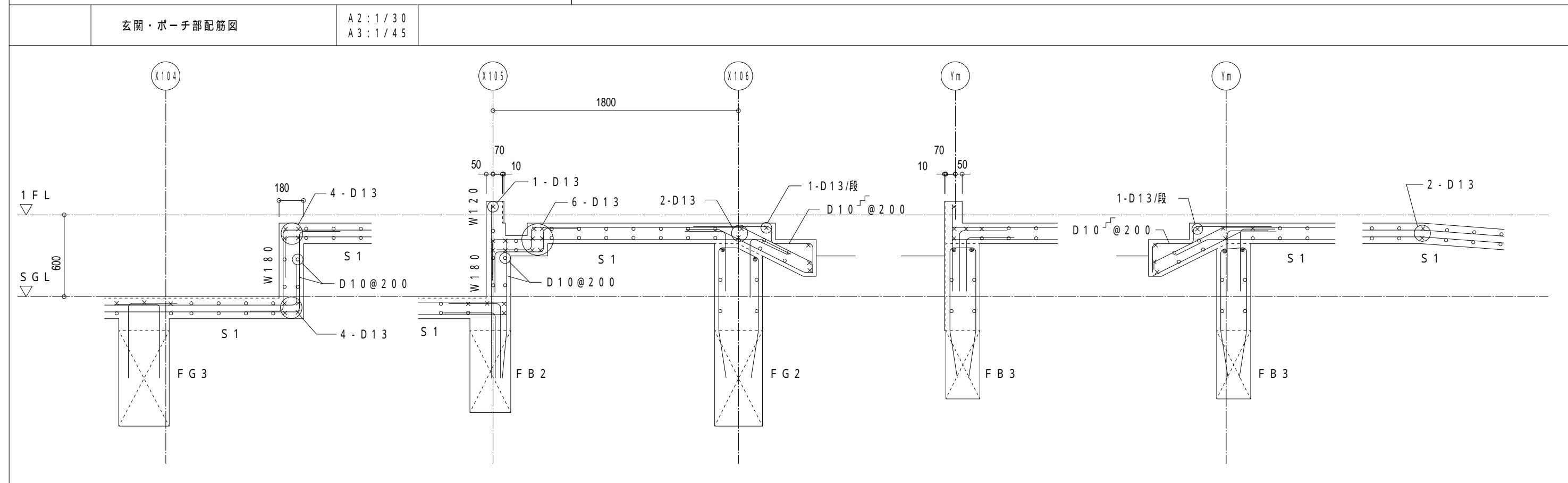
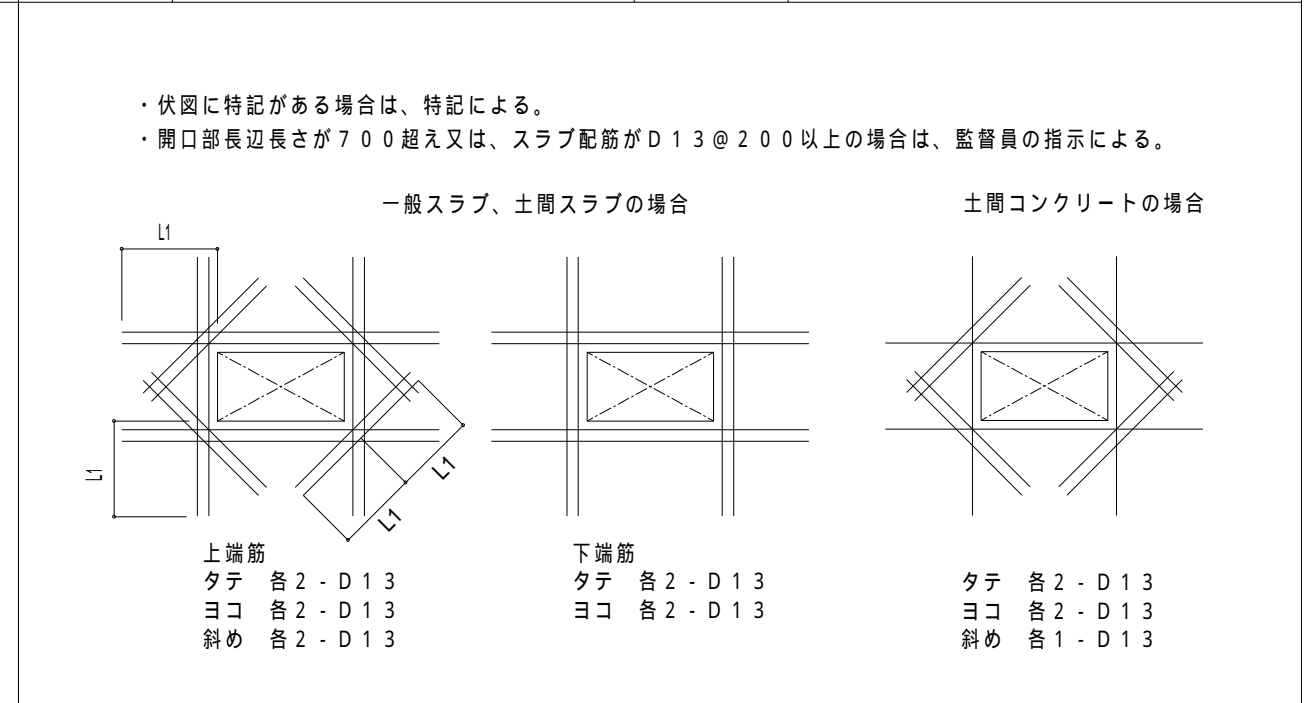
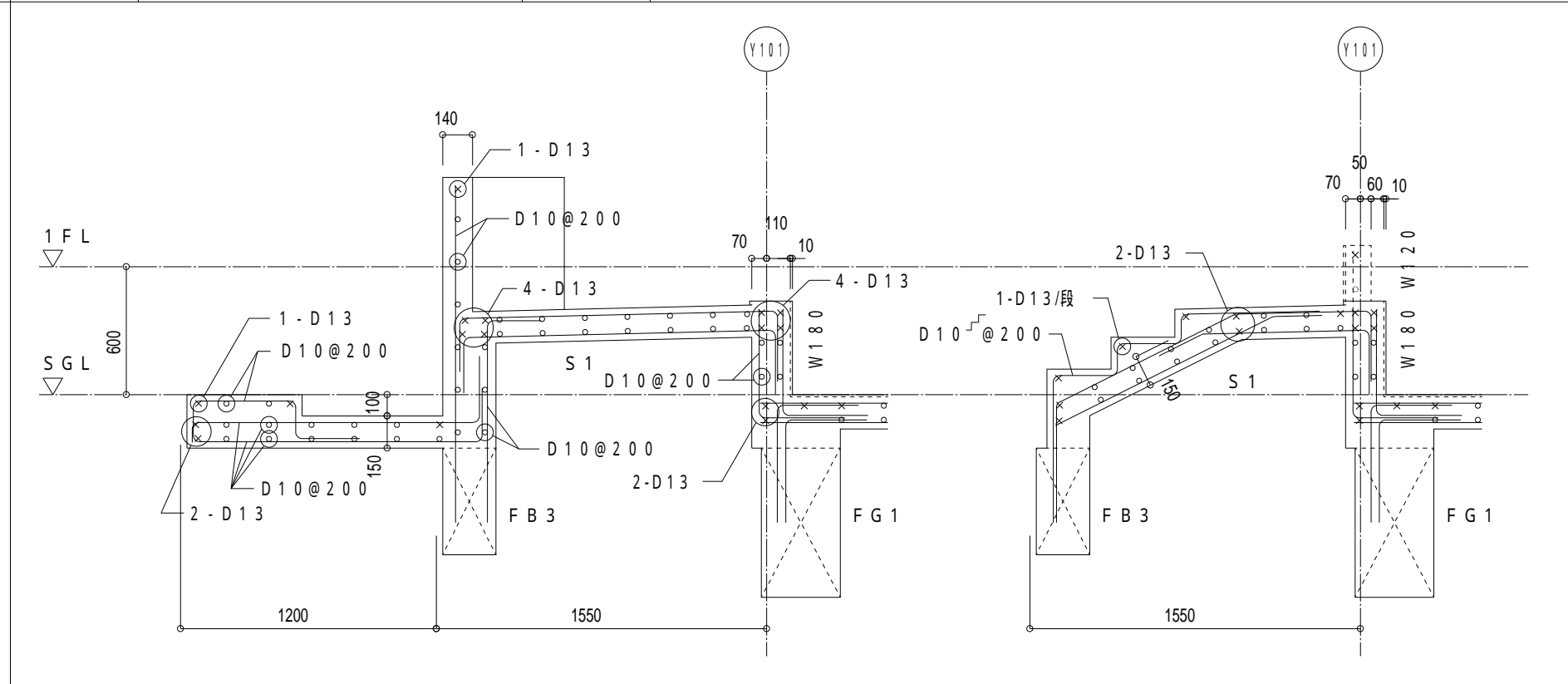
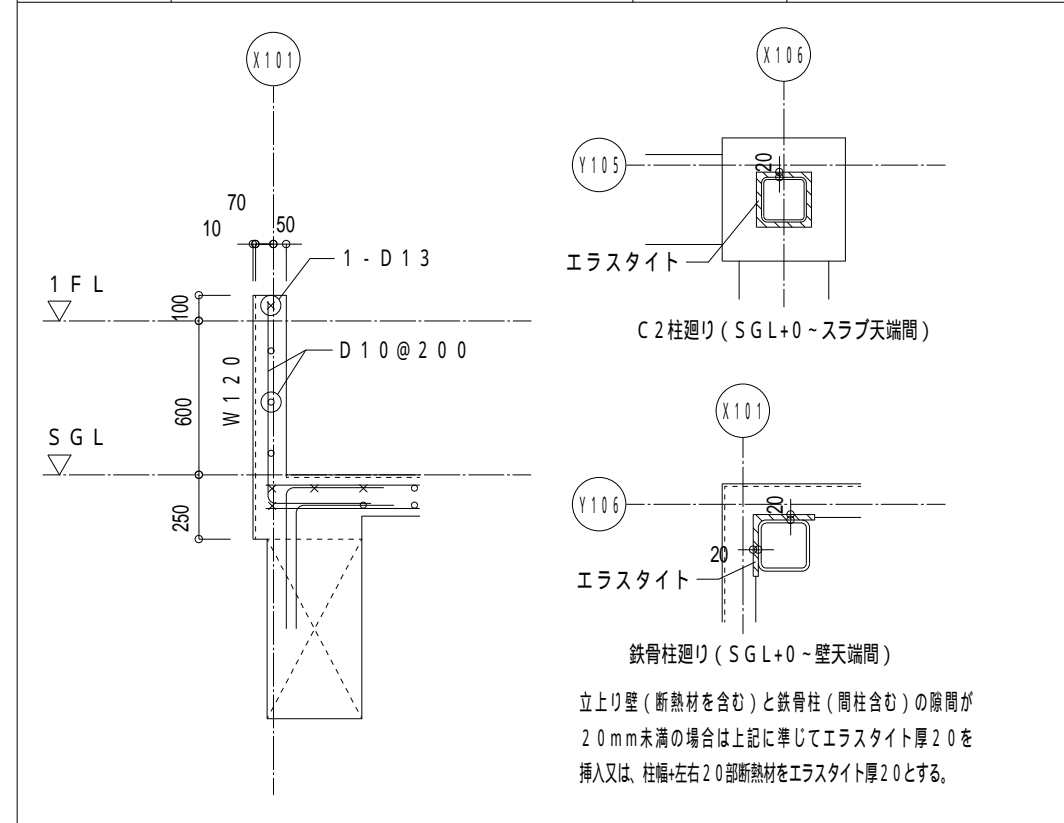
大梁主筋の定着長さLは、40dとする。

- 東西方向(X方向)梁主筋を南北方向(Y方向)梁主筋の上側に配筋のこと。
- 柱型の無い大梁交差部は、南北方向(Y方向)STPを優先する。

一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証交付番号 第 2004 号
増田 浩二

一級建築士 175279号	平成 30年 6月 日	名称 可児市立めぐみ保育園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 R C 部材リスト
		縮尺 A2:1/30 A3:1/45
		S-4

1階立上り壁配筋図	A2:1/30 A3:1/45	・W120リストを兼ねる。	手洗い、足洗い、階段配筋図	A2:1/30 A3:1/45	・W180リストを兼ねる。	スラブ開口補強筋	-	伏図に特記なき場合、鉄骨柱貫通部も含む
-----------	--------------------	---------------	---------------	--------------------	---------------	----------	---	---------------------



差し筋についての注意

コンクリート打設後の、いわゆる差し筋は一切認めない
全て、コンクリート打設前の植え筋によること

・植え筋の方法は、下記による

捨て筋 D10 (主筋の代用可)
番線結束

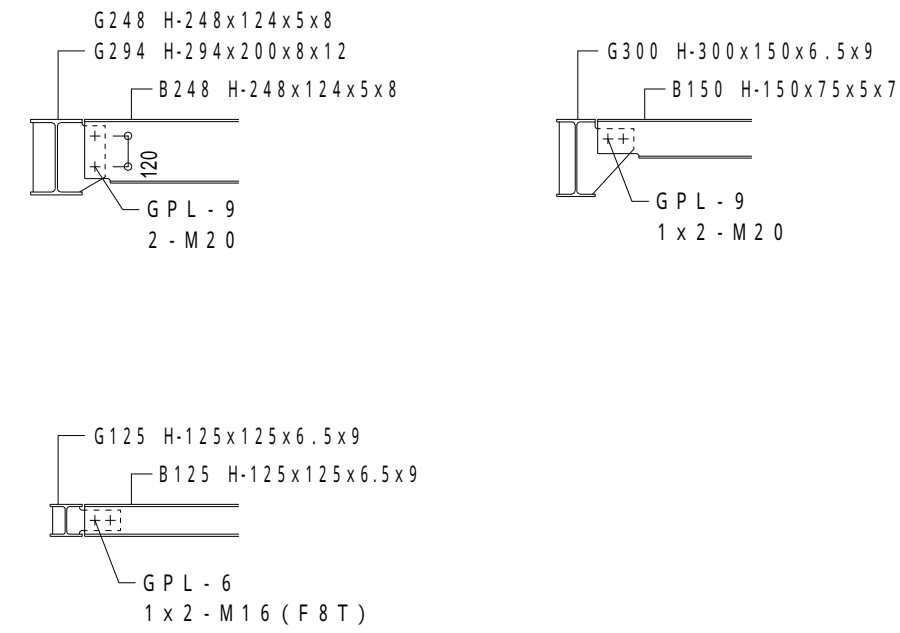
共通事項 定着及び継手の長さ表示
L1:40d, L2:35d とする。

一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証交付番号 第 2004 号
増田 浩二

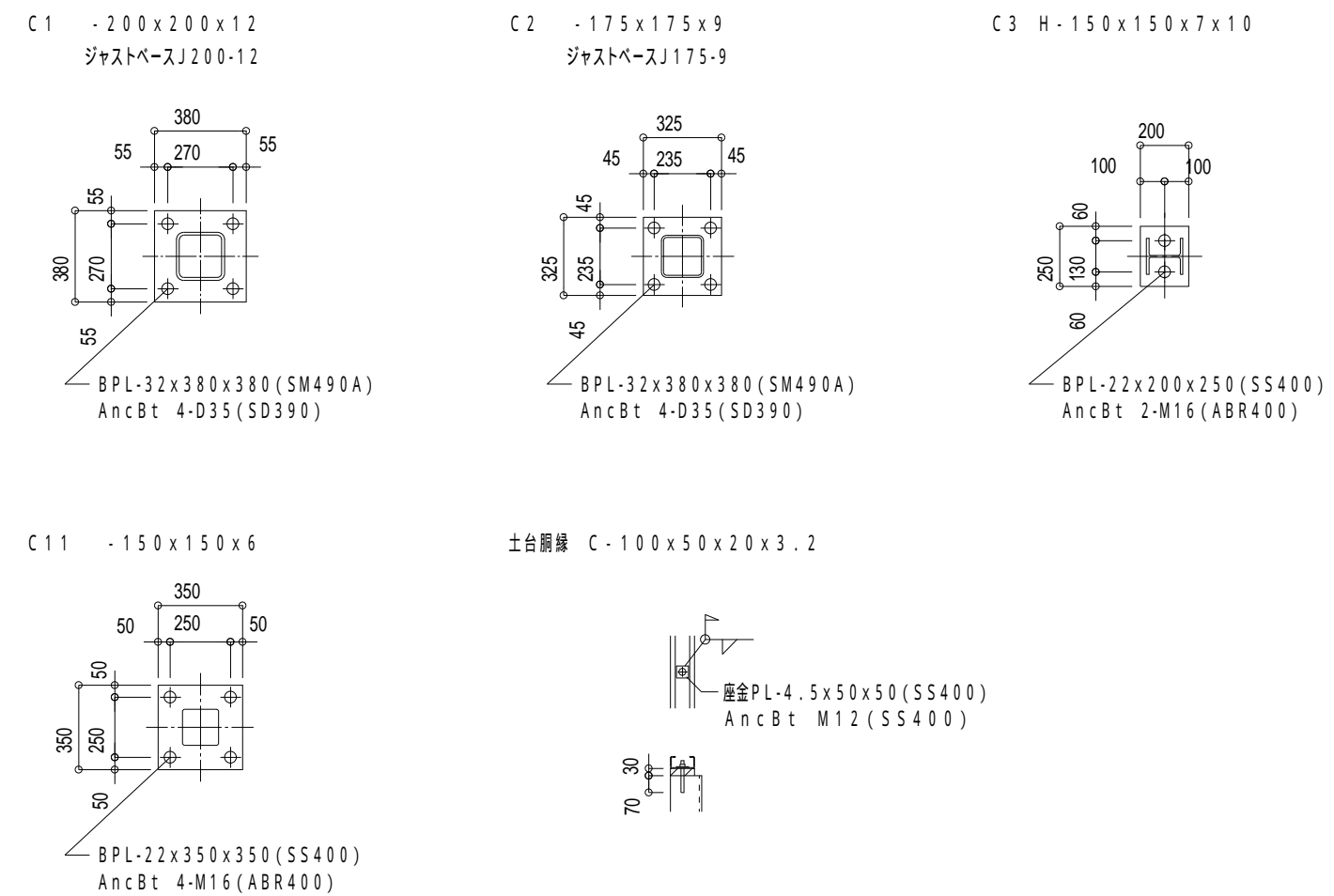
一級建築士 175279号	平成30年6月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬直人	承認	図面 雑配筋図
		縮尺 A2:1/30 A3:1/45
		S-5

符号	部材	仕口、継手等
	鉄骨部材リスト	A2:1/30 A3:1/45 ・特記なき限り、鋼材種別はSS400、ボルトはトルシア型高力ボルトS10Tとする。・中ボルトは全てダブルナット締めとする。
	増築圍合	
C1	-200x200x12(BCR295)	ジャストベース J200-12 有効編長比 = 33.9-78.6
C2	-175x175x9(BCR295)	ジャストベース J175-09 有効編長比 = 90.7
C3	H-150x150x7x10	柱頭 GPL-9、1x2-M20@60 有効編長比 = 157.0 柱脚 BPL-22x200x250、AncBt2-M16(ABR400)、L=500、定着板PL-9x50x50、DN締め
G294	H-294x200x8x12(SN400B)	F OPL-9x200x410(SN400B) 6-M20 W PL-2x9x170x200(SN400B) IPL-2x9x80x410(SN400B) 3-M20@60
G300	H-300x150x6.5x9(SN400B)	F OPL-9x150x290(SN400B) 4-M20 W PL-2x6x170x200(SN400B) IPL-2x9x60x290(SN400B) 2-M20@120
G248	柱付き端部 H-250x125x6x9(SN400B) その他 H-248x124x5x8	F OPL-9x125x290(SN400B) 4-M16 W PL-2x6x170x140(SN400B) IPL-2x9x50x290(SN400B) 2-M16@60 ピン接合部 GPL-9 2-M20@120
B248	H-248x124x5x8	GPL-9、2-M20@120
B150	H-150x75x5x7	GPL-9、1x2-M20@60
V1	M16(JISブレース、フルブレース同等品)	GPL-6、1-M16、e=45、b=60、L=90
胴縁1	C-100x50x20x2.3(SSC400)	ピッチ450、GPL-4.5、2-M12(中ボルト)
胴縁2	C-100x50x20x3.2(SSC400)	ピッチ450、GPL-4.5、2-M12(中ボルト)
胴縁3	-100x100x2.3(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト)
胴縁4	-100x100x4.5(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト)
土台胴縁	C-100x50x20x3.2(SSC400)	AncBt 1-M12@900、又は、胴縁3・4直下(SS400)、L=100、I形 座金PL-4.5x50x50、SN締め、座金PLと土台胴縁は現場溶接止めとする。
垂木1、母屋1	C-100x50x20x2.3(SSC400)	ピッチ455、GPL-4.5、2-M12(中ボルト)
垂木2	C-100x50x20x3.2(SSC400)	ピッチ455、GPL-4.5、2-M12(中ボルト)
垂木3、母屋3	2C-100x50x20x2.3(SSC400)	ピッチ1820、GPL-4.5、2-M12(中ボルト)
垂木4、母屋4	-100x100x2.3(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト)
HB125	-125x125x3.2(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト)、リブPL-4.5
HB100	-100x100x2.3(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト)
頭つなぎ	-100x100x2.3(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト)
HB150	-150x150x4.5(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト)
SP1	-150x150x4.5(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト)
SP2	-60x60x3.2(STKR400)	2GPL-4.5、小口PL-4.5、2-M12(中ボルト) BPL-12x110x220、AncBt2-M12、L=400、L形、DN締め
	渡り廊下	
C11	-150x150x6(STKR400)	BPL-22x350x350、AncBt4-M16(ABR400)、L=500、L形、DN締め 有効編長比 = 79.9-81.9
G125	H-125x125x6.5x9	F OPL-16x125x410 6-M16(F8T) W PL-2x6x350x80 1x2-M16@60(F8T)
B125	H-125x125x6.5x9	GPL-6、1x2-M16@60(F8T)
V11	M14(JISブレース、フルブレース同等品)	GPL-6、1-M16、e=40、b=55、L=85
垂木11	C-100x50x20x2.3(SSC400)	455ピッチ、GPL-4.5、2-M12(中ボルト)
垂木12	2C-100x50x20x2.3(SSC400)	455ピッチ、GPL-4.5、2-M12(中ボルト)

小梁接合部姿図(代表的なものを示す)



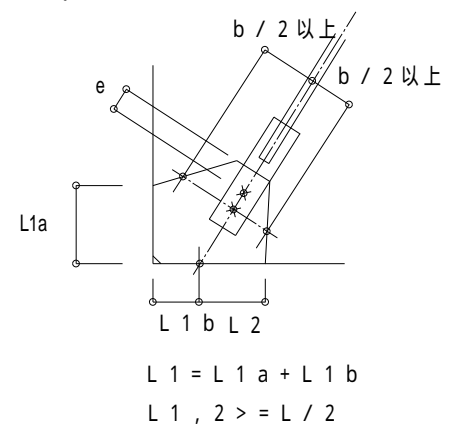
鉄骨柱脚姿図



一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証交付番号 第2004号
増田 浩二

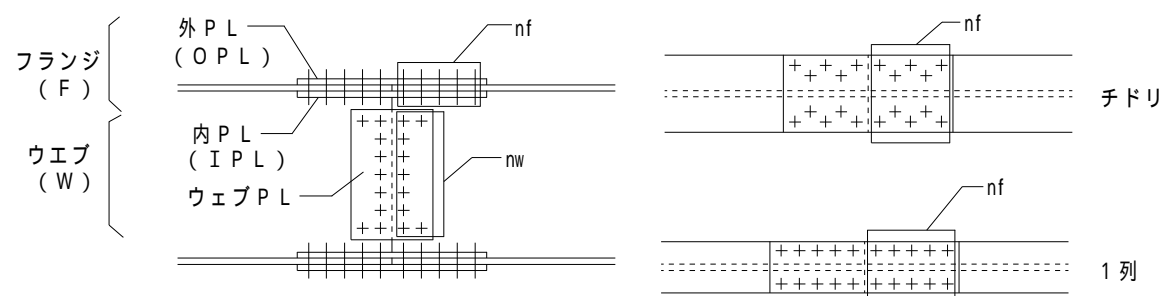
一級建築士 175279号	平成 30年 6月 日	名称 可児市立めぐみ保育園圍合増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 鉄骨部材リスト
		縮尺 A2:1/30 A3:1/45
		S-6

- 柱・梁剛接合部、梁・梁剛接合部及び柱・ベースPL接合部のフランジ（控えスチフナ共）は、原則としてレ形突き合わせ溶接（裏当て金、エンドタブ付き、ノンスカラップ工法）とする。
- 隅肉溶接のサイズは、板厚 $\times 0.7$ とする（但し、H形鋼柱のWeb、大梁のWeb部分は板厚とする）
- スチフナーPL、GPLと母材入り隅との接点はスニップカット又は円弧状とする。ただし溶融垂鉛めっきの場合は $r = 20$ のスカラップとする。
- スチフナーPL、GPLは、取付くフランジ端から10mm控えて端部を差し溶接とする。ただし溶融垂鉛めっきでフランジ幅125以下の場合は、取付くフランジ端から10mmのはして端部を差し溶接とする。
- ブレースGPL材の e, b, L 寸法は右図とする。
- 特記なき中ボルト及、高力ボルトのピッチ、はしあきは下表による

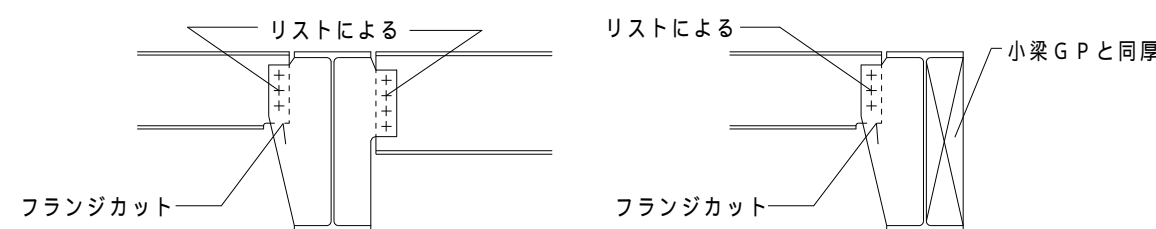


径	中ボルト	M12	M16, 20	高力ボルト	M16	M20	M22	M24
ピッチ		50	60		60	60	60	70
はしあき		30	40		40	40	40	50

7) 梁リスト継手部で、高力ボルト本数の示す部分は下図による

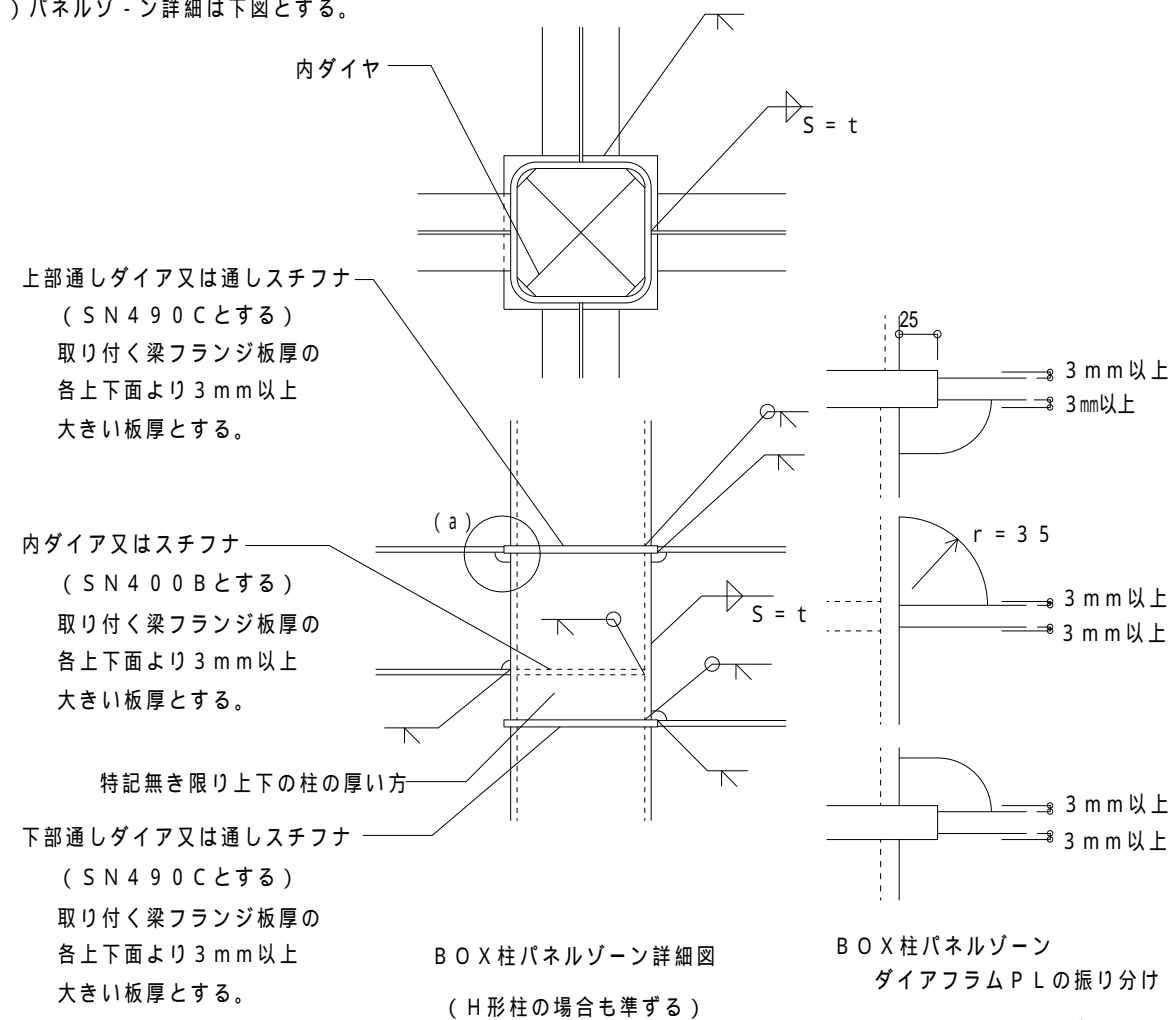


8) 小梁仕口部詳細は右図とする。

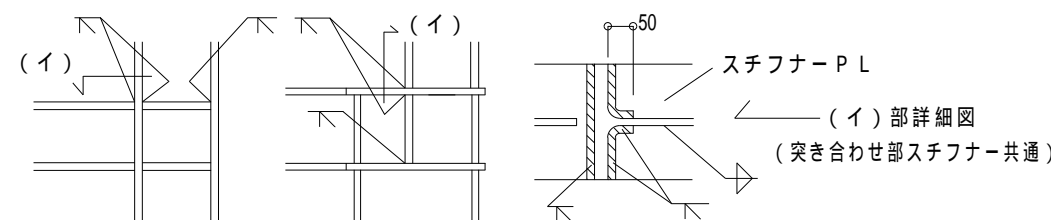


下端フランジのカットの有無は、小梁接合部姿図による。

9) パネルゾーン詳細は下図とする。

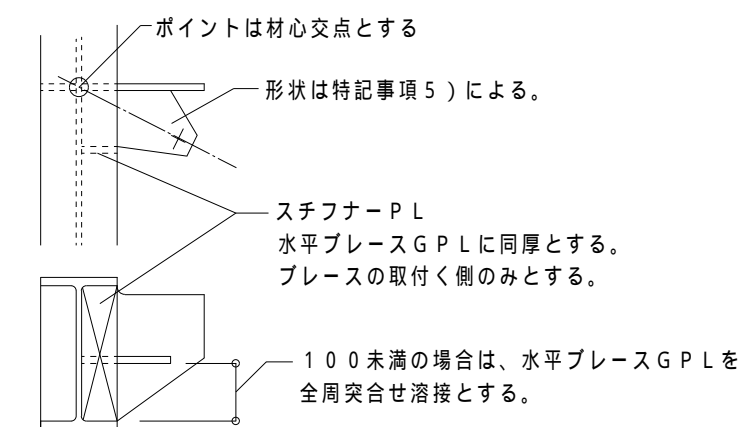


10) H形鋼柱・梁剛接仕口の二つ割りスチフナーPLのフランジ面溶接部は下図の様にスカラップ無しとする。

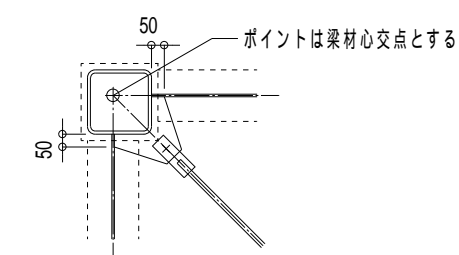


11) ベースプレート下は無収縮モルタルグラウトのこと。

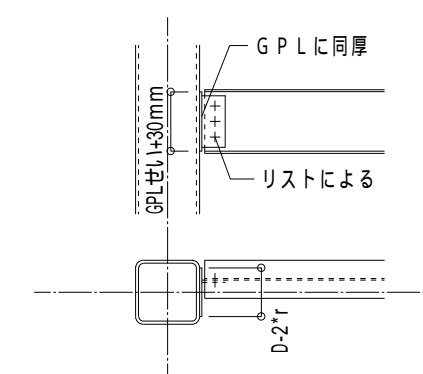
14) 梁-水平ブレース 接合部詳細は下図とする。



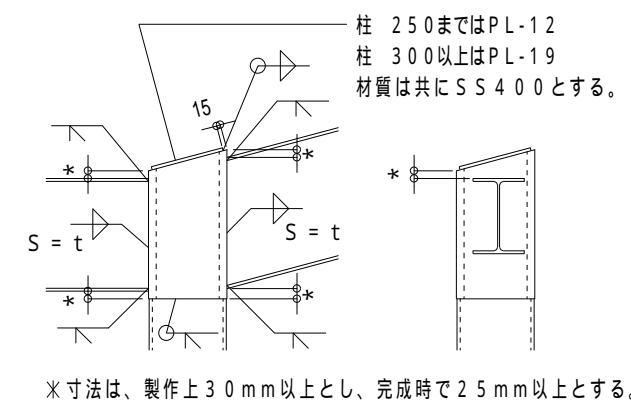
15) 柱-水平ブレース 接合部詳細は下図とする。



16) BOX柱-ピン梁接合部詳細は下図とする。



17) NDコア形式のパネルゾーン詳細は下図とする。



すみ肉溶接

一般部	大梁WEB部
t1 4.5 6 9 12	t1 4.5 6 9 12
S 4.5 5 7 9	S 4.5 6 9 12

共通事項 但し S t2 とする。

突き合わせ溶接 1

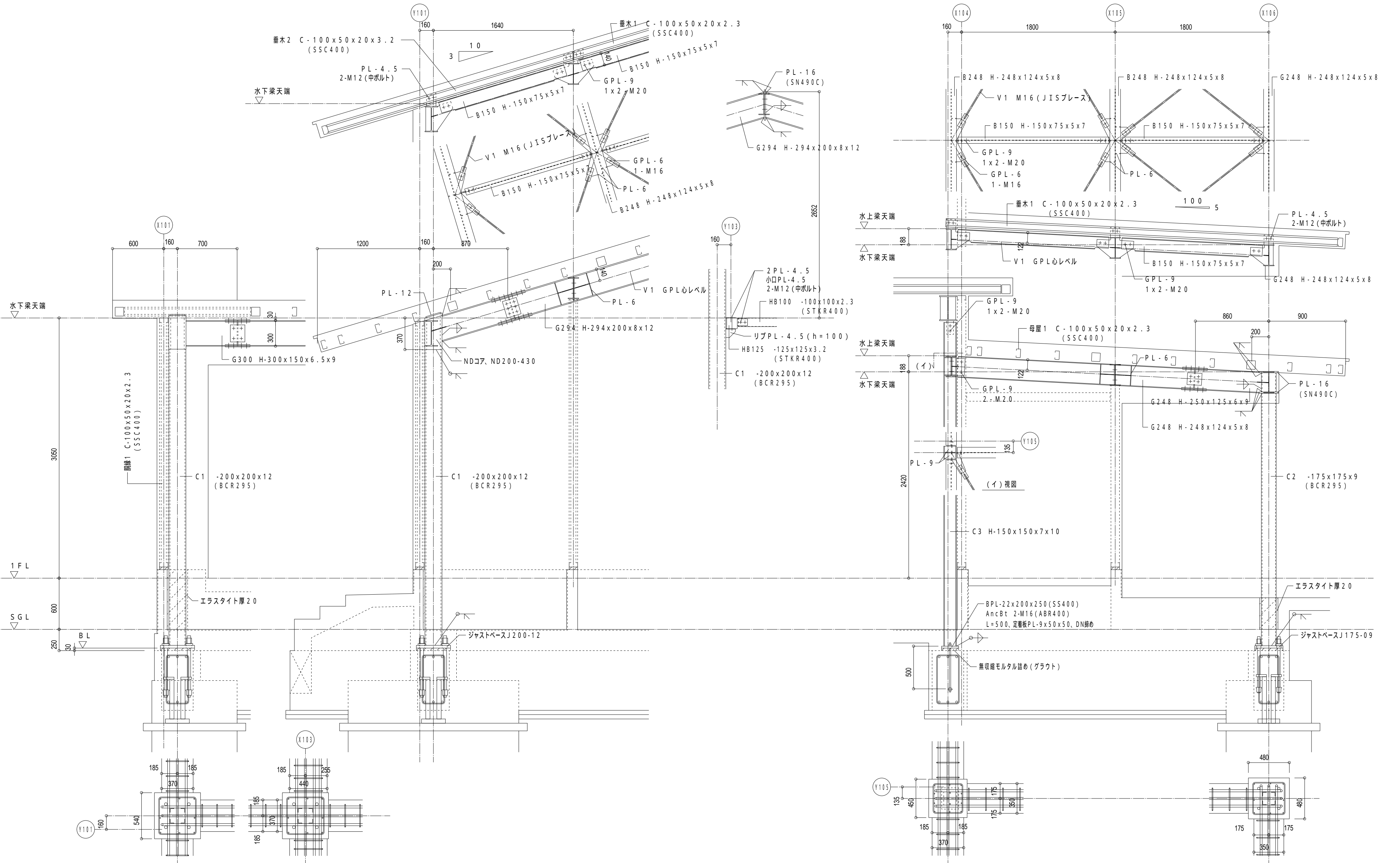
G	5 - 9
R	0 - 2

突き合わせ溶接 2

t1	16
t1	> 19

一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証交付番号 第 2004 号
増田 浩 二

一級建築士 175279 号	平成 30 年 6 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直 人	承認	図面 鉄骨特記事項
		縮尺 A2:1/30 A3:1/45
		S-7



一級建築士 175279号

平成 30年 6月 日

名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

一級建築士 213679号
構造設計一級建築士証交付番号 第2004号
増田 浩二

岩瀬 直人

承認

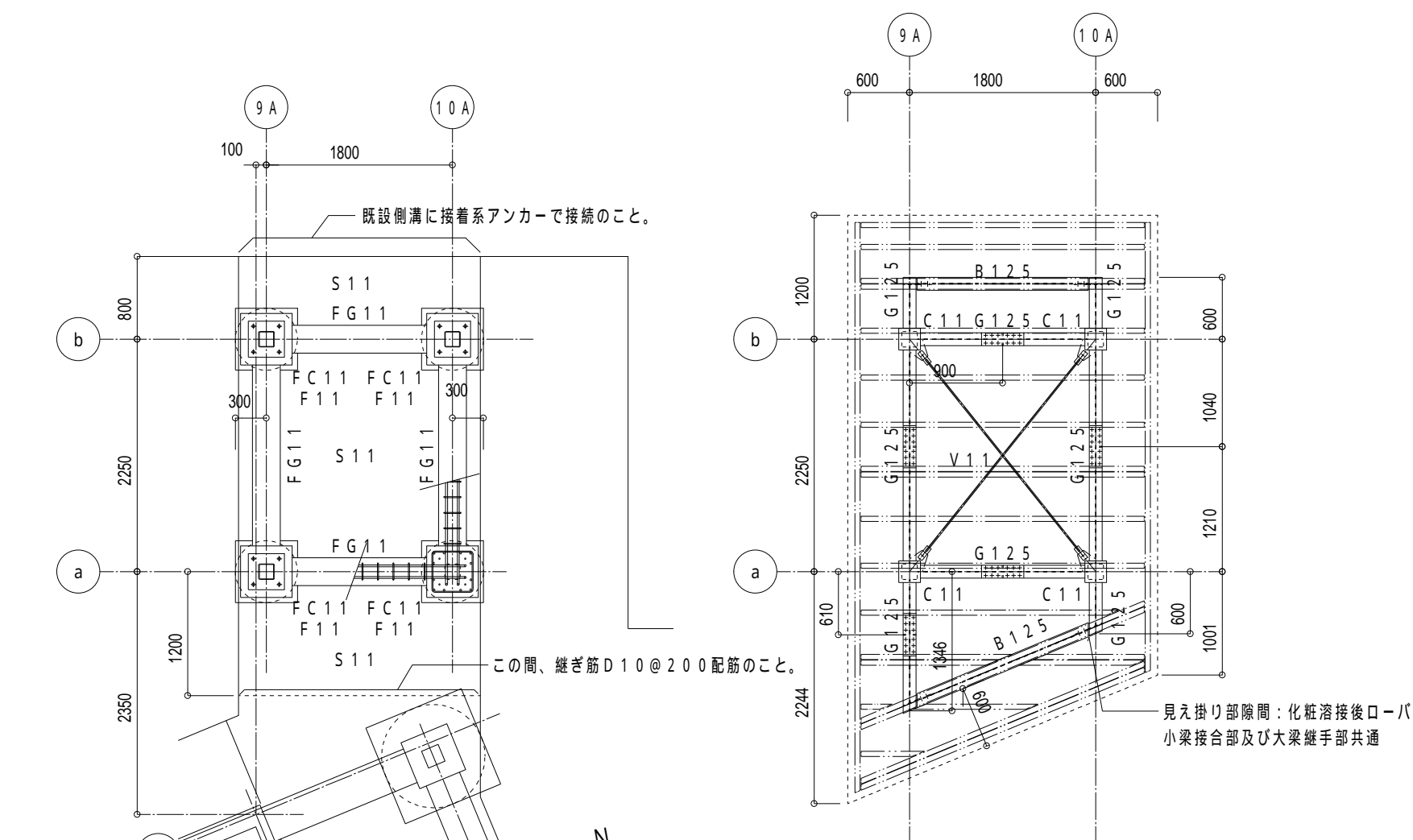
図面

鉄骨詳細図-1

縮尺

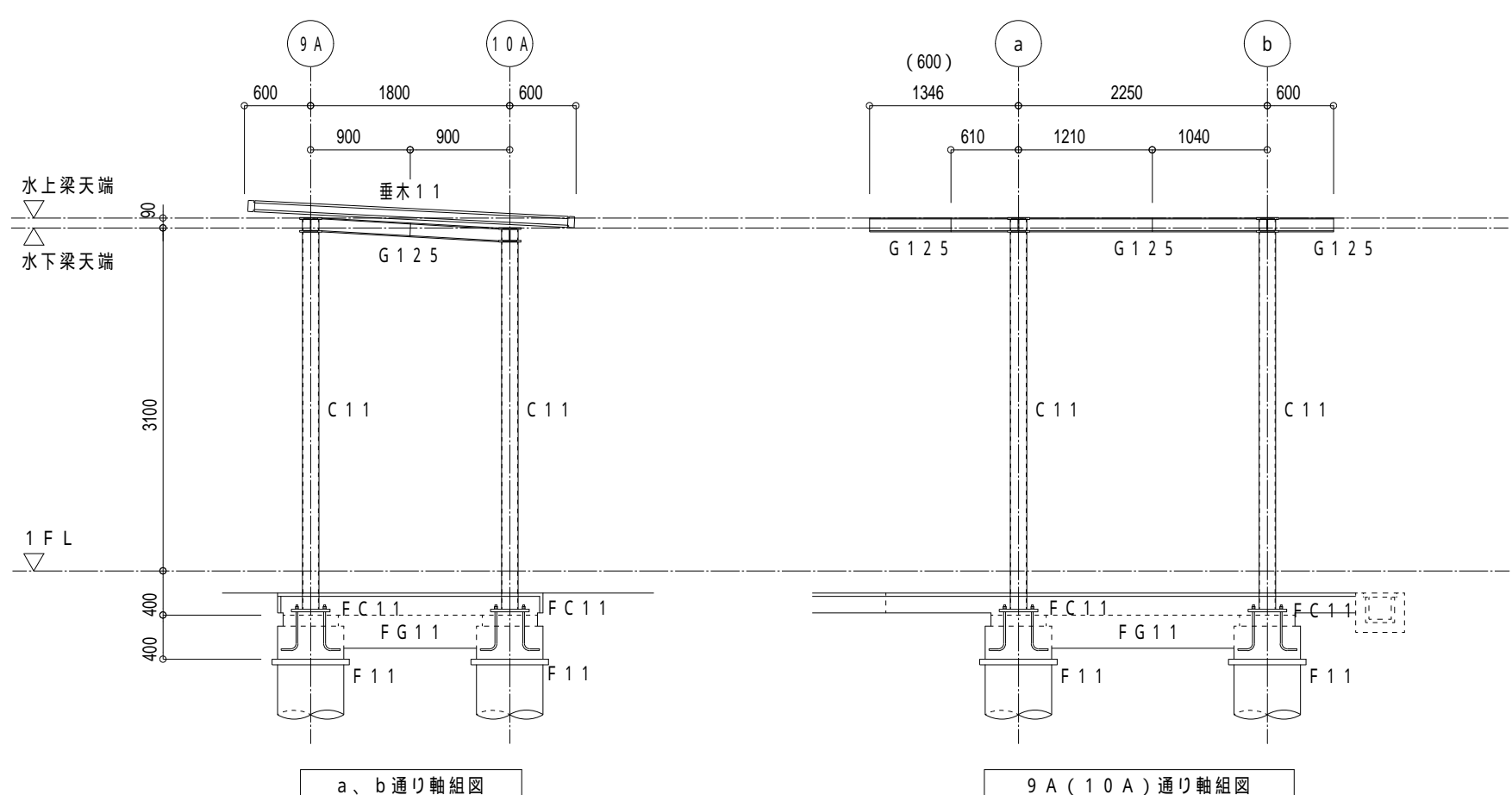
A2:1/30
A3:1/45

S-8



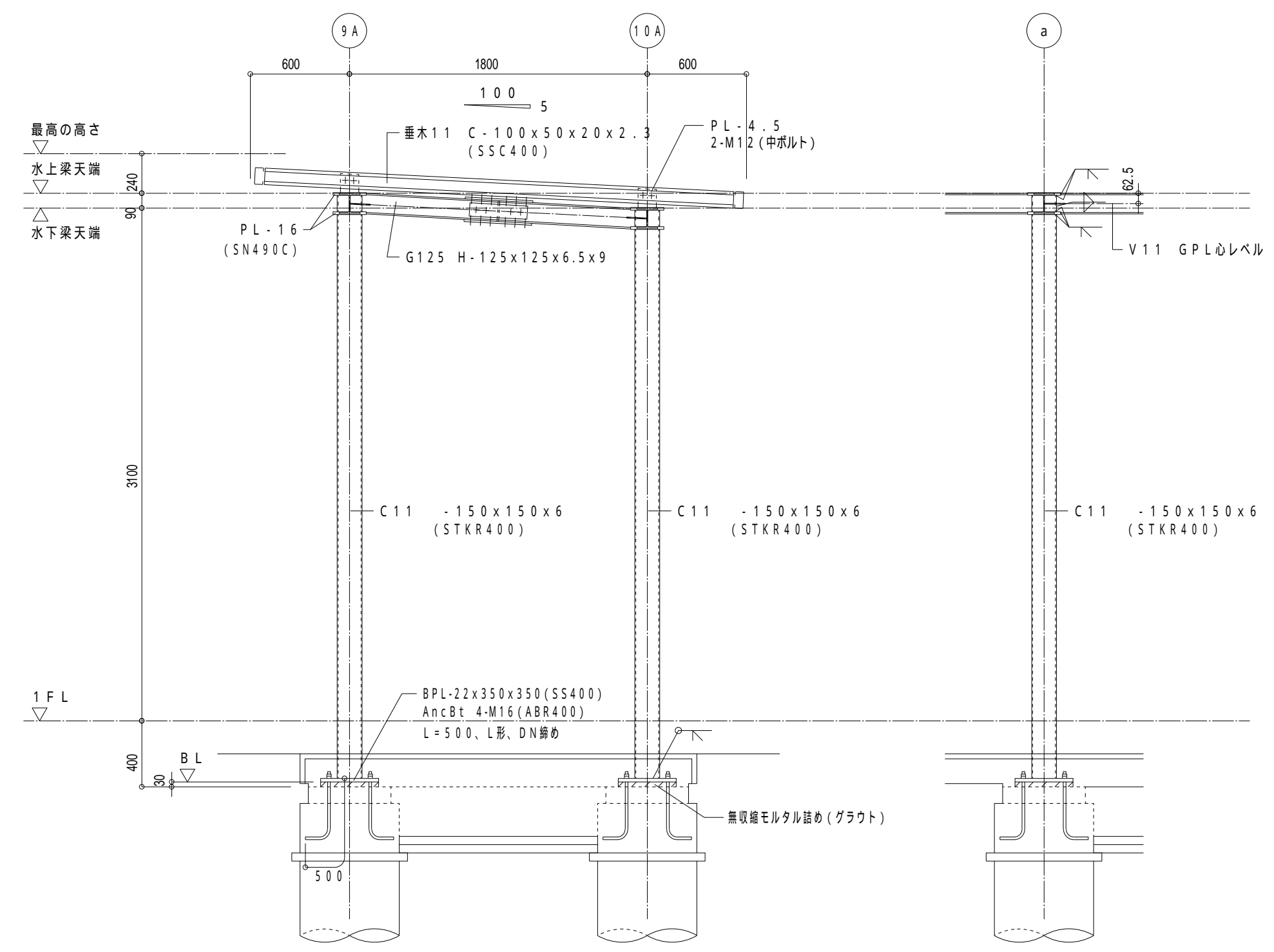
基礎伏図
・S11天端は、1FL-230とする。

屋根伏図
・印は、垂木11を示す。
・印は、垂木12を示す。

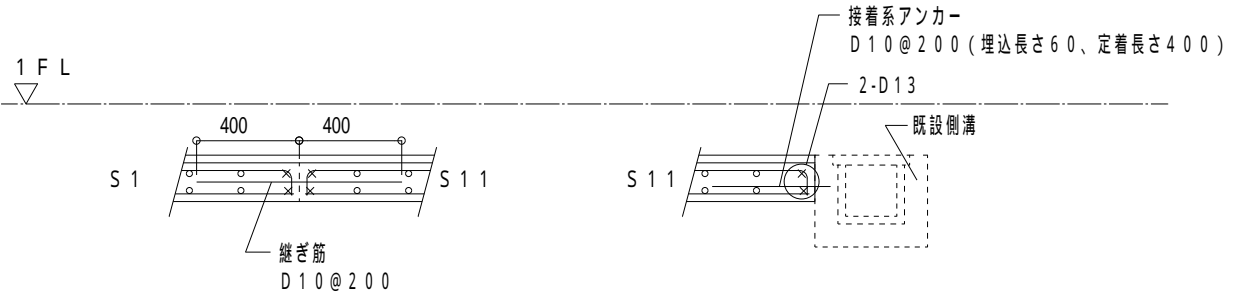


a, b 通り軸組図

9A (10A) 通り軸組図



C11、G125、B125、仕口PL、継手PLは各単材で溶融亜鉛めっきとし、溶接完了後、溶接部にローバ-3回塗りとする。




一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証交付番号 第 2004 号
増田 浩二

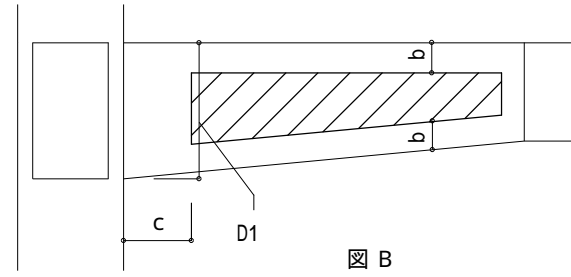
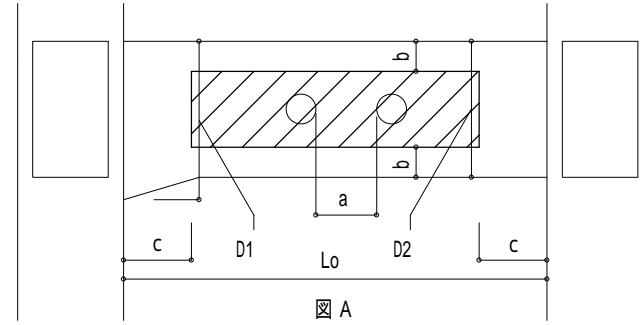
一級建築士 175279号	平成 30年 6月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 渡り廊下構造図
		縮尺 A2:1/30, 1/60 A3:1/45, 1/90
		S-9

R C 梁スリーブ補強要領

(註) S R C 梁の R C 部分にも適用のこと。

コンクリート特記事項

- 以下の要領はあらゆる梁貫通孔に適用する。
- 梁貫通孔補強筋は、評定取得品とし、補強筋メーカーによる検討書を提出し、監理者の承諾を得ること。
- 梁貫通孔設置可能部分 (図 A ・ B の  部分) は使用する補強筋の評定範囲内、かつ、図内表示範囲内とする。
但し、地中大梁にあって径 150 以下の梁貫通孔は、C 寸法のみ評定範囲外でも可とする。
- 隣り合う 2 つの梁貫通孔の間隔 (a) は大きい方の梁貫通孔径の 2 倍以上、かつ、300 以上^{*}1 はなすこと (図 A) 。
- 梁せいの 1 / 3 以上の梁貫通孔は、不可とする。
- 梁貫通孔径が 50^{*}2 以下の梁貫通孔は補強不要とする。
ただし孔設置範囲および間隔は上記第 3 ~ 5 を適用する。
- 上記の事項を満たさない梁貫通孔は、監理者の指示による。
- 施工前に梁貫通孔の施工図を提出し、監理者の承諾を得ること。



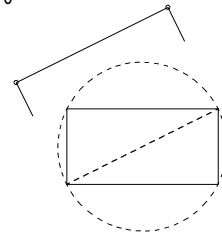
- * 1 大きい方の梁貫通孔径が 50 以下の場合は「かつ 300 以上」は適用しなくてもよい。
- * 2 梁せいが 800 以上の場合は 75 以下とする。

・ a 寸法は大きい方の梁貫通孔径の 2 倍以上、かつ、300 以上^{*}1 とする。

・ b 寸法は右記とする。 500 D < 700 b 175
700 D < 900 b 200
900 D b 250

・ c 寸法は評定範囲内とする。

・ 右図のような開口は対角線を とした円形孔とみなす。



せき板の最小存置期間は、下表による。

存置期間中の平均気温	施工箇所		基礎、梁側、柱、壁	
	セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント、混合セメントの A 種	混合セメント B 種
15 以上		2	3	5
5 以上		3	5	7
0 以上		5	8	10
コンクリートの圧縮強度による場合 (日)				
コンクリートの圧縮強度による場合	—	圧縮強度が 5 N / m m 2 以上となるまで。		

支柱の最小存置期間は、下表による。

存置期間中の平均気温	スラブ下			梁 下
	セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント、混合セメントの A 種	
15 以上		8	17	左記のすべてのセメント
5 以上		12	25	
0 以上		15	28	
コンクリートの材齢による場合 (日)				28
コンクリートの圧縮強度による場合	—	圧縮強度が設計基準強度 (F c) の 85 % 以上又は 12 N / m m 2 以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。		圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで。

建築設備の構造安全性などに関する規定

- 令第 129 条の 2 の 4 の事項 * 設計が該当する場合は、 にチェックを記入する。
- 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
 - 建築設備 (昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
 - 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
 - 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm 以下とすること。
 - 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを 5cm 以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが 25cm 以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
 - 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 - 建築物の部分を通って配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 法第 20 条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第 1389 号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証交付番号 第 2004 号
増田 浩 二

一級建築士 175279 号

平成 30 年 6 月 日

名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

岩 瀬 直 人

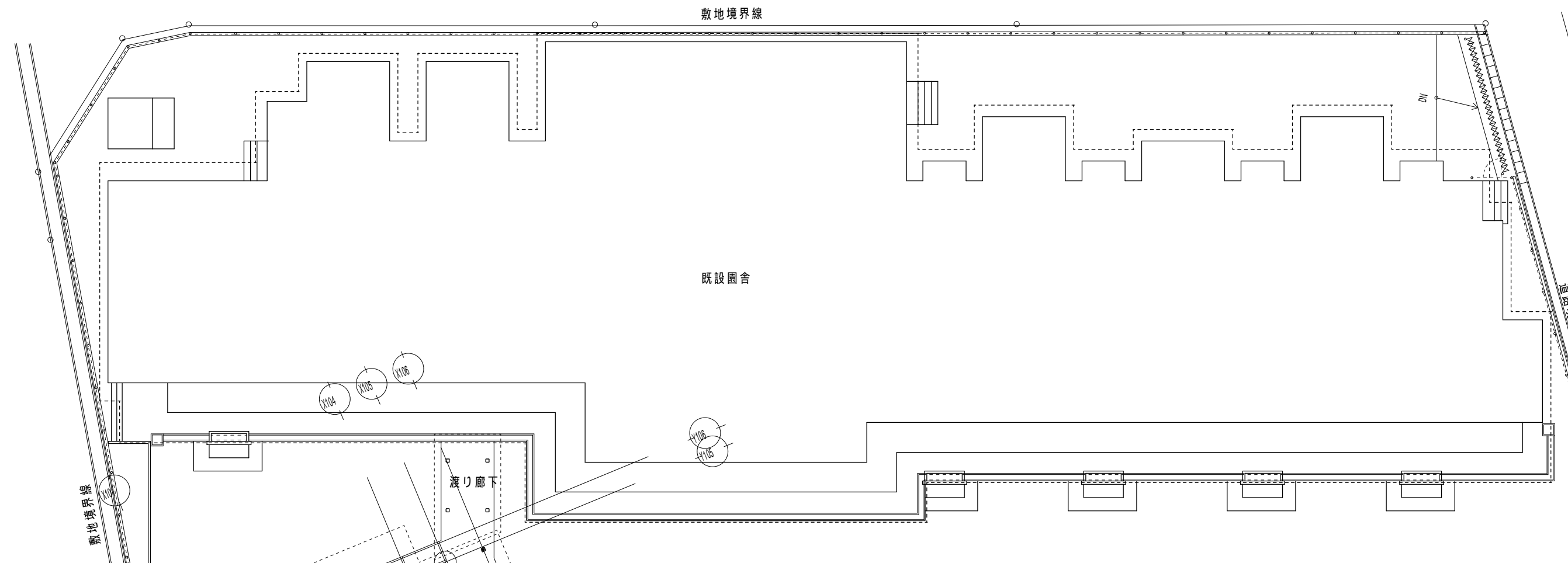
承認

図面 スリーブ補強要領他

縮尺 A2:1/1 A3:1/1.5

S-10

調査位置図



No.1 孔口 KBM+0.40m, SGL+0.25m

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位	標準貫入試験											
											10cmごとの打撃回数			n / cm	N 値							
											0	1.0	2.0		3.0	0	SG1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0
0					盛土	暗褐			砂礫主体。上部砂分多い。0.3m付近玉石点在。													
1		0.70	0.70		礫混り砂質粘土	暗黄灰		中位	粘土・シルト優勢。砂分一様に多量含む。部分的に砂分優勢。2-1.0mm前後の角礫混入。含水量中位。	12/2		1	1	3	5/30							
2												2	2	2	6/30							
3												2	3	3	8/30							
4	-3.50	3.20	3.90		シルト混り砂礫	灰		中位	2-1.0mm程の角礫を主体とする。マトリックスはシルト分を含む砂。含水量やや多い。			5	6	6	17/30							
5		1.60	5.50									6	6	6	18/30							
6												1.2	2.0	2.5	57/30							
7					玉石混り砂礫	灰		中位	2-4.0mm前後の垂角・円礫主体。玉石を混入する。玉石は採取されたコア長より10-20cm大と推定する。マトリックスは中・粗砂。含水量やや多い。			6.0/5			6.0/5							
8												6.0/2			6.0/2							
9	-8.03	3.53	9.03									6.0/3			6.0/3							
10																						
11																						

一級建築士 213679 号
 構造設計一級建築士証交付番号 第 2004 号
 増田 浩 二

一級建築士 175279 号	平成 30 年 6 月 日	名称 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事
岩瀬 直人	承認	図面 土質柱状図
		縮尺 A2:1/200 A3:1/300
		S-11

地盤改良特記仕様書

1 工事概要

本地業は、セメントミルクを用いた機械式攪拌深層混合処理工法による地盤改良地業である。
この工法は、セメント系固化材を原地盤と攪拌混合し、原地盤を固化する方法によって地盤改良を行うものである。

2 一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針 平成24年11月」((財)日本建築センター、以下指針という)による。

3 特記事項

- コラムの径、掘削深度(改良長+空掘長)、本数配置等は設計図書による。コラムの径長さ・本数・位置及びセメントミルクの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。
- コラムの設計基準強度は $F_c=900\text{KN/m}$ (0.90N/mm²)、造成後の改良体強度に対しF検定結果による変動係数2.5%以下、不良率10%を確保するものとする。
F検定：各施工業者で既往の調査結果から下記の品質項目を確認したもの。
 - 改良体強度の分布に関する正規分布の適合度の判定。
 - 土質毎の変動係数の信頼性の確認。
(指針(P463~470)の算定方法による。)
- 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。
- セメントミルクを用いた機械式攪拌深層混合処理工法の専門工事を本工事施工業者とする。
- 固化材と改良対象土を確実に混合攪拌することができ、共回り現象を防止する攪拌装置を装備する施工機械を用いる。
- 地盤改良の設計及び施工に関して、機械攪拌式深層混合処理工法の専門工事を本工事施工業者とする。
- 工法の選定においては、(財)日本建築総合試験所等 公的機関における性能証明を取得した工法とし、施工会社は上記工法を自社で取得している会社に限るものとする。
協会員として施工権を取得している会社は、性能証明取得会社とは見なさないものとする。

4 施工計画

工事に先立ち、施工計画書を監査員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

- 工法概要
- 工事概要(工事名称・工事場所)
- 施工内容
(工法・使用材料・設計基準強度・合格判定強度・室内目標強度・コラム径・コラム数量等)
- 施工機器および仮設設備と配置
- 工事期間及び工期
- 施工仕様(固化材配合・スラリー注入量等)
- 施工要領(注入液の製造・コラム施工フロー等)
- 施工管理の方法
- 品質検査の方法
- 施工管理体制
(本工事施工業者名及び責任者名・各種作業の主たる従事者の組織表等)
- 安全対策

5 施工

- 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないように養生する。
- 必要に応じ監督員の立ち会いのもとで試験打ちを行う。ボーリングデータ等地盤の状況把握できる地点の近くで試験打ちを行い、所定の下部地盤に到達した時に次の事項を確認し管理指標値を決定する。
 - 深さ
 - オーガの抵抗値(電動オーガーは電流値、油圧オーガーはトルク値)
 - 貫入速度の変化
- 基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が判明した場合は別途検討する。
 - 攪拌装置をコラム芯にセットする。
 - 所定の空掘深度まで掘削する。
 - ミルクを吐出しながら混合攪拌する。
 - 所定深度に到達したら、ミルクの吐出を停止し、先端処理を行う。
 - 攪拌装置を回転させながら引き上げる。
 - 施工に対して疑義が生じた場合は、ただちに監督員と協議し、その指示を受ける。

6 施工機械

- 固化材と改良対象土を確実に混合攪拌することができ、共回り現象を防止する攪拌装置を装備する施工機械を用いる。
- 所定の施工管理項目を計測、記録できる管理装置を用いる。
- 改良機本体は、本地業の施工仕様を満足できる施工制御機器を装備したもので、自走式とする。
- ミキシングプラントは、所定吐出量を十分供給できるものとする。

7 配合管理

- セメントミルクに使用する固化材は、セメント系固化材とする。
- 配合強度
配合管理目標変動係数を想定し、「9 品質検査」に規定する抜き取り個数Nから表1を用いて k を決め、配合強度 X を設定する。

$$X_i = F_c \cdot k$$

X_i : 配合強度
 F_c : 設計基準強度
 k : 割り増し係数

表 1 割り増し係数(L=80%, V=25%の場合)

抜き取りヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
配合管理目標変動係数 V_c						
25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

(3) 室内配合強度

- 室内配合試験の結果あるいは過去の工事実績に基づいて、配合強度を満足するように決定する。
- $$X_i = X_{in} / \eta$$
- X_i : 室内配合強度
 X_{in} : 配合強度
 η : 現場/室内強度比(改良土質による)

表 2 現場/室内強度比

対象土質	砂質土	粘性土	ローム
現場/室内強度比 η	0.80	0.60	0.70

- 注入固化ミルクの配合及び使用量は、下記を原則とする。
(事前に現状土による室内配合試験を実施し、配合量を決定する。)

- 固化材料：セメント系固化材(TL-4型同等品)
- 水 (飲料水・工業用水等)
- 配合：W/C=70%
- 使用量：添加量は350kg/m³とする。

8 施工管理

- 施工の安定性を確保するために下記に示す項目について施工管理する。
 - 形状・寸法
鉛直性：改良機本体のリーダー内に設置された傾斜計で管理する。
コラム芯：事前にコラム芯にマークを設ける。
掘削深度：深度計で計測し記録する。
改良径：攪拌装置の形状・寸法を記録する。
 - セメントミルク
材料：水、固化材を計量する。
ミルク比重：比重計(マッドバランス等)で計測する。
ミルク吐出量：流量計で計測し記録する。
 - 攪拌混合度
貫入・引き上げ速度：速度計で計測し記録する。
攪拌装置：掘削翼、攪拌翼の枚数を確認する。
 - 下部地盤
掘進速度、オーガー抵抗値(電流値またはトルク値)
掘削深度は深度計で管理する。
：支持地盤確認は掘削中のオーガーの抵抗値、試掘調査等総合判断により管理する。
 - 改良先端処理
コラム頭部の位置を所定の仕上がり高さにするため、施工後適切な時期にバックホー等でコラム頭部を削り取って先端処理を行う。ただし、深基礎等、現場状況により改良先端処理が不可能な場合は、根切り工掘削時に改良体を損傷しないようにコラム頭部を削り取ること。

(2) 施工の立会い

- 建築工事の請負者は、本地業責任者(請負業者の中から選定)及び施工責任者を定め、両者は本地業の施工中は立ち会うものとする。

9 品質検査

- 検査対象群、検査対象層及び調査ヶ所数
 - 検査対象群は概ねコラム300本を1単位とする。
 - 検査対象層は(礫混じり砂質粘土層)であり設計対象層を(礫混じり砂質粘土層)とする。
調査箇所数は全コラムに対し100コラムに1箇所以上かつ、1検査対象群に1箇所以上とする。
現地状況により強度発現量がより小さいと想定される層が確認される場合、監督員と協議の上配合試験対象層、配合試験検体数を適宜設定するものとする。
 - 検査手法は、強度のパラッキを想定する場合は検査手法Aによる。
 - 調査ヶ所数

表 3 調査箇所数

検査手法A	採取方法	採取箇所数	作成供試体数
	現場供試体 (E-MD-J)	1箇所	6本/箇所(材齢7,28日各3本)
	深度コア	1箇所	3本/箇所(材齢28日)

(2) 合否の判定

- 設計対象層の抜き取り1ヶ所に対し3個の供試体採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。
- 一軸圧縮試験は第三者で行うものとする。
- 検査手法Aによる品質検査
合否の判定は設計対象層におけるNヶ所(採取ヶ所数)の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。
$$X_i = F_c + k \cdot \sigma = F_c + k \cdot \{ F_c \cdot V_i / (1 - 1.3V_i) \}$$

$$X_i$$
: Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値
$$X_i$$
: 合格判定値
$$F_c$$
: 設計基準強度
$$k$$
: 合格判定係数
$$\sigma$$
: 標準偏差 $\sigma = V \cdot q$
$$V_i$$
: 変動係数、性能証明による

表 4 合格判定係数

抜き取りヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

(3) 六価クロム溶出試験

- 国土交通省 国官技第16号、国官建第1号(平成13年4月20日)「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)」による六価クロム溶出試験を実施し、試験結果を提出するものとする。
事前配合試験段階 1検体

10 報告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に提出する。

- コラムの施工数量
- コラム番号及び施工進捗図
- コラムの施工日・径・長さ・掘削深度
- スラリー比重値
- 固化材の使用量
- コアの強度管理試験・合格判定結果

一級建築士 213679 号
構造設計一級建築士証交付番号 第 2004 号
増田 浩二

一級建築士 175279号

平成 30年 6月 日

名称 可見市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

岩瀬直人

承認

図面

地盤改良特記仕様書

縮尺

A2:1/1
A3:1/1.5

S-12

1. NDコア仕様

部材記号	長さ(mm)	設計記号	数量(個)	斜め切断(勾配)
ND150 ND175 ND200 ND250 ND300 ND350	430	ND200-430	9	斜め切断 (3) 度、寸
ND150 ND175 ND200 ND250 ND300 ND350				斜め切断 () 度、寸
ND150 ND175 ND200 ND250 ND300 ND350				斜め切断 () 度、寸
ND150 ND175 ND200 ND250 ND300 ND350				斜め切断 () 度、寸
ND150 ND175 ND200 ND250 ND300 ND350				斜め切断 () 度、寸
ND150 ND175 ND200 ND250 ND300 ND350				斜め切断 () 度、寸
ND150 ND175 ND200 ND250 ND300 ND350				斜め切断 () 度、寸
ND150 ND175 ND200 ND250 ND300 ND350				斜め切断 () 度、寸

1 設計記号は、部材記号・長さ(mm)で記入する。(例)ND300-600、ND200-550

(1) NDコアの形状寸法および重量

部材記号	外径B (mm)	公差	板厚t (mm)	単位質量 (kg/m)	長さ範囲 (mm)	材質	断面形状
ND150	152	+2.0	16.5	69.8	150 ~ +3.0 -0	JIS G 3136 S490B	ND150-ND200
ND175	177	-2.0	17.0	85.1			
ND200	202		22.0	124			
ND250	252		24.0	184			
ND300	302		29.0	265			
ND350	352		33.8	360			

2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
 3 NDコアの長さは1.0mピッチで対応。
 4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

(2) 適用する柱およびはり材

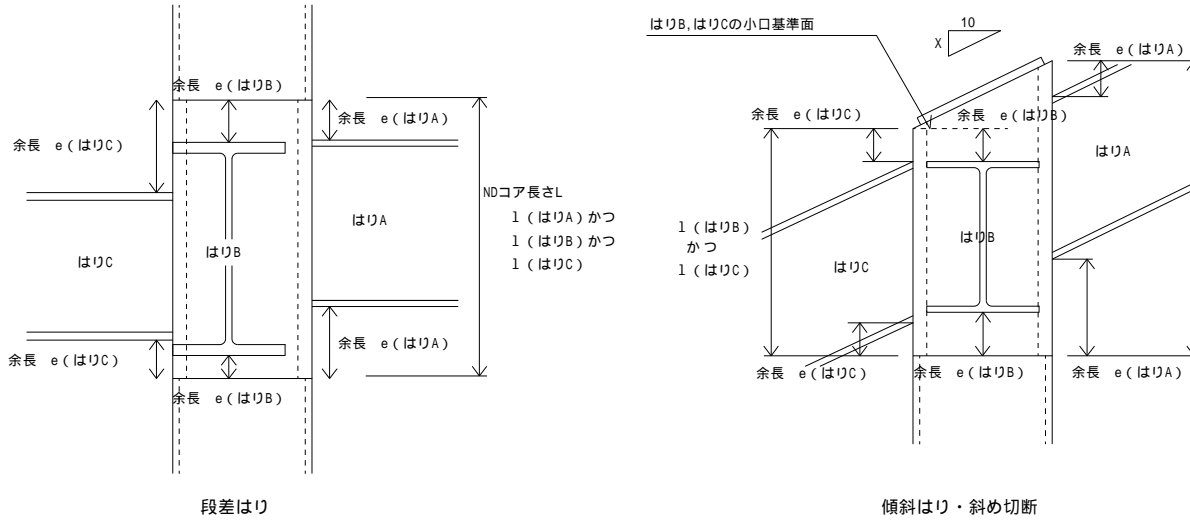
- a) 適用する柱材の材質および規格
- ・建築構造用冷間成形角形鋼管 BCR295
 - ・一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) STKR400
- b) 適用するはり材の材質および規格：下記規格のH形鋼
- ・建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) S400B,C
 - ・一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400
 - ・溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) S400A,B

2. NDコア仕様の決め方

S-06 特記事項による。

(1) NDコア長さLの設定方法及び注意

- a) NDコアの長さLは、取付く各はり(最大で4方向)全てに対して、最小余長eを確保し、かつ最小長さ1以上となるようにする。
 最小余長e、最小長さ1は柱はりの組合せで決まっている寸法であり、「設計・施工標準仕様書【柱はり組合せ編】」を参照する。
 b) はりに傾斜がある場合には、はり取り付け部の長さの増加を加えてNDコア長さを設定すること。
 c) 柱頭部上部を斜め切断仕様とする場合は、それぞれの接合面に対応する小口において、最小余長e、最小長さ1を確保する。
 小口が傾斜している面では、低い位置を基準として最小余長e、最小長さ1を確保する。
 d) 柱頭部の斜め切断の勾配は45度(10寸勾配)以下とする。



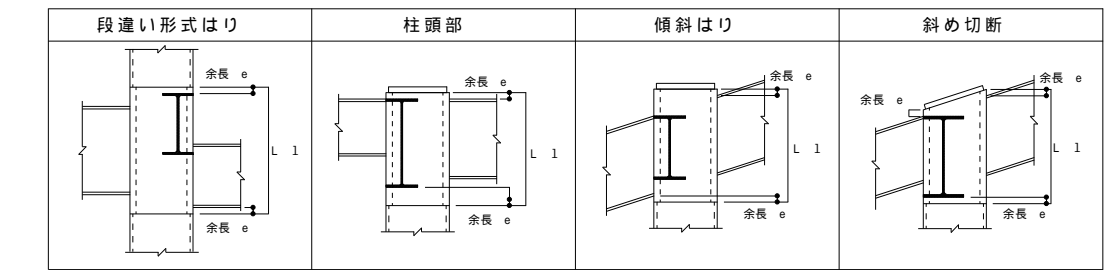
(2) 柱頭部仕様

- a) 柱頭部では、NDコア小口面に下表に示す補強プレートを取り付けること。
 b) 柱頭部を斜め切断する場合は、片流れの切断とし、切断角度は45度以下とする。
 c) 柱頭部を斜め切断した場合は、はりの傾斜は切断角度以下とする。
 d) どぶ付けめっきのため補強プレートに開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。

NDコア部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り	
	寸法 (mm)	板厚 (mm)	寸法 (mm)	板厚 (mm)
ND150	130 x 130	6	130 x PL	6
ND175	155 x 155	6	155 x PL	6
ND200	170 x 170	9	170 x PL	9
ND250	220 x 220	9	220 x PL	9
ND300	270 x 270	12	270 x PL	12
ND350	310 x 310	12	310 x PL	12

材質：S400A,B,C, SS400, S400A,B,C

【NDコア長さLの採り方例】



3. 鉄骨躯体の設計方法

- a) NDコアは、はり組合せ表の範囲において柱、はりに対して、許容応力度設計、保有耐力接合条件を満足しており、あらためて接合部の検討は不要である(【柱はり組合せ編】参照)。
 b) NDコアを用いた柱はり接合部では、通しダイアフラム形式の架構と同様に節点を剛とし、柱およびはりを線材置換して、鉄骨フレームの設計を行うことができる。
 c) NDコアを用いた柱およびはり等の鉄骨フレームの設計については、下記の規準等によるものとし、通常の設計フローに従って、部材の設計、架構解析、耐力の確認等を行う。ただし、ルート3を用いて設計をする場合、NDコアは適用範囲においてパネル崩壊とならないため、柱はり耐力比から崩壊形を判定して保有耐力の検討を行う。
- ・平成20年5月23日施行改正建築基準法
 - ・平成19年国土交通省告示第593号、第594号、第595号、第596号
 - ・(財)日本建築センター「2007年版建築物の構造関係技術基準解説書」
 - ・同「2008年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」

ルート1-1	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。
ルート1-2	
ルート2	
ルート3	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。 ただし、NDコア使用部においてパネル崩壊が生じないため、柱・はり耐力比から崩壊形を判定して、フレーム設計を行う。 崩壊形の判定に影響しない、柱頭部については、特別な検討は不要である。

4. NDコア鉄骨製作要領

(1) 鉄骨製作方法

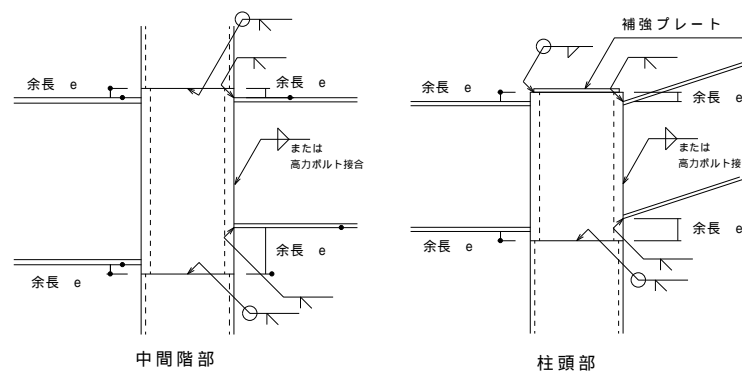
- a) NDコアと柱およびはりの接合は鉄骨製作者が行い、施工管理は鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者が行う。鉄骨製作に関し特に確認すべき事項については「NDコア鉄骨加工要領書」に示す。
 b) 記載なき事項については、(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6 鉄骨工事」、同「鉄骨工事技術指針」、および(財)日本建築センター「2008年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」による。

(2) 接合方法

- a) NDコアと柱およびはりフランジとの接合は完全溶け込み溶接とし、NDコアとはりウェブとの接合は隅肉溶接または高力ボルト接合とする。
 b) NDコアとはりの接合はNDコア小口面から余長e以上を確保して接合する。余長eは別紙「柱はり対応表」にて特記の無い限りは25mmとする。
 c) NDコアは、NDコア小口面から余長eを除いた全ての部分ではりの取り付けが可能だが、はり外面合せの場合、NDコアの角部分と裏当て金に隙間が生じたときは、隙間を溶接で埋めて本溶接を行う等適切に処置する。
 d) NDコアとはりとの接合の際、NDコア製作時の溶接余盛とはりが接触する場合は、グラインダで平滑に仕上げる等適切に処置する。

(3) 柱頭部補強プレート取り付け方法

- a) 柱頭部は、NDコア小口面に右表に示す仕様の補強プレートを全周隅肉溶接により取り付けする。
 b) 全周隅肉溶接は右表に示す溶接サイズで、490級の溶接ワイヤを用いて行う。
 c) 柱頭部を斜め切断すると、NDコア小口面の長さが増加するため、右図を参考に、突状に合わせて補強プレートを準備する。



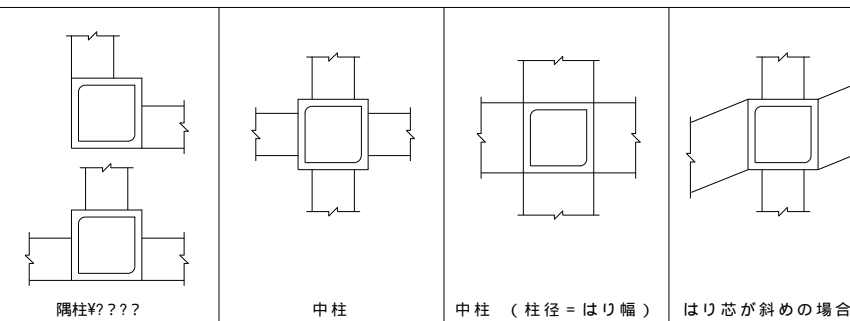
補強プレート取り付け仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り		隅肉溶接仕様
	寸法 (mm)	板厚 (mm)	寸法 (mm)	板厚 (mm)	
ND150	130 x 130	6	130 x PL	6	6
ND175	155 x 155	6	155 x PL	6	6
ND200	170 x 170	9	170 x PL	9	9
ND250	220 x 220	9	220 x PL	9	9
ND300	270 x 270	12	270 x PL	12	12
ND350	310 x 310	12	310 x PL	12	12

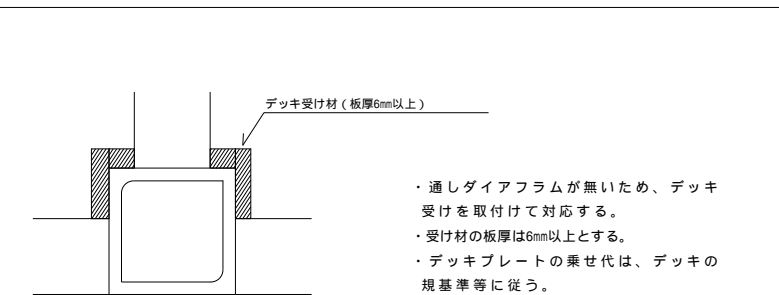
材質：S400A,B,C, SS400, S400A,B,C

5. NDコア納まり例

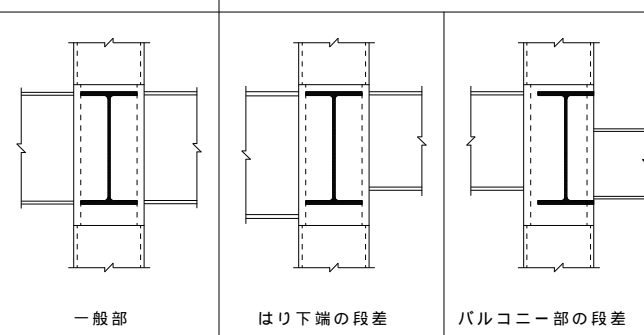
(1) はり取り付け位置



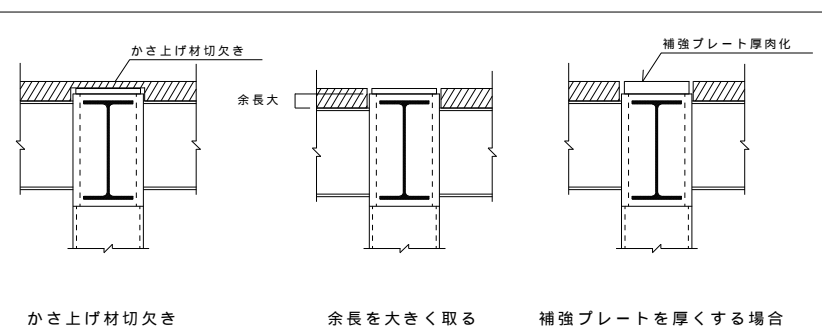
(6) デッキプレート納まり



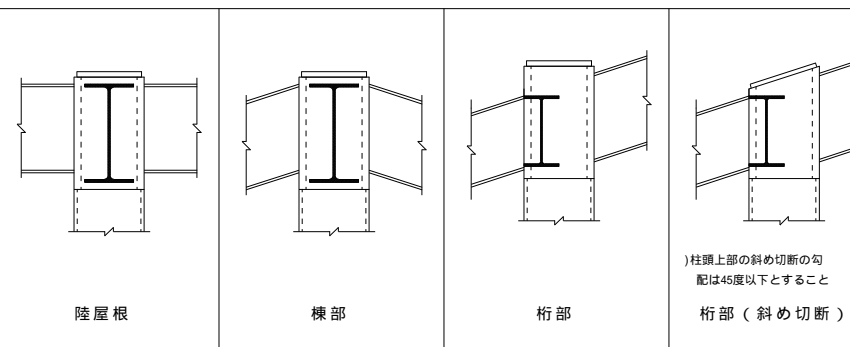
(2) 一般部



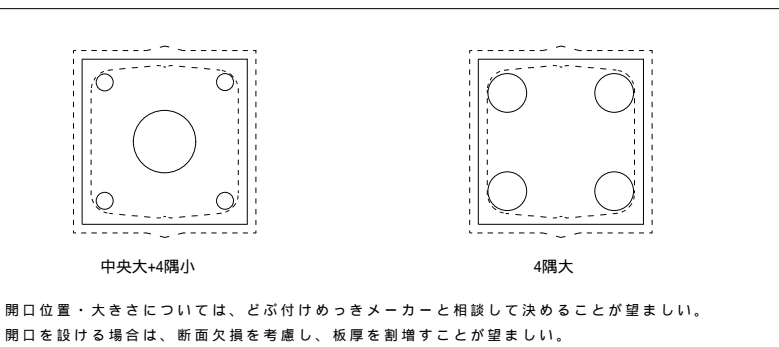
(7) NDコアと屋根用かさ上げ材の納まり



(5) 柱頭部



(8) 補強プレートどぶ付けめっき用開口



(Ver.4.0 H27.02)

一級建築士 175279号

平成30年6月日

名称 可見市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事

一級建築士 213679号
 構造設計一級建築士証交付番号 第2004号
 増田浩二

岩瀬直人

図面 NDコア設計施工標準仕様書-1

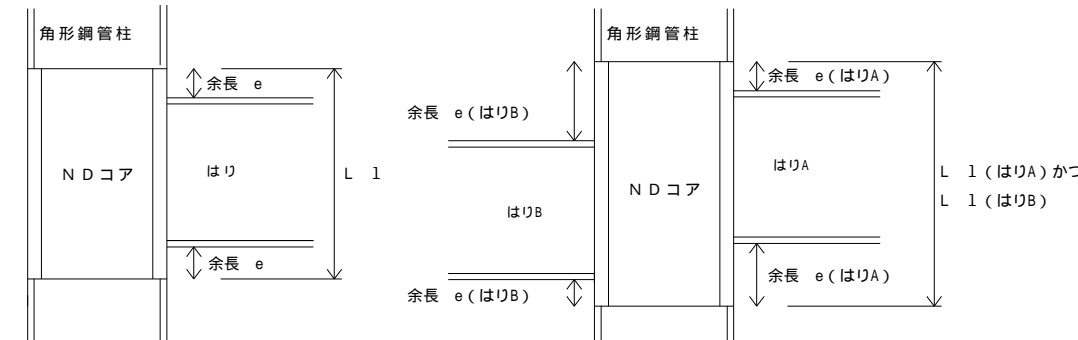
縮尺 A2:1/1
 A3:1/1.5 S-14

1. 表の見方

使用する柱(横軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さlと余長の必要最小寸法eを確認する。

- 柱材:BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
はり材:400N級(SS400、SM400、SN400B・C等)のJIS G 3192記載のH形鋼
NDコア長さL:NDコアの長さ
最小長さ? :柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
余長:NDコア小口面からはりフランジ端面までの距離
最小余長e:確保する余長の最小値

1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。



2. NDコアの形状および寸法

Table with columns for part number, outer diameter, plate thickness, unit weight, length range, material, and cross-section. Includes diagrams for ND150-ND200 and ND250-ND350.

- 2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインドで仕上げをするなど適切に処置すること。

3. 注意点

- 組合せ表の最小長さl、最小余長eは、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。

4. NDコア最小長さlと余長e

4-1. ND150~ND200

Large table showing required length l and minimum excess e for ND150, ND175, and ND200 cores across various beam sizes (H-148 to H-912).

4-2. ND250~ND350

Large table showing required length l and minimum excess e for ND250, ND300, and ND350 cores across various beam sizes (H-148 to H-912).

(Ver4.0 H27.02)

一級建築士 175279号

平成30年6月 日

名称 可児市立めぐみ保育園舎増築及び大規模改修工事

一級建築士 213679号
構造設計一級建築士証交付番号 第2004号
増田浩二

岩瀬直人

承認

図面 NDコア設計施工標準仕様書-3

縮尺 A2:1/1
A3:1/1.5

S-16

特記仕様書
(条件明示)

工事名 可児市立めぐみ保育園園舎増築及び大規模改修工事(建築)

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等	
工	1. 関連する別途発注工事あり	A. 工種 (<u>電気設備工事、機械設備工事</u>)	
		B. 期間 (<u>H30.8 ~ H31.3</u>)	
	2. 他機関協議による工程条件あり	A. 工種 ()	
		B. 期間 ()	
	3. 他機関との協議状況	A. 協議済機関及び内容 (<u>こども課、めぐみ保育園</u>)	
		B. 未協議機関及び内容 ()	
	4. 占用許可状況 ()	A. 許可済 ()	
		B. 申請中 ()	
5. 建築確認	A. 許可済 (<u>H30.3.19</u>)		
	B. 申請中 ()		
6. 河川区域、保全区域内作業あり	A. 許可済 ()		
	B. 申請中 ()		
7. 文化財協議 (教育文化財課)	A. 協議済内容 ()		
	B. 未協議内容 ()		
8. その他	A. その他 (<u>保育園運営に支障がないよう配慮すること</u>)		
	B. 未協議内容 ()		
用地	1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	A. 区間 (<u>NO ~ NO</u>)	
		B. 着工見込時期 ()	
		C. 内容 ()	
	2. 工事用地の未買収	A. 場所 ()	
		B. 処理の見込み時期 ()	
		C. 未買収地への立ち入り可否 ()	
	3. 仮設ヤードの有無	A. 官有地 ()	
		B. 民有地 ()	
		C. その他 ()	
		D. 別途協議 ()	
	4. その他	A. その他 ()	
		B. 未協議内容 ()	
公害対策	1. 施工方法の制限あり	A. 騒音 (<u>保育園運営に支障がないよう配慮すること</u>)	
		B. 振動 (<u>保育園運営に支障がないよう配慮すること</u>)	
		C. 水質 ()	
		D. その他 ()	
	2. 事業損失防止に関する調査あり	A. 調査の項目 ()	
		B. 環境影響調査あり ()	
	3. 環境影響調査あり	A. 生物・植物調査あり ()	
		B. フロン回収あり ()	
	4. その他	A. アスベスト含有材あり ()	
		B. その他 ()	
	安全対策	1. 交通規制あり	A. 全面通行止め ()
			B. 片側通行止め ()
C. 時間制限あり ()			
2. 通学路あり		A. 迂回路あり ()	
		B. 仮設歩道必要 ()	
		C. その他 ()	
2. 交通整理員		A. 区間 () 配置人員 () 人/日	
		B. 区間 () 配置人員 () 人/日	
		C. 区間 (<u>NC ~</u>) 配置人員 () 人/日	
		D. 交替要員あり ()	
3. 鉄道等の近接作業制限あり		A. 工法制限あり ()	
		B. 作業時間制限あり ()	
4. バス路線 (運行者との協議)	A. 協議済内容 ()		
	B. 未協議内容 ()		
5. その他	A. その他 (<u>敷地内徐行運転</u>)		
	B. 未協議内容 ()		
工事用道路	1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	A. 搬入経路指定あり ()	
		B. 時間帯制限あり ()	
	2. 仮設道路の設置条件あり	A. 一般交通供用あり ()	
		B. 安全施設必要 ()	
		C. 路面工 ()	
		D. 工事完了後存続又は撤去 ()	
		E. 構造 ()	
		F. 用地 (借地) ()	
		G. 用地 (公用地) ()	
		H. 用地 (その他) ()	
	3. その他	A. その他 ()	
		B. 未協議内容 ()	
指定仮設備	1. 仮設物の指定又は一部指定あり ()		
	2. 仮設構造物の転用、兼用あり ()		
	3. その他 ()		

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生土建設(産業)廃棄物関係	1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	A. 運搬距離 (<u>7.0</u> Km)
		B. 投棄料計上あり ()
	2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	C. 整地 (押土、敷均、締固等) 必要 ()
		D. 整地 (押土) 必要 ()
		E. 運搬距離 () Km)
		F. 仮置場の用地借上費計上あり ()
	3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	A. 盛土、埋戻 ()
		B. ストックヤード利用あり ()
		C. 仮置場必要 ()
		D. 運搬距離 () Km)
		E. 仮置場の用地借上費計上あり ()
		F. 仮置場の用地借上費計上あり ()
4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	A. 種類 ()	
	B. 場所 ()	
	C. 中間処理施設までの運搬距離 () Km)	
	D. 処理費計上あり ()	
	E. 仮置場必要 ()	
	F. 仮置場の用地借上費計上あり ()	
5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	A. 種類 ()	
	B. 場所 ()	
	C. 中間処理施設までの運搬距離 () Km)	
6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	A. 槽内洗浄必要 ()	
	B. 可児市環境課と打合せの必要あり ()	
7. 「可児市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	A. 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) ()	
	B. 建設発生土処理地の関係図書 ()	
	C. コプリス ()	
工事支障物件	1. 占用支障物件あり (電気)	A. 移設時期 (H 年 月 頃)
	2. 占用支障物件あり (電話)	A. 移設時期 (別途協議) ()
	3. 占用支障物件あり (水道)	A. 移設時期 (H 年 月 頃)
	4. 占用支障物件あり (下水道)	A. 移設時期 (別途協議) ()
	5. 占用支障物件あり (ガス)	A. 移設時期 (H 年 月 頃)
	6. 占用支障物件あり (マホ-ル蓋、仕切り弁蓋等)	A. 管理者による高さ調整 ()
	7. 占用支障物件あり (その他)	A. 移設時期 () ()
	8. その他	A. 移設時期 (別途協議) ()
排水工関係	1. 漏水、湧水処理条件あり	A. 方法 () ()
	2. その他	A. その他 () ()
再生材使用及び溶融スラッグ	1. 再生材使用指定あり	A. R C ()
	2. その他	B. アスファルト再生合材 (30%再生) ()
その他	1. 現場発生材あり	C. アスファルト再生合材 (100%再生) ()
	2. 支給材あり	D. 溶融スラッグ使用あり () ()
	3. イメージアップあり	E. 再生材を使用できない場合別途協議 () ()
	4. その他	A. その他 () ()